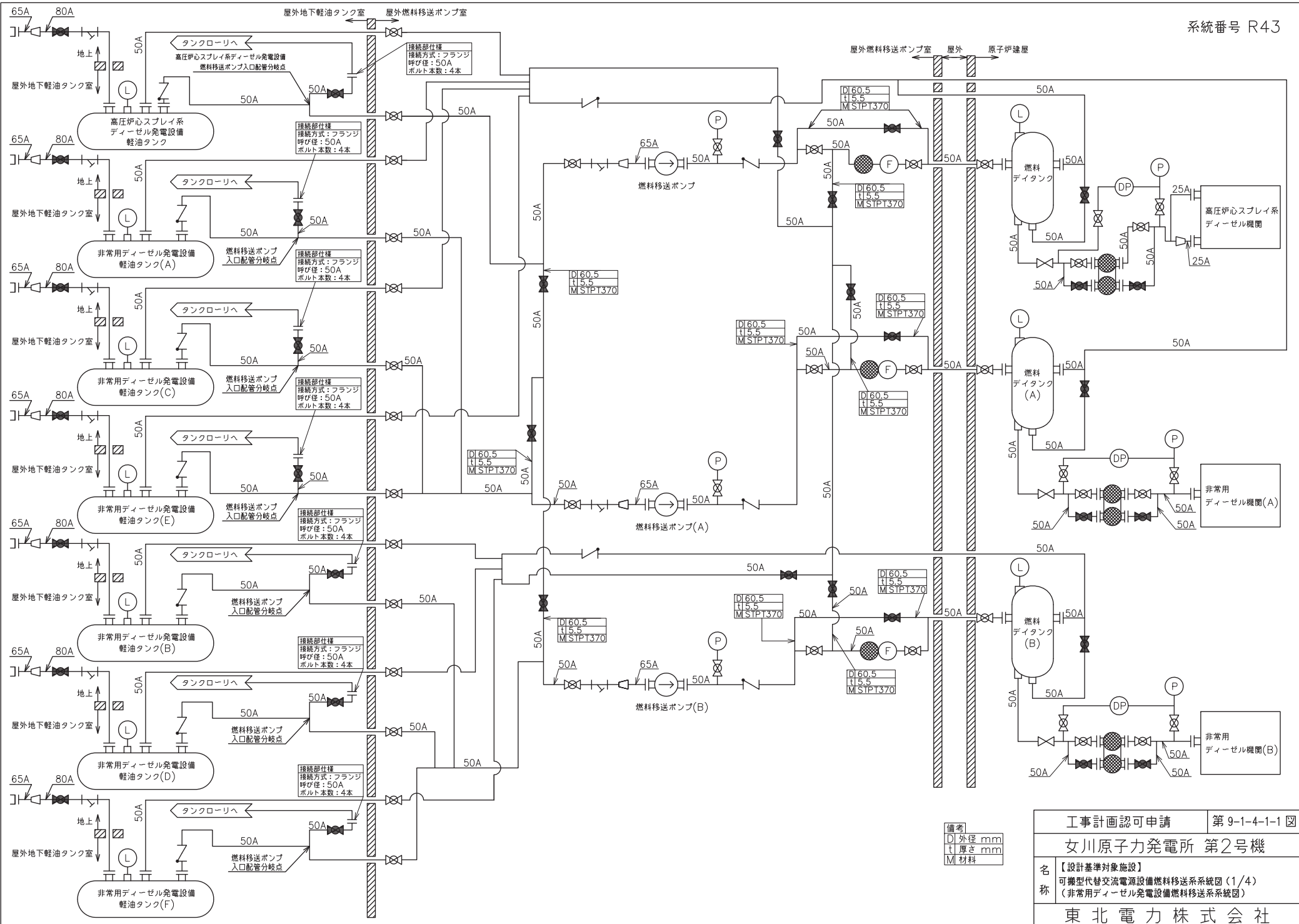
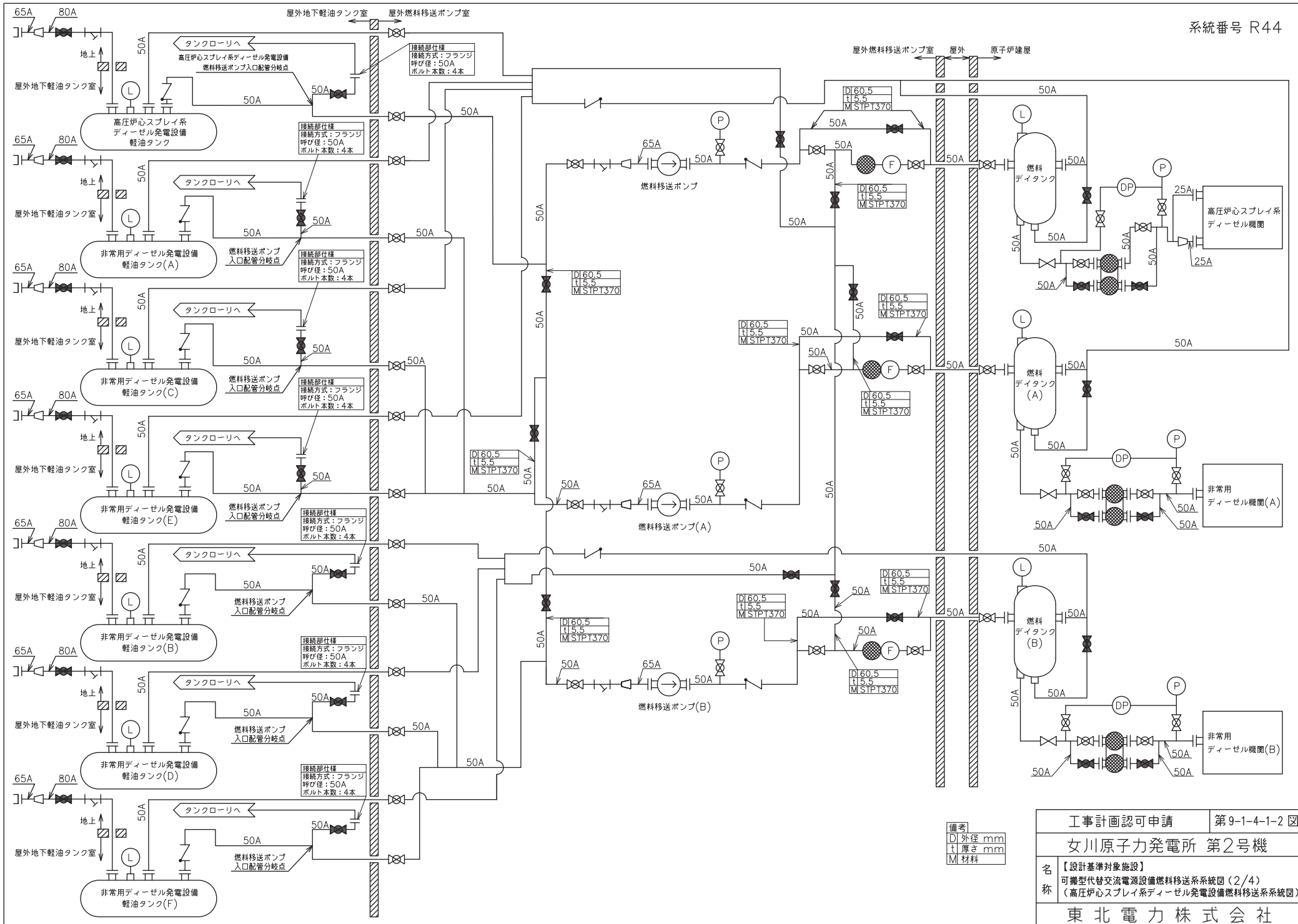


#### 9.1.4 可搬型代替交流電源設備



備考  
 D 外径 mm  
 t 厚さ mm  
 M 材料

工事計画認可申請		第9-1-4-1-1 図
女川原子力発電所 第2号機		
名称	【設計基準対象施設】 可搬型代替交流電源設備燃料移送系系統図(1/4) (非常用ディーゼル発電設備燃料移送系系統図)	
	東北電力株式会社	
		0501

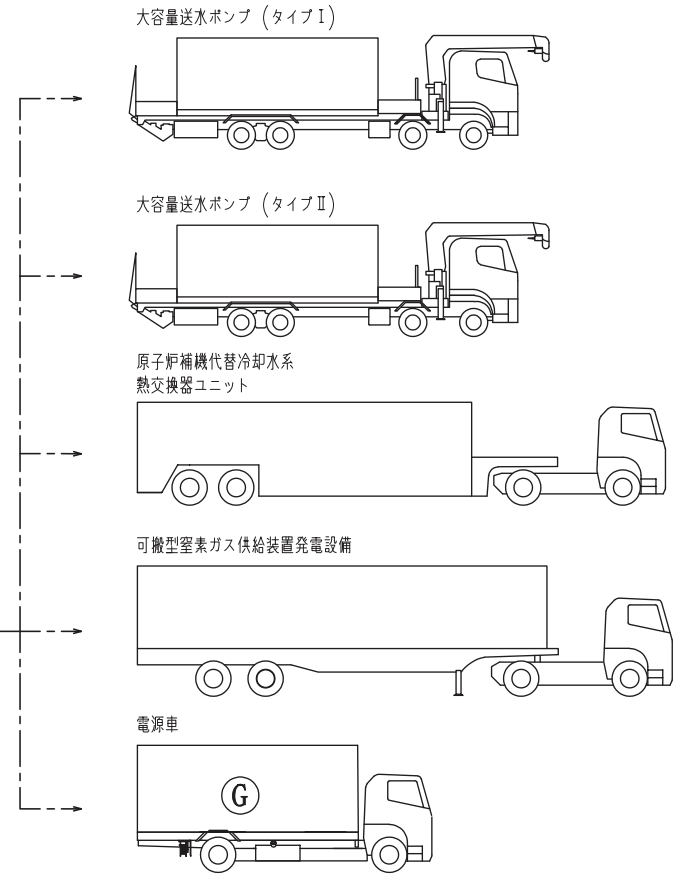
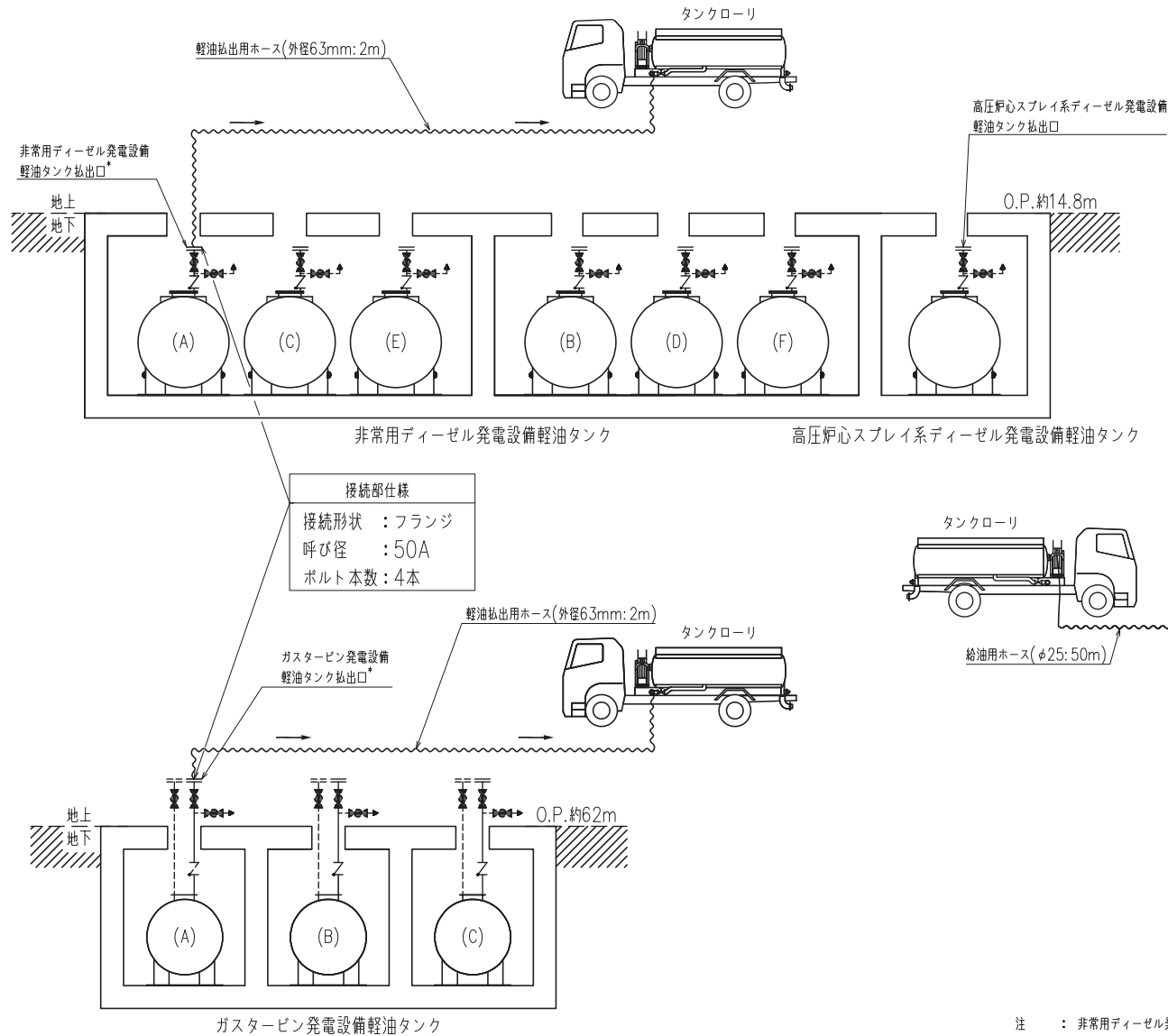


備考  
 D) 外径 mm  
 t) 厚さ mm  
 M) 材料

工事計画認可申請		第9-1-4-1-2 図
女川原子力発電所 第2号機		
名称	【設計基準対象施設】 可搬型代替交流電源設備燃料移送系系統図(2/4) (高圧炉心スプレー系ディーゼル発電設備燃料移送系系統図)	
	東北電力株式会社	
		0501



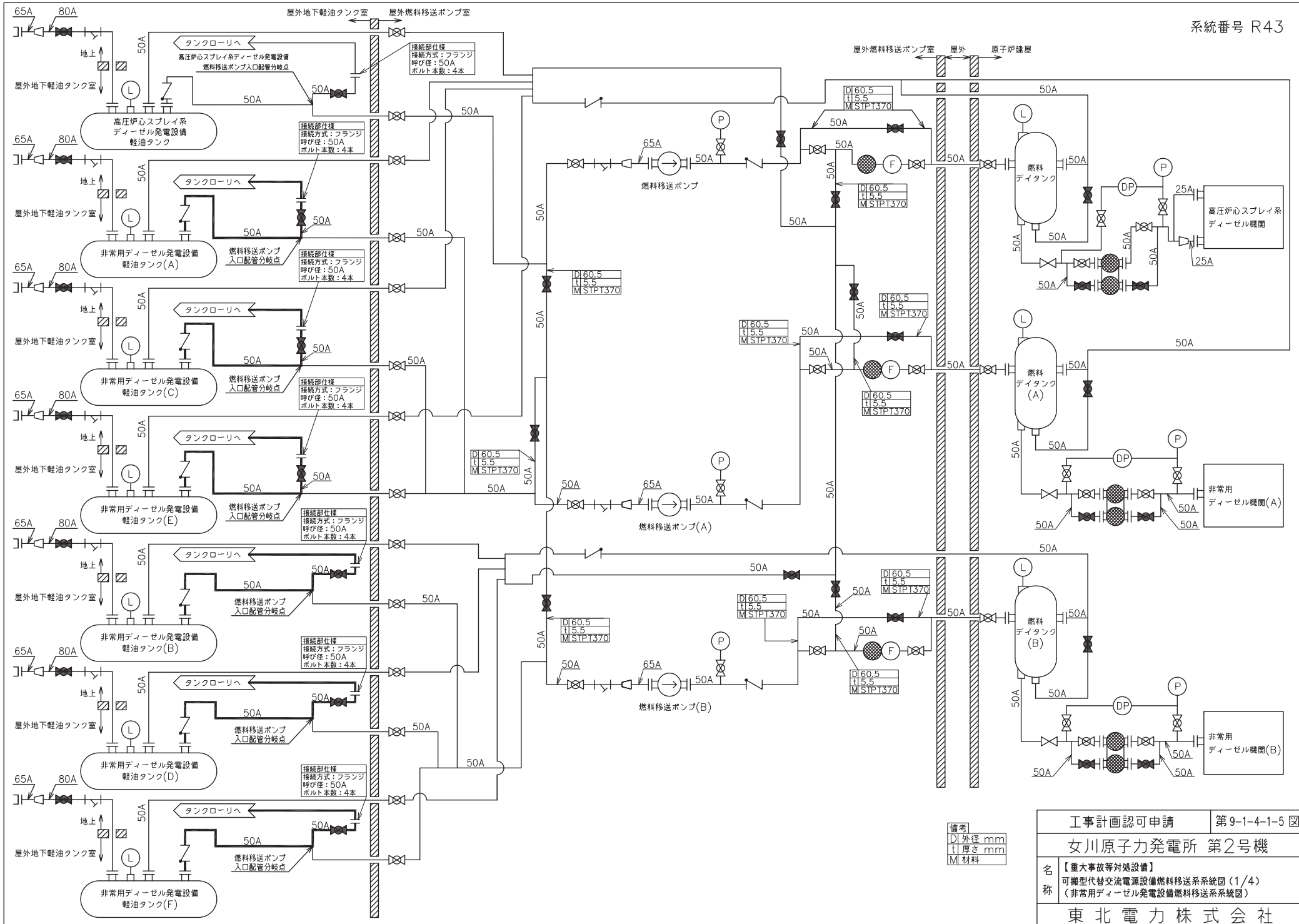




燃料補給対象設備

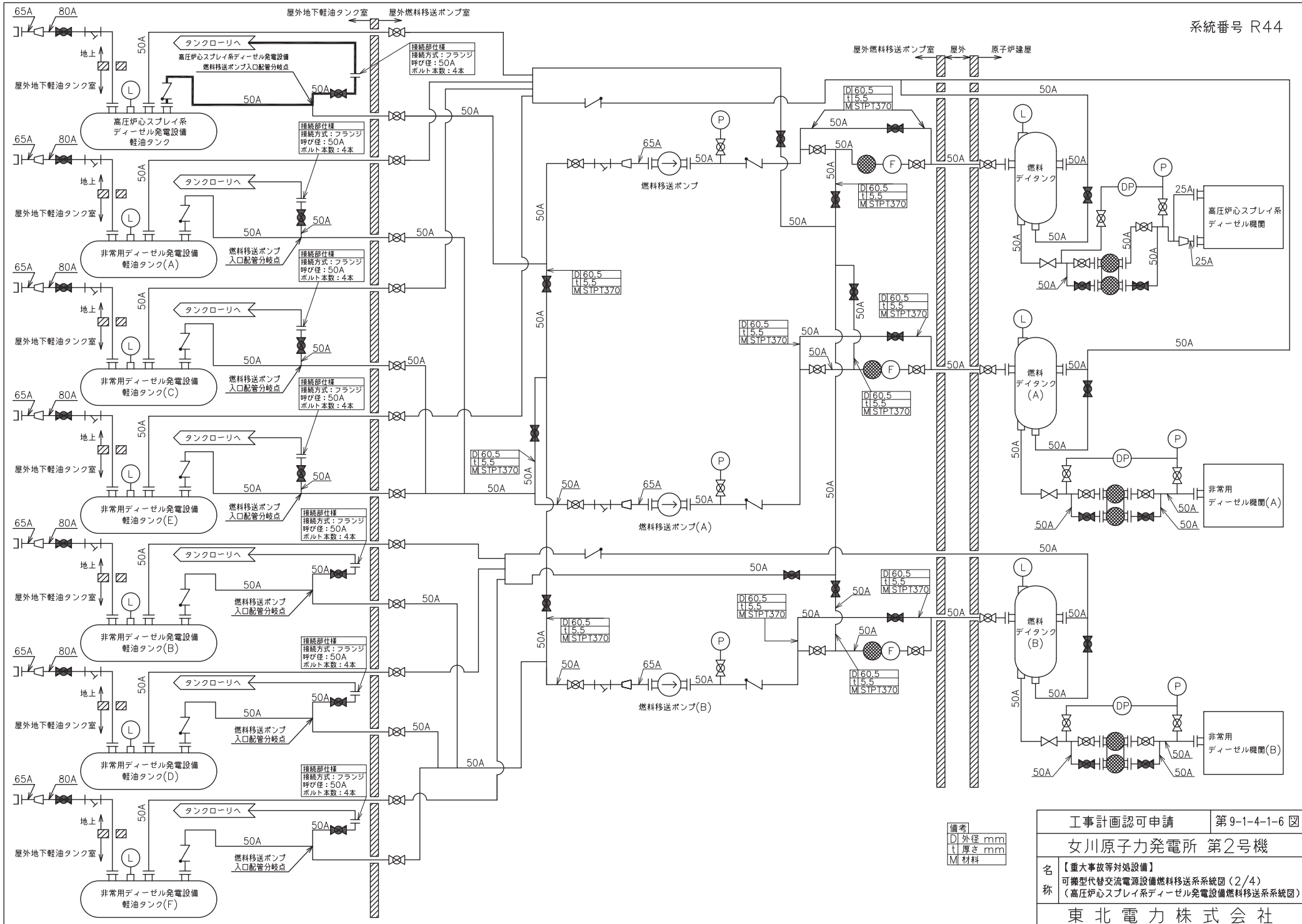
注 : 非常用ディーゼル発電設備軽油タンク及び高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備軽油タンクから燃料補給できない場合は、ガスタービン発電設備軽油タンクから燃料補給する。  
 注記 \* : 非常用ディーゼル発電設備軽油タンク及びガスタービン発電設備軽油タンクの私出口は (A) を代表で記載する。

工事計画認可申請	第9-1-4-1-4図
女川原子力発電所 第2号機	
名称	【設計基準対象施設】 可搬型代替交流電源設備燃料移送系系統図 (4/4)可搬
東北電力株式会社	



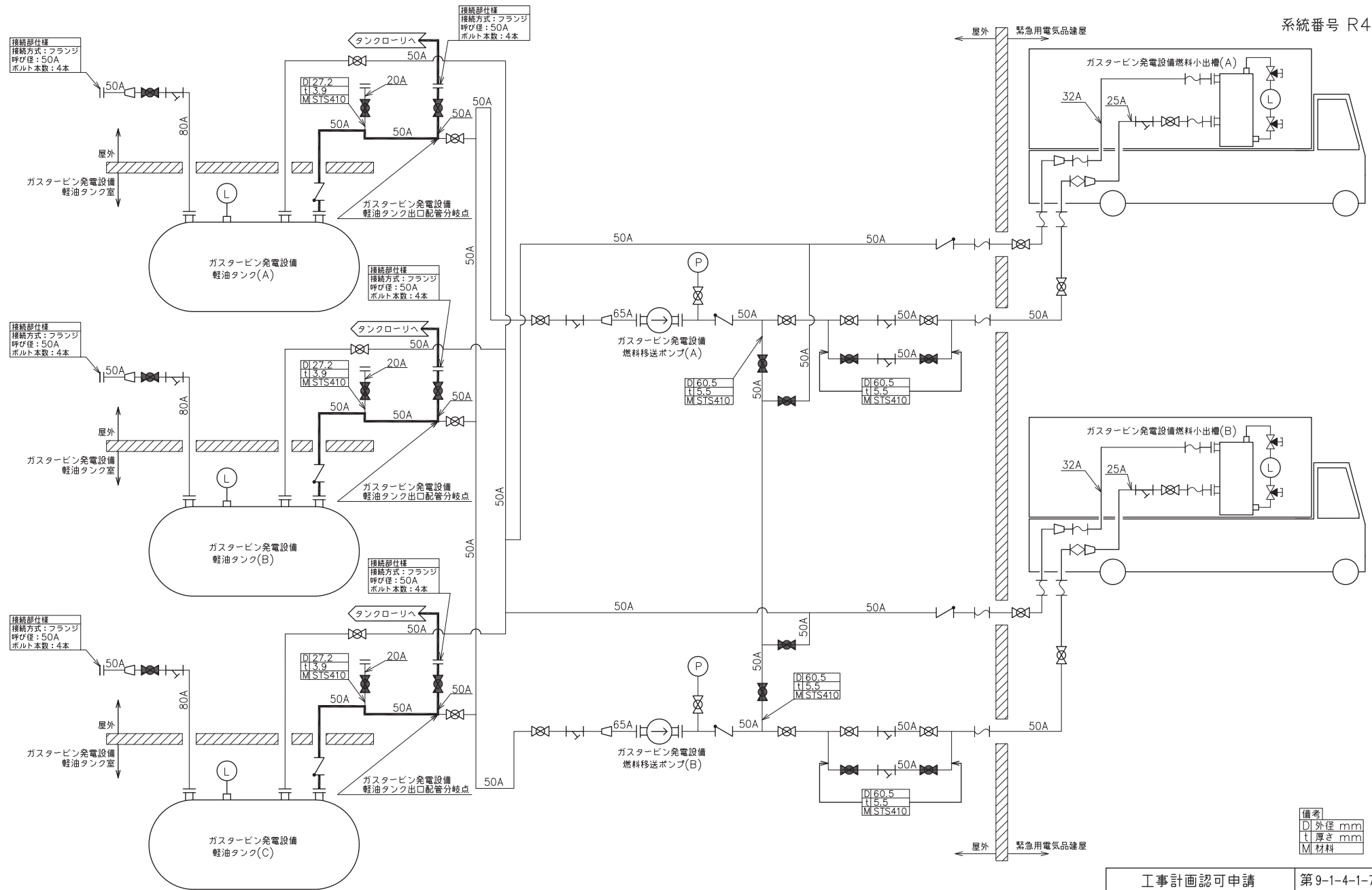
備考  
 D 外径 mm  
 t 厚さ mm  
 M 材料

工事計画認可申請		第9-1-4-1-5 図
女川原子力発電所 第2号機		
名称	【重大事故等対処設備】 可搬型代替交流電源設備燃料移送系統図(1/4) (非常用ディーゼル発電設備燃料移送系統図)	
東北電力株式会社		
		0501



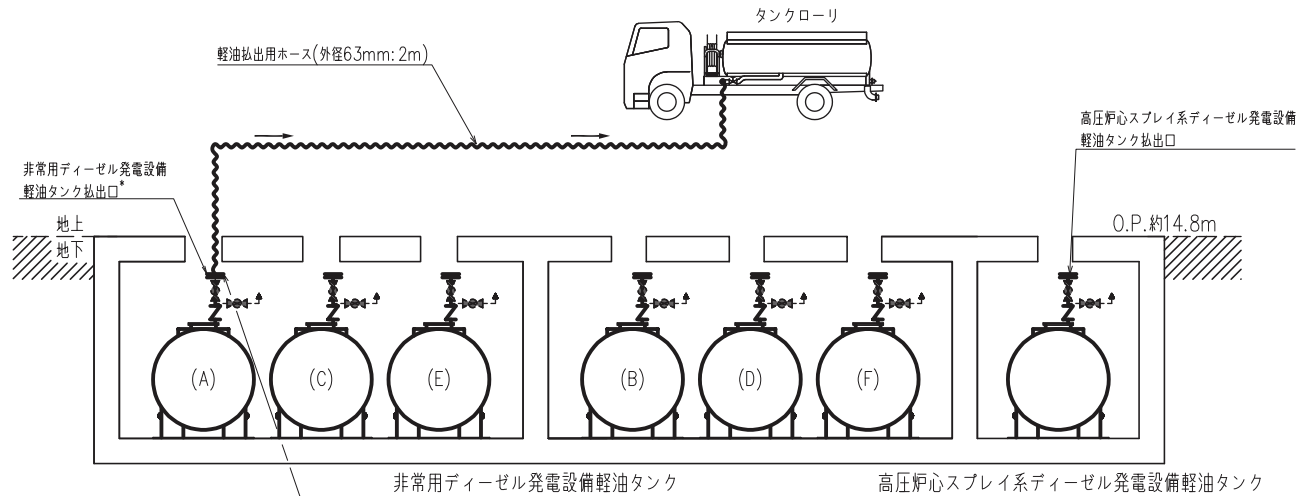
備考  
 D 外径 mm  
 t 厚さ mm  
 M 材料

工事計画認可申請		第9-1-4-1-6 図
女川原子力発電所 第2号機		
名称	【重大事故等対処設備】	
	可搬型代替交流電源設備燃料移送系統図(2/4) (高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備燃料移送系統図)	
東北電力株式会社		
		0501

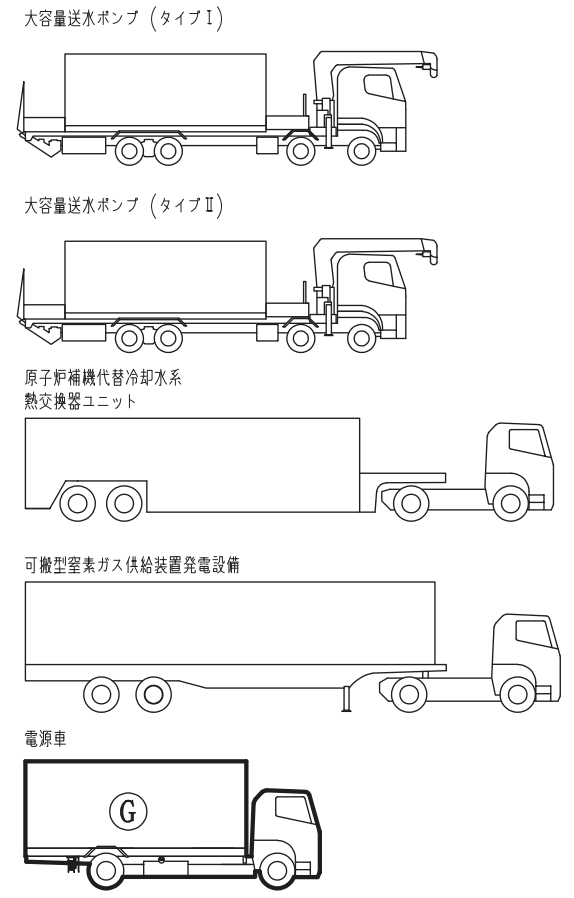
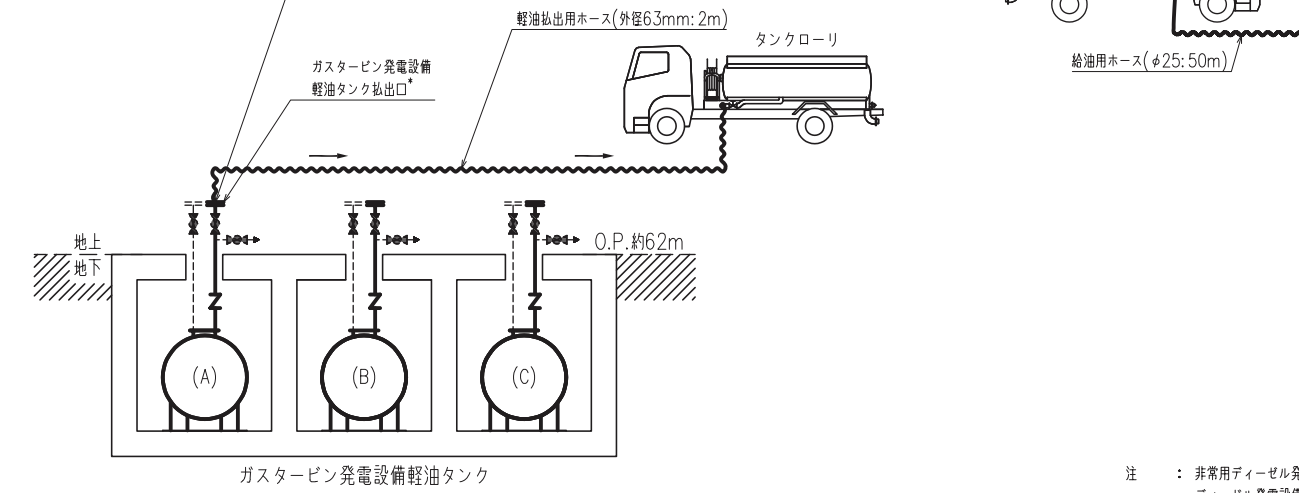


備考  
 D 外径 mm  
 t 厚さ mm  
 M 材料

工事計画認可申請	第9-1-4-1-7 図
女川原子力発電所 第2号機 名称 【重大事故等対策設備】 可機型代替交流電源設備燃料移送系系統図(3/4) (ガスタービン発電設備燃料移送系系統図)	
東北電力株式会社 0511	



接続部仕様  
 接続形状 : フランジ  
 呼び径 : 50A  
 ボルト本数 : 4本

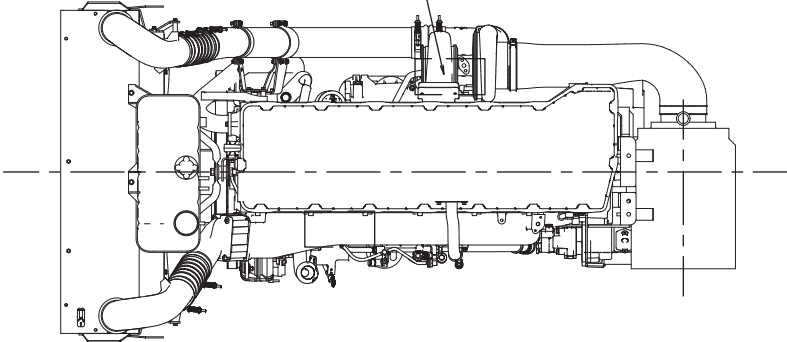


燃料補給対象設備

注 : 非常用ディーゼル発電設備軽油タンク及び高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備軽油タンクから燃料補給できない場合は、ガスタービン発電設備軽油タンクから燃料補給する。  
 注記 \* : 非常用ディーゼル発電設備軽油タンク及びガスタービン発電設備軽油タンクの私出出口は (A) を代表で記載する。

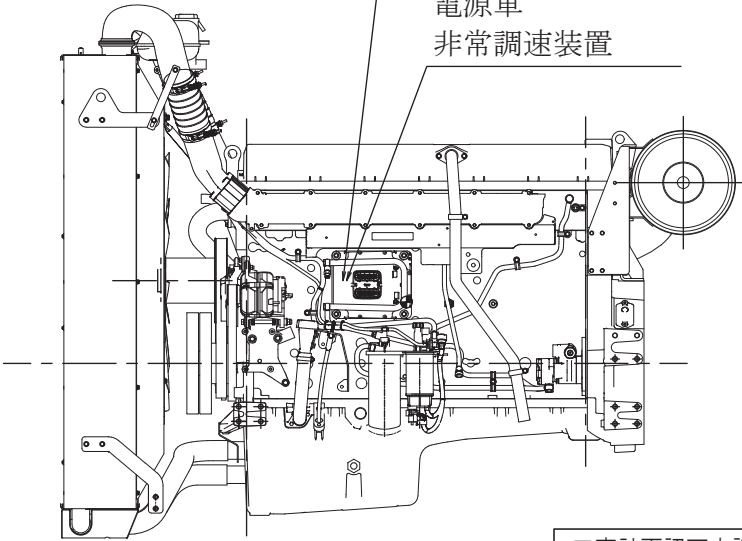
工事計画認可申請	第9-1-4-1-8図
女川原子力発電所 第2号機	
名称	【重大事故等対処設備】 可搬型代替交流電源設備燃料移送系統図 (4/4)可搬
東北電力株式会社	

電源車  
過給機

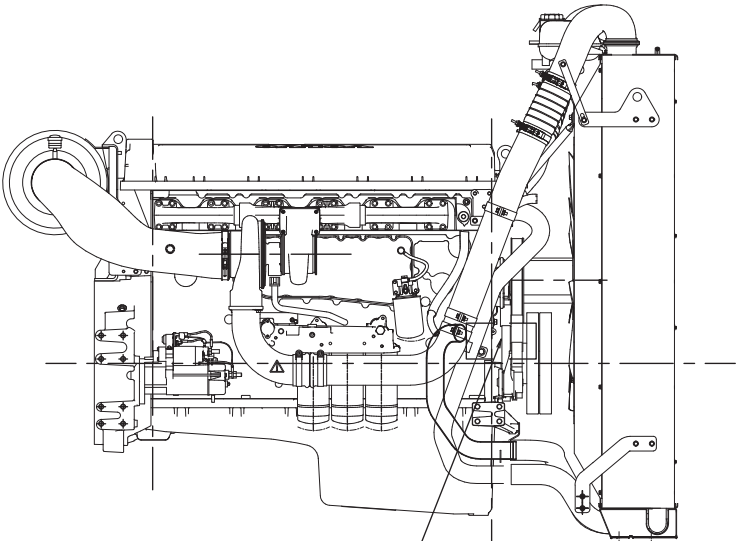


電源車  
调速装置

電源車  
非常调速装置



電源車  
冷却水ポンプ

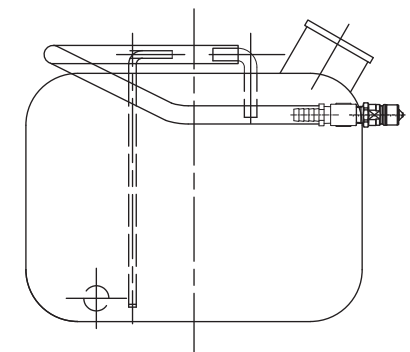
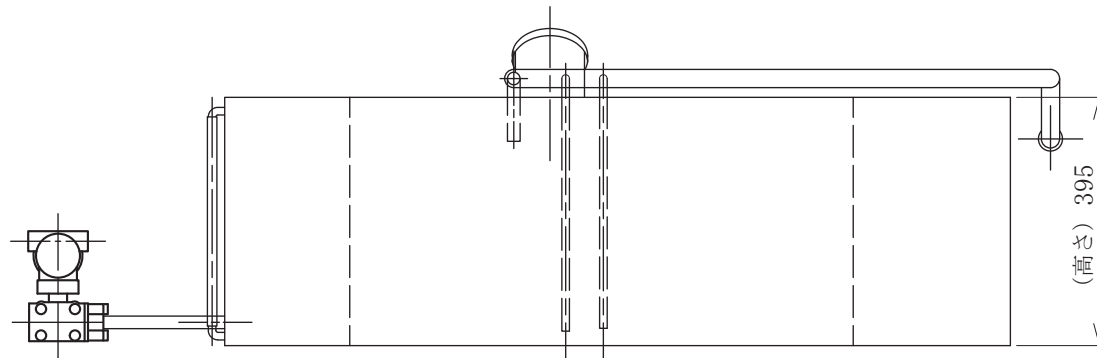
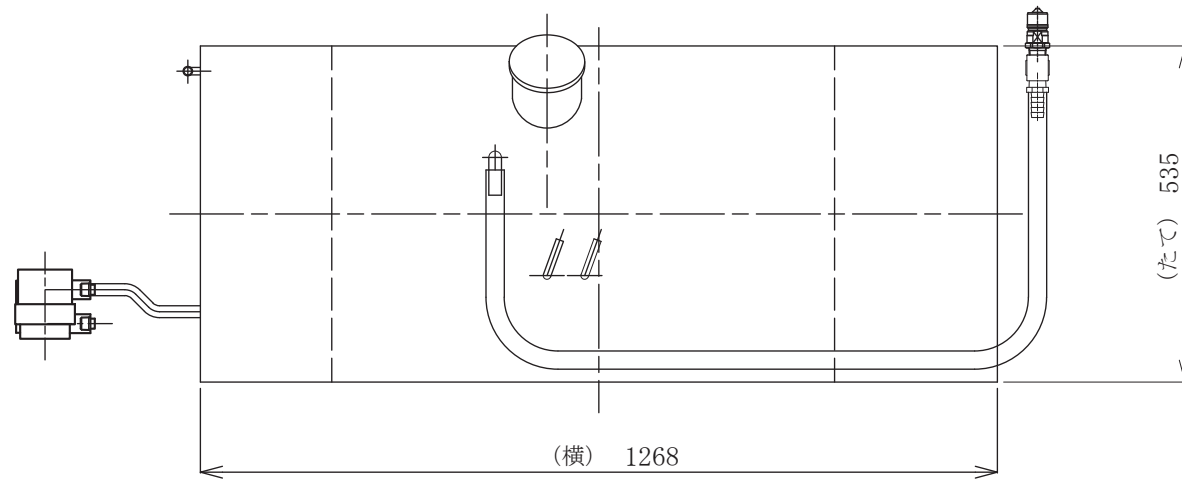


工事計画認可申請 第9-1-4-2-1図

女川原子力発電所 第2号機

名称 可搬型代替交流電源設備  
電源車（内燃機関）構造図

東北電力株式会社






注1：特記なき寸法は mm を示す。  
 注2：特記なき寸法は公称値を示す。

工事計画認可申請	第9-1-4-2-2図
女川原子力発電所 第2号機	
名称	可搬型代替交流電源設備 電源車（燃料タンク）構造図
東北電力株式会社	

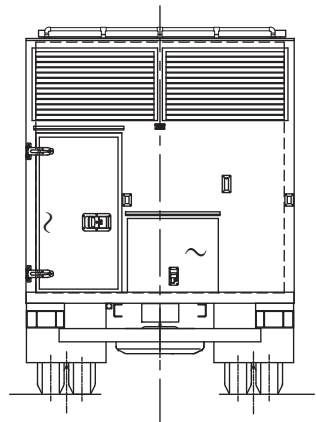
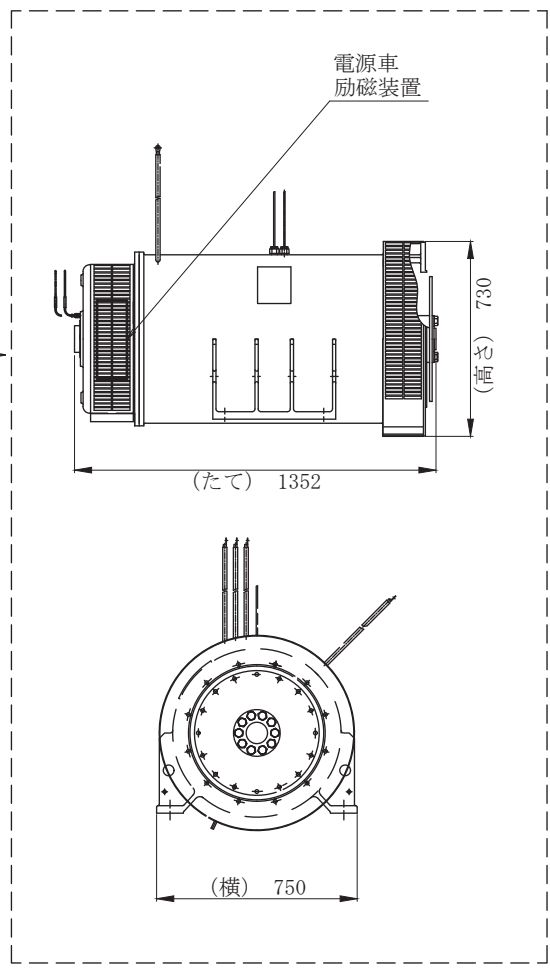
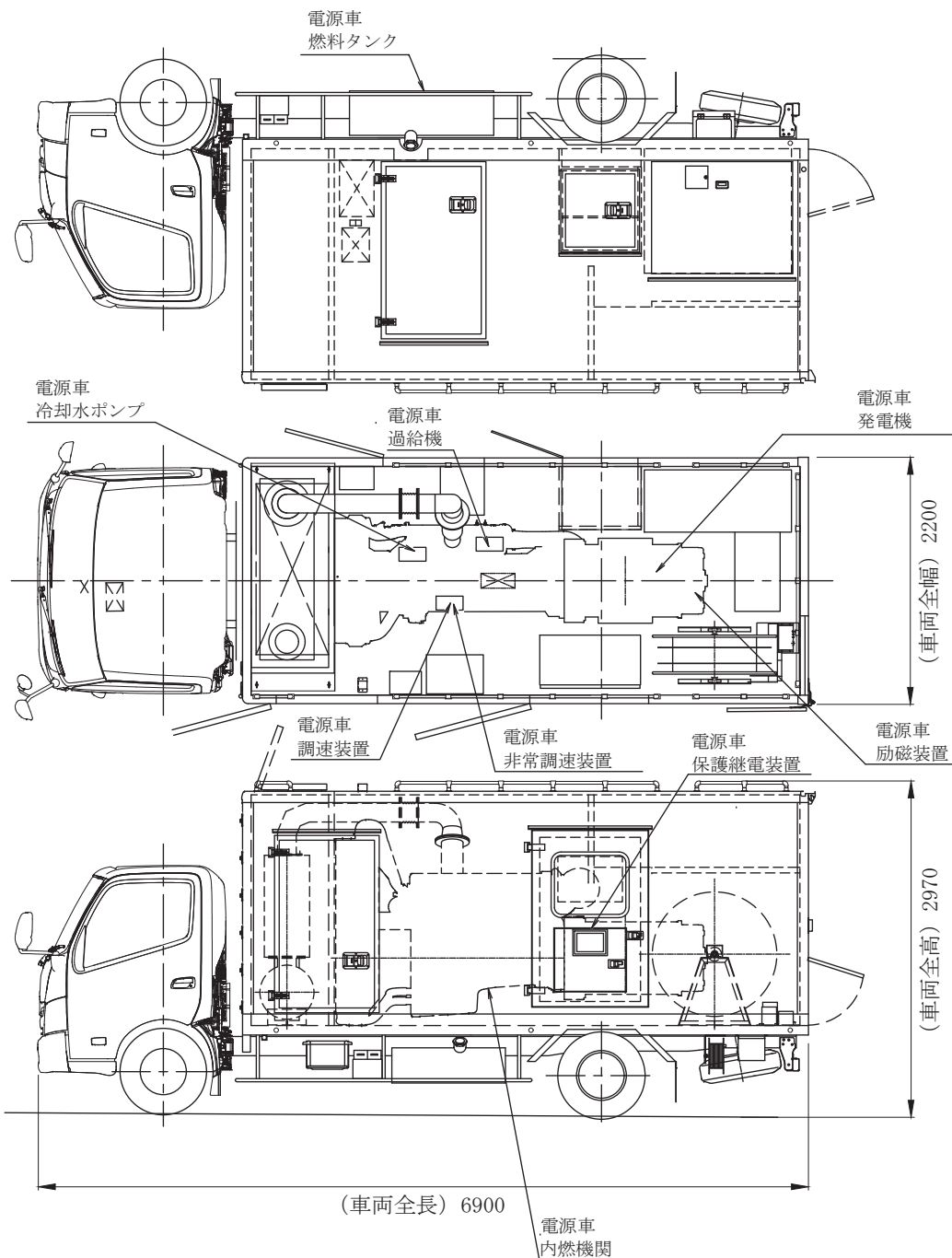
第 9-1-4-2-2 図 可搬型代替交流電源設備の構造図 電源車（燃料タンク） 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
た て	535		製造能力，製造実績を考慮した メーカー基準
横	1268		製造能力，製造実績を考慮した メーカー基準
高 さ	395		製造能力，製造実績を考慮した メーカー基準

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値を示す。








注1：特記なき寸法は mm を示す。  
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

工事計画認可申請	第9-1-4-2-3図
女川原子力発電所 第2号機	
名称	可搬型代替交流電源設備 電源車（発電機及び励磁装置）構造図
東北電力株式会社	

第 9-1-4-2-3 図 可搬型代替交流電源設備の構造図 電源車（発電機及び励磁装置）別紙

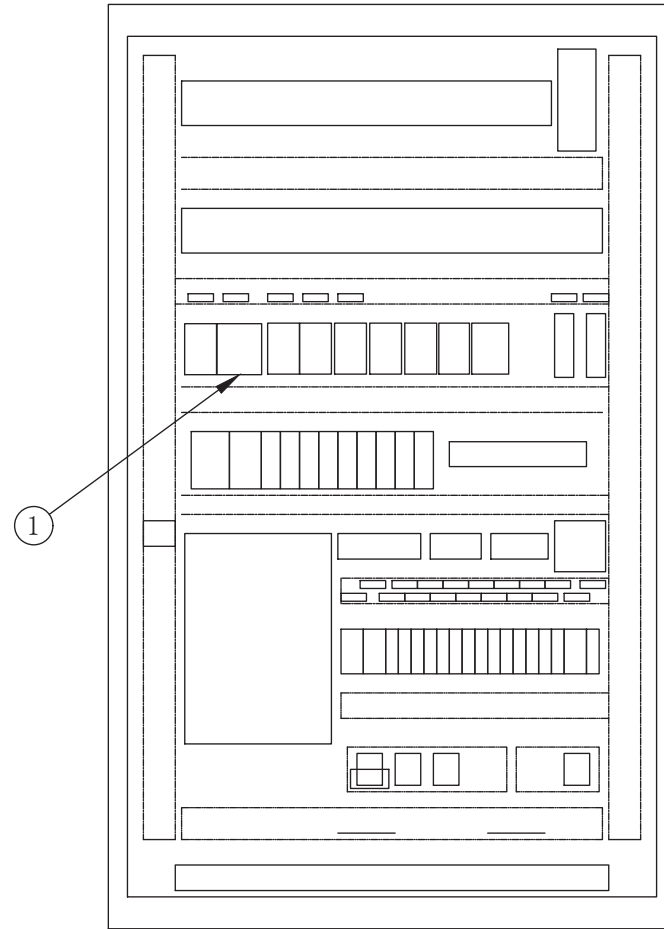
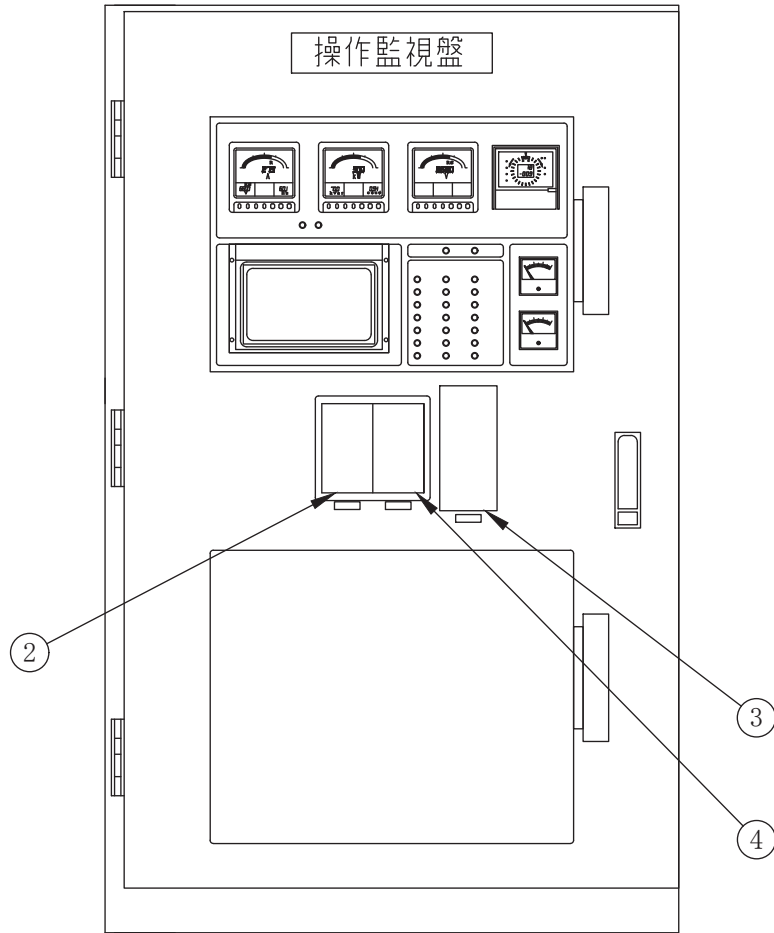
工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
た て	1352		製造能力，製造実績を考慮した メーカー基準
横	750		製造能力，製造実績を考慮した メーカー基準
高 さ	730		製造能力，製造実績を考慮した メーカー基準
車両全長	6900	—	概略寸法のため規定しない
車両全幅	2200	—	概略寸法のため規定しない
車両全高	2970	—	概略寸法のため規定しない

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値を示す。

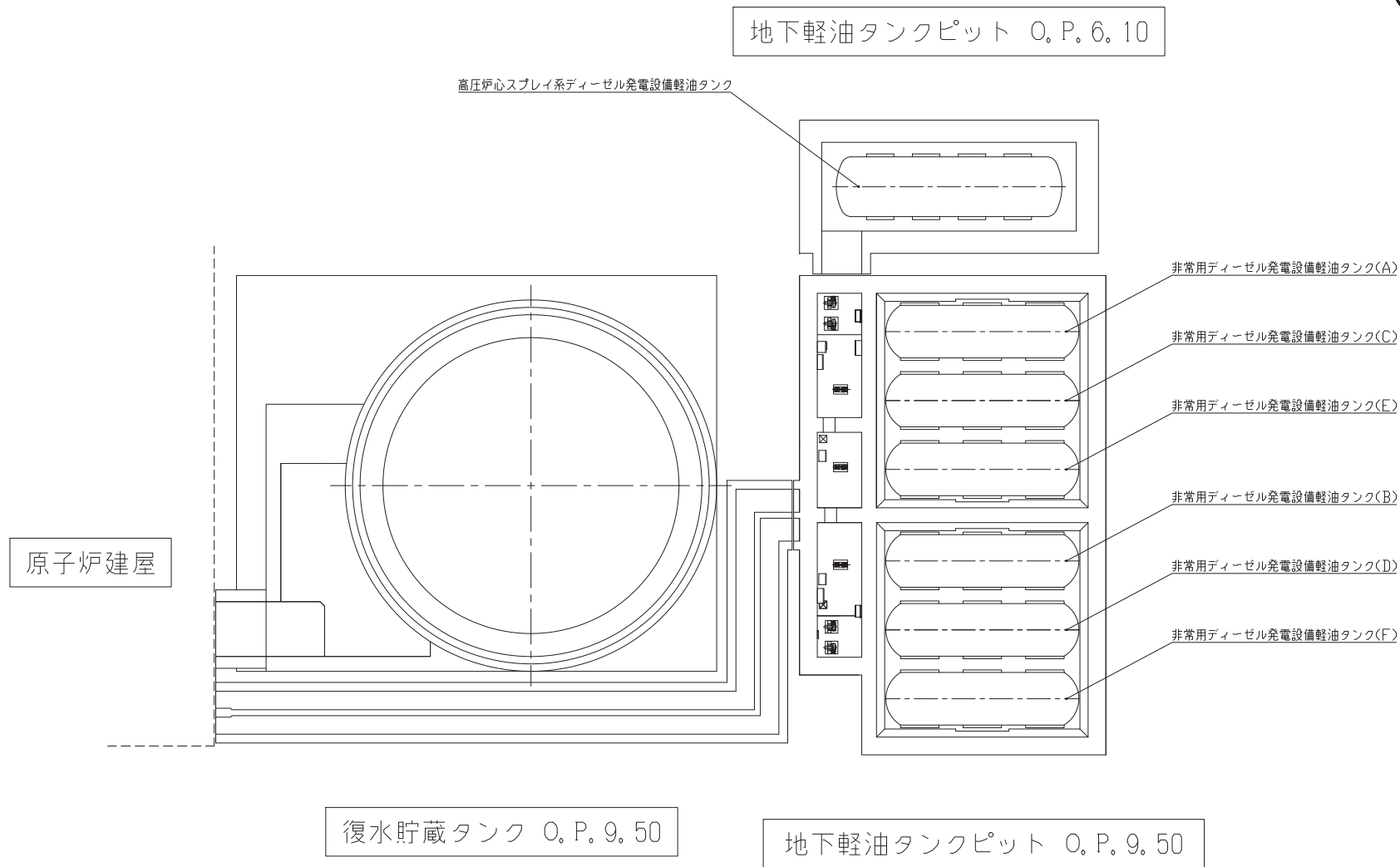
操作監視盤

操作監視盤（内部）



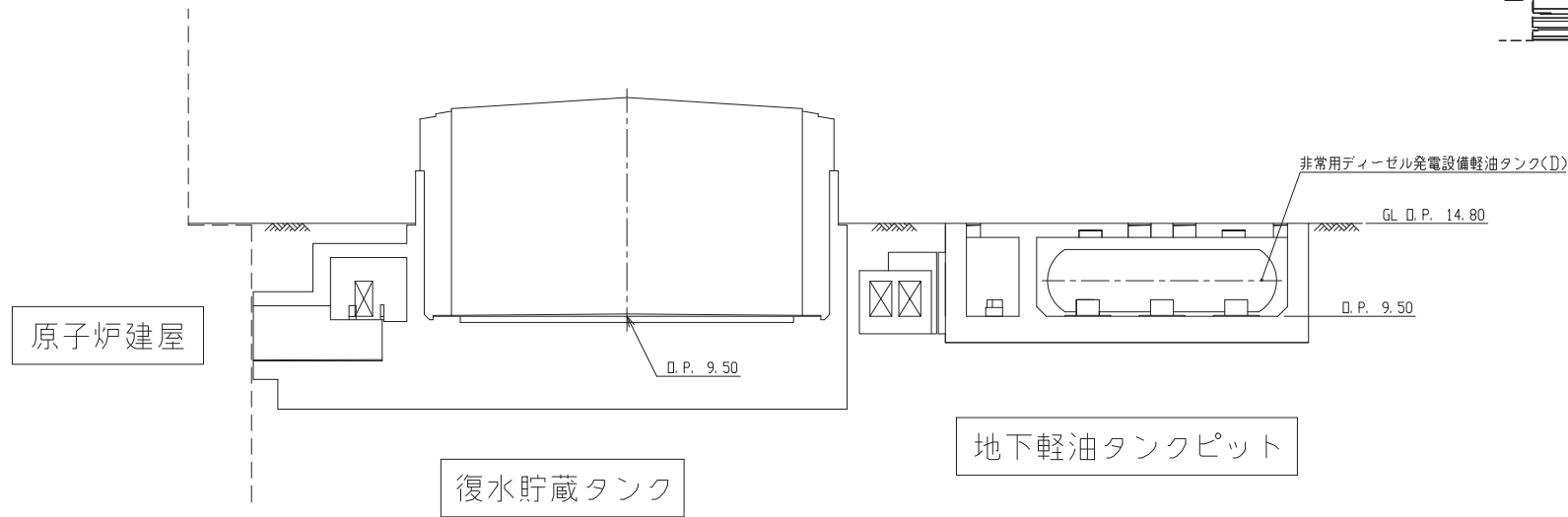
4	逆電力継電器	1
3	地絡過電圧継電器	1
2	過電流継電器	1
1	不足電圧／過電圧継電器	1
番号	品名	個数
部品表		

工事計画認可申請	第9-1-4-2-4図
女川原子力発電所 第2号機	
名称	可搬型代替交流電源設備 電源車（保護継電装置）構造図
東北電力株式会社	

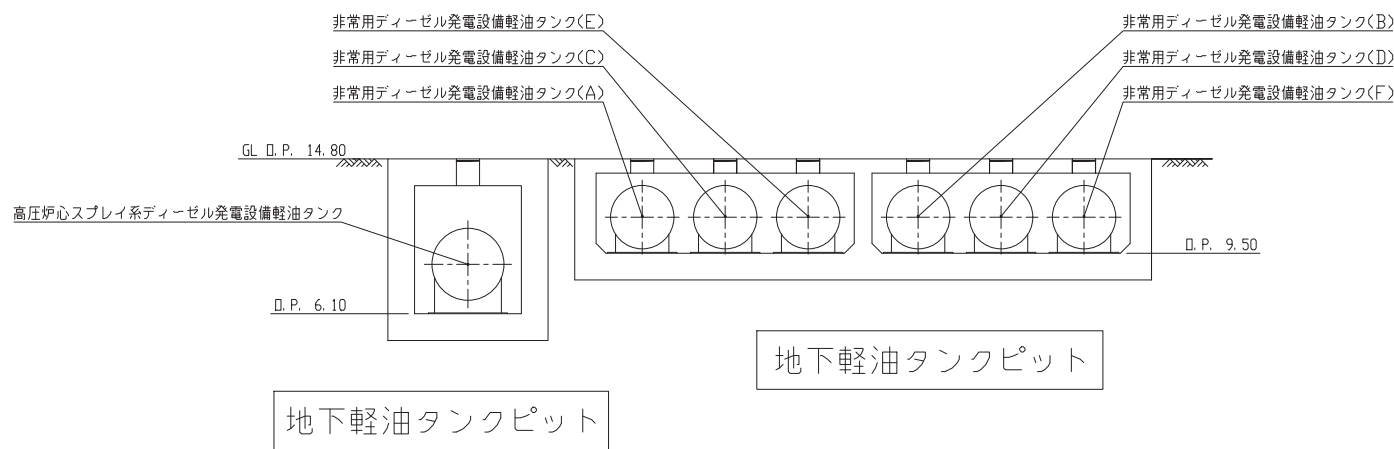


注：寸法はmを示す。

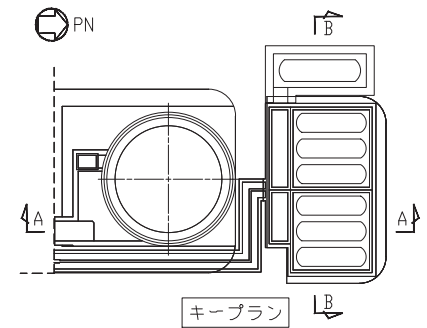
工事計画認可申請	第9-1-4-3-1 図
女川原子力発電所	第2号機
名称	可搬型代替交流電源設備 機器の配置を明示した図面（その1）
東北電力株式会社	



A-A断面図



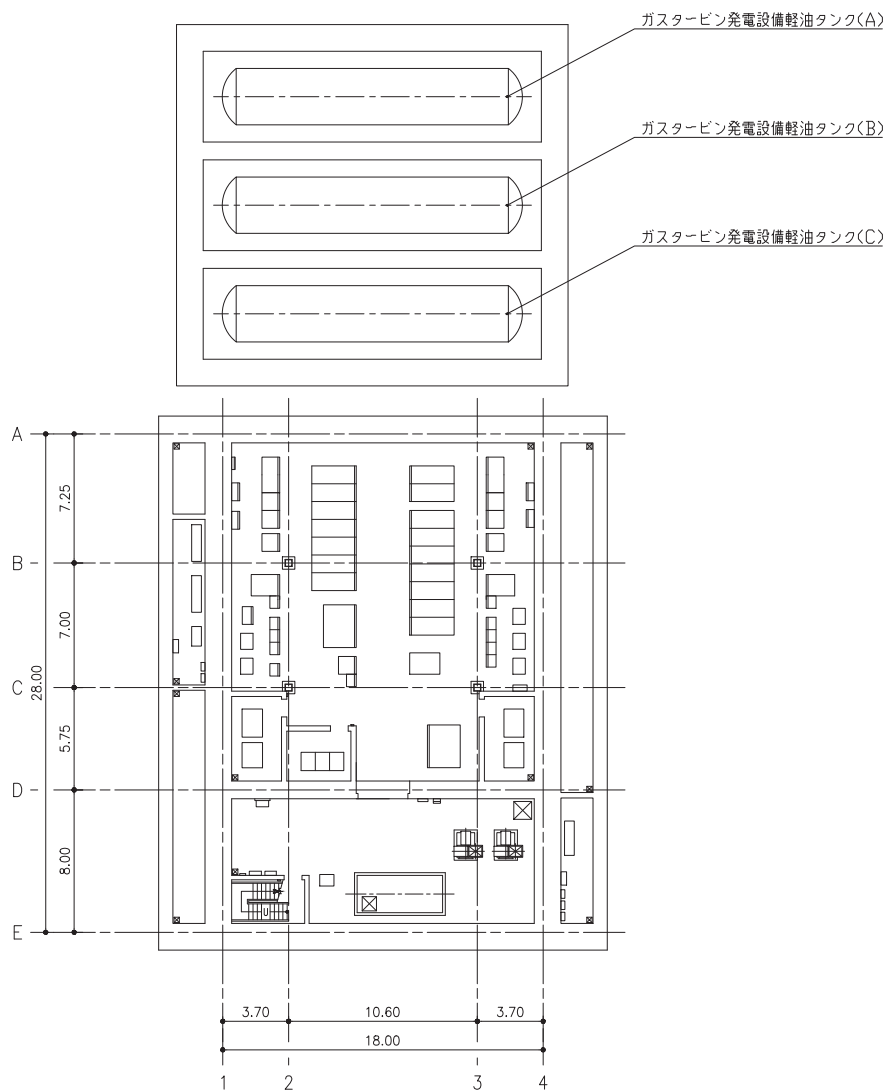
B-B断面図



注：寸法はmを示す。

工事計画認可申請	第9-1-4-3-2図
女川原子力発電所	第2号機
名称	可搬型代替交流電源設備 機器の配置を明示した図面（その2）
東北電力株式会社	

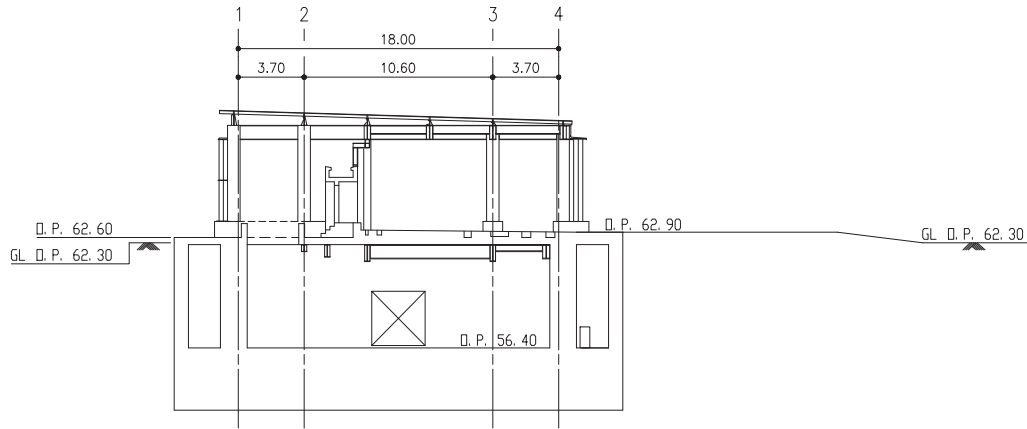
地下軽油タンクピット O. P. 56. 70



緊急用電気品建屋 O. P. 56. 40

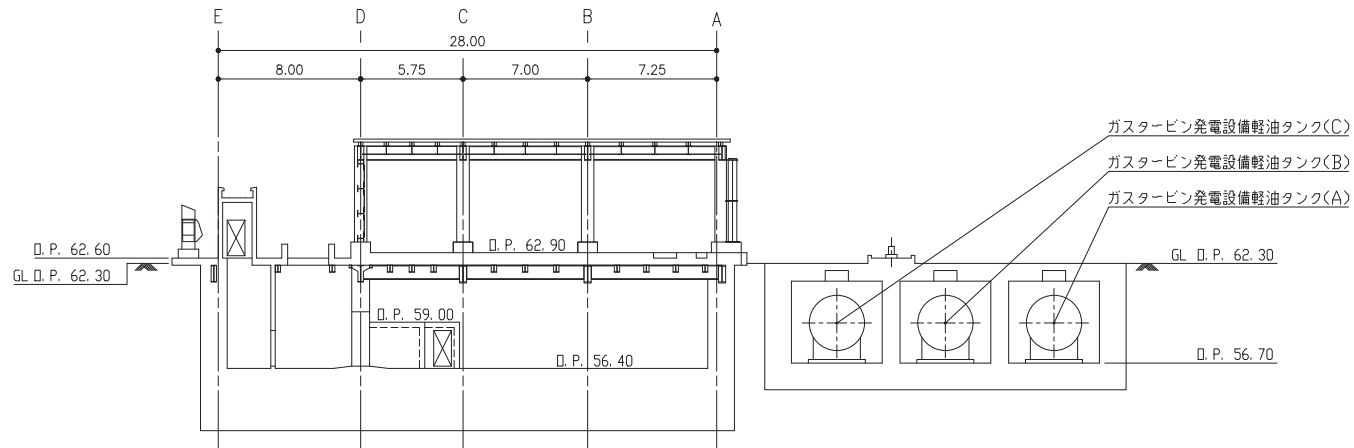
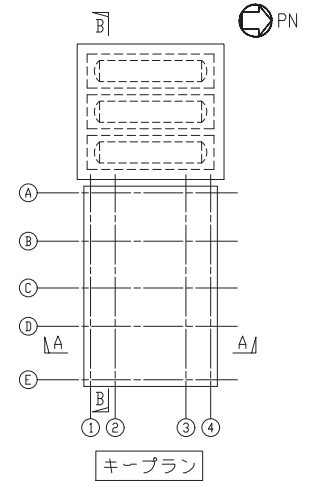
注：寸法はmを示す。

工事計画認可申請	第9-1-4-3-3図
女川原子力発電所 第2号機	
名称	可搬型代替交流電源設備 機器の配置を明示した図面（その3）
東北電力株式会社	



緊急用電気品建屋

A-A断面図



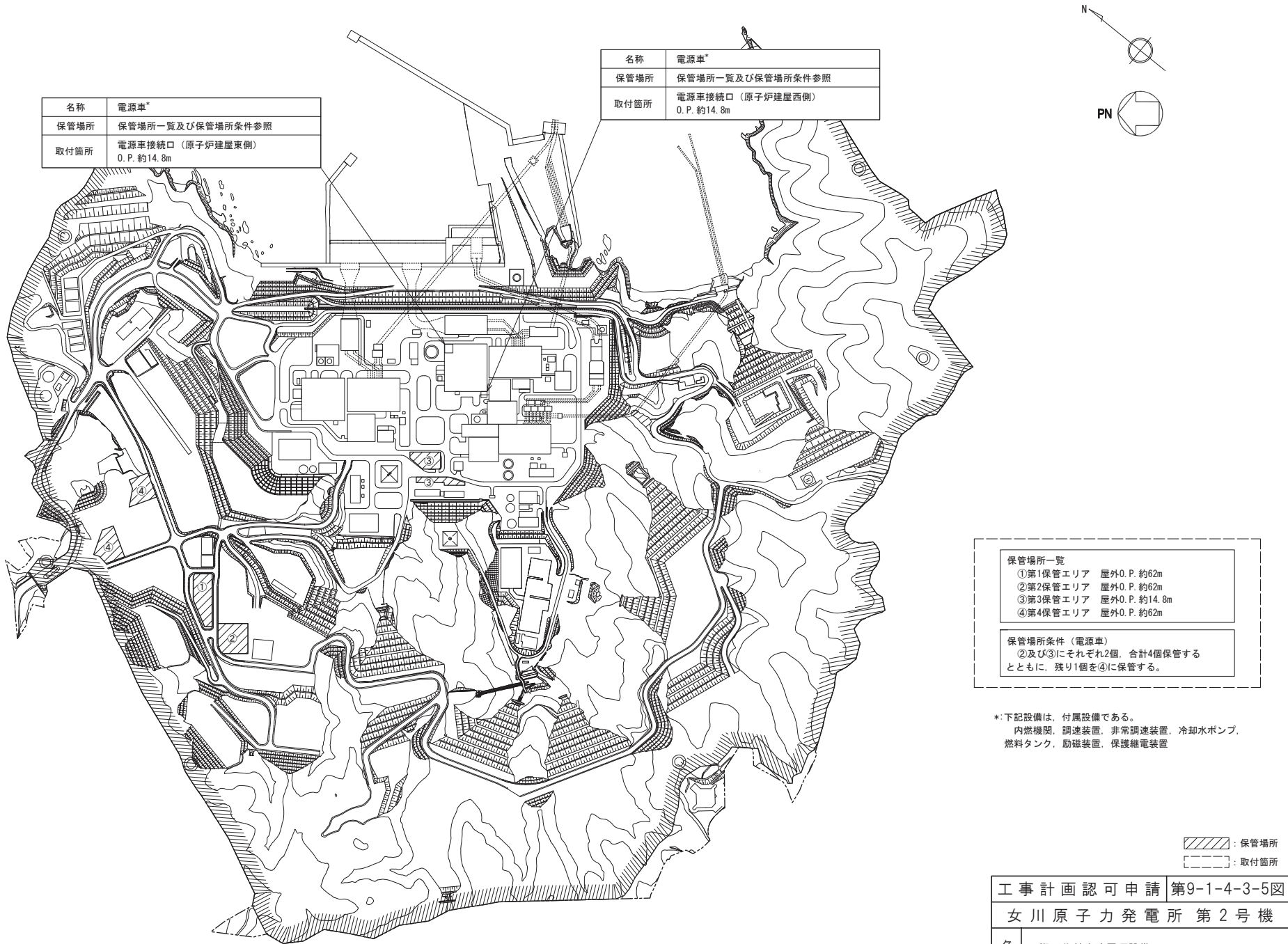
緊急用電気品建屋

地下軽油タンクピット

B-B断面図

注：寸法はmを示す。

工事計画認可申請	第9-1-4-3-4図
女川原子力発電所	第2号機
名称	可搬型代替交流電源設備 機器の配置を明示した図面（その4）
東北電力株式会社	



名称	電源車*
保管場所	保管場所一覧及び保管場所条件参照
取付箇所	電源車接続口 (原子炉建屋東側) O.P. 約14.8m

名称	電源車*
保管場所	保管場所一覧及び保管場所条件参照
取付箇所	電源車接続口 (原子炉建屋西側) O.P. 約14.8m

保管場所一覧

- ①第1保管エリア 屋外O.P. 約62m
- ②第2保管エリア 屋外O.P. 約62m
- ③第3保管エリア 屋外O.P. 約14.8m
- ④第4保管エリア 屋外O.P. 約62m

保管場所条件 (電源車)

②及び③にそれぞれ2個、合計4個保管するとともに、残り1個を④に保管する。

\*:下記設備は、付属設備である。  
 内燃機関、調速装置、非常調速装置、冷却水ポンプ、燃料タンク、励磁装置、保護継電装置

▨ : 保管場所  
 - - - : 取付箇所

工事計画認可申請 第9-1-4-3-5図

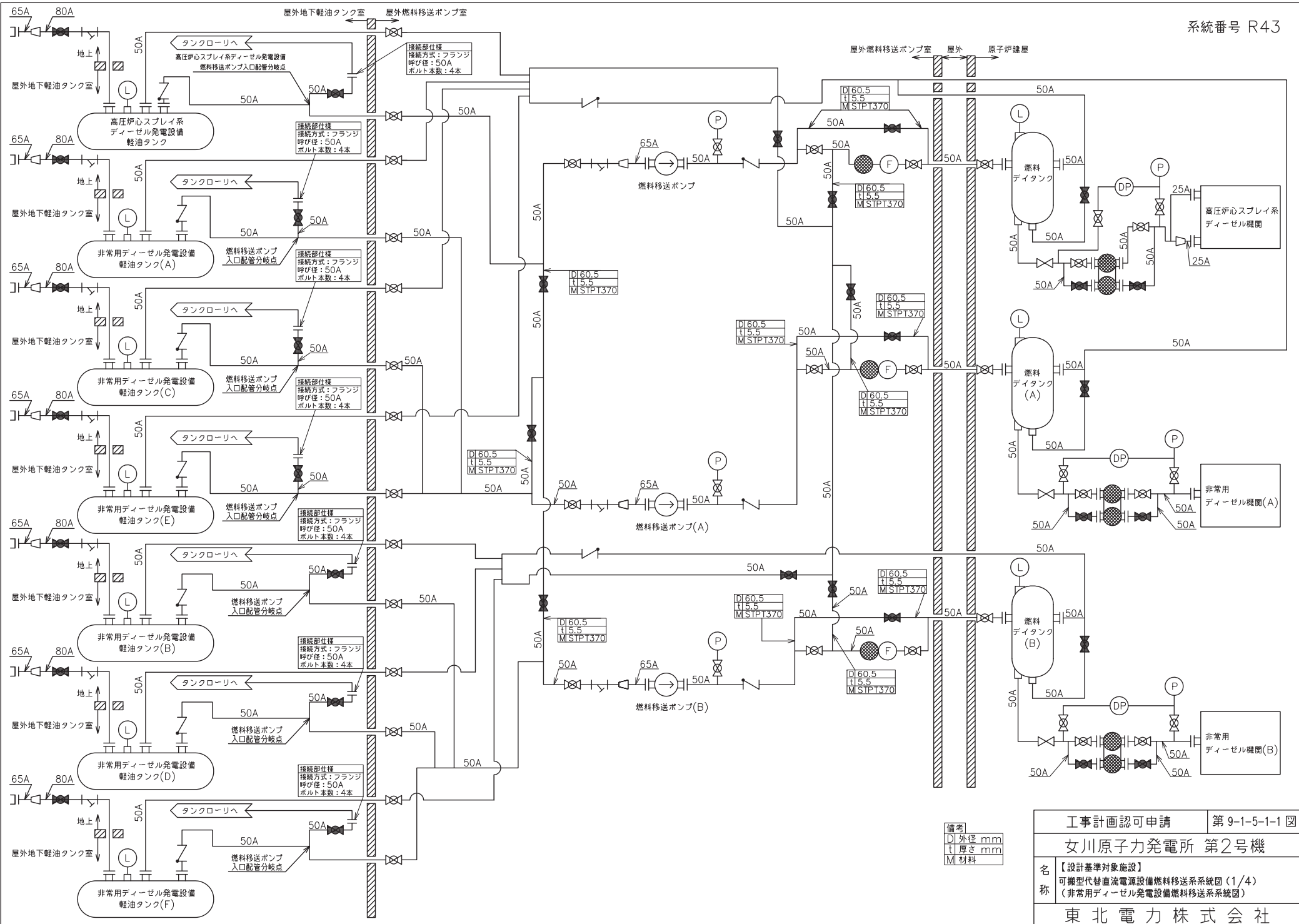
女川原子力発電所 第2号機

名称 可搬型代替交流電源設備  
 機器の配置を明示した図面 (その5)

東北電力株式会社

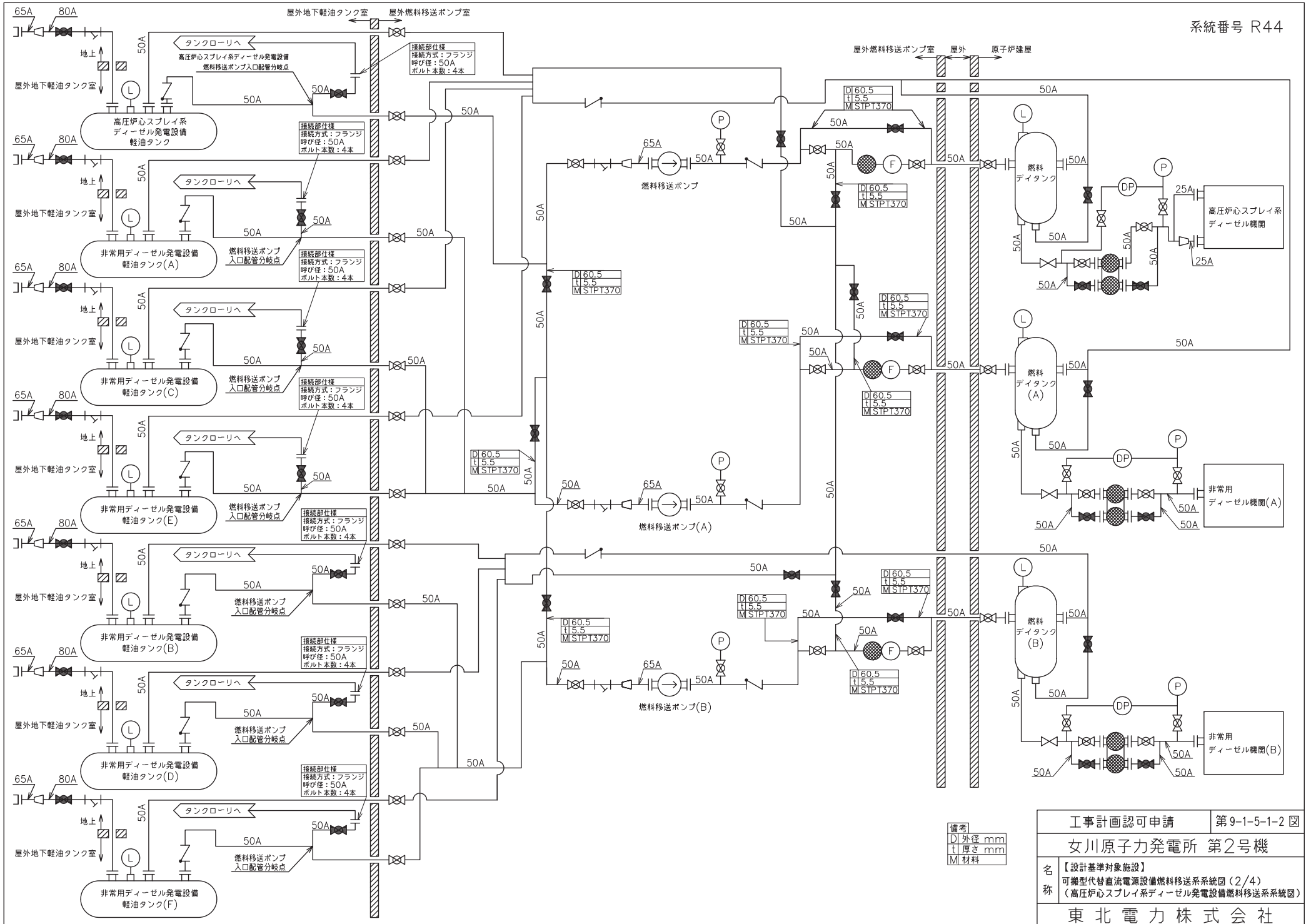


### 9.1.5 可搬型代替直流電源設備



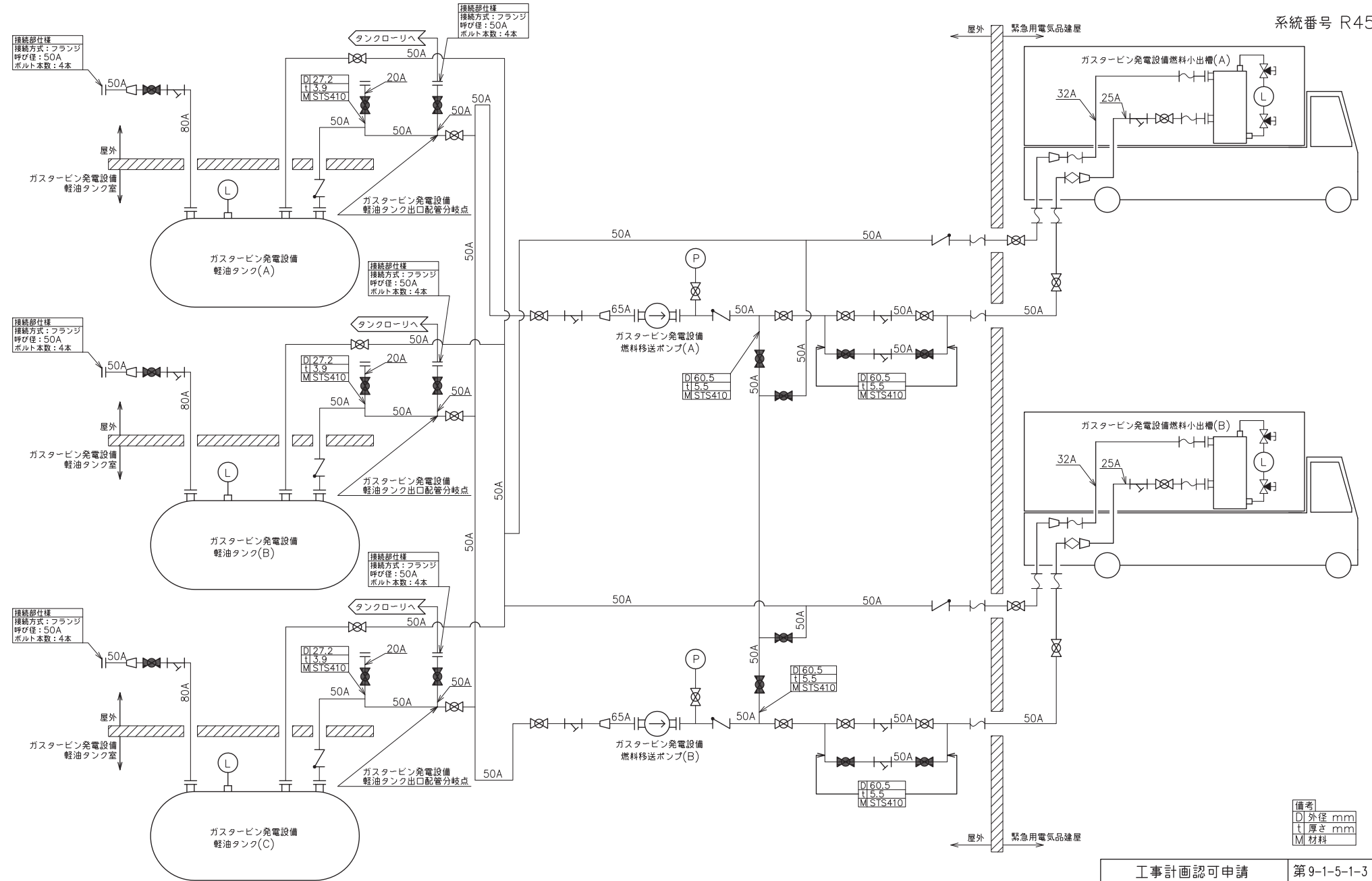
備考  
 D1 外径 mm  
 t1 厚さ mm  
 M1 材料

工事計画認可申請		第9-1-5-1-1 図
女川原子力発電所 第2号機		
名称	【設計基準対象施設】 可搬型代替直流電源設備燃料移送系系統図(1/4) (非常用ディーゼル発電設備燃料移送系系統図)	
東北電力株式会社		
		0501



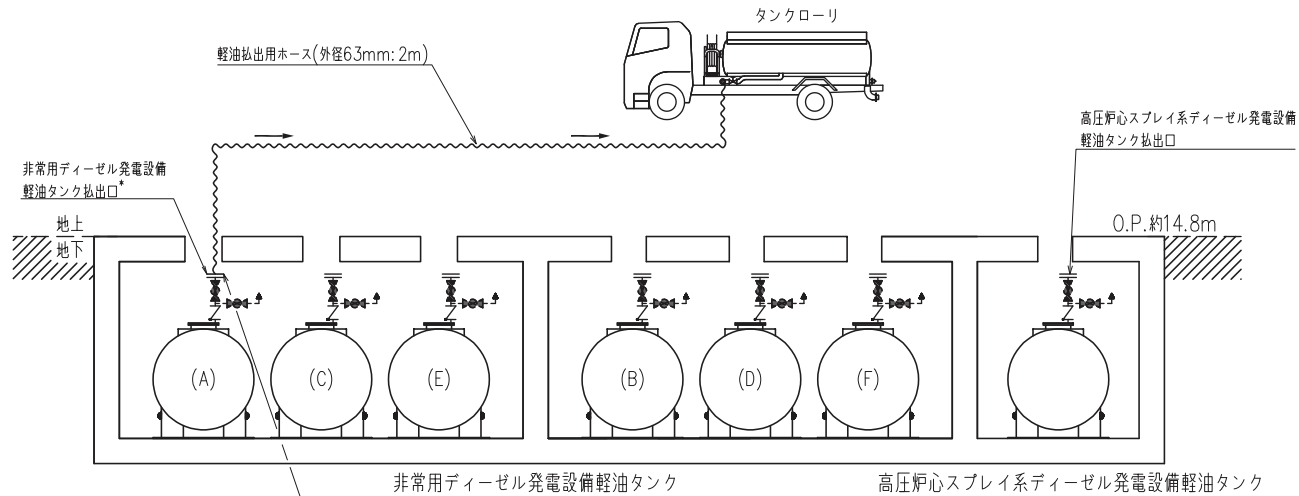
備考  
 D 外径 mm  
 t 厚さ mm  
 M 材料

工事計画認可申請		第9-1-5-1-2 図
女川原子力発電所 第2号機		
名称	【設計基準対象施設】 可搬型代替直流電源設備燃料移送系系統図(2/4) (高圧炉心スプレー系ディーゼル発電設備燃料移送系系統図)	
東北電力株式会社		
		0501

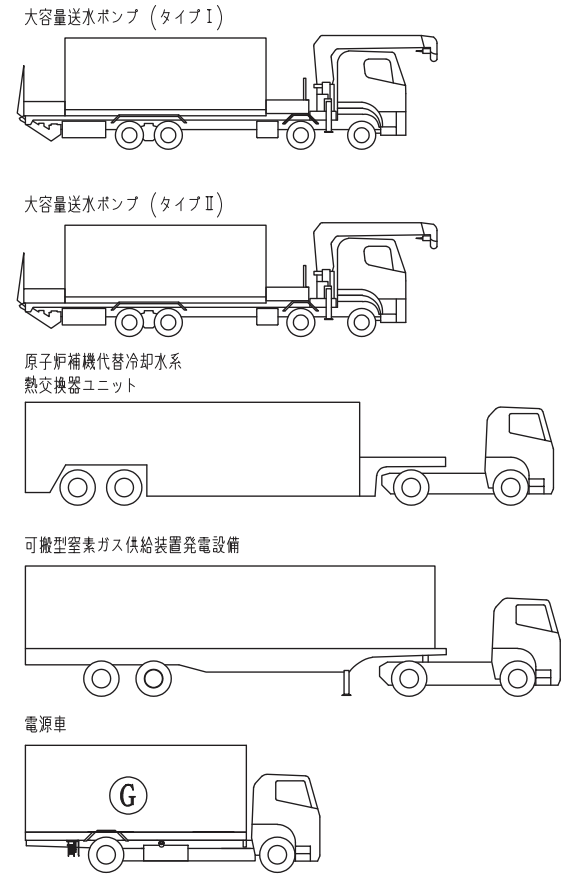
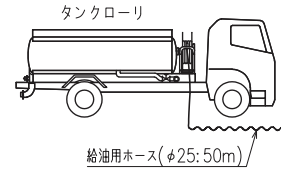
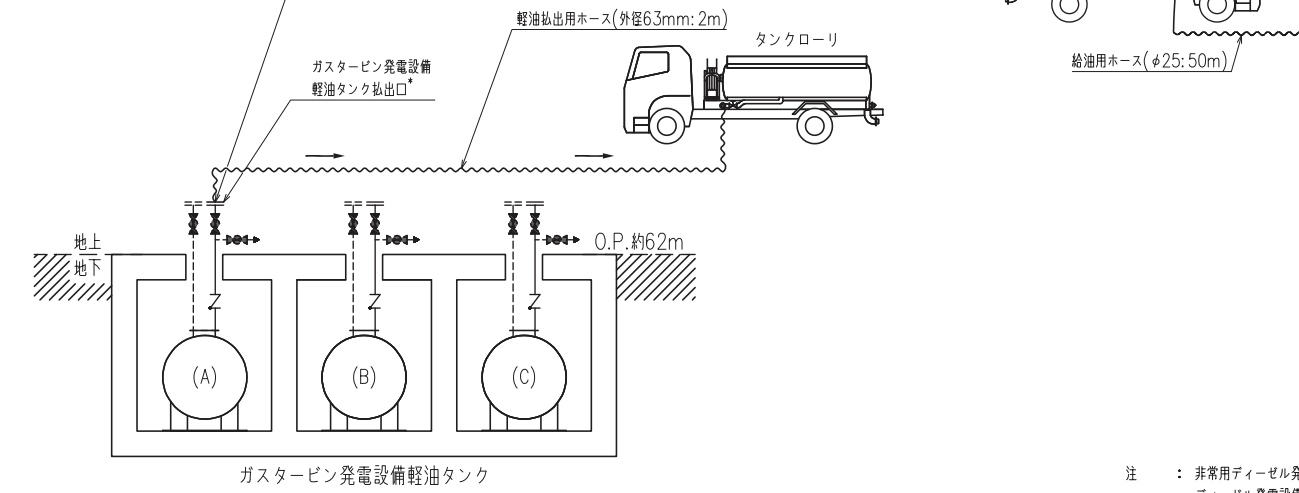


備考  
D 外径 mm  
t 厚さ mm  
M 材料

工事計画認可申請	第9-1-5-1-3 図
女川原子力発電所 第2号機	
名称	【設計基準対象施設】 可搬型代替直流電源設備燃料移送系系統図(3/4) (ガスタービン発電設備燃料移送系系統図)
東北電力株式会社	
0511	



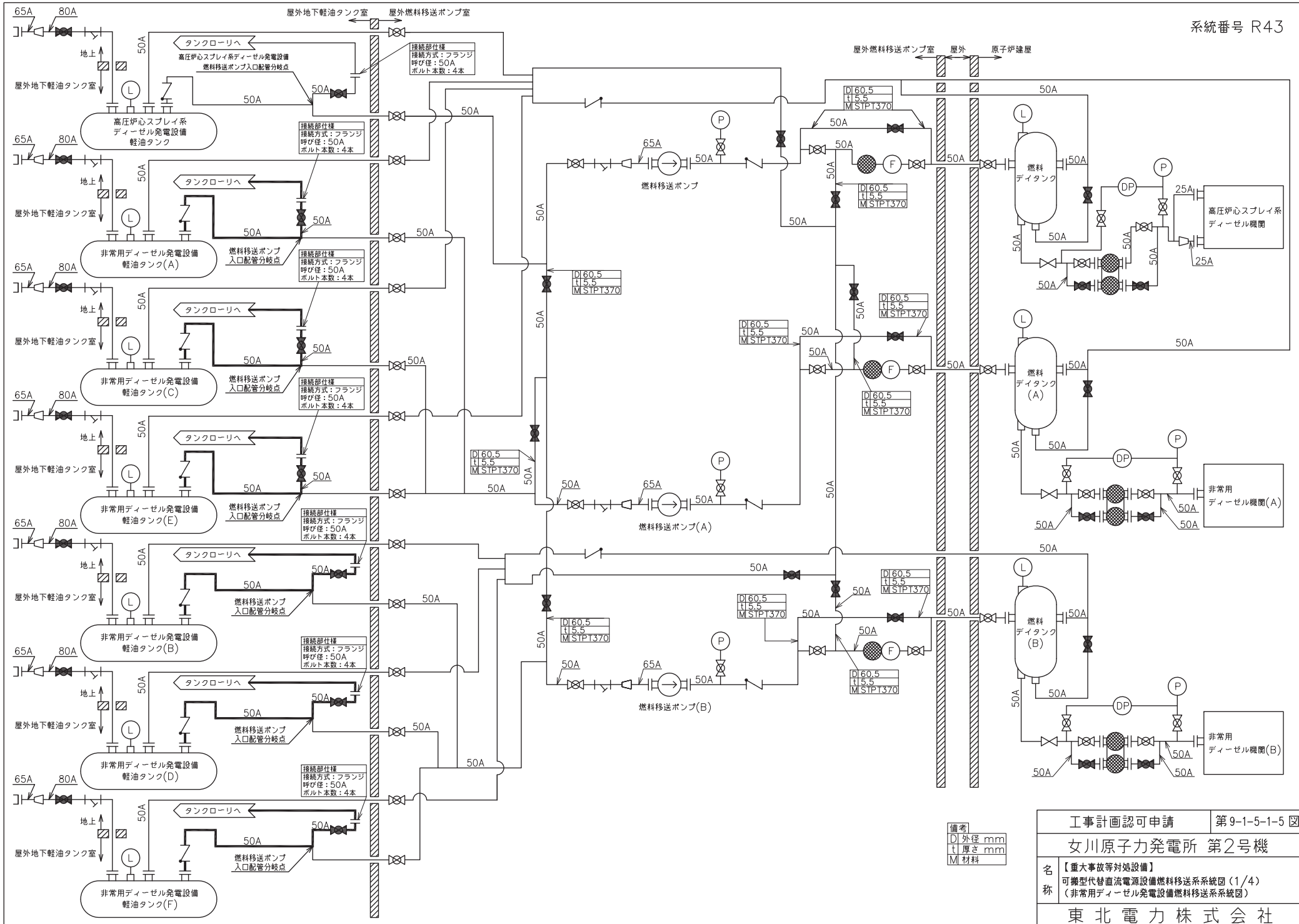
接続部仕様  
 接続形状 : フランジ  
 呼び径 : 50A  
 ボルト本数 : 4本



燃料補給対象設備

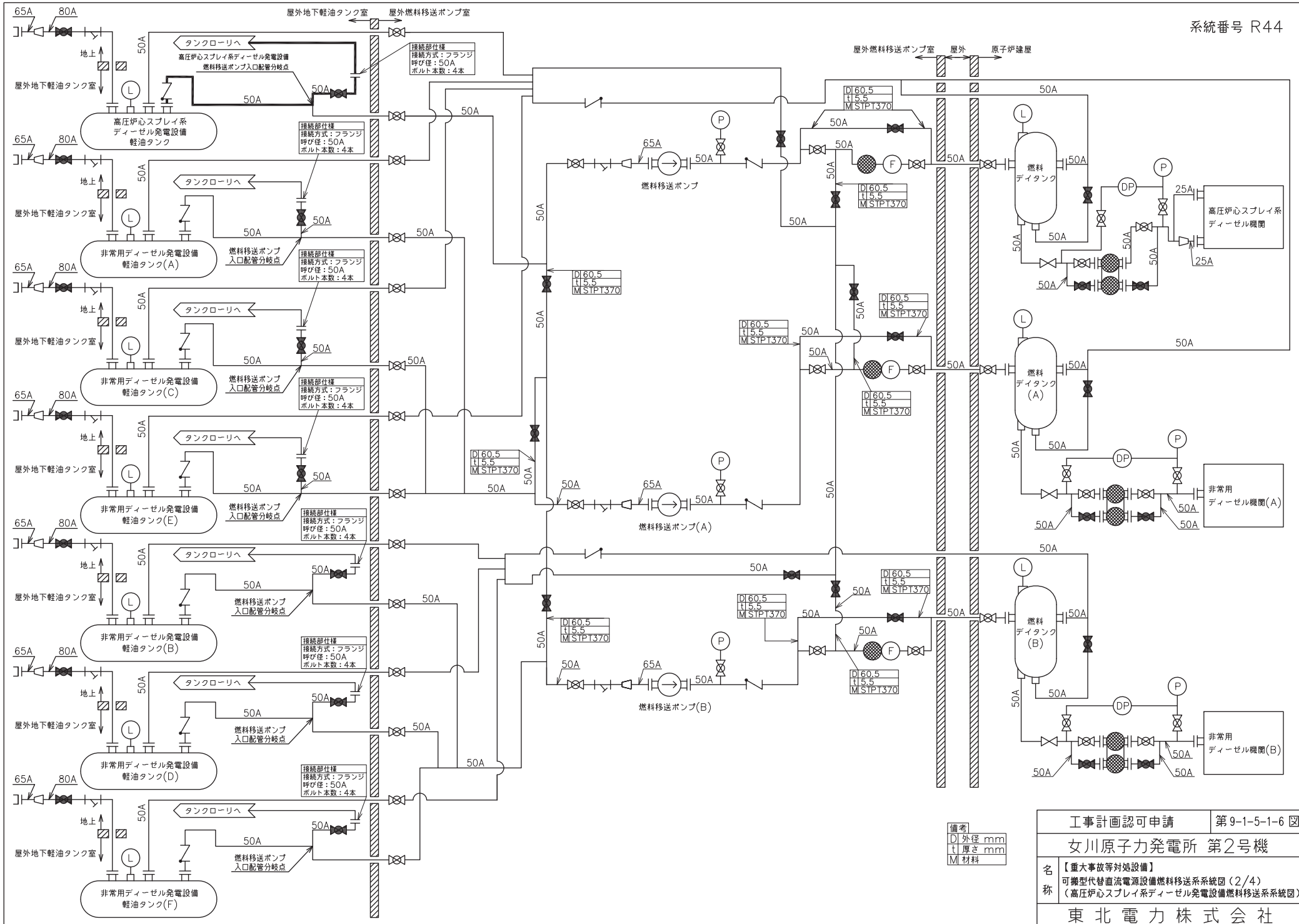
注 : 非常用ディーゼル発電設備軽油タンク及び高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備軽油タンクから燃料補給できない場合は、ガスタービン発電設備軽油タンクから燃料補給する。  
 注記 \* : 非常用ディーゼル発電設備軽油タンク及びガスタービン発電設備軽油タンクの払出口は (A) を代表で記載する。

工事計画認可申請	第9-1-5-1-4図
女川原子力発電所 第2号機	
名称	【設計基準対象施設】 可搬型代替直流電源設備燃料移送系統図 (4/4)可搬
東北電力株式会社	



備考  
 D) 外径 mm  
 t) 厚さ mm  
 M) 材料

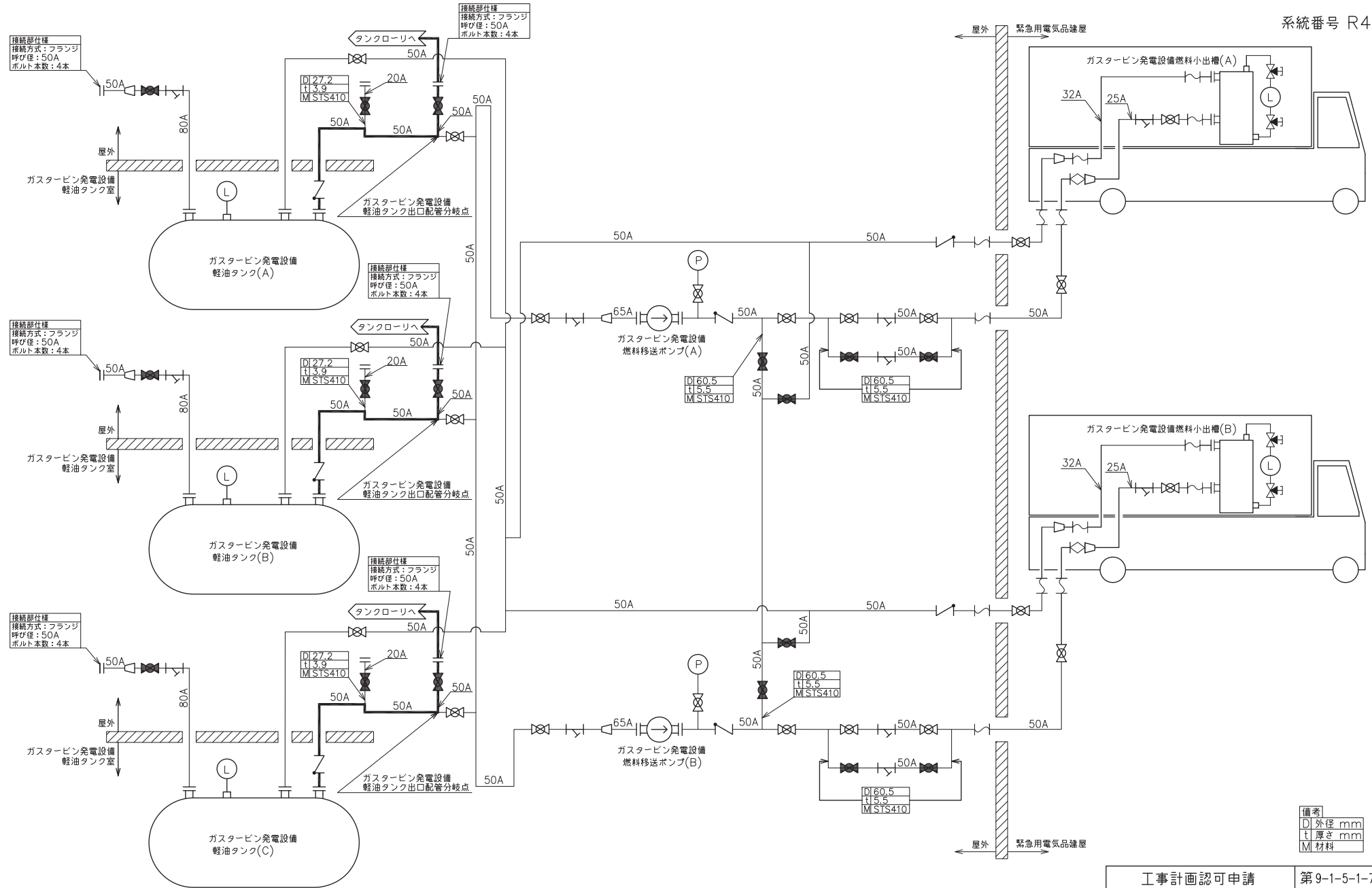
工事計画認可申請		第9-1-5-1-5 図
女川原子力発電所 第2号機		
名称	【重大事故等対処設備】 可搬型代替直流電源設備燃料移送系統図(1/4) (非常用ディーゼル発電設備燃料移送系統図)	
東北電力株式会社		
0501		



備考  
 D1 外径 mm  
 t1 厚さ mm  
 M1 材料

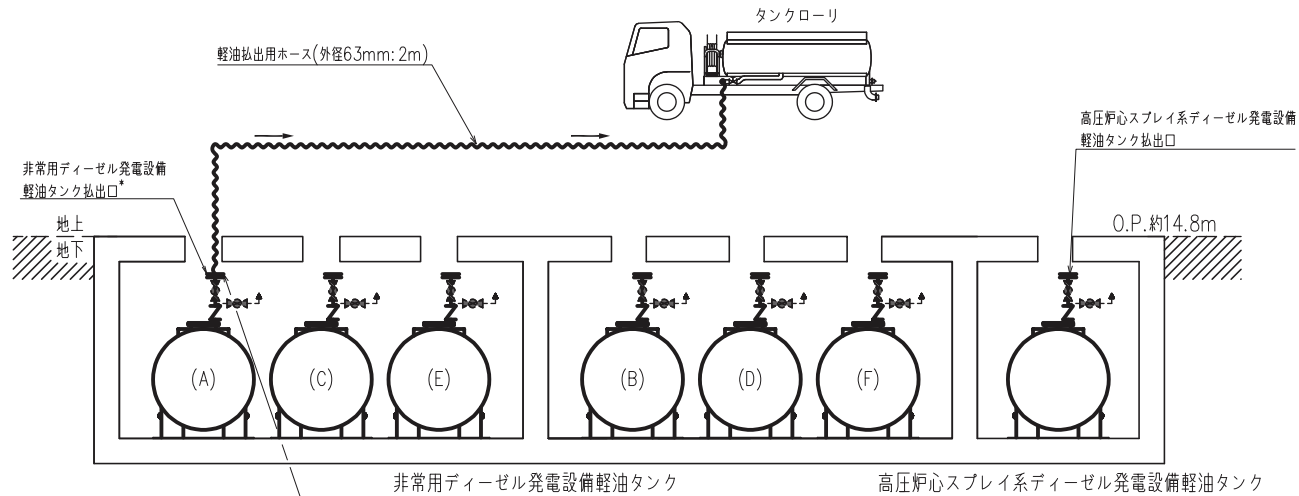
工事計画認可申請		第9-1-5-1-6 図
女川原子力発電所 第2号機		
名称	【重大事故等対処設備】 可搬型代替直流電源設備燃料移送系統図(2/4) (高圧炉心スプレー系ディーゼル発電設備燃料移送系統図)	
東北電力株式会社		
		0501



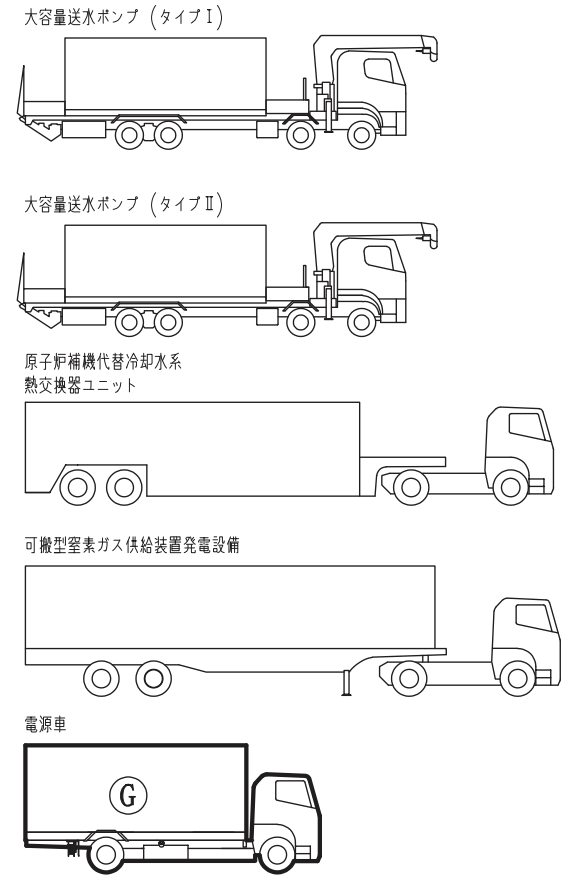
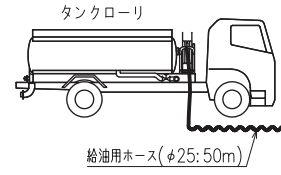
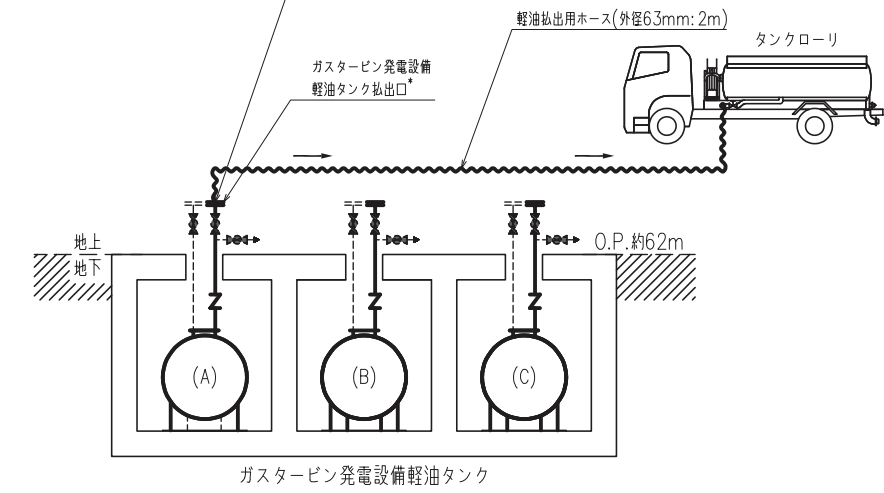


工事計画認可申請	第9-1-5-1-7 図
女川原子力発電所 第2号機	
名称	【重大事故等対策設備】 可機型代替直流電源設備燃料移送系系統図(3/4) (ガスタービン発電設備燃料移送系系統図)
東北電力株式会社	
0511	





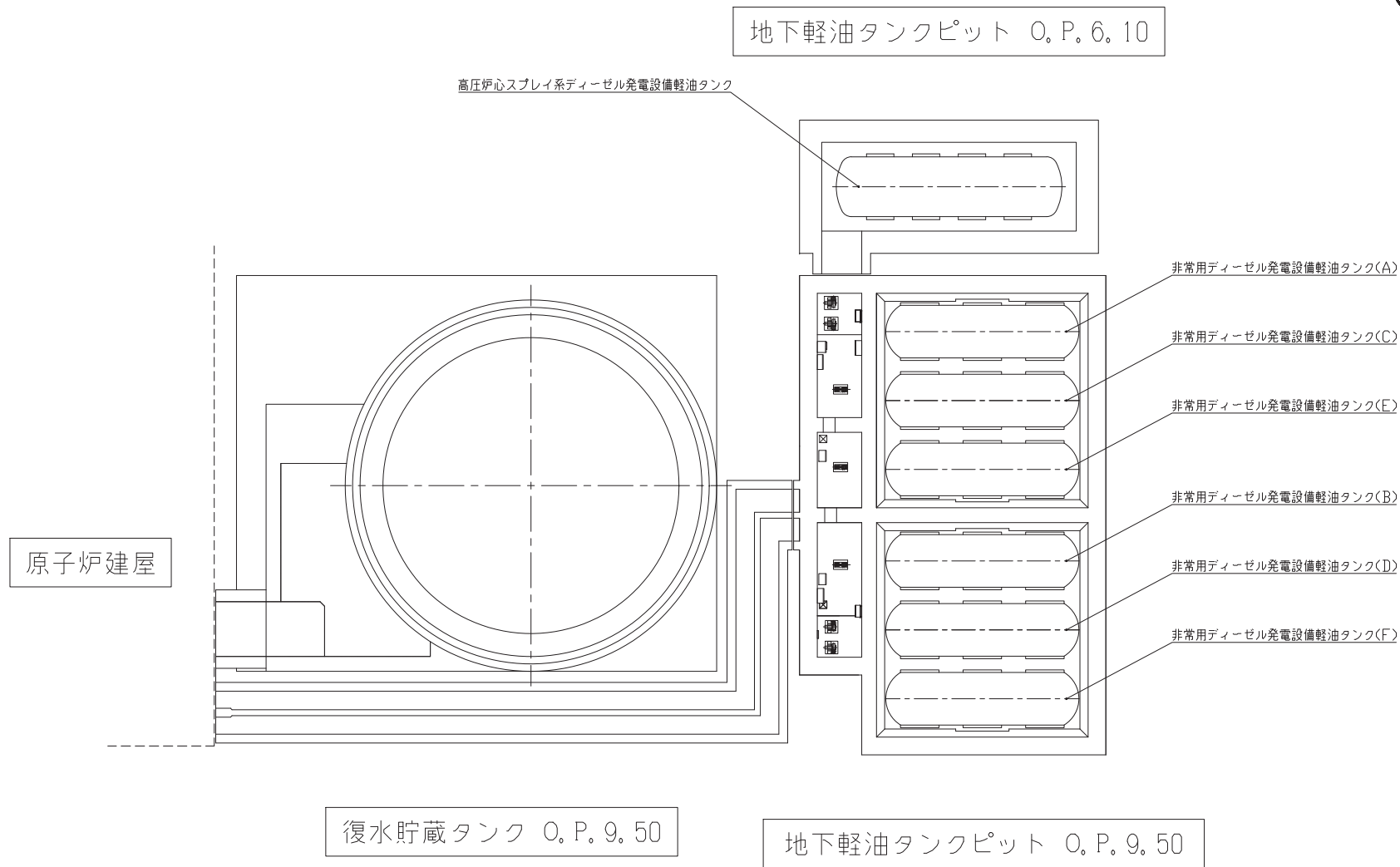
接続部仕様  
 接続形状 : フランジ  
 呼び径 : 50A  
 ボルト本数 : 4本



燃料補給対象設備

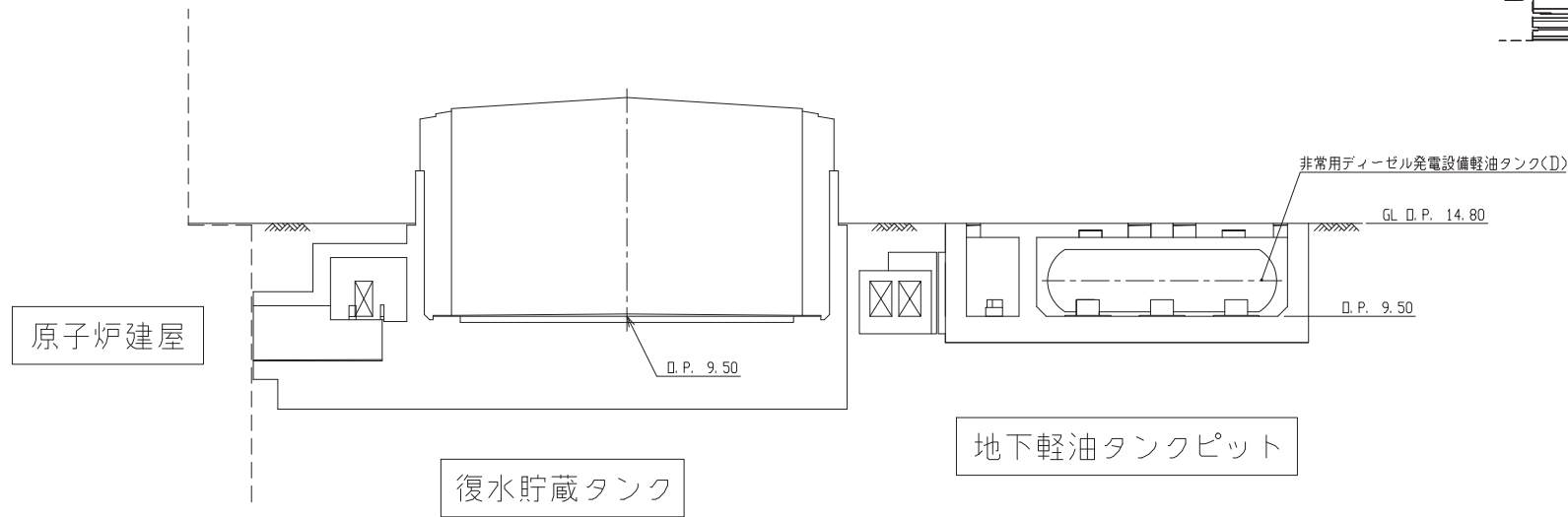
注 : 非常用ディーゼル発電設備軽油タンク及び高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備軽油タンクから燃料補給できない場合は、ガスタービン発電設備軽油タンクから燃料補給する。  
 注記 \* : 非常用ディーゼル発電設備軽油タンク及びガスタービン発電設備軽油タンクの私出出口は (A) を代表で記載する。

工事計画認可申請	第9-1-5-1-8図
女川原子力発電所 第2号機	
名称	【重大事故等対処設備】 可搬型代替直流電源設備燃料移送系統図 (4/4)可搬
東北電力株式会社	

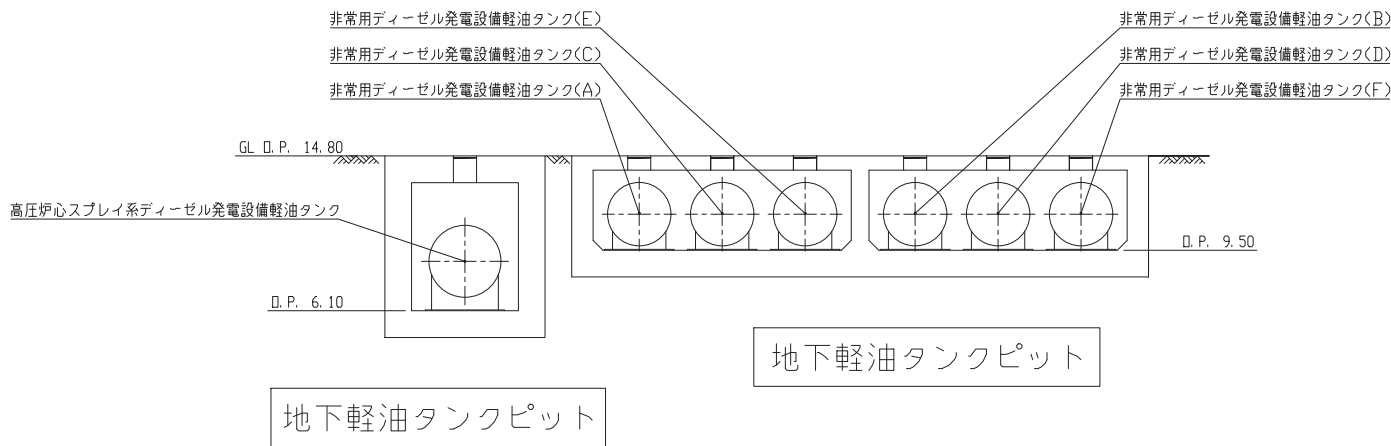


注：寸法はmを示す。

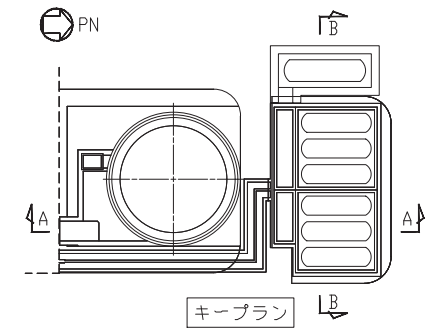
工事計画認可申請	第9-1-5-2-1 図
女川原子力発電所	第2号機
名称	可搬型代替直流電源設備 機器の配置を明示した図面（その1）
東北電力株式会社	



A-A断面図



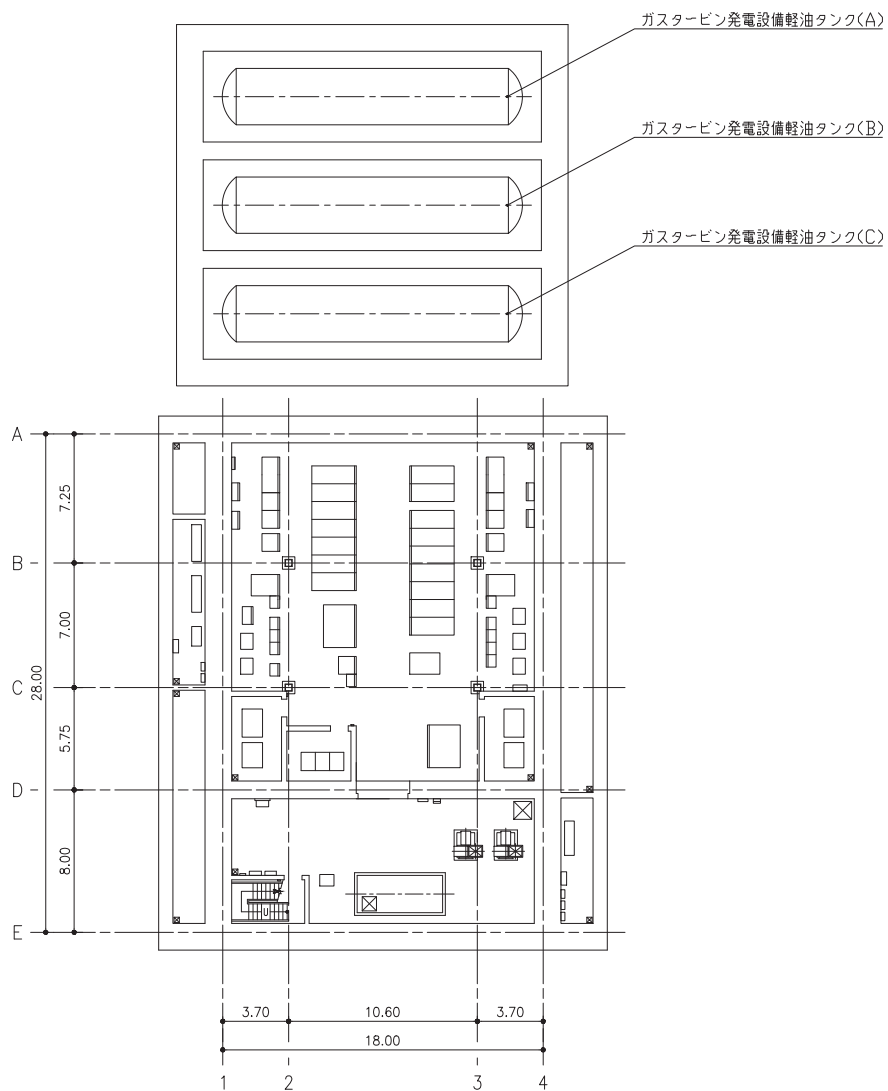
B-B断面図



注：寸法はmを示す。

工事計画認可申請	第9-1-5-2-2図
女川原子力発電所	第2号機
名称	可搬型代替直流電源設備 機器の配置を明示した図面（その2）
東北電力株式会社	

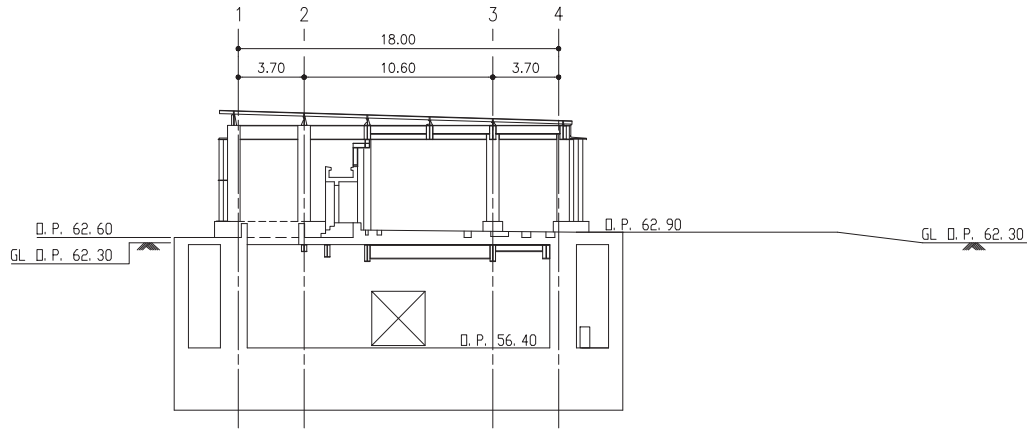
地下軽油タンクピット O. P. 56. 70



緊急用電気品建屋 O. P. 56. 40

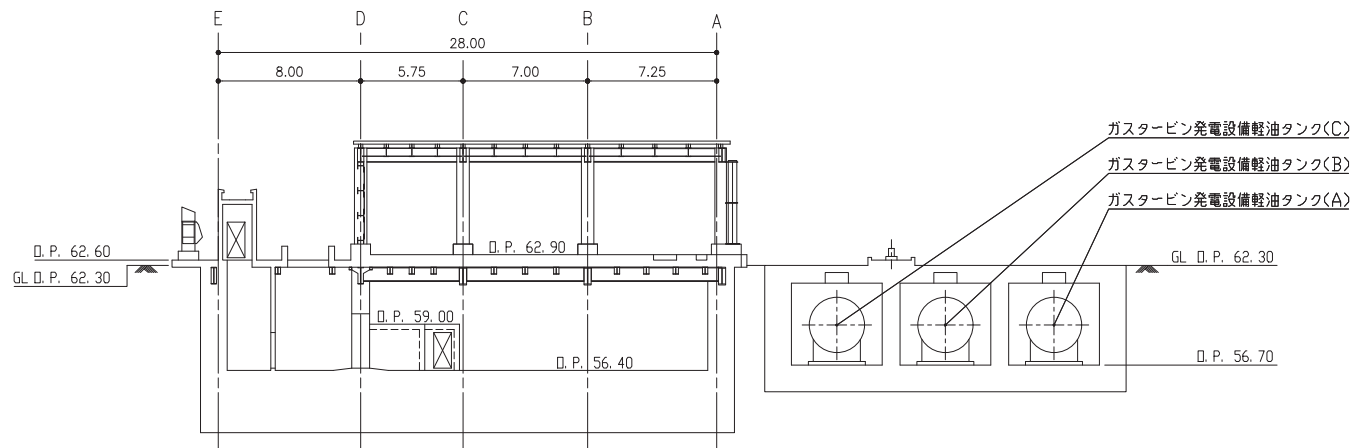
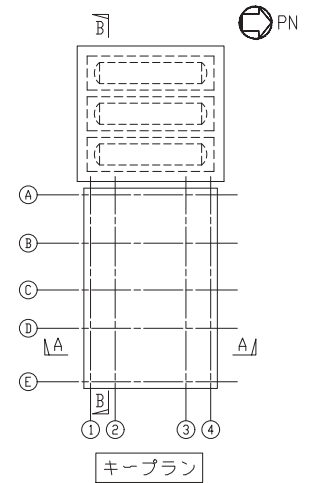
注：寸法はmを示す。

工事計画認可申請	第9-1-5-2-3図
女川原子力発電所 第2号機	
名称	可搬型代替直流電源設備 機器の配置を明示した図面（その3）
東北電力株式会社	



緊急用電気品建屋

A-A断面図



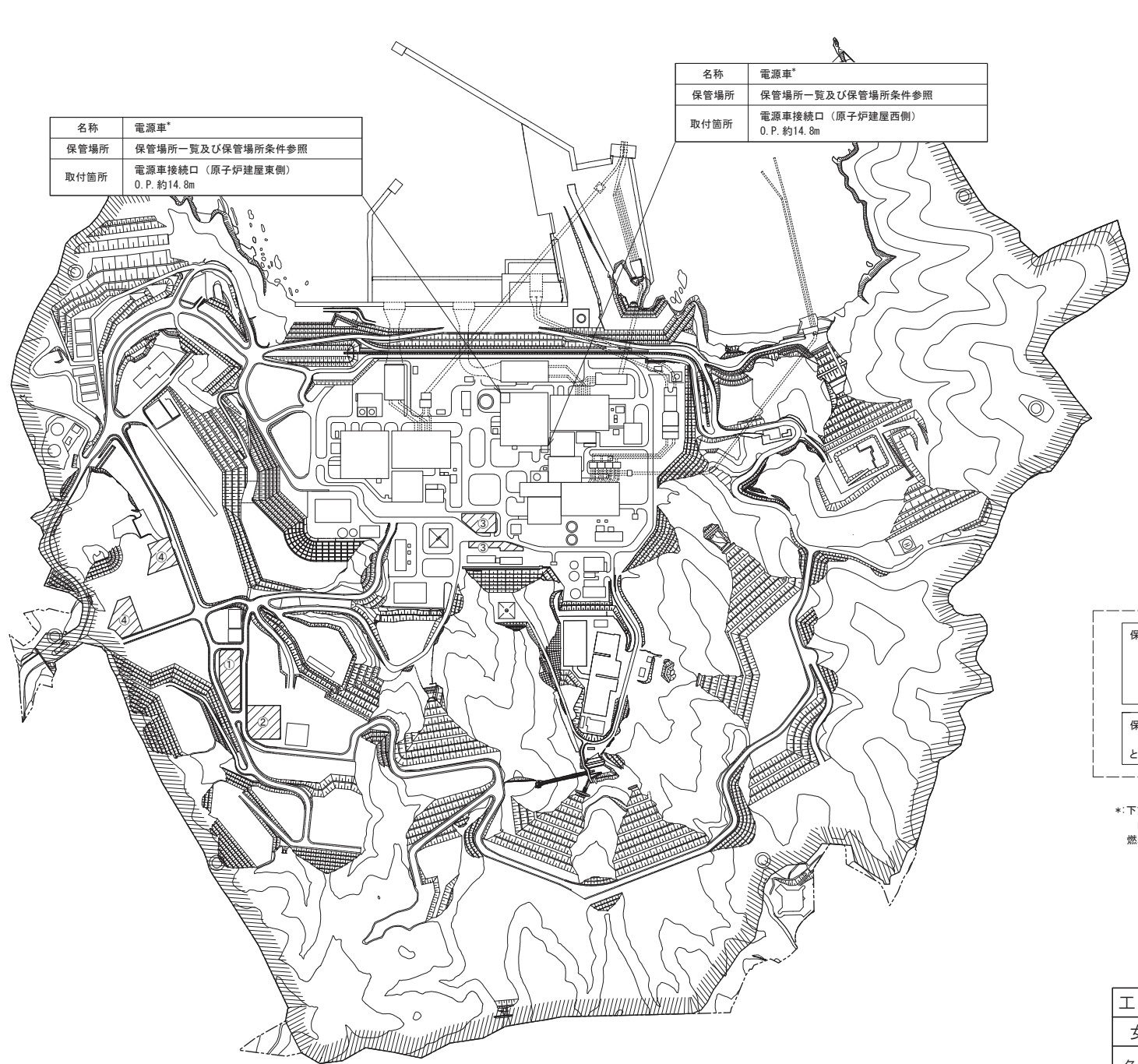
緊急用電気品建屋

地下軽油タンクピット

B-B断面図

注：寸法はmを示す。

工事計画認可申請	第9-1-5-2-4図
女川原子力発電所	第2号機
名称	可搬型代替直流電源設備 機器の配置を明示した図面（その4）
東北電力株式会社	



名称	電源車*
保管場所	保管場所一覧及び保管場所条件参照
取付箇所	電源車接続口 (原子炉建屋東側) O.P. 約14.8m

名称	電源車*
保管場所	保管場所一覧及び保管場所条件参照
取付箇所	電源車接続口 (原子炉建屋西側) O.P. 約14.8m

保管場所一覧	
①第1保管エリア	屋外O.P. 約62m
②第2保管エリア	屋外O.P. 約62m
③第3保管エリア	屋外O.P. 約14.8m
④第4保管エリア	屋外O.P. 約62m
保管場所条件 (電源車)	
②及び③にそれぞれ2個、合計4個保管するとともに、残り1個を④に保管する。	

\*:下記設備は、付属設備である。  
 内燃機関、調速装置、非常調速装置、冷却水ポンプ、燃料タンク、励磁装置、保護継電装置

▨ : 保管場所  
 - - - : 取付箇所

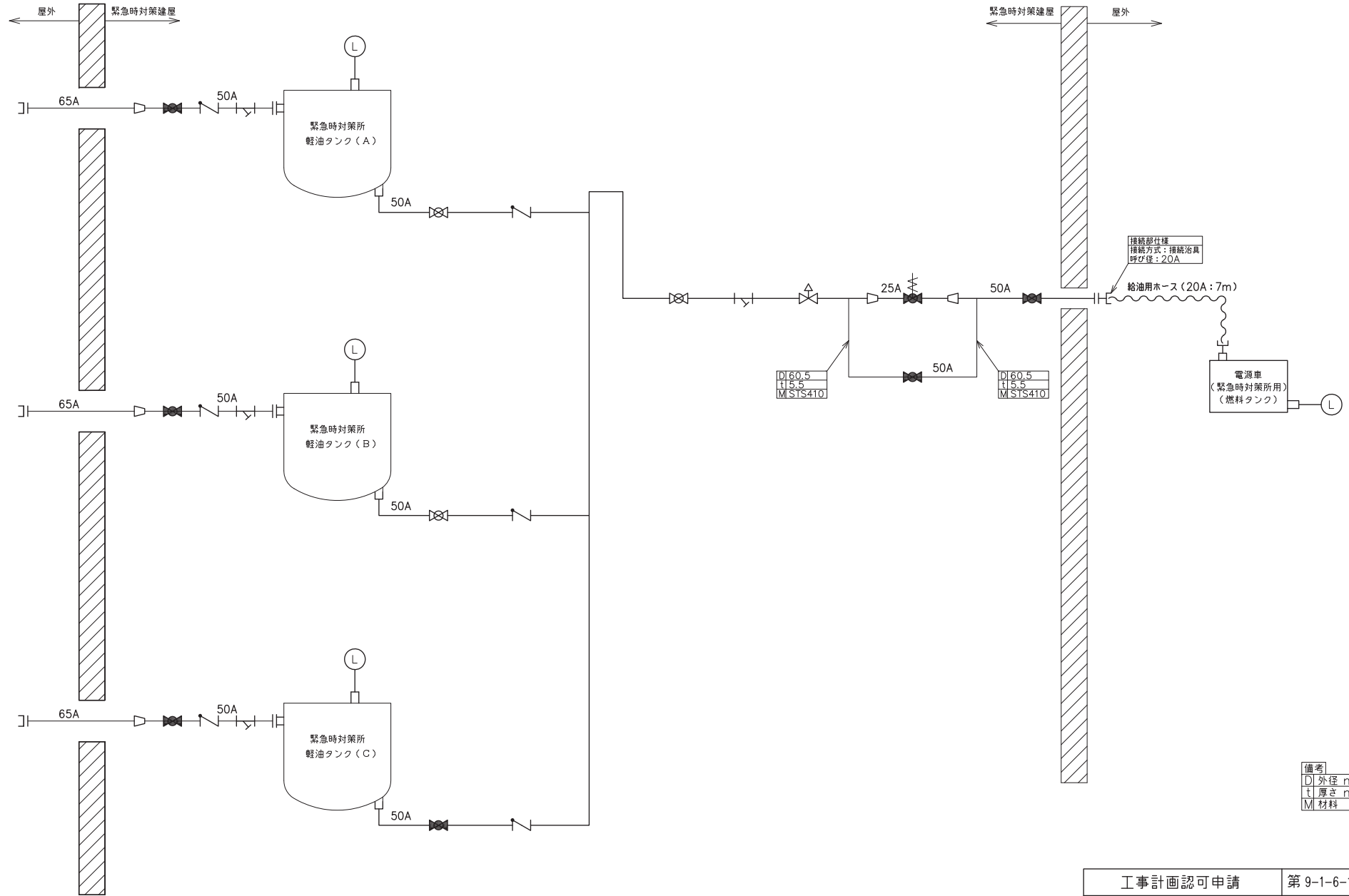
工事計画認可申請 第9-1-5-2-5図

女川原子力発電所 第2号機

名称 可搬型代替直流電源設備  
 機器の配置を明示した図面 (その5)

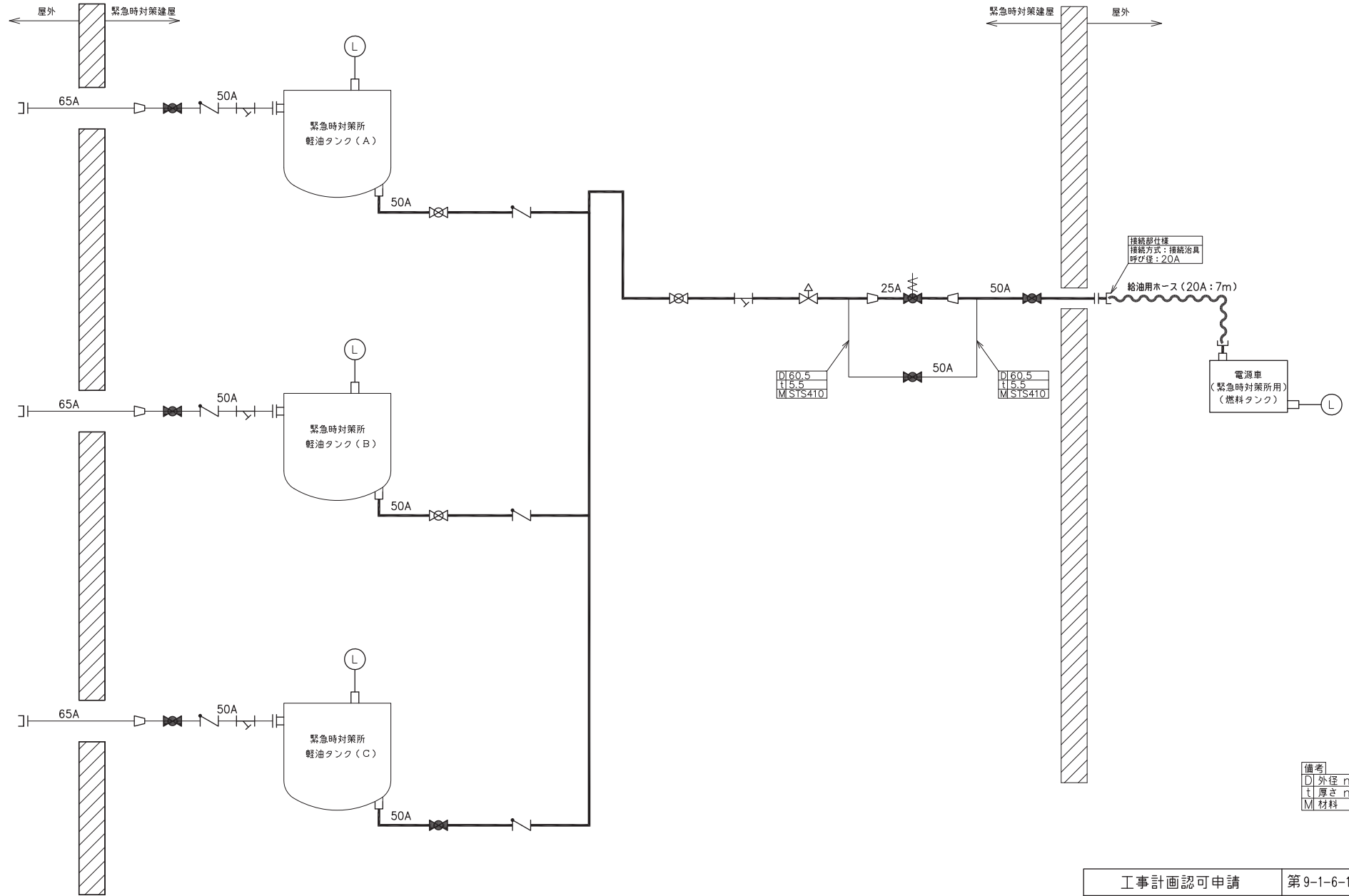
東北電力株式会社

## 9.1.6 緊急時対策所ディーゼル発電設備



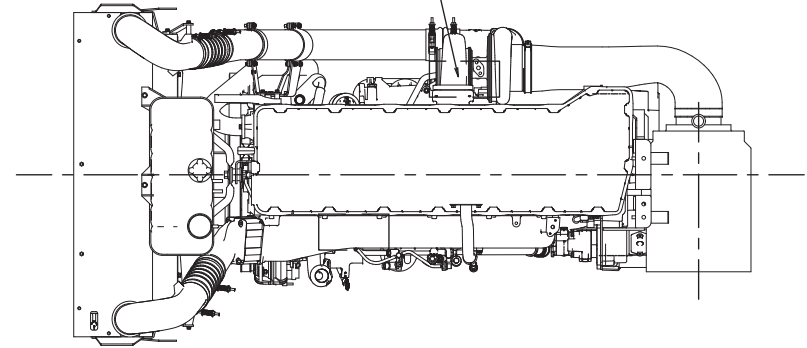
工事計画認可申請	第 9-1-6-1-1 図
女川原子力発電所 第2号機	
名称	【設計基準対象施設】 緊急時対策所ディーゼル発電設備 燃料移送系系統図
東北電力株式会社	
0423	





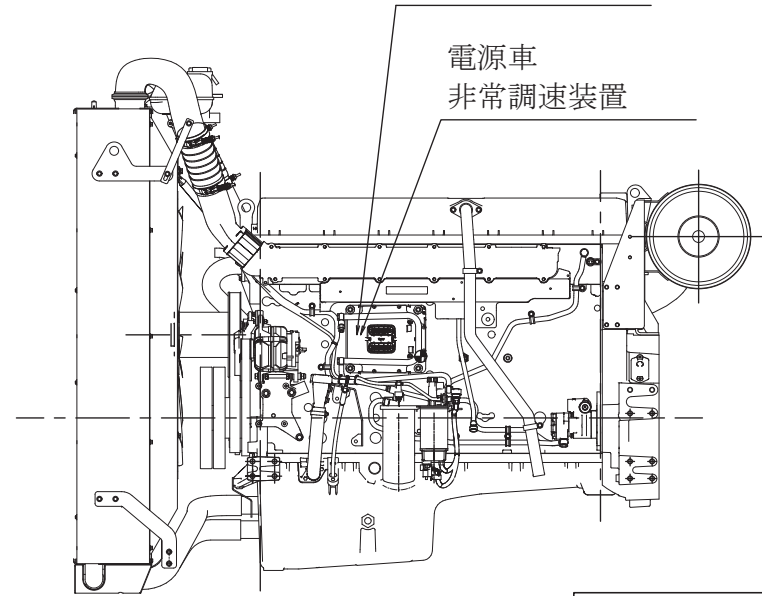
工事計画認可申請	第9-1-6-1-2 図
女川原子力発電所 第2号機	
名称	【重大事故等対処設備】 緊急時対策所ディーゼル発電設備 燃料移送系統図
東北電力株式会社	
0423	

電源車  
過給機

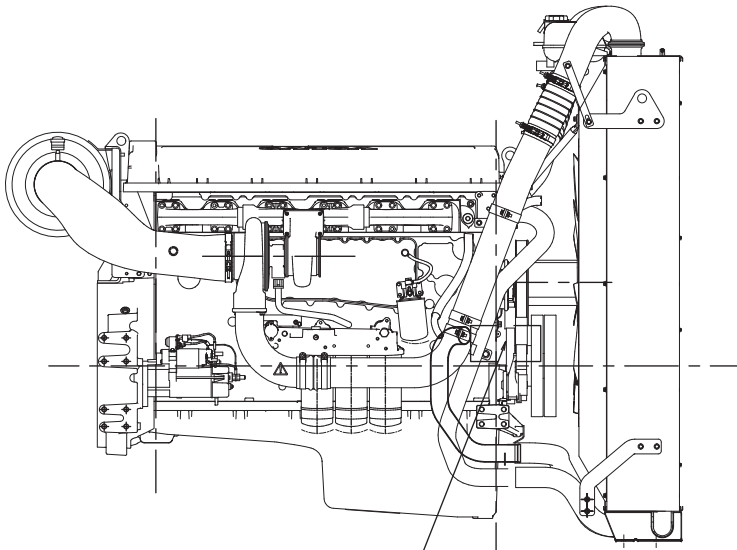


電源車  
调速装置

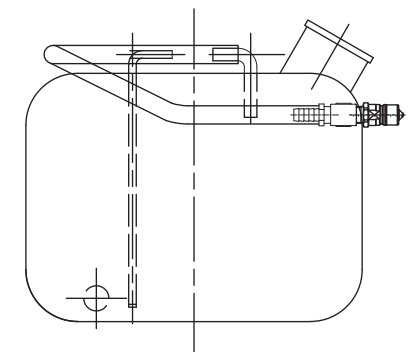
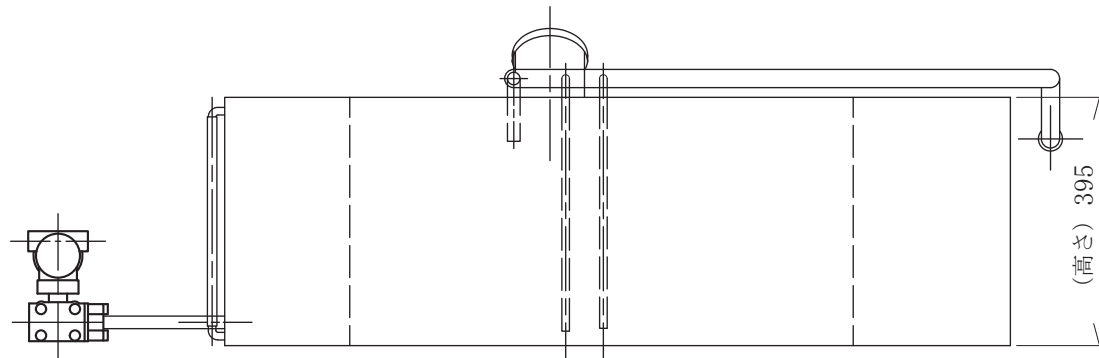
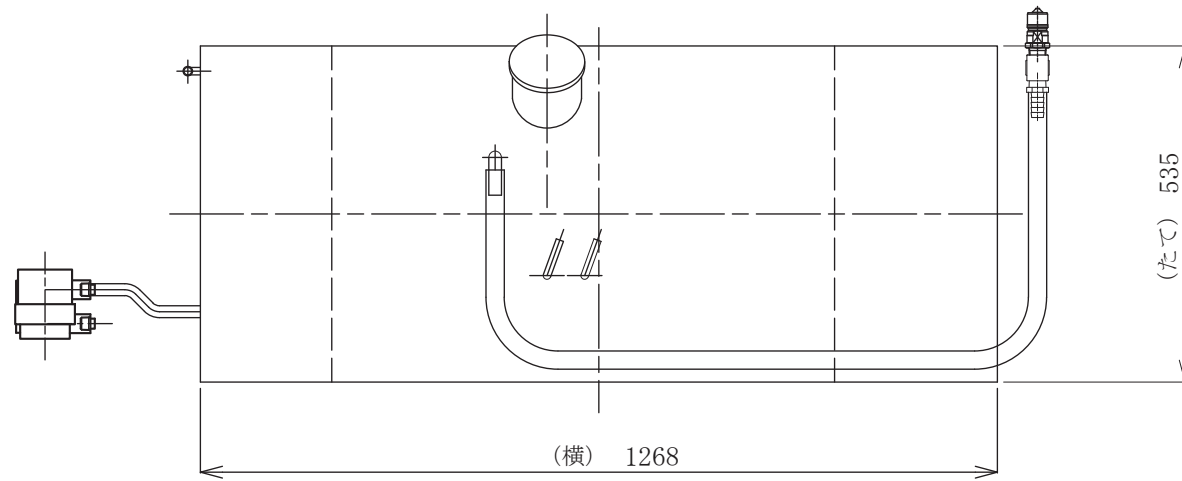
電源車  
非常调速装置



電源車  
冷却水ポンプ



工事計画認可申請	第9-1-6-2-1図
女川原子力発電所 第2号機	
名称	緊急時対策所ディーゼル発電設備 電源車（緊急時対策所用）（内燃機関）構造図
東北電力株式会社	






注1：特記なき寸法は mm を示す。  
 注2：特記なき寸法は公称値を示す。

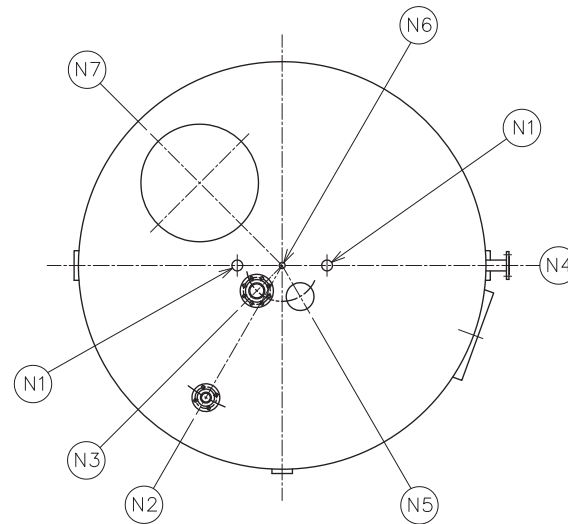
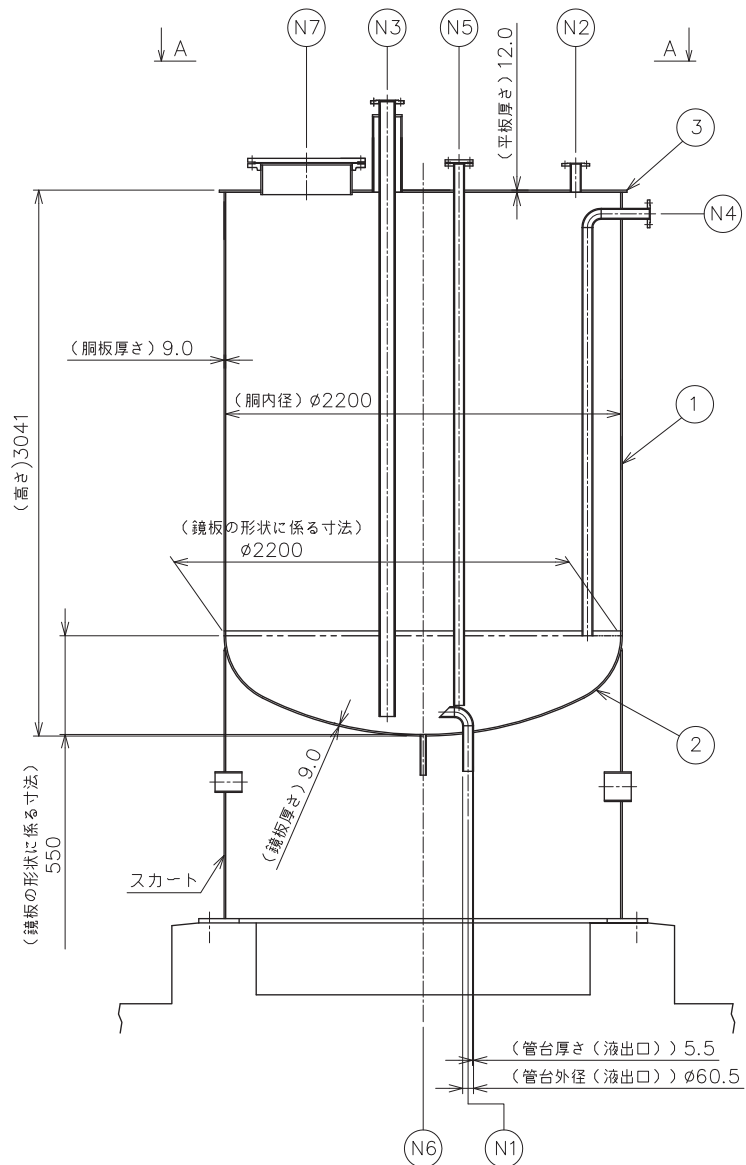
工事計画認可申請	第9-1-6-2-2図
女川原子力発電所 第2号機	
名称	緊急時対策所ディーゼル発電設備 電源車（緊急時対策所用）（燃料タンク）構造図
東北電力株式会社	

第9-1-6-2-2 図 緊急時対策所ディーゼル発電設備 電源車（緊急時対策所用）（燃料タンク）の構造図 別紙

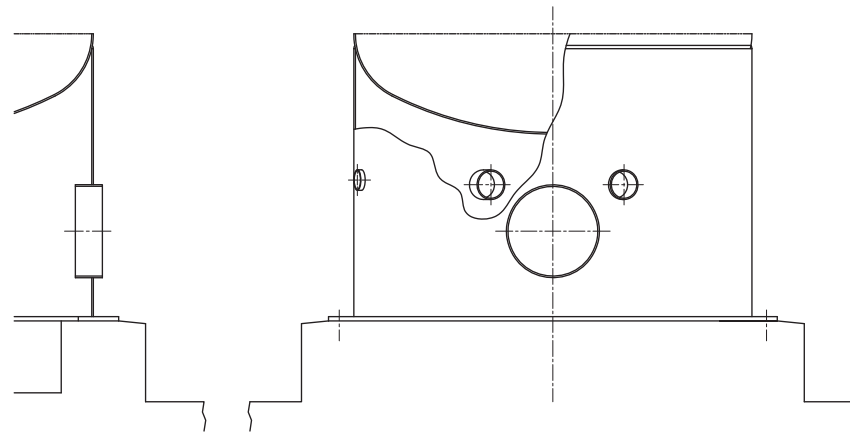
工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
た て	535		製造能力，製造実績を考慮した メーカー基準
横	1268		製造能力，製造実績を考慮した メーカー基準
高 さ	395		製造能力，製造実績を考慮した メーカー基準

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値を示す。



A~A矢視図



スカート部詳細

N7	マンホール	1	500A
N6	ドレン	1	25A
N5	検尺口	1	50A
N4	給油口	1	50A
N3	液位計	1	150A (外管) 80A (内管)
N2	ベント	1	50A
N1	液出口	2	50A
符号	名称	個数	呼び径
管台一覧表			

3	平板	1	SM400C
2	鏡板	1	SM400C
1	胴板	1	SM400C
番号	品名	個数	材料
部品表			

3	緊急時対策所軽油タンクC		
2	緊急時対策所軽油タンクB		
1	緊急時対策所軽油タンクA		
番号	名称	備考	
軽油タンク一覧表			

注1：特記なき寸法はmmを示す。  
 注2：特記なき寸法は公称値を示す。  
 注3：断面図示では管台の構造を模式的に示している。

工事計画認可申請		第9-1-6-2-3図
女川原子力発電所 第2号機		
名称	緊急時対策所 軽油タンク構造図	
東北電力株式会社		

第9-1-6-2-3図 緊急時対策所軽油タンク構造図別紙

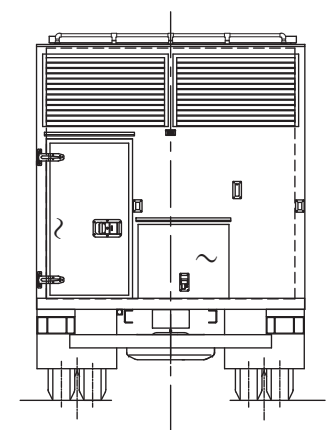
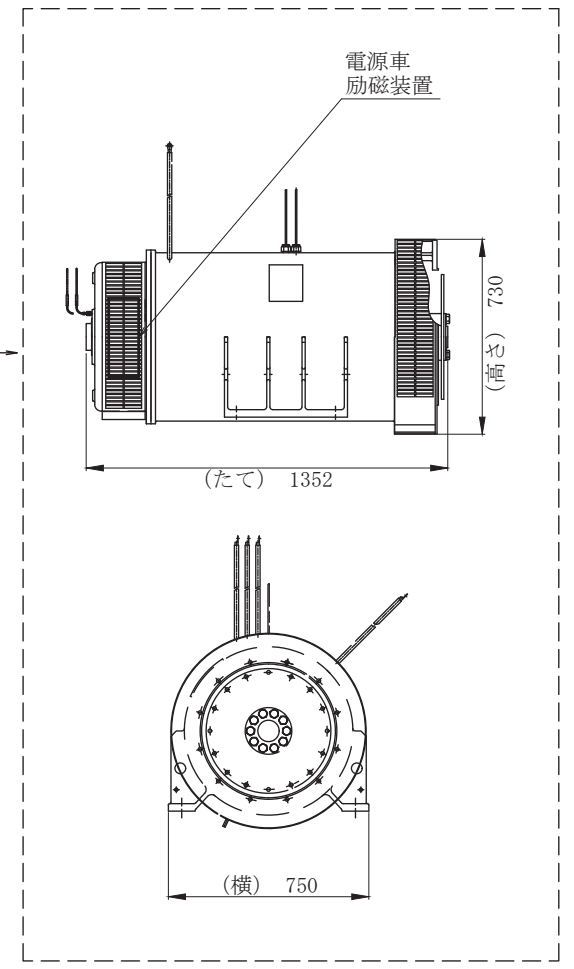
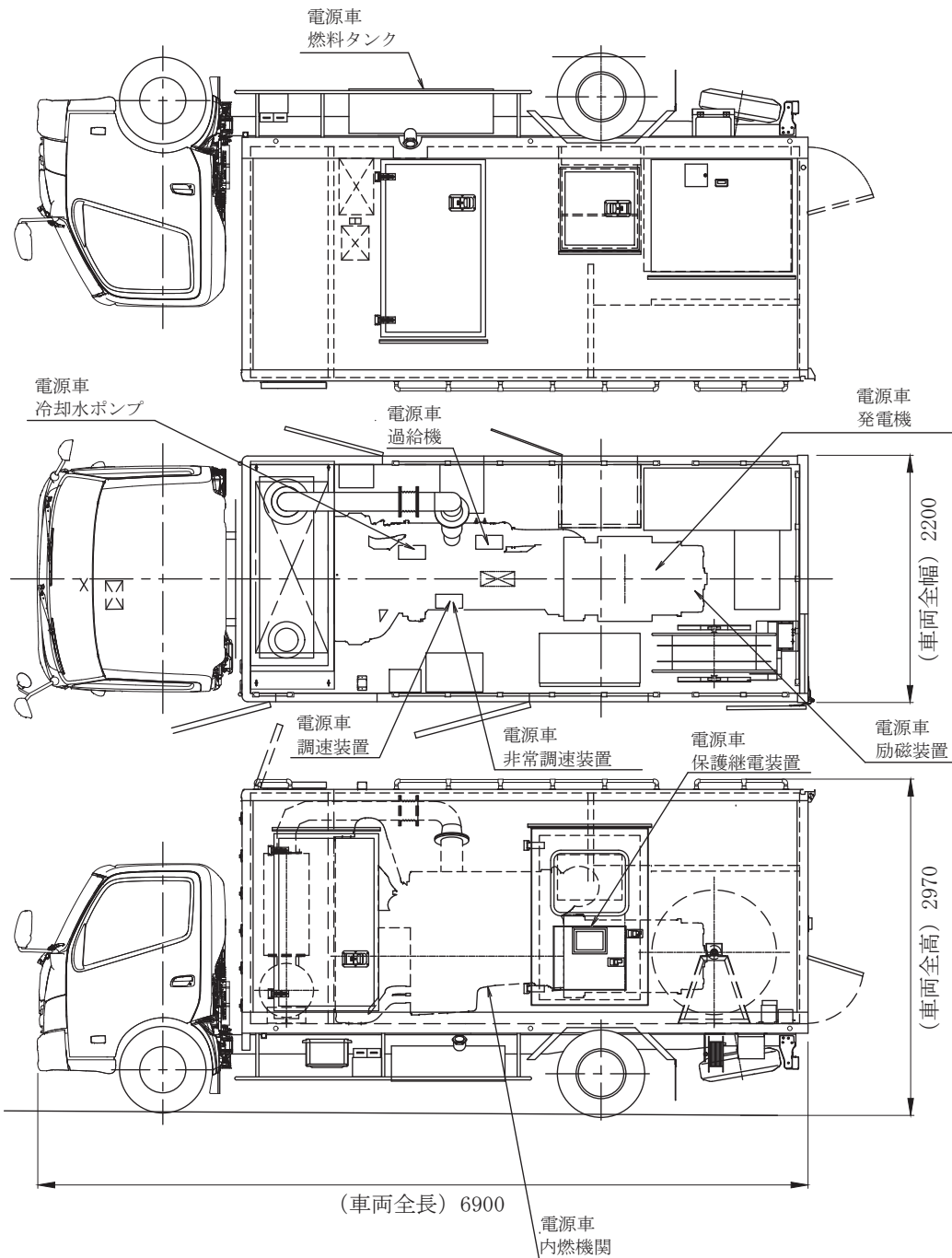
工事計画記載の公称値の許容範囲

[緊急時対策所軽油タンク]

主要寸法 (mm)		許容範囲	根拠
胴内径	2200		発電用火力設備の技術基準の解釈 第6条第1項第二号より、同一断面における最大内径と最小内径の差は1%以下。 製造能力，製造実績を考慮したメーカー基準
胴板厚さ	9.0		製造能力，製造実績を考慮したメーカー基準
鏡板厚さ	9.0		製造能力，製造実績を考慮したメーカー基準
鏡板の形状に係る寸法(鏡板の内面における長径)	2200		JIS B8247 (製造能力，製造実績を考慮したメーカー基準)
鏡板の形状に係る寸法(鏡板の内面における短径の2分の1)	550		製造能力，製造実績を考慮したメーカー基準
平板厚さ	12.0		製造能力，製造実績を考慮したメーカー基準
管台外径(液出口)	60.5		JIS G3456 (製造能力，製造実績を考慮したメーカー基準)
管台厚さ(液出口)	5.5		製造能力，製造実績を考慮したメーカー基準
高さ	3041		製造能力，製造実績を考慮したメーカー基準

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値を示す。




注記\*1：( )付公差は最大と最小の差を示す。



工事計画認可申請	第9-1-6-2-4図
女川原子力発電所 第2号機	
名称	緊急時対策所ディーゼル発電設備 電源車 (緊急時対策所用) (発電機及び励磁装置) 構造図
東北電力株式会社	

第9-1-6-2-4 図 緊急時対策所ディーゼル発電設備 電源車（緊急時対策所用）（発電機及び励磁装置）の構造図 別紙

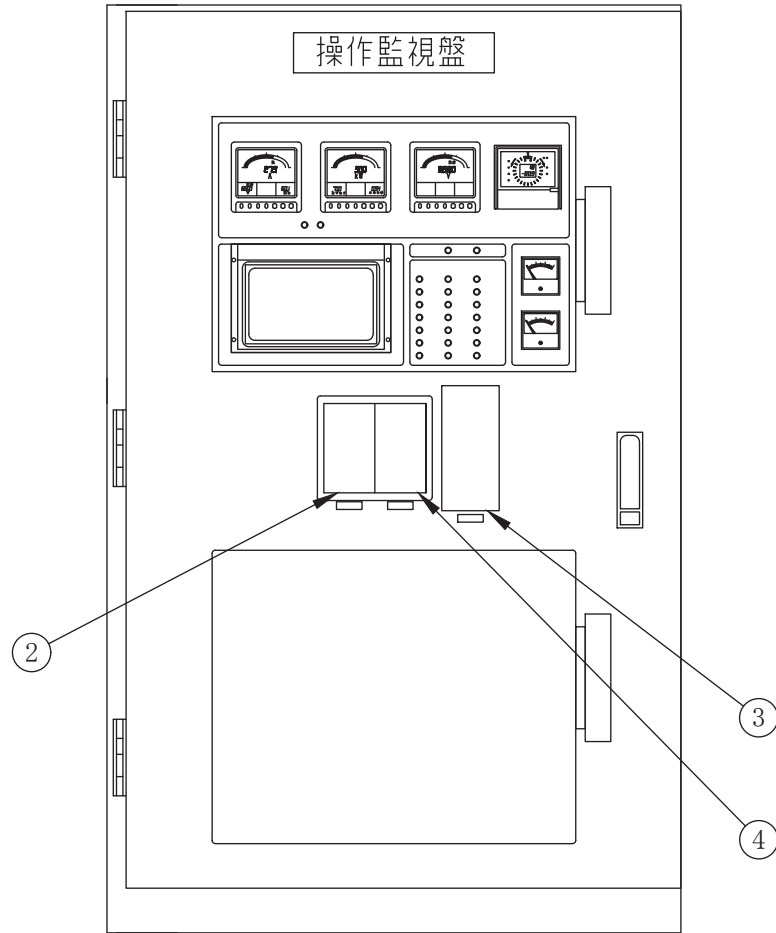
工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
た て	1352		製造能力，製造実績を考慮した メーカー基準
横	750		製造能力，製造実績を考慮した メーカー基準
高 さ	730		製造能力，製造実績を考慮した メーカー基準
車両全長	6900	—	概略寸法のため規定しない
車両全幅	2200	—	概略寸法のため規定しない
車両全高	2970	—	概略寸法のため規定しない

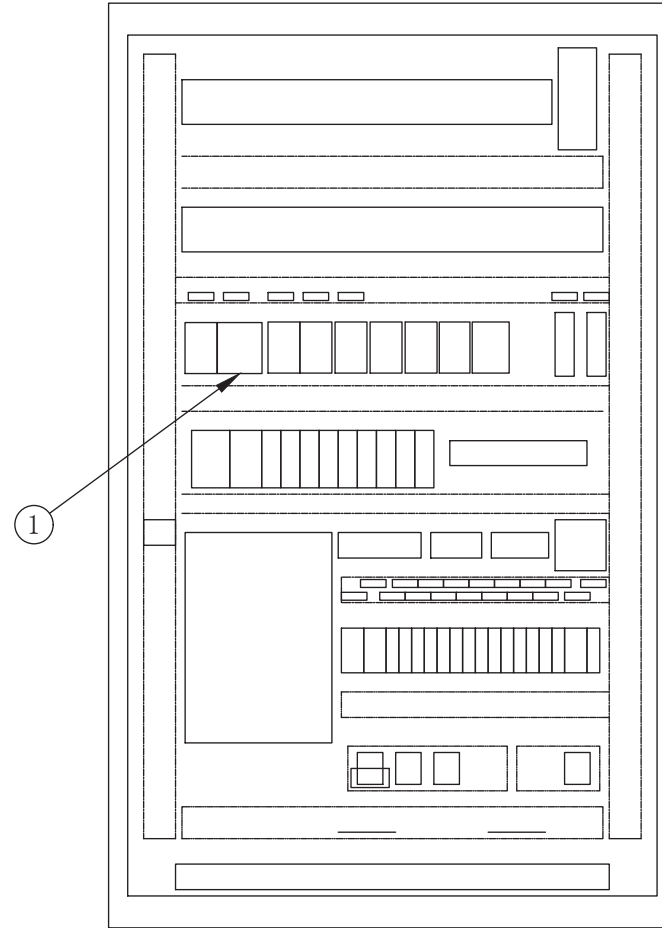
注：主要寸法は，工事計画記載の公称値を示す。



操作監視盤

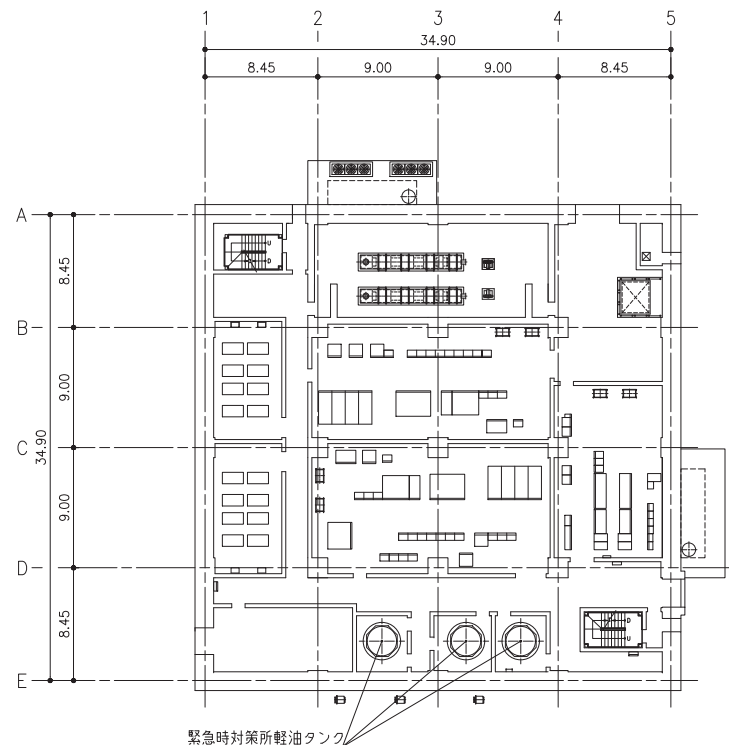


操作監視盤 (内部)



4	逆電力継電器	1
3	地絡過電圧継電器	1
2	過電流継電器	1
1	不足電圧／過電圧継電器	1
番号	品名	個数
部品表		

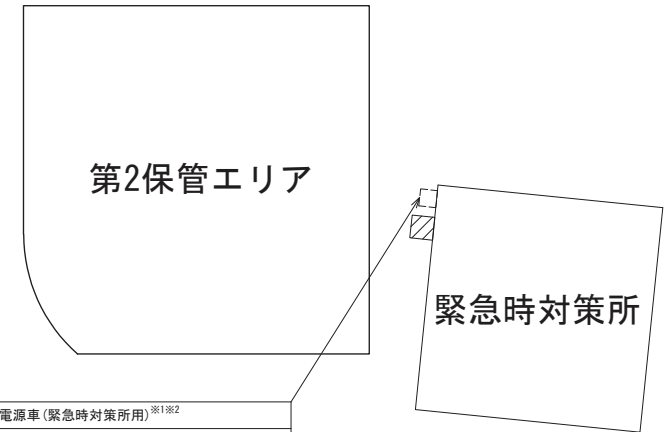
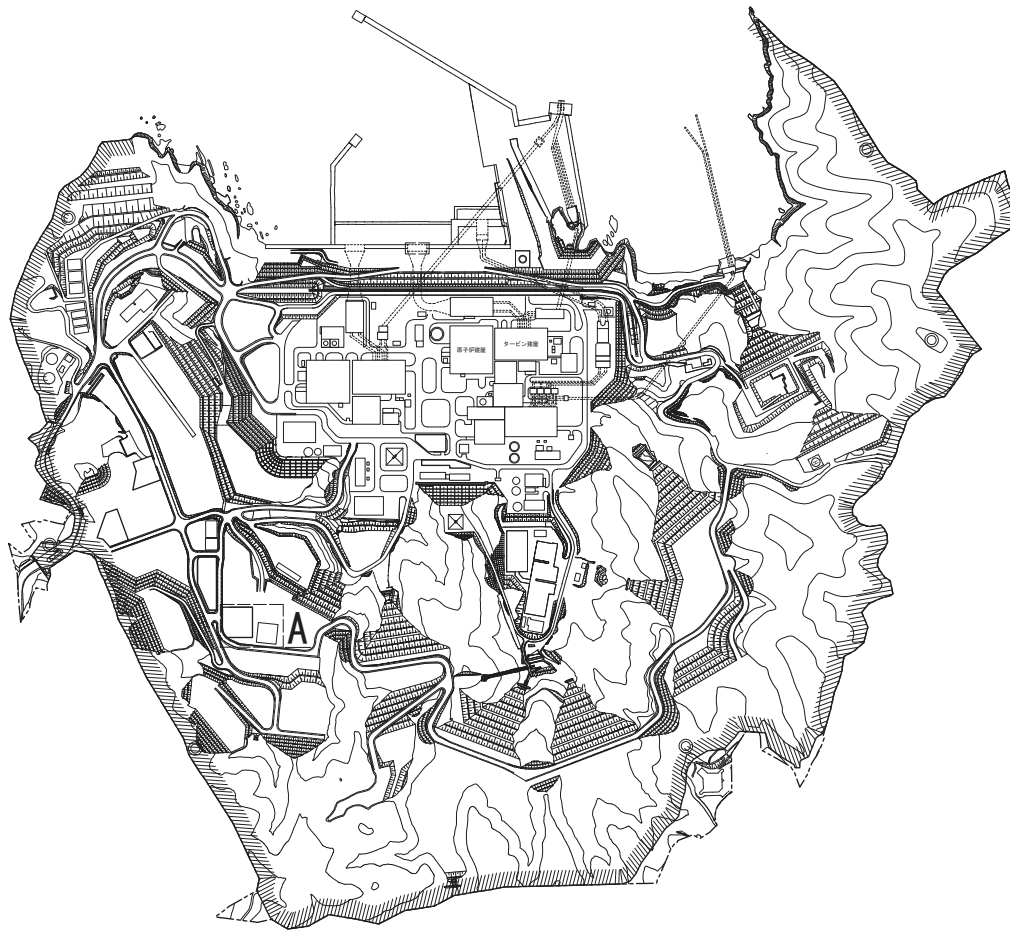
工事計画認可申請	第9-1-6-2-5図
女川原子力発電所 第2号機	
名称	緊急時対策所ディーゼル発電設備 電源車（緊急時対策所用）（保護継電装置）構造図
東北電力株式会社	



緊急時対策建屋 O. P. 62. 20

注：寸法はmを示す。

工事計画認可申請	第9-1-6-3-1図
女川原子力発電所 第2号機	
名称	緊急時対策所ディーゼル発電設備 機器の配置を明示した図面（その1）
東北電力株式会社	



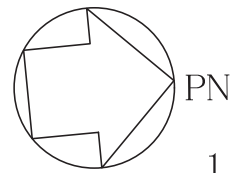
名称	電源車(緊急時対策所用)※1※2
保管場所	緊急時対策建屋北側接続口 O.P. 約62m

### A部詳細図

※1: 下記設備は、付属設備である。  
 内燃機関、调速装置、非常调速装置、冷却水ポンプ、  
 燃料タンク、励磁装置、保護継電装置  
 ※2: 下記設備は、電源車と同一箇所に保管、取付。  
 給油用ホース (20A: 7m)

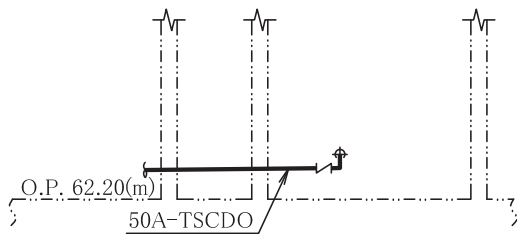
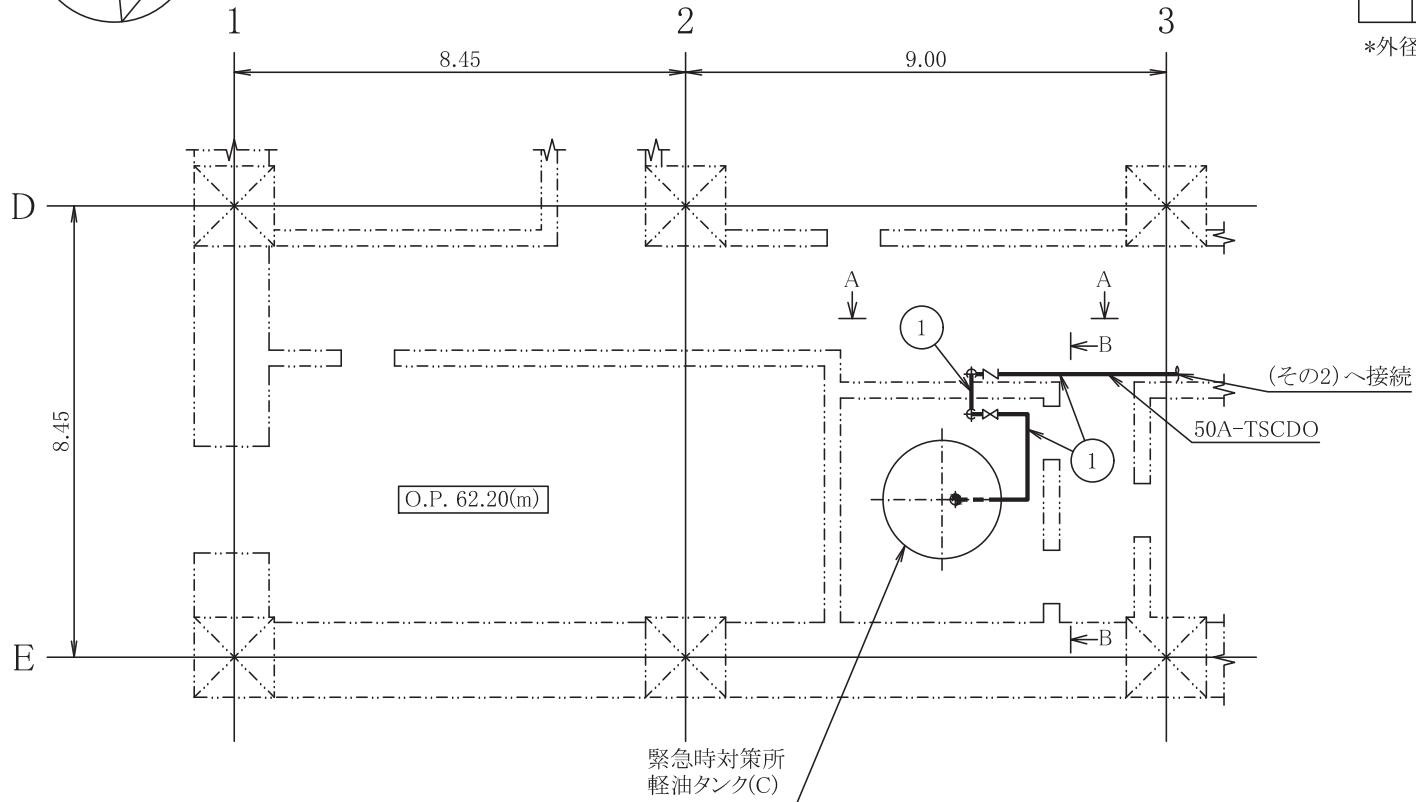
▨: 保管場所  
 □: 取付箇所

工事計画認可申請 第9-1-6-3-2図	
女川原子力発電所 第2号機	
名称	緊急時対策所ディーゼル発電設備 機器の配置を明示した図面 (その2)
東北電力株式会社	

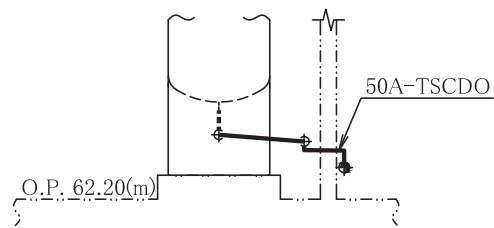


No.	名称	部品	外径*	厚さ*	材質
①	緊急時対策所 軽油タンク ～ 給油口	管	60.5	5.5	STS410

\*外径及び厚さは公称値(mm)を示す。



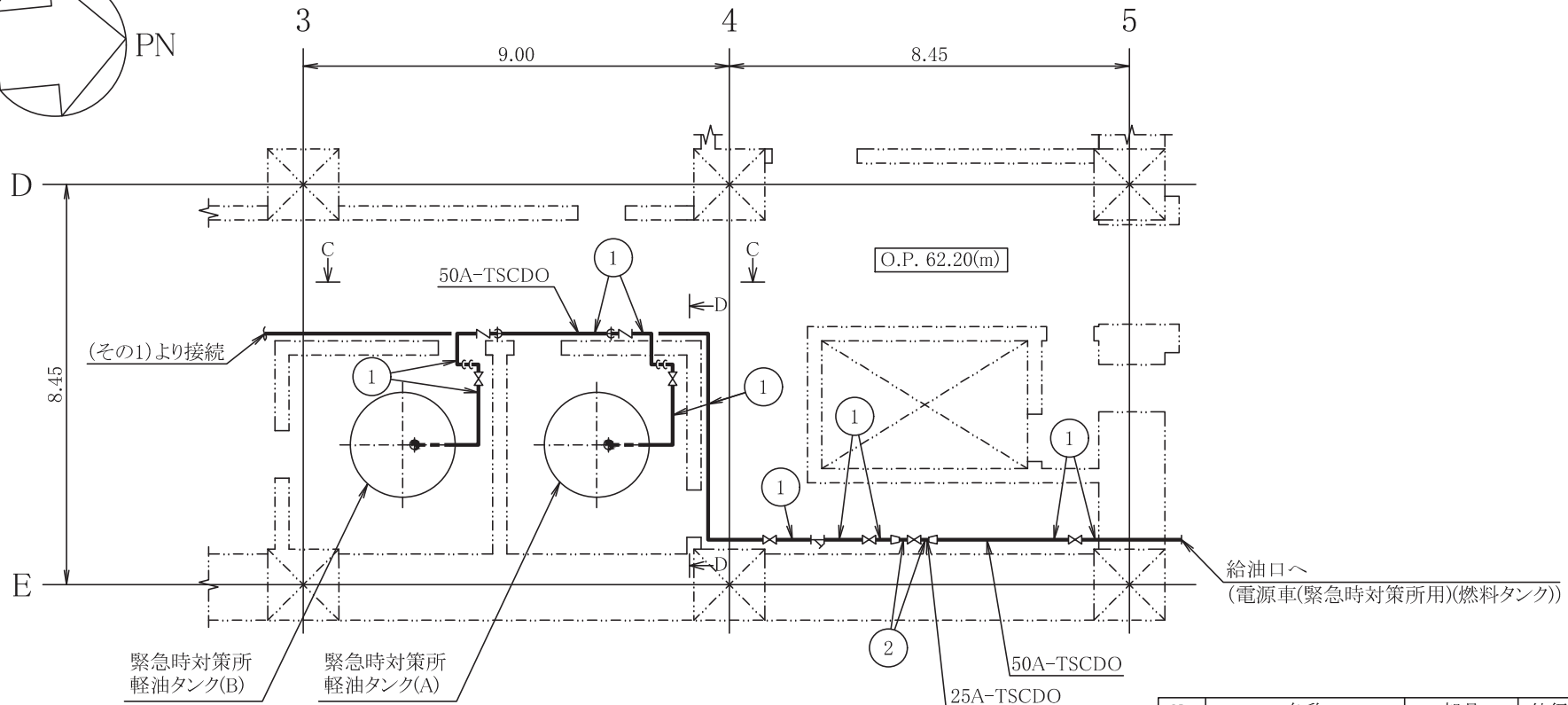
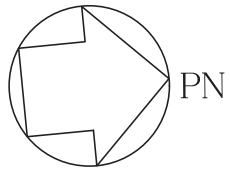
A~A矢視図



B~B矢視図

注:寸法はmを示す。

工事計画認可申請	第9-1-6-4-1図
女川原子力発電所 第2号機	
名称	緊急時対策所ディーゼル発電設備 主配管の配置を明示した図面(その1)
東北電力株式会社	
TSCDO	0511



緊急時対策所  
軽油タンク(B)

緊急時対策所  
軽油タンク(A)

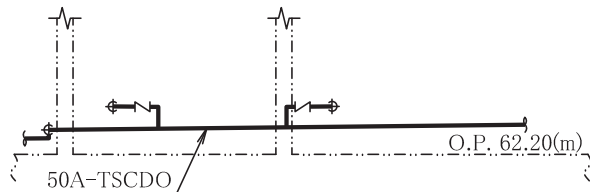
給油口へ  
(電源車(緊急時対策所用)(燃料タンク))

No.	名称	部品	外径*	厚さ*	材質
①	緊急時対策所 軽油タンク ～ 給油口	管	60.5	5.5	STS410
②		管	34.0	4.5	STS410

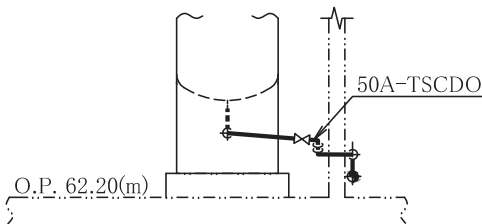
\*外径及び厚さは公称値(mm)を示す。

注: 寸法はmを示す。

工事計画認可申請	第9-1-6-4-2図
女川原子力発電所 第2号機	
名称	緊急時対策所ディーゼル発電設備 主配管の配置を明示した図面(その2)
東北電力株式会社	
TSCDO	0512



C~C矢視図



D~D矢視図

第9-1-6-4-1~2 図 緊急時対策所ディーゼル発電設備 主配管の配置を明示した図面別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

[主配管]

管NO. 1\*

主要寸法 (mm)		許容範囲	根拠
外径	60.5	±1%	J I S G 3 4 5 5による材料公差
厚さ	5.5	±12.5%	同上

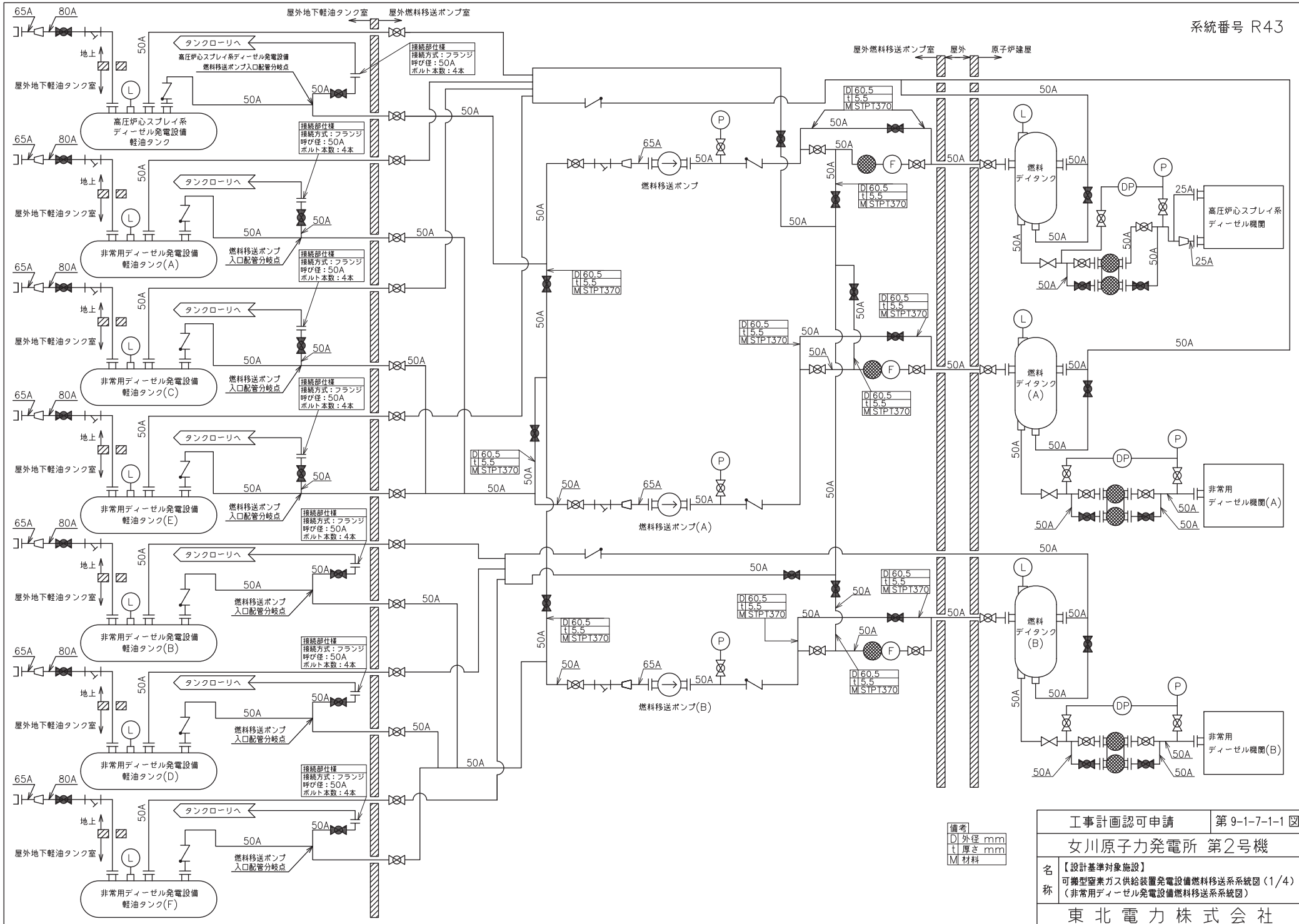
管NO. 2\*

主要寸法 (mm)		許容範囲	根拠
外径	34.0	±0.5mm	J I S G 3 4 5 5による材料公差
厚さ	4.5	±12.5%	同上

注：主要寸法は、工事計画記載の公称値を示す。

注記\*：主配管の配置を明示した図面の管NO.を示す。

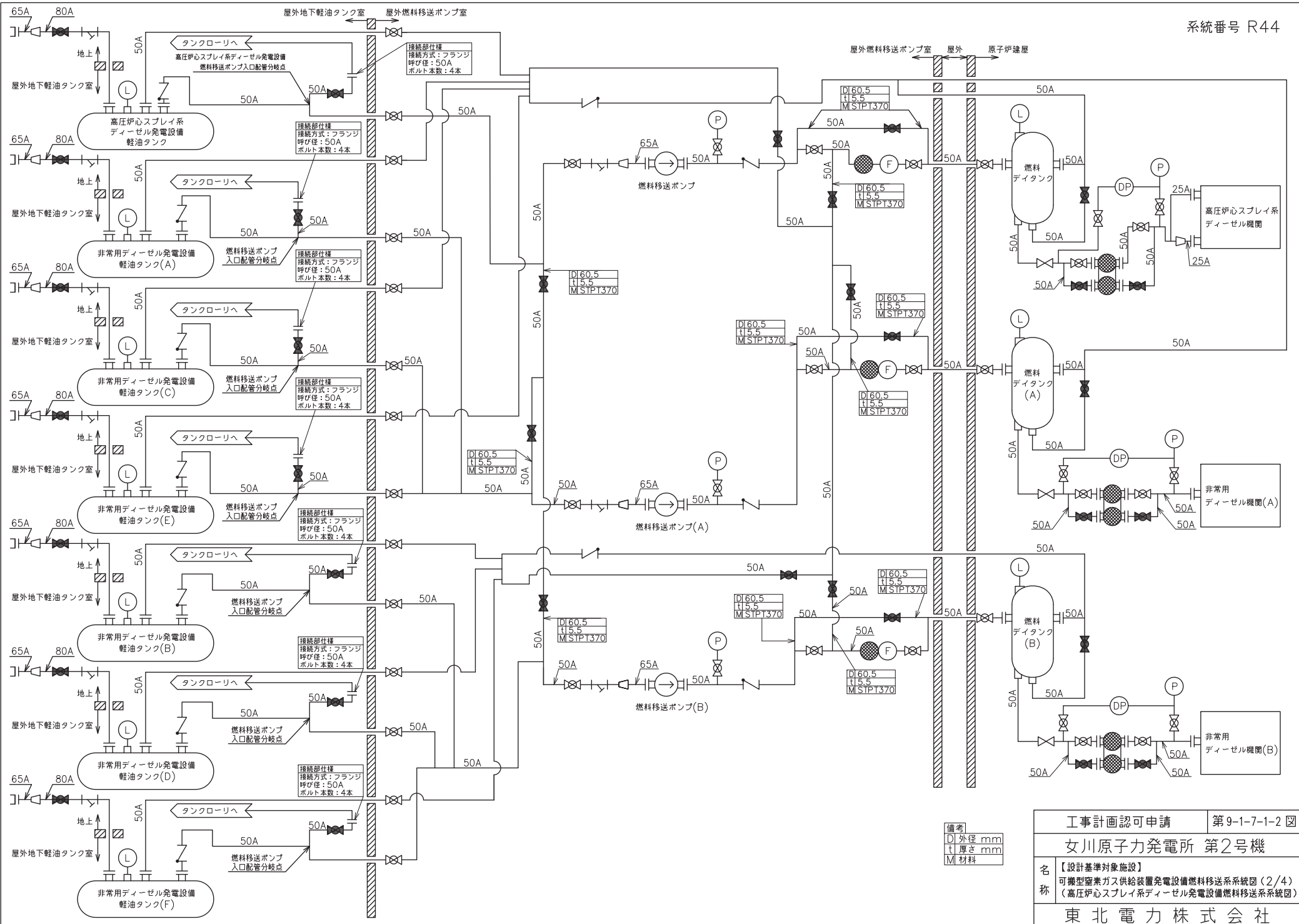
### 9.1.7 可搬型窒素ガス供給装置発電設備



備考  
 D1 外径 mm  
 t1 厚さ mm  
 M1 材料

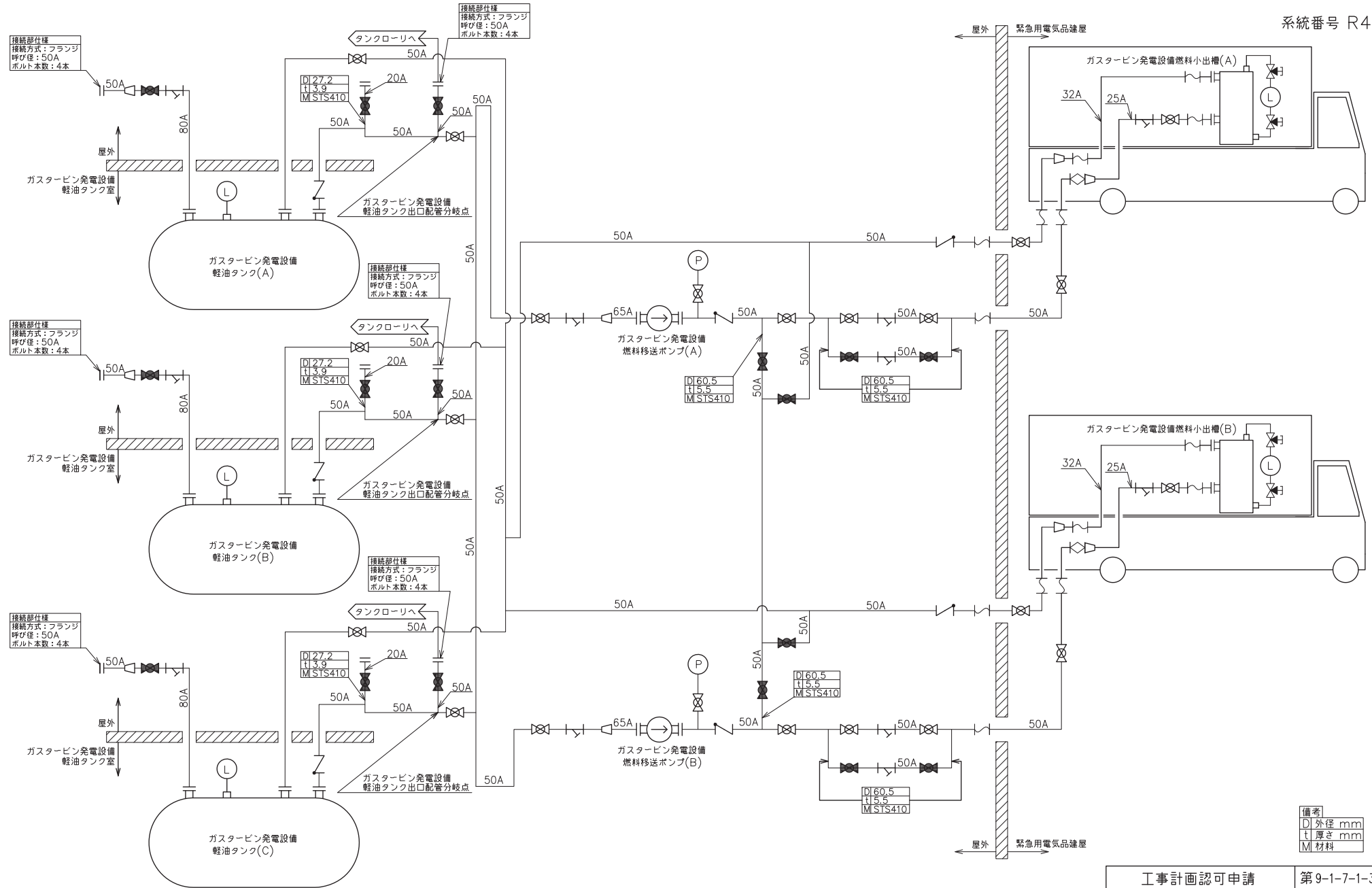
工事計画認可申請		第9-1-7-1-1 図
女川原子力発電所 第2号機		
名称	【設計基準対象施設】 可搬型窒素ガス供給装置発電設備燃料移送系系統図 (1/4) (非常用ディーゼル発電設備燃料移送系系統図)	
東北電力株式会社		
		0501





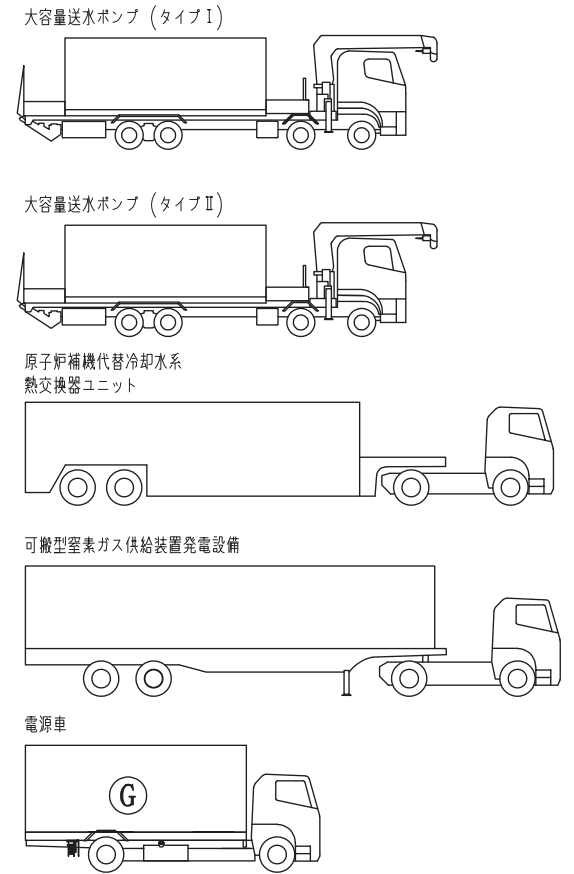
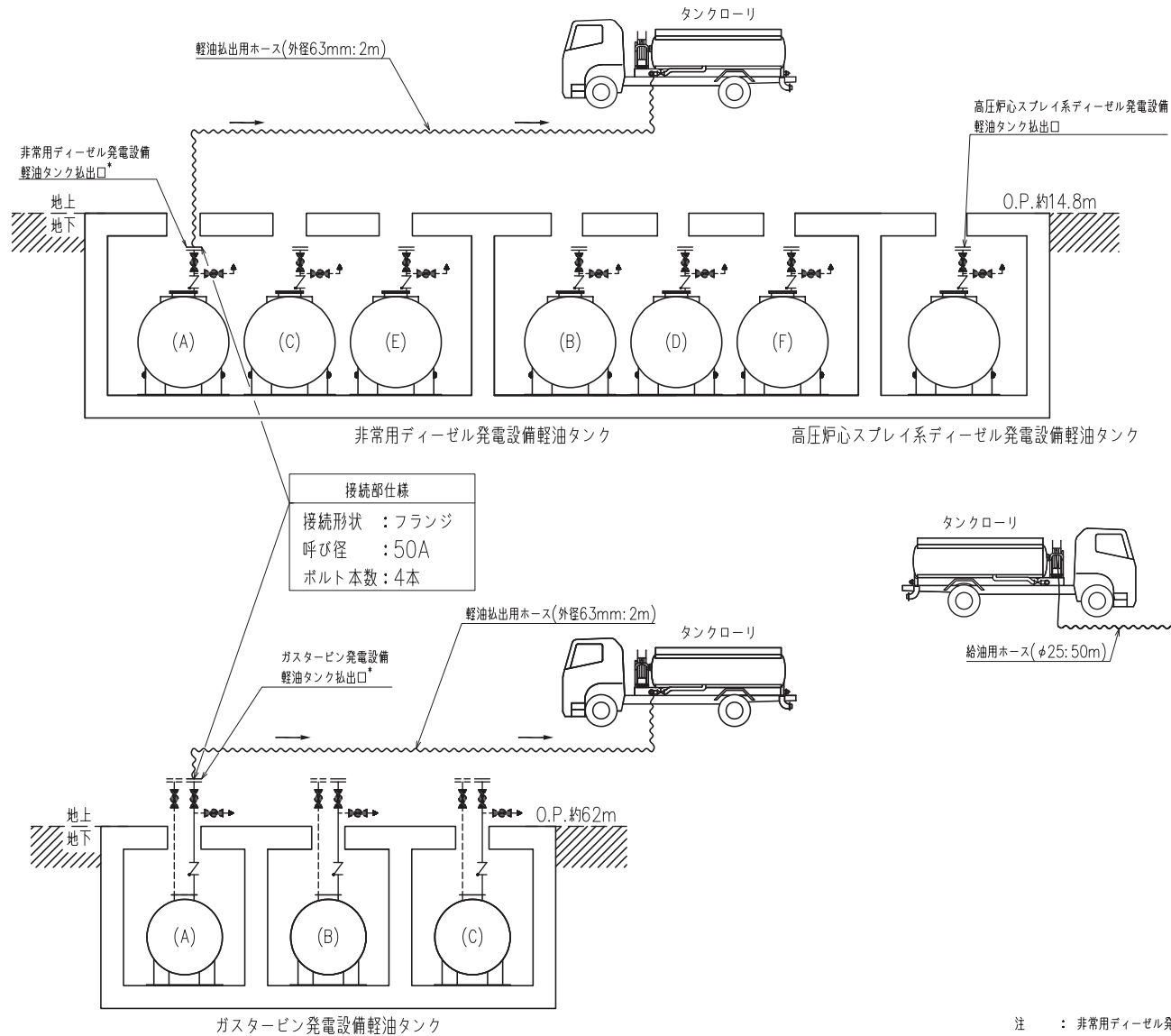
備考  
 D 外径 mm  
 t 厚さ mm  
 M 材料

工事計画認可申請		第9-1-7-1-2 図
女川原子力発電所 第2号機		
名称	【設計基準対象施設】 可搬型窒素ガス供給装置発電設備燃料移送系系統図 (2/4) (高圧炉心スプレィ系ディーゼル発電設備燃料移送系系統図)	
	東北電力株式会社	
		0501



備考  
 D 外径 mm  
 t 厚さ mm  
 M 材料

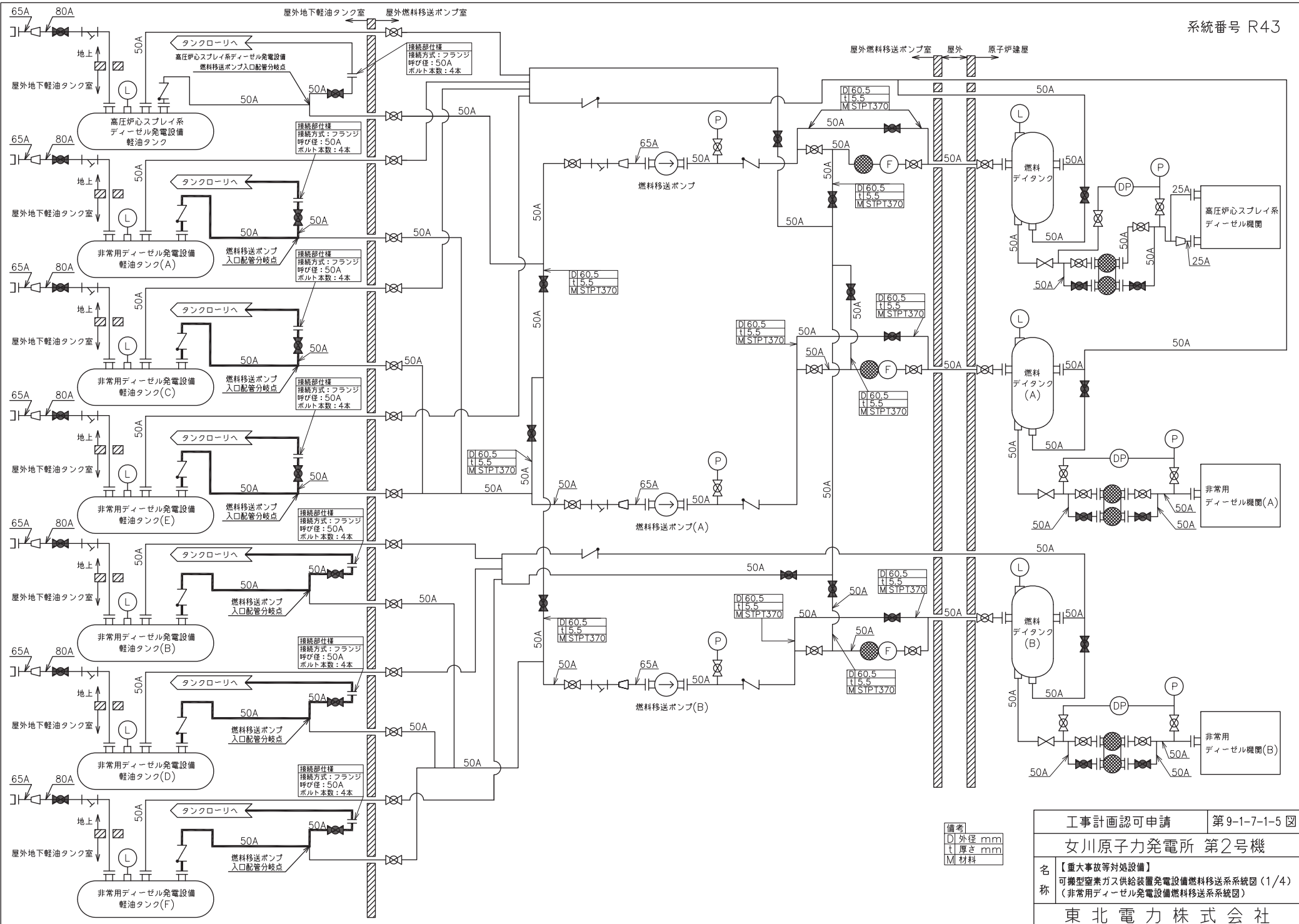
工事計画認可申請	第9-1-7-1-3 図
女川原子力発電所 第2号機	
名称	【設計基準対象施設】 可搬型窒素ガス供給装置発電設備燃料移送系系統図 (3/4) (ガスタービン発電設備燃料移送系系統図)
東北電力株式会社	
0511	



燃料補給対象設備

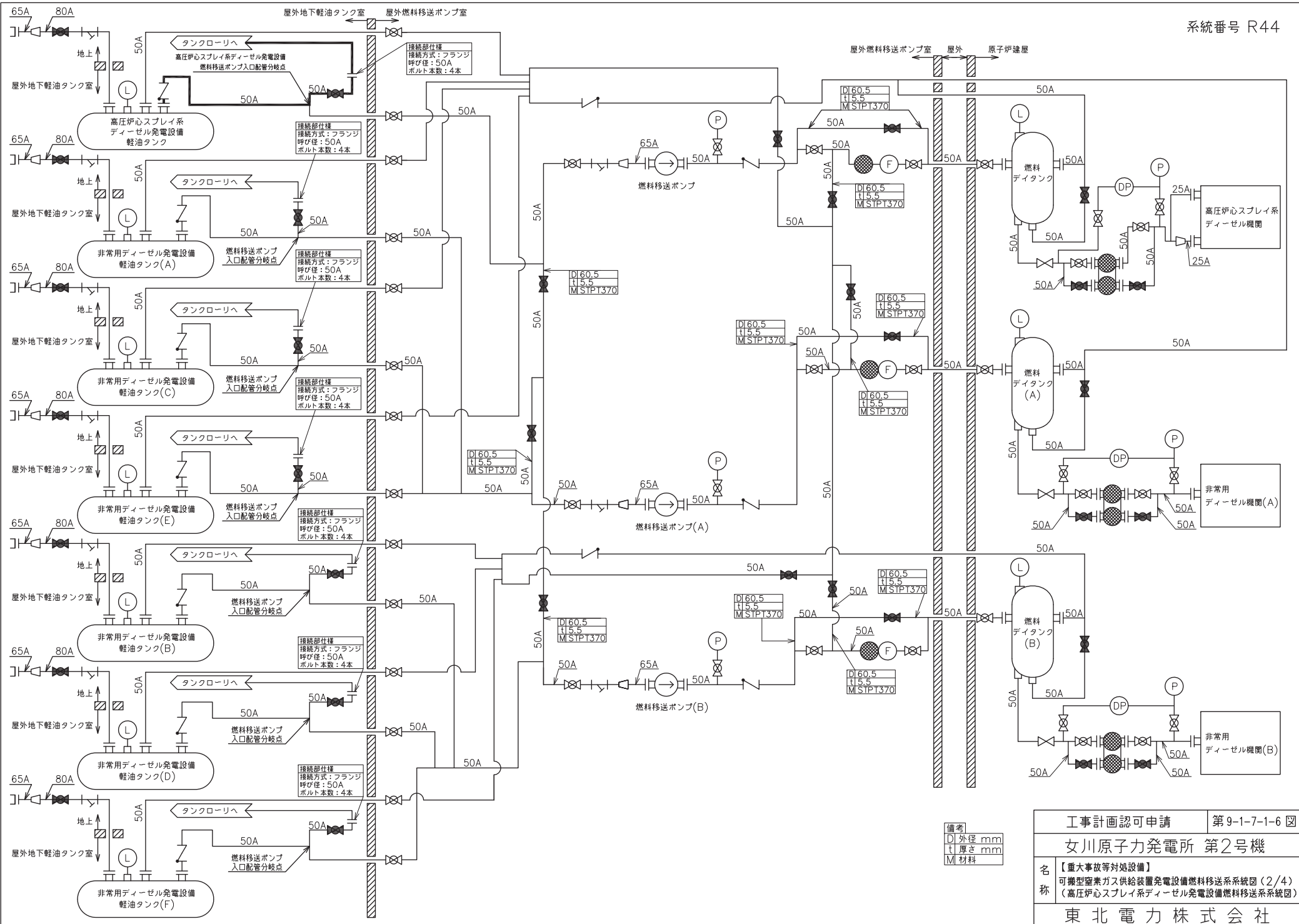
注 : 非常用ディーゼル発電設備軽油タンク及び高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備軽油タンクから燃料補給できない場合は、ガスタービン発電設備軽油タンクから燃料補給する。  
 注記 \* : 非常用ディーゼル発電設備軽油タンク及びガスタービン発電設備軽油タンクの私出用は (A) を代表で記載する。

工事計画認可申請	第9-1-7-1-4図
女川原子力発電所 第2号機	
名称	【設計基準対象施設】 可搬型窒素ガス供給装置発電設備燃料移送系系統図 (4/4)可搬
東北電力株式会社	



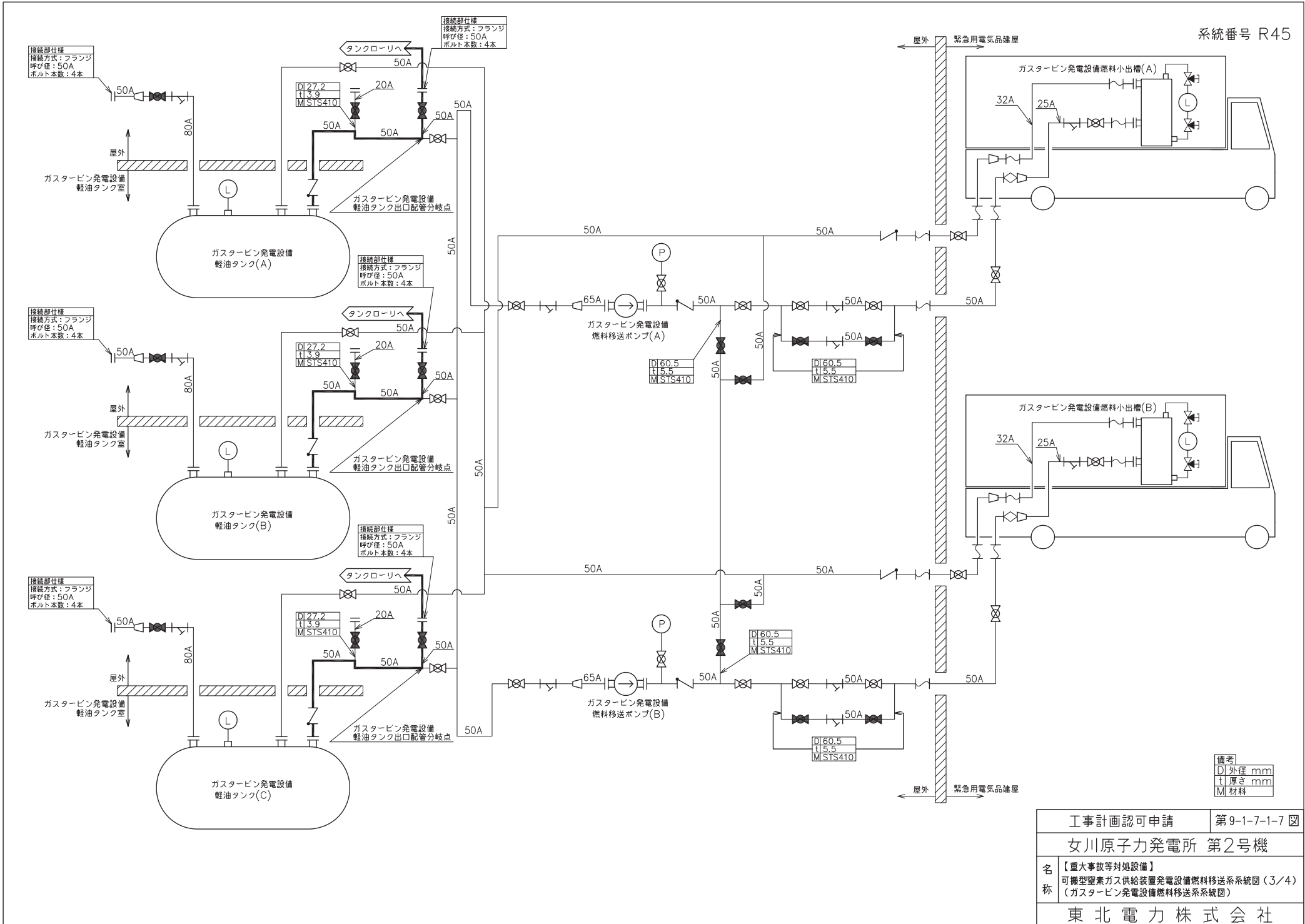
備考  
 D1 外径 mm  
 t1 厚さ mm  
 M1 材料

工事計画認可申請		第9-1-7-1-5 図
女川原子力発電所 第2号機		
名称	【重大事故等対処設備】 可搬型窒素ガス供給装置発電設備燃料移送系系統図 (1/4) (非常用ディーゼル発電設備燃料移送系系統図)	
東北電力株式会社		
		0501



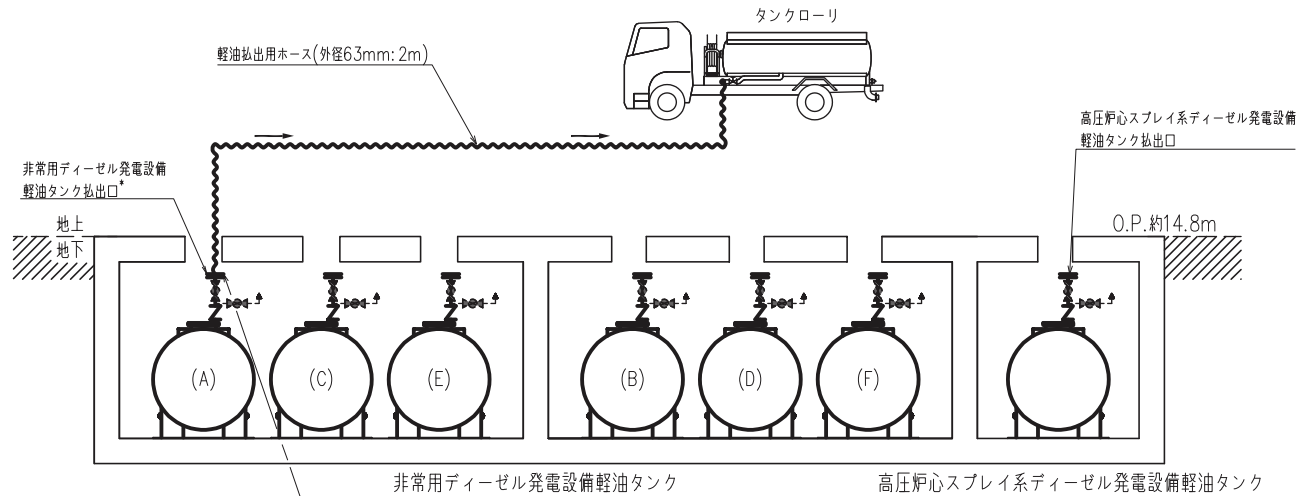
備考  
 D) 外径 mm  
 t) 厚さ mm  
 M) 材料

工事計画認可申請		第9-1-7-1-6 図
女川原子力発電所 第2号機		
名称	【重大事故等対処設備】 可搬型窒素ガス供給装置発電設備燃料移送系系統図(2/4) (高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備燃料移送系系統図)	
東北電力株式会社		
		0501

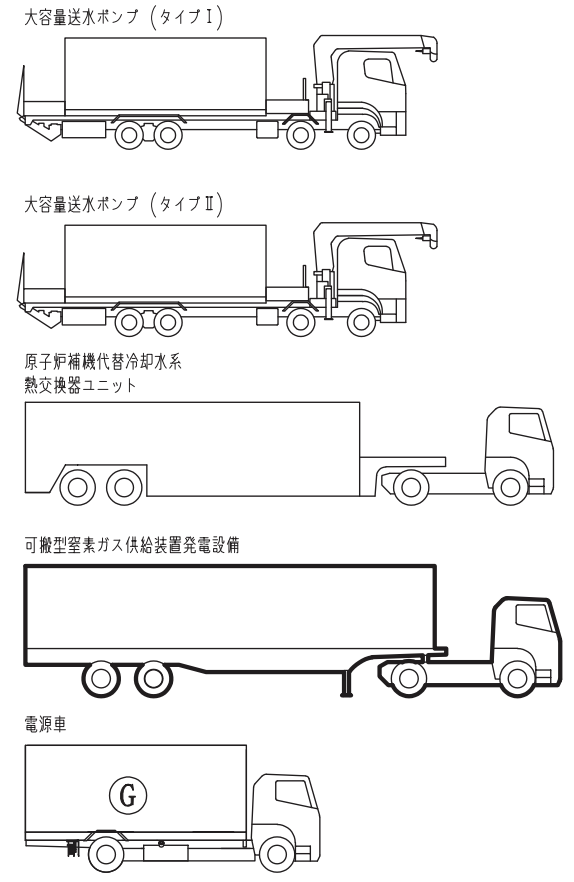
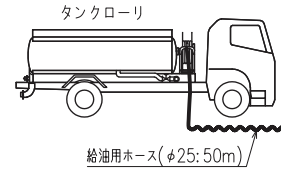
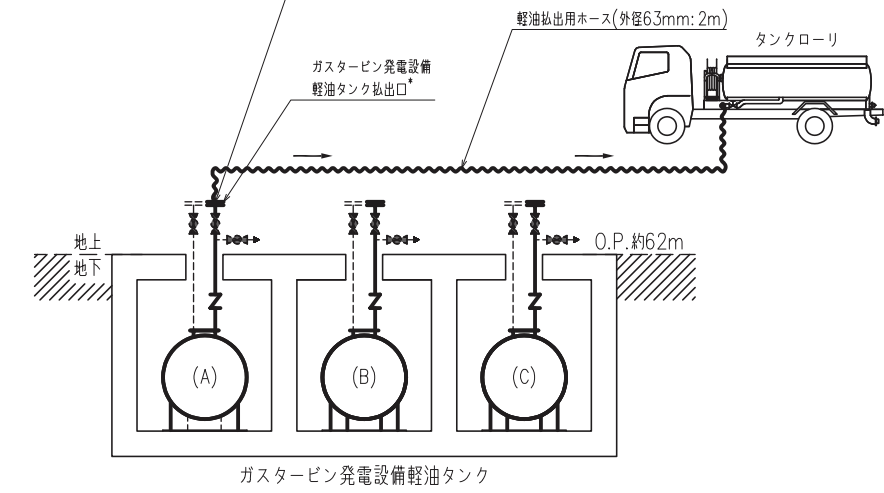


備考  
 D 外径 mm  
 t 厚さ mm  
 M 材料

工事計画認可申請	第9-1-7-1-7 図
女川原子力発電所 第2号機	
名称	【重大事故等対処設備】 可搬型窒素ガス供給装置発電設備燃料移送系系統図(3/4) (ガスタービン発電設備燃料移送系系統図)
東北電力株式会社	
0511	



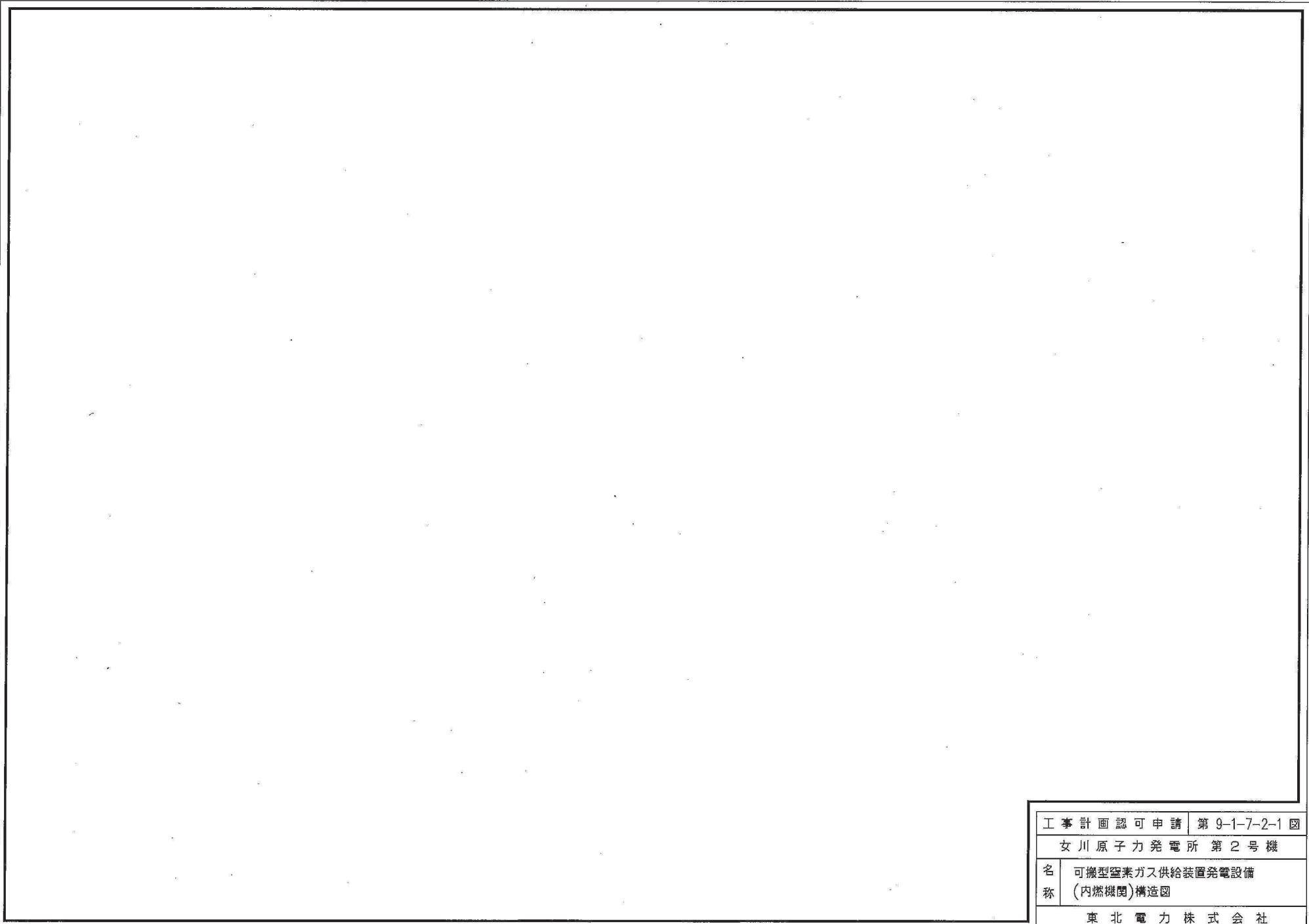
接続部仕様  
 接続形状 : フランジ  
 呼び径 : 50A  
 ボルト本数 : 4本



燃料補給対象設備

注 : 非常用ディーゼル発電設備軽油タンク及び高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備軽油タンクから燃料補給できない場合は、ガスタービン発電設備軽油タンクから燃料補給する。  
 注記 \* : 非常用ディーゼル発電設備軽油タンク及びガスタービン発電設備軽油タンクの私出口は (A) を代表で記載する。

工事計画認可申請	第9-1-7-1-8図
女川原子力発電所 第2号機	
名称	【重大事故等対処設備】 可搬型窒素ガス供給装置発電設備燃料移送系系統図 (4/4)可搬
東北電力株式会社	

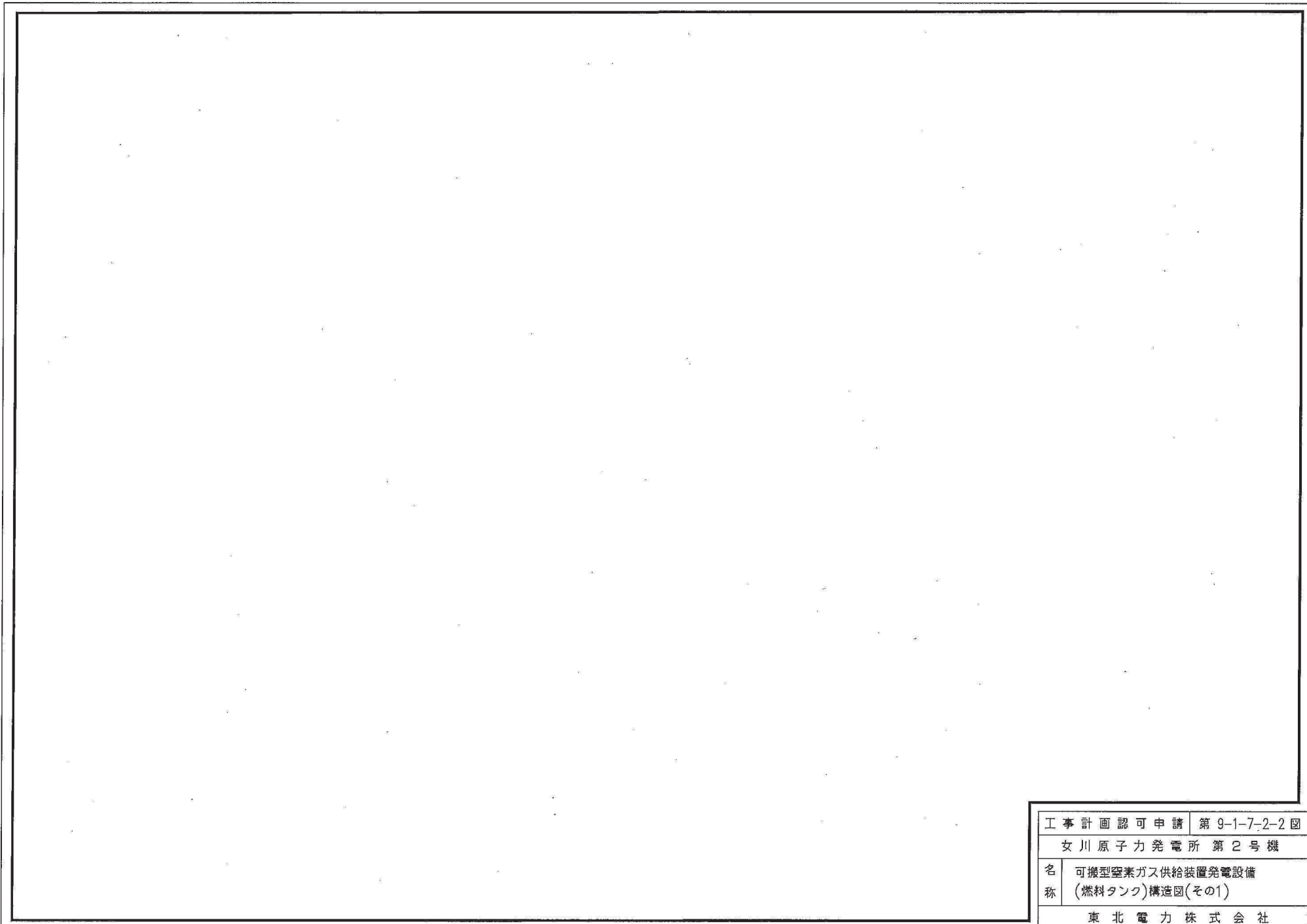


工事計画認可申請   第 9-1-7-2-1 図	
女川原子力発電所 第 2 号機	
名 称	可搬型窒素ガス供給装置発電設備 (内燃機関)構造図
東 北 電 力 株 式 会 社	

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

0520





工事計画認可申請 第9-1-7-2-2図	
女川原子力発電所 第2号機	
名 称	可搬型窒素ガス供給装置発電設備 (燃料タンク)構造図(その1)
東北電力株式会社	

許諾みの内容は商業機密の観点から公開できません。

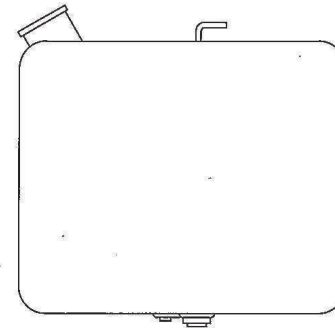
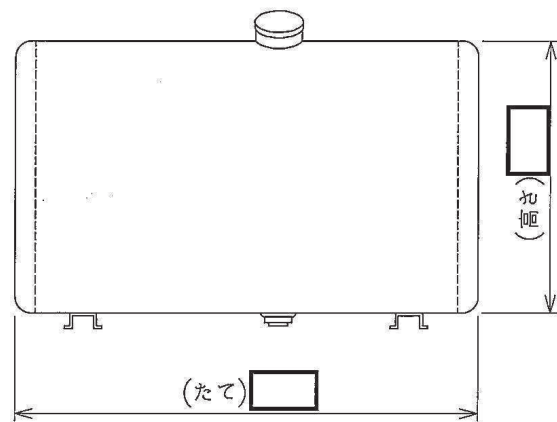
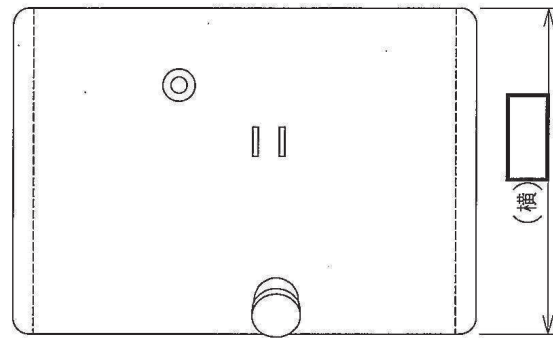
0520

第9-1-7-2-2 図 可搬型窒素ガス供給装置発電設備(燃料タンク)構造図(その1)別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

主 要 寸 法 (mm)	許 容 範 囲	根 拠
た て		製造能力，製造実績を考慮したメーカー基準
横		同上
高 さ		同上

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値を示す。



注1 : 寸法はmmを示す。  
 注2 : 特記なき寸法は公称値を示す。

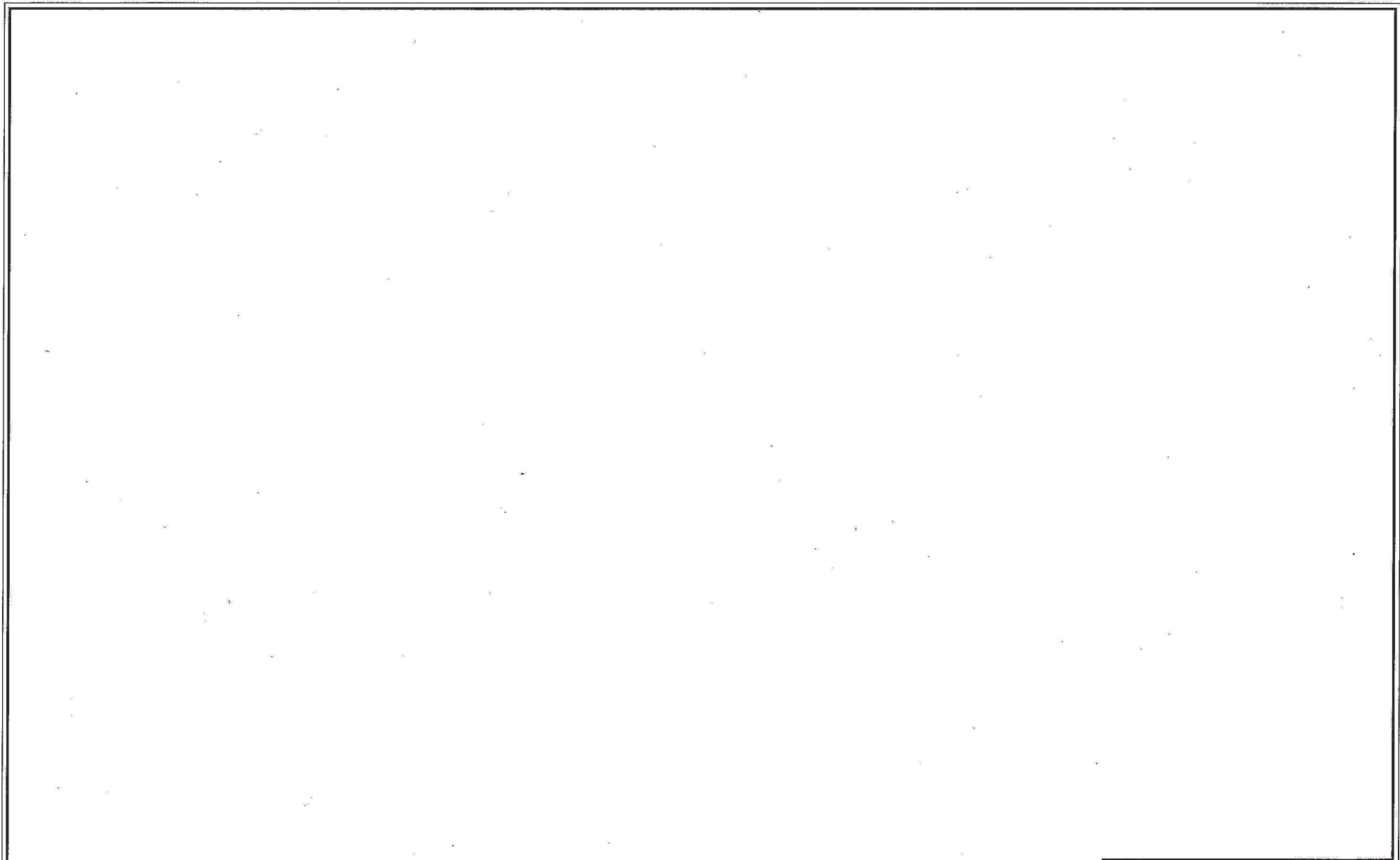
工事計画認可申請 第9-1-7-2-3図	
女川原子力発電所 第2号機	
名 称	可搬型窒素ガス供給装置発電設備 (燃料タンク)構造図(その2)
東北電力株式会社	

第 9-1-7-2-3 図 可搬型窒素ガス供給装置発電設備(燃料タンク)構造図(その 2)別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

主 要 寸 法 (mm)	許 容 範 囲	根 拠
た て		製造能力，製造実績を考慮したメーカー基準
横		同上
高 さ		同上

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値を示す。


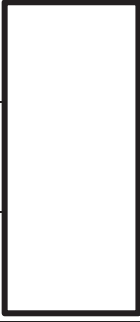


工事計画認可申請	第 9-1-7-2-4 図
女川原子力発電所 第 2 号機	
名称	可搬型窒素ガス供給装置発電設備 (発電機及び励磁装置)構造図
東北電力株式会社	
0522	

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

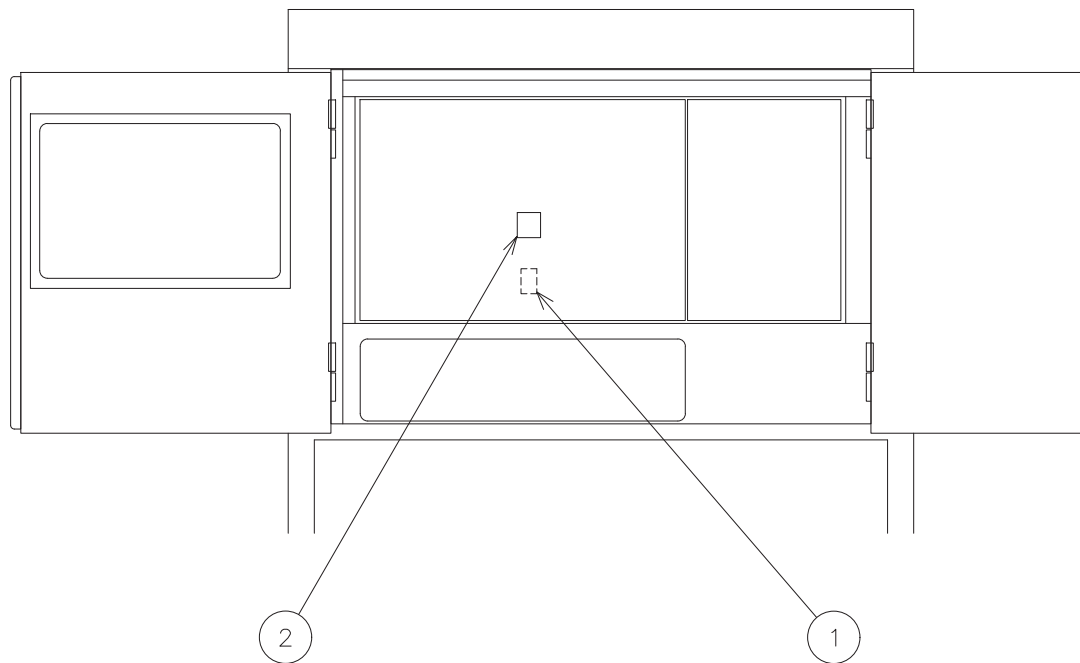
第 9-1-7-2-4 図 可搬型窒素ガス供給装置発電設備(発電機及び励磁装置)構造図別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
た て			製造能力，製造実績を考慮したメーカー基準
横			同上
高 さ			同上

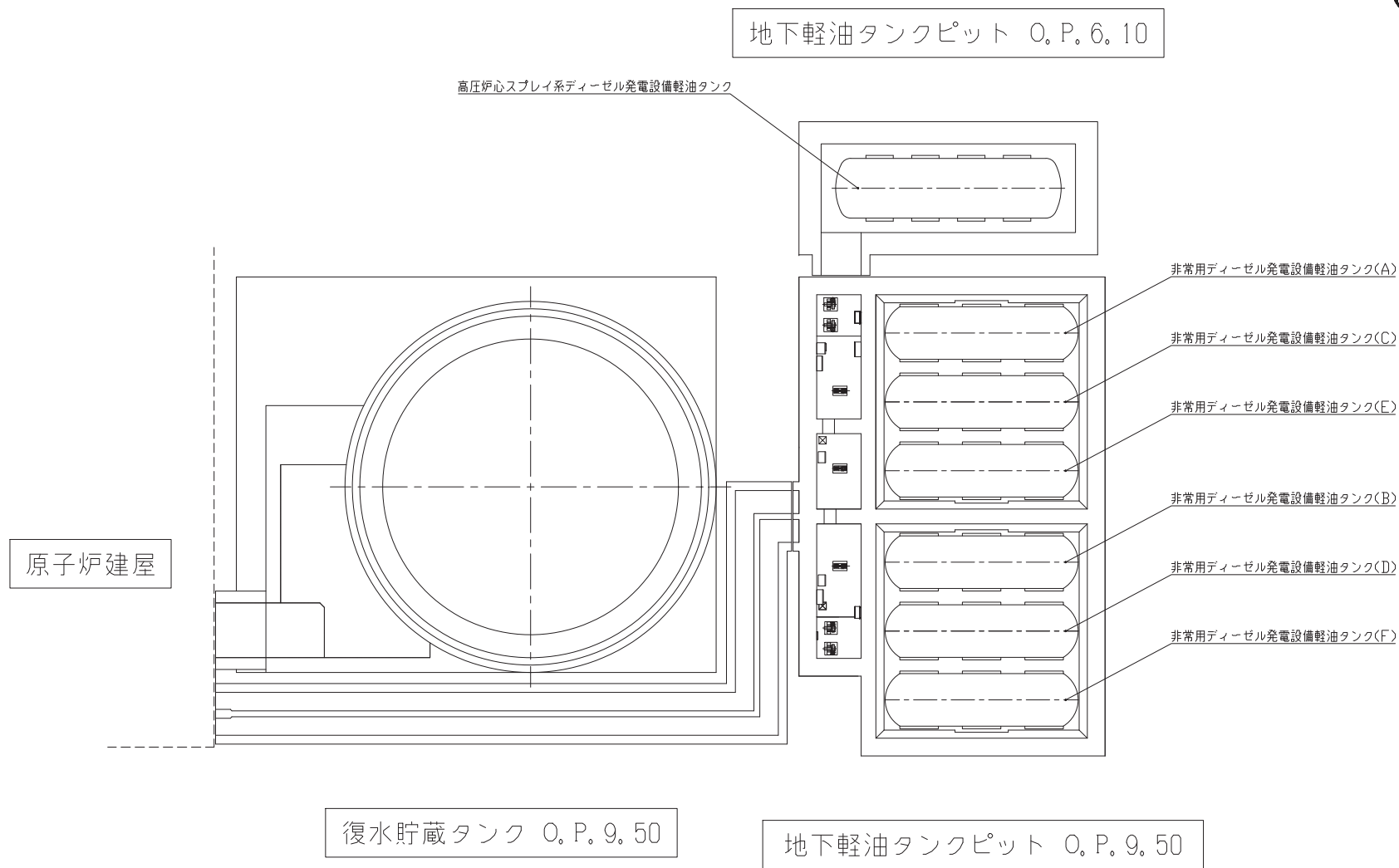
注：主要寸法は，工事計画記載の公称値を示す。

<操作盤>



2	漏電継電器	1
1	過電流継電器	1
番号	品名	個数
部品表		

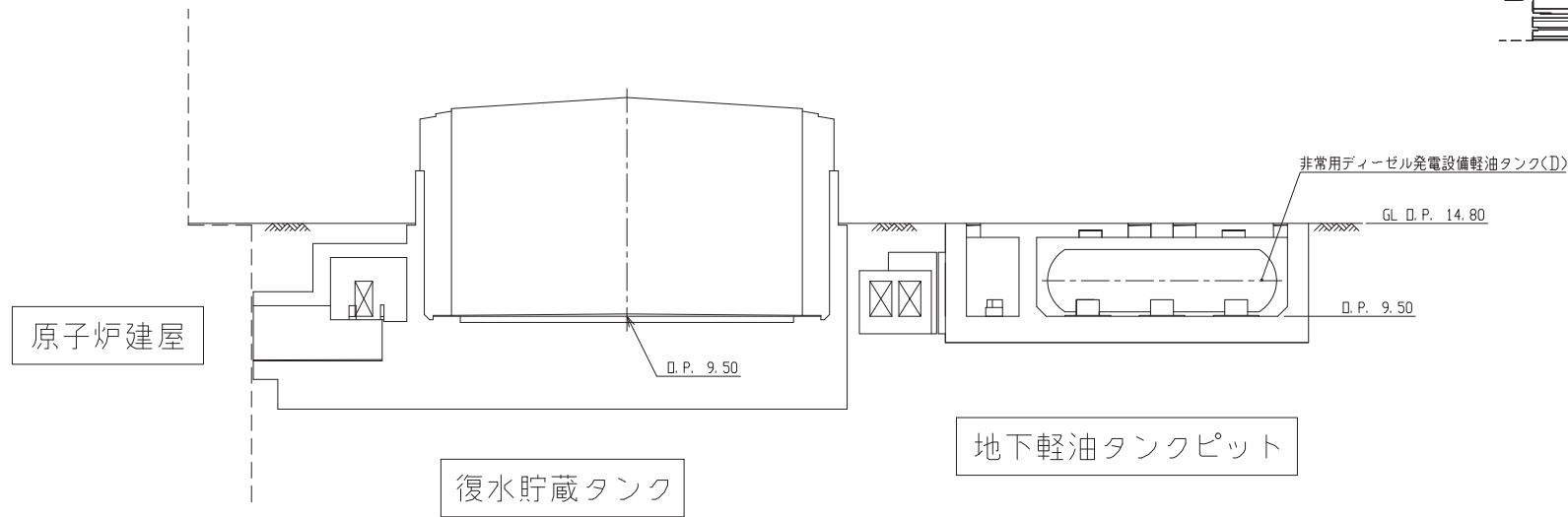
工事計画認可申請	第9-1-7-2-5図
女川原子力発電所第2号機	
名称	可搬型窒素ガス供給装置発電設備 (保護継電装置)構造図
東北電力株式会社	



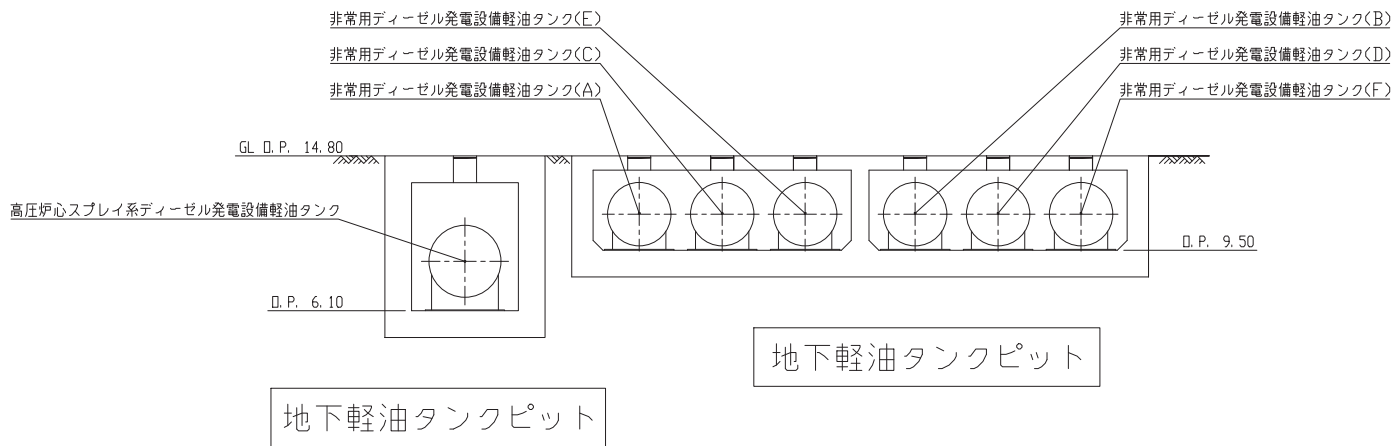
注：寸法はmを示す。

工事計画認可申請	第9-1-7-3-1 図
女川原子力発電所 第2号機	
名称	可搬型窒素ガス供給装置発電設備 機器の配置を明示した図面（その1）
東北電力株式会社	

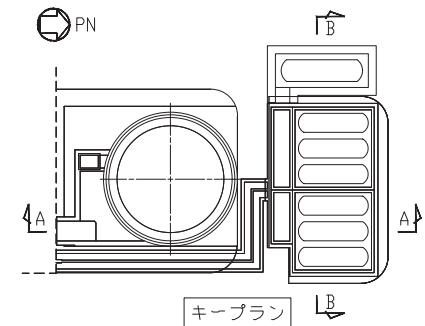




A-A断面図



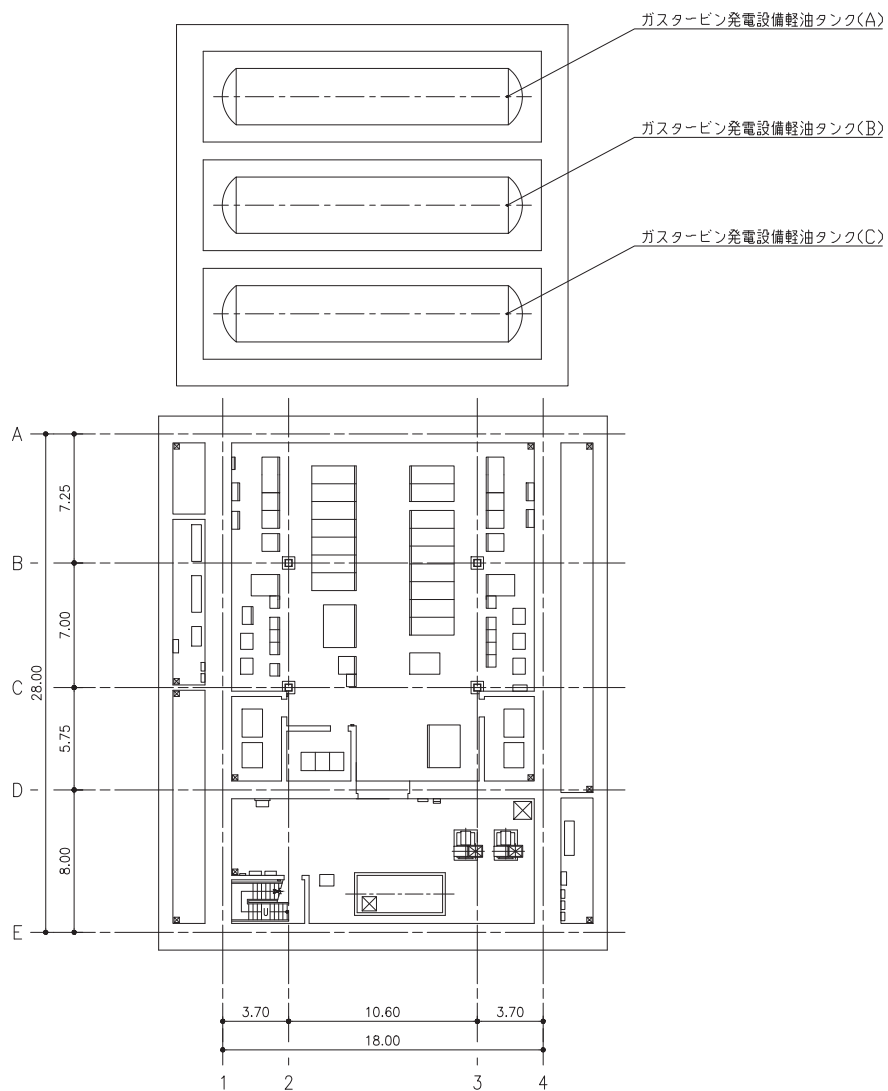
B-B断面図



注：寸法はmを示す。

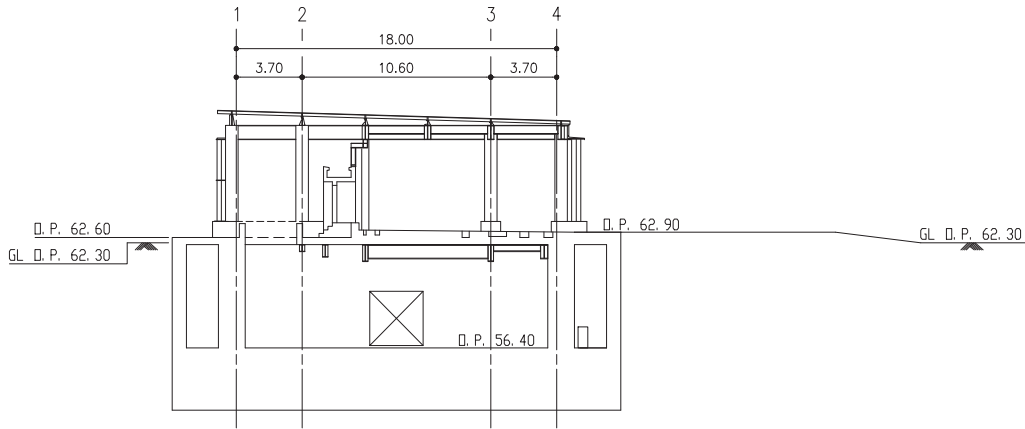
工事計画認可申請	第9-1-7-3-2図
女川原子力発電所 第2号機	
名称	可搬型窒素ガス供給装置発電設備 機器の配置を明示した図面(その2)
東北電力株式会社	

地下軽油タンクピット O. P. 56. 70



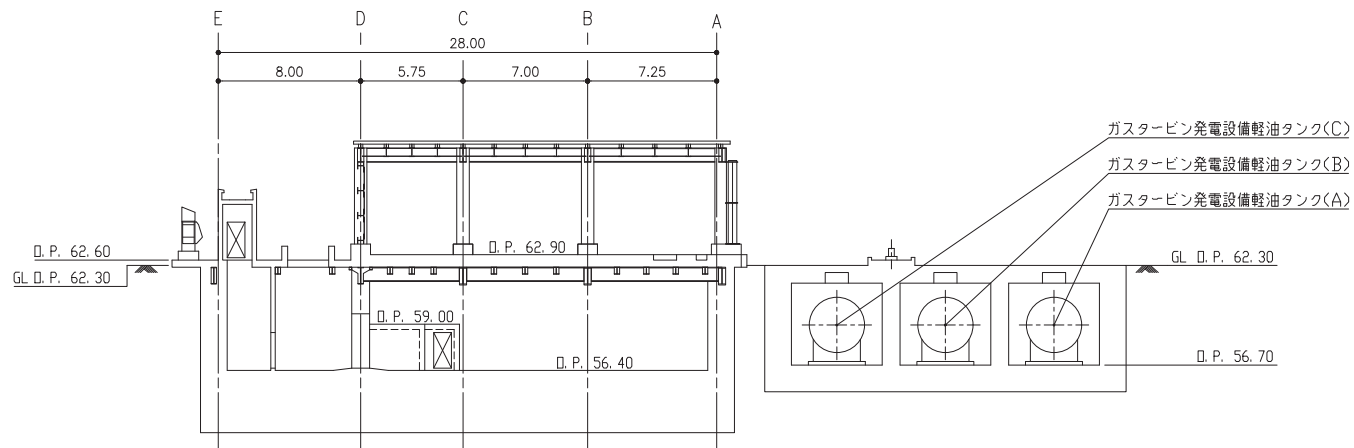
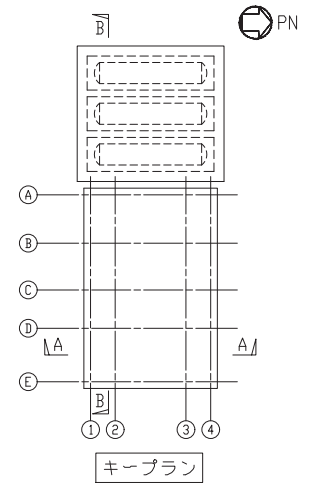
緊急用電気品建屋 O. P. 56. 40

工事計画認可申請	第9-1-7-3-3図
女川原子力発電所 第2号機	
名称	可搬型窒素ガス供給装置発電設備 機器の配置を明示した図面 (その3)
東北電力株式会社	



緊急用電気品建屋

A-A断面図



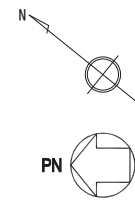
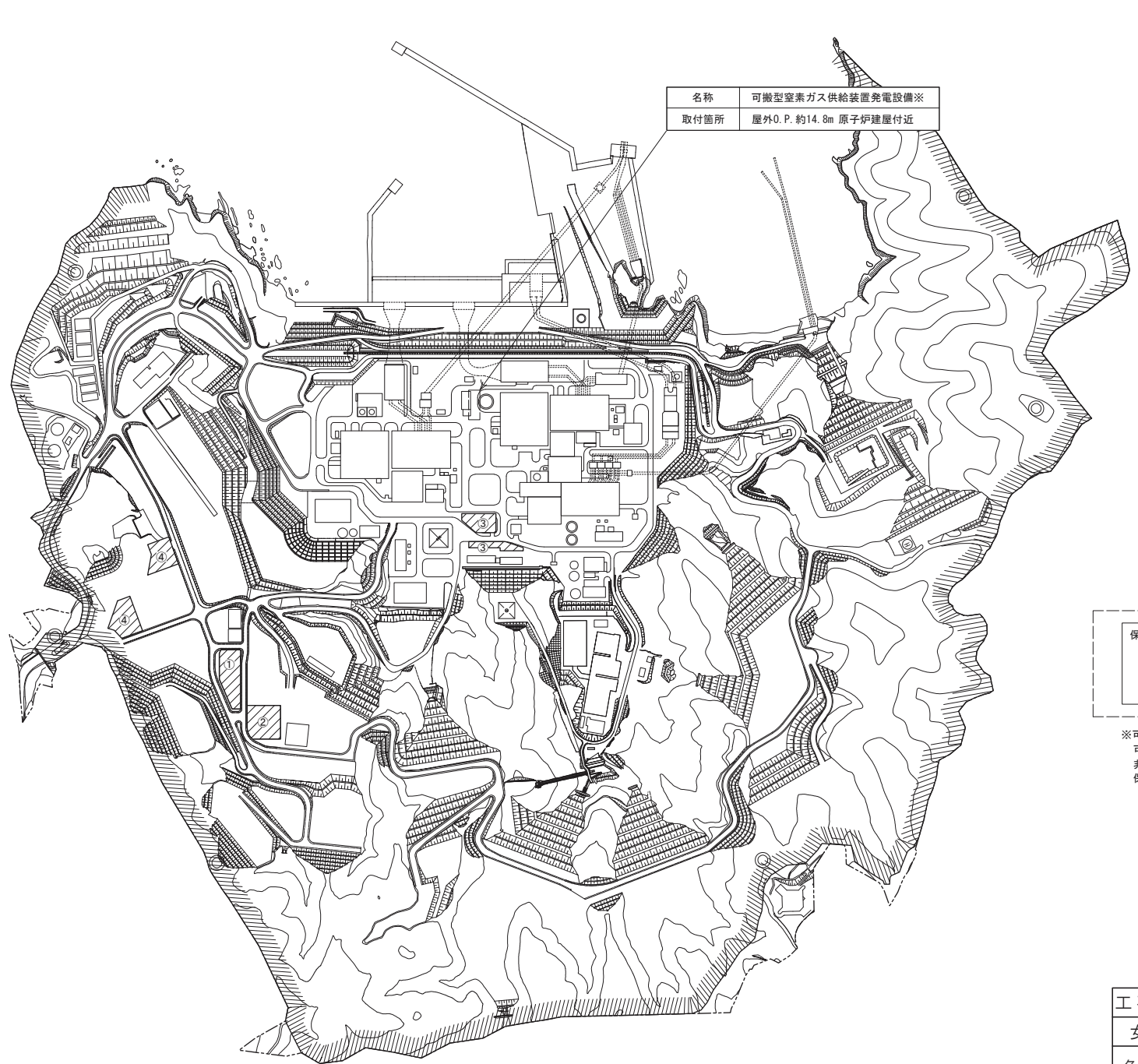
緊急用電気品建屋

地下軽油タンクピット

B-B断面図

注：寸法はmを示す。

工事計画認可申請	第9-1-7-3-4図
女川原子力発電所	第2号機
名称	可搬型窒素ガス供給装置発電設備 機器の配置を明示した図面（その4）
東北電力株式会社	



名称	可搬型窒素ガス供給装置発電設備※
取付箇所	屋外0.P. 約14.8m 原子炉建屋付近

保管場所一覧	
①第1保管エリア	屋外0.P. 約62m
②第2保管エリア	屋外0.P. 約62m
③第3保管エリア	屋外0.P. 約14.8m
④第4保管エリア	屋外0.P. 約62m

※可搬型窒素ガス供給装置の付属設備である。  
 可搬型窒素ガス供給装置発電設備（内燃機関、調速装置、  
 非常調速装置、冷却水ポンプ、燃料タンク、発電機、励磁装置、  
 保護継電装置）

▨ : 保管場所  
 - - - : 取付箇所

工事計画認可申請 第9-1-7-3-5図

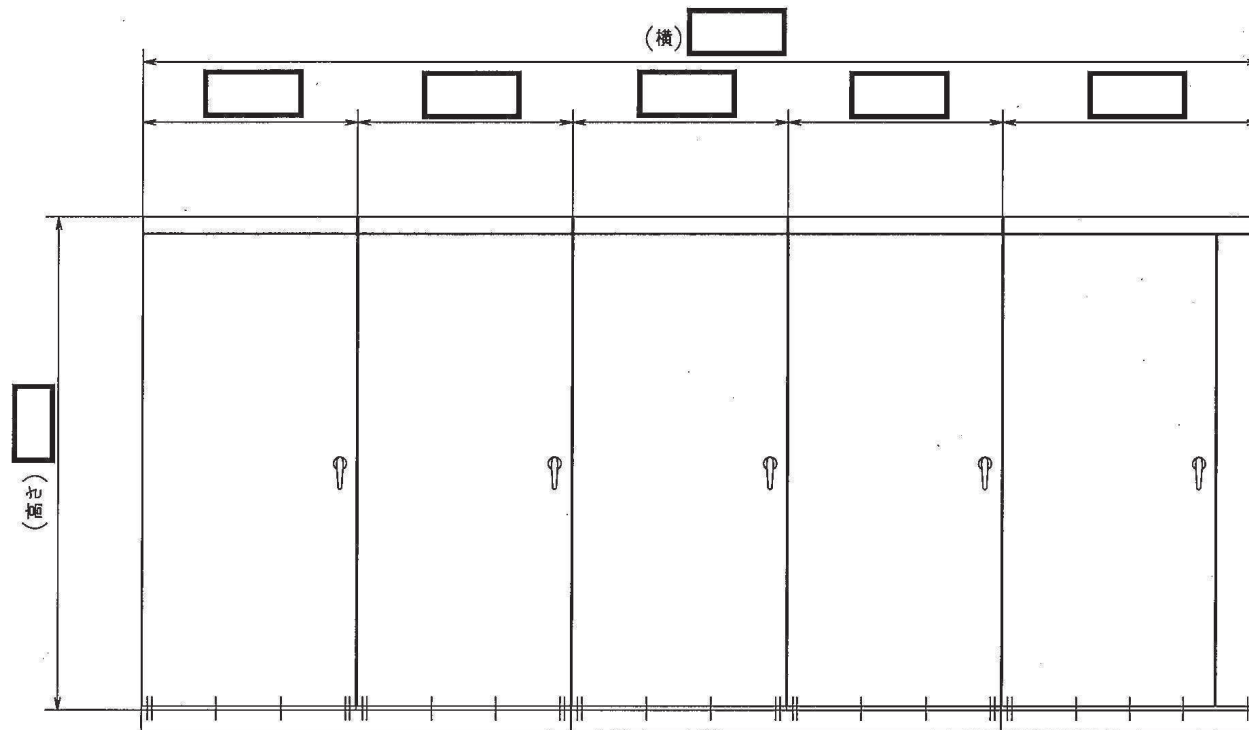
女川原子力発電所 第2号機

名称	可搬型窒素ガス供給装置発電設備 機器の配置を明示した図面（その5）
----	--------------------------------------

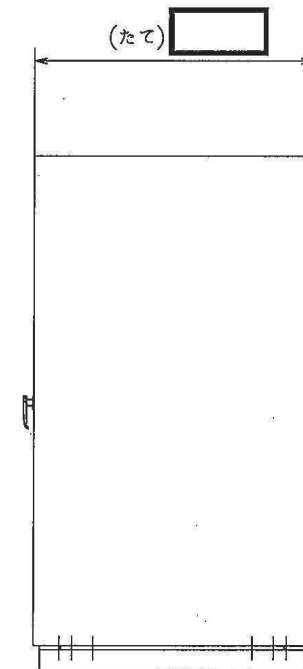
東北電力株式会社

## 9.1.8 その他の電源装置

### 9.1.8.1 無停電電源装置



正面図



側面図

無停電交流電源用静止形無停電電源装置







注：特記なき寸法はmmを示す。  
特記なき寸法は公称値を示す。

工事計画認可申請	第9-1-8-1-1-1図
女川原子力発電所 第2号機	
名称	無停電交流電源用 静止形無停電電源装置構造図
東北電力株式会社	
0403	

特図みの内容は商業機密の観点から公開できません。

第9-1-8-1-1-1 図 無停電交流電源用静止形無停電電源装置 別紙

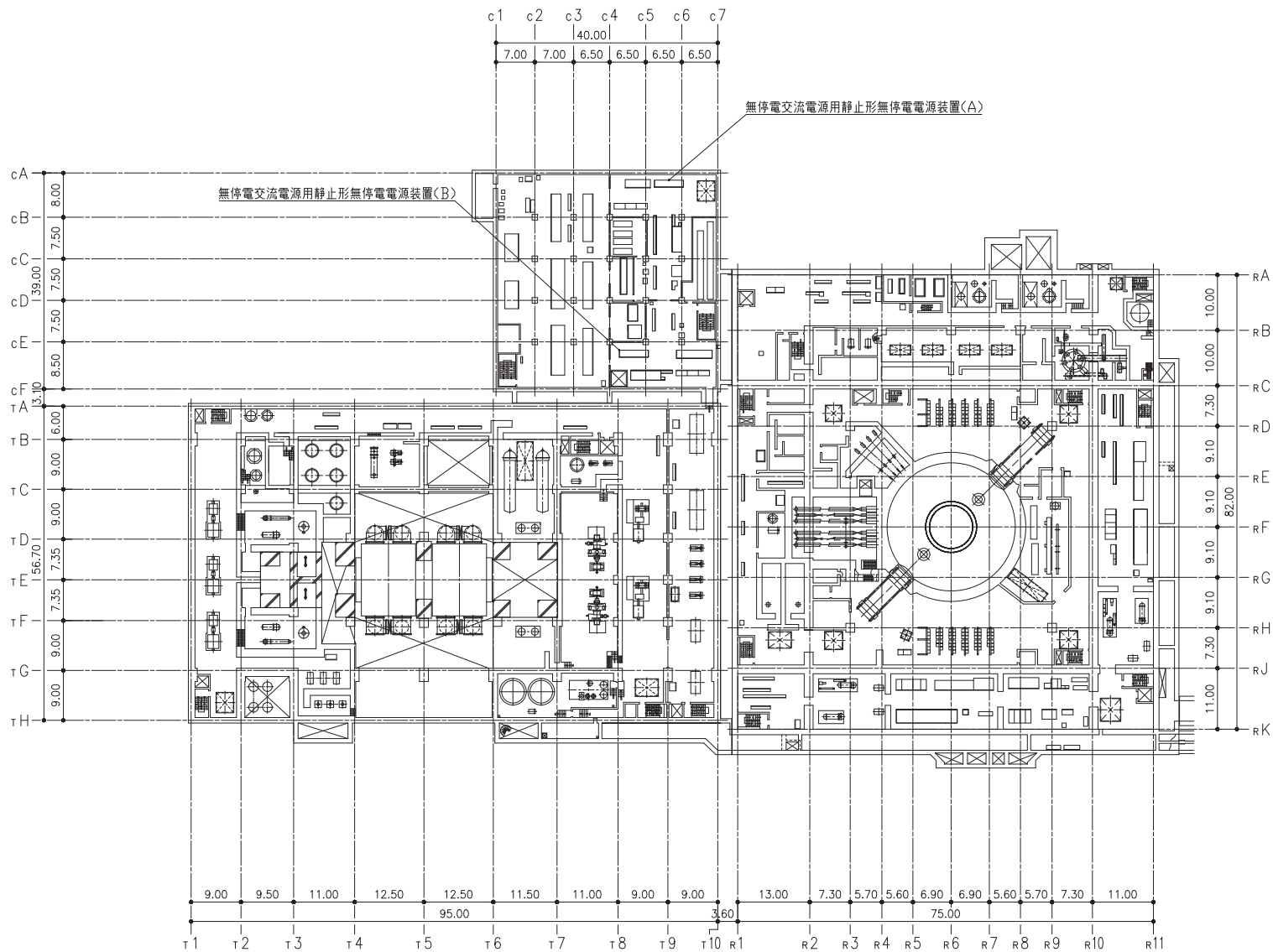
工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
た て			JEM-1459による製造公差
横			同上
高 さ			同上

注：主要寸法は、工事計画記載の公称値を示す。



制御建屋 O.P. 8.00



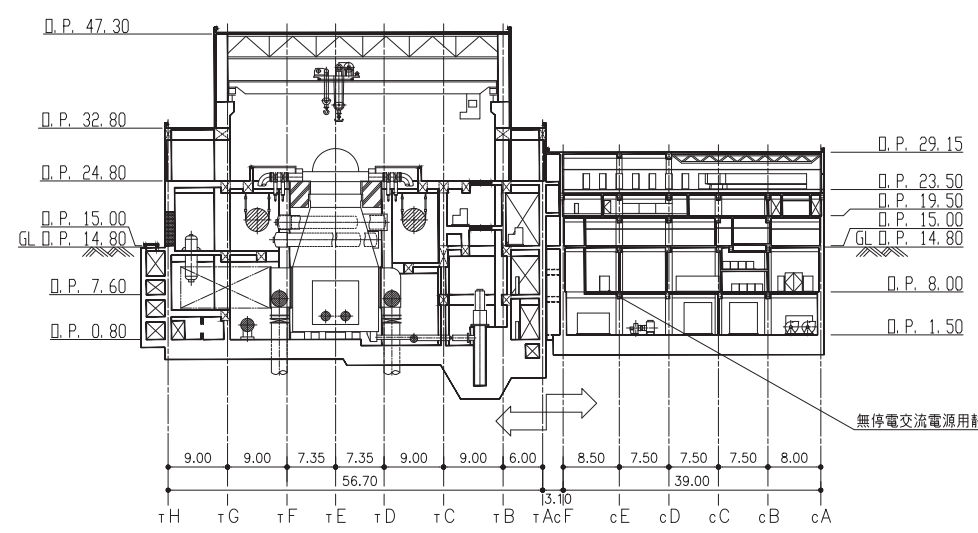
タービン建屋 O.P. 7.60

原子炉建屋 O.P. 6.00 (一部 9.10)

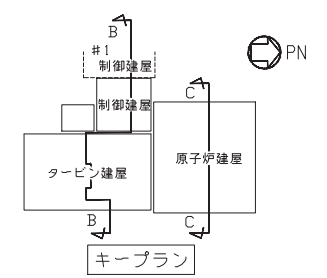
注：寸法はmを示す。

工事計画認可申請	第9-1-8-1-2-1図
女川原子力発電所 第2号機	
名称	無停電電源装置 機器の配置を明示した図面 (その1)
東北電力株式会社	

タービン建屋

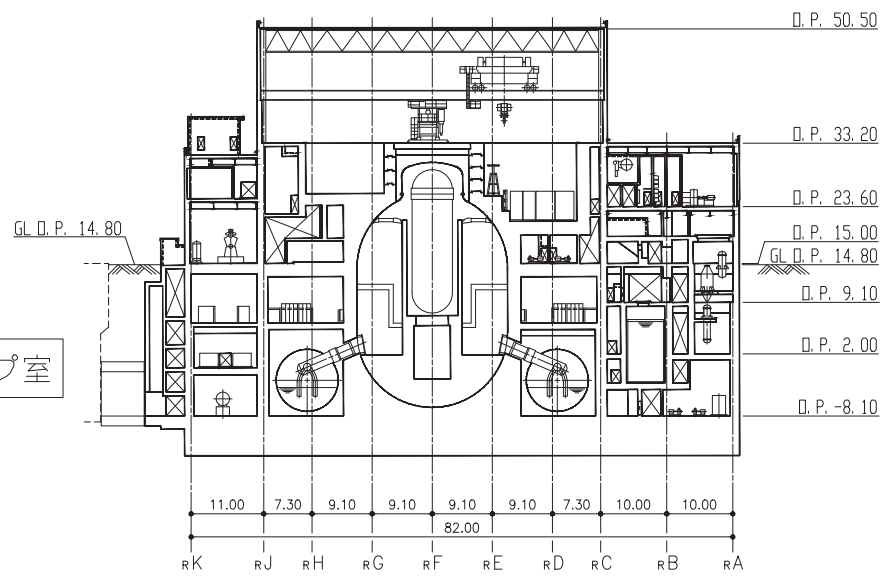


制御建屋



B-B断面図

海水ポンプ室



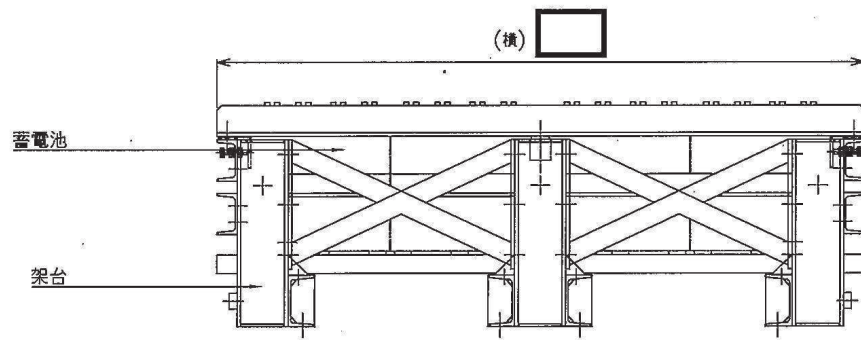
原子炉建屋

C-C断面図

注：寸法はmを示す。

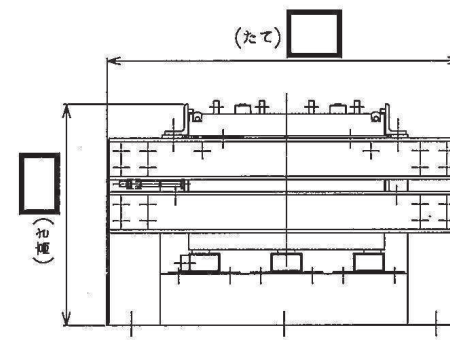
工事計画認可申請	第9-1-8-1-2-2図
女川原子力発電所 第2号機	
名称	無停電電源装置 機器の配置を明示した図面(その2)
東北電力株式会社	

## 9.1.8.2 電力貯蔵装置

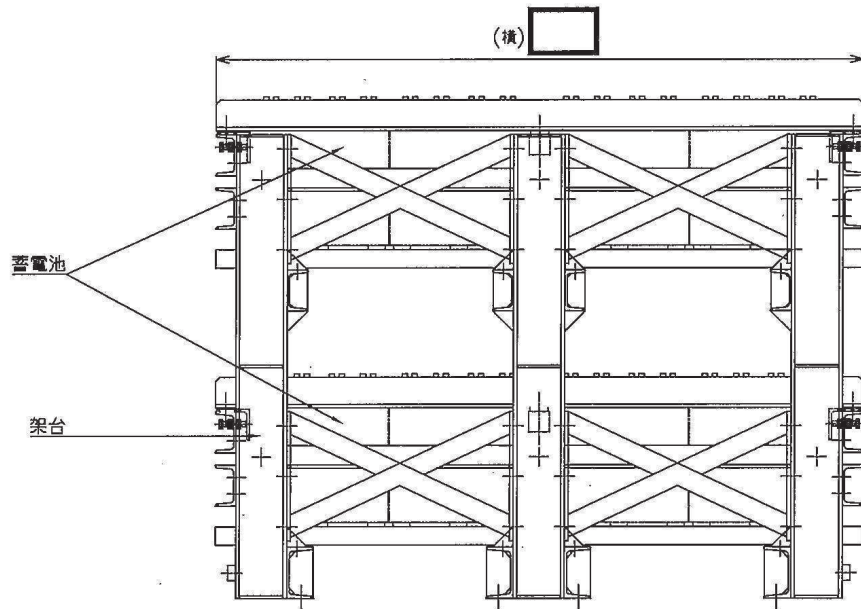


正面図

蓄電池架台図(1段1列, 2000Ah用)

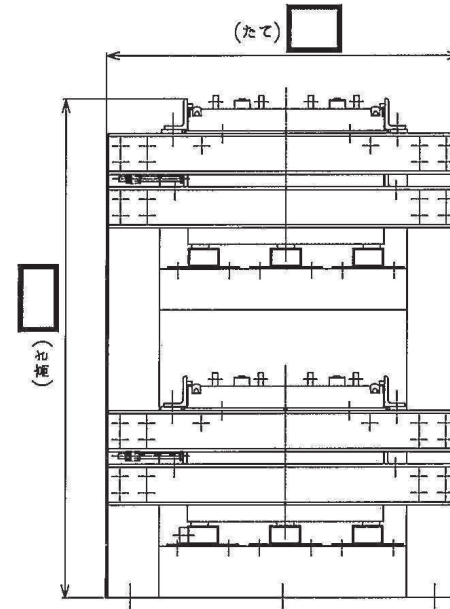


側面図



正面図

蓄電池架台図(2段1列, 2000Ah用)



側面図







注：特記なき寸法はmmを示す。  
特記なき寸法は公称値を示す。

工事計画認可申請	第9-1-8-2-1-1図
女川原子力発電所 第2号機	
名称	125V蓄電池構造図(その1)
東北電力株式会社	
0330	

第9-1-8-2-1-1 図 125V 蓄電池構造図（その1） 別紙







工事計画記載の公称値の許容範囲

(4 個並び2 段1 列)

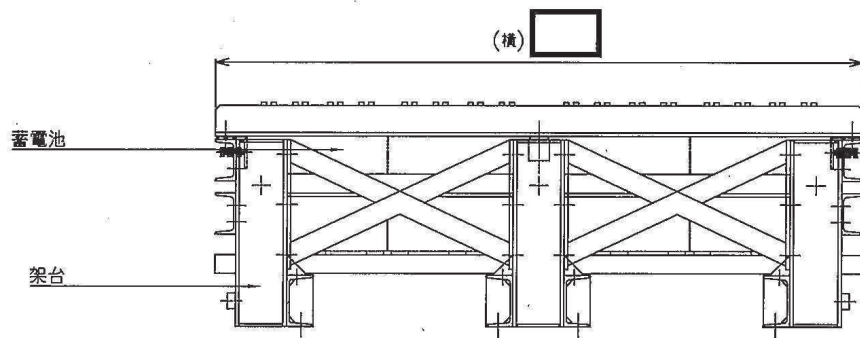
主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
た て			製造能力，製造実績を考慮したメーカー基準
横			同上
高 さ			同上

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値を示す。

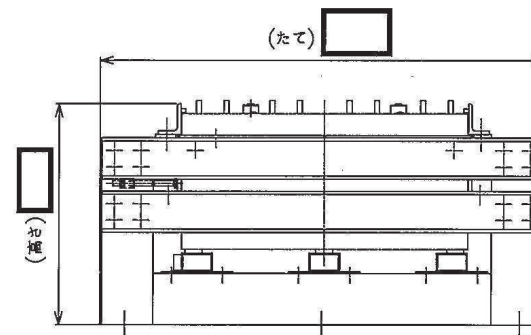
(4 個並び1 段1 列)

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
た て			製造能力，製造実績を考慮したメーカー基準
横			同上
高 さ			同上

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値を示す。

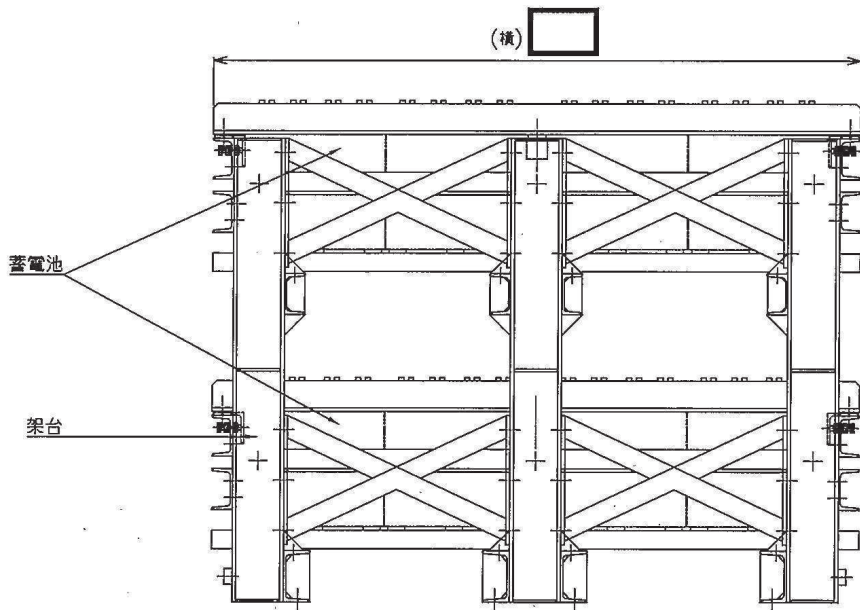


正面図

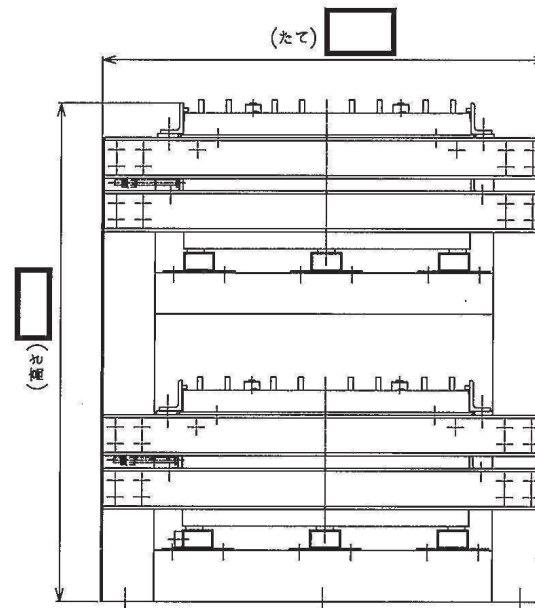


側面図

蓄電池架台図(1段1列, 3000Ah用)



正面図



側面図

蓄電池架台図(2段1列, 3000Ah用)







注：特記なき寸法はmmを示す。  
特記なき寸法は公称値を示す。

工事計画認可申請	第9-1-8-2-1-2図
女川原子力発電所 第2号機	
名称	125V蓄電池構造図(その2)
東北電力株式会社	

第9-1-8-2-1-2 図 125V 蓄電池構造図（その2） 別紙







工事計画記載の公称値の許容範囲

(4 個並び2 段1 列)

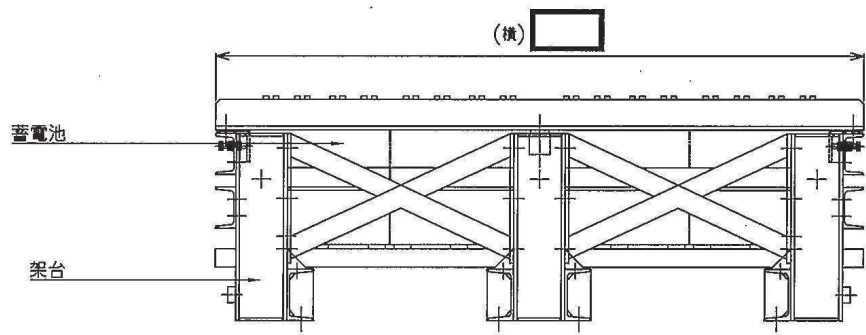
主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
た て			製造能力，製造実績を考慮したメーカー基準
横			同上
高 さ			同上

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値を示す。

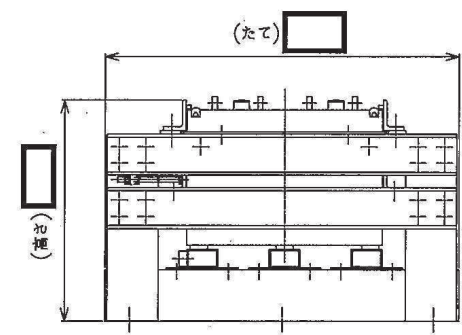
(4 個並び1 段1 列)

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
た て			製造能力，製造実績を考慮したメーカー基準
横			同上
高 さ			同上

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値を示す。



正面図



側面図

蓄電池架台図 (1段1列, 2000Ah用)

注：特記なき寸法はmmを示す。  
特記なき寸法は公称値を示す。







工事計画認可申請	第9-1-8-2-1-3図
女川原子力発電所 第2号機	
名称	125V代替蓄電池構造図
東北電力株式会社	
0330	



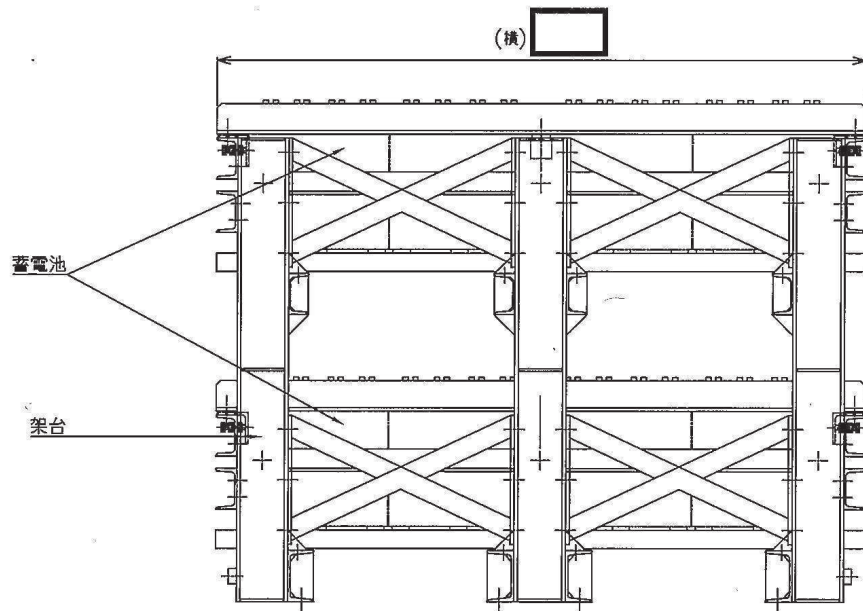
第9-1-8-2-1-3 図 125V 代替蓄電池構造図 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

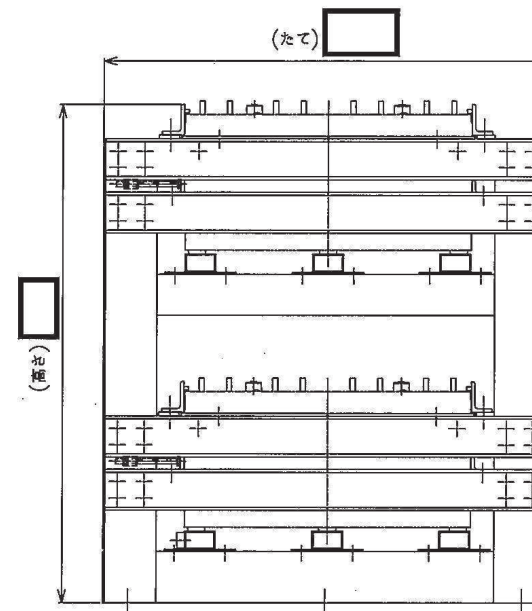
(4 個並び 1 段 1 列)

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
た て			製造能力，製造実績を考慮したメーカー基準
横			同上
高 さ			同上

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値を示す。



正面図



側面図

蓄電池架台図(2段1列, 3000Ah用)

注：特記なき寸法はmmを示す。  
特記なき寸法は公称値を示す。

工事計画認可申請	第9-1-8-2-1-4図
女川原子力発電所 第2号機	
名称	250V蓄電池構造図
東北電力株式会社	
0330	

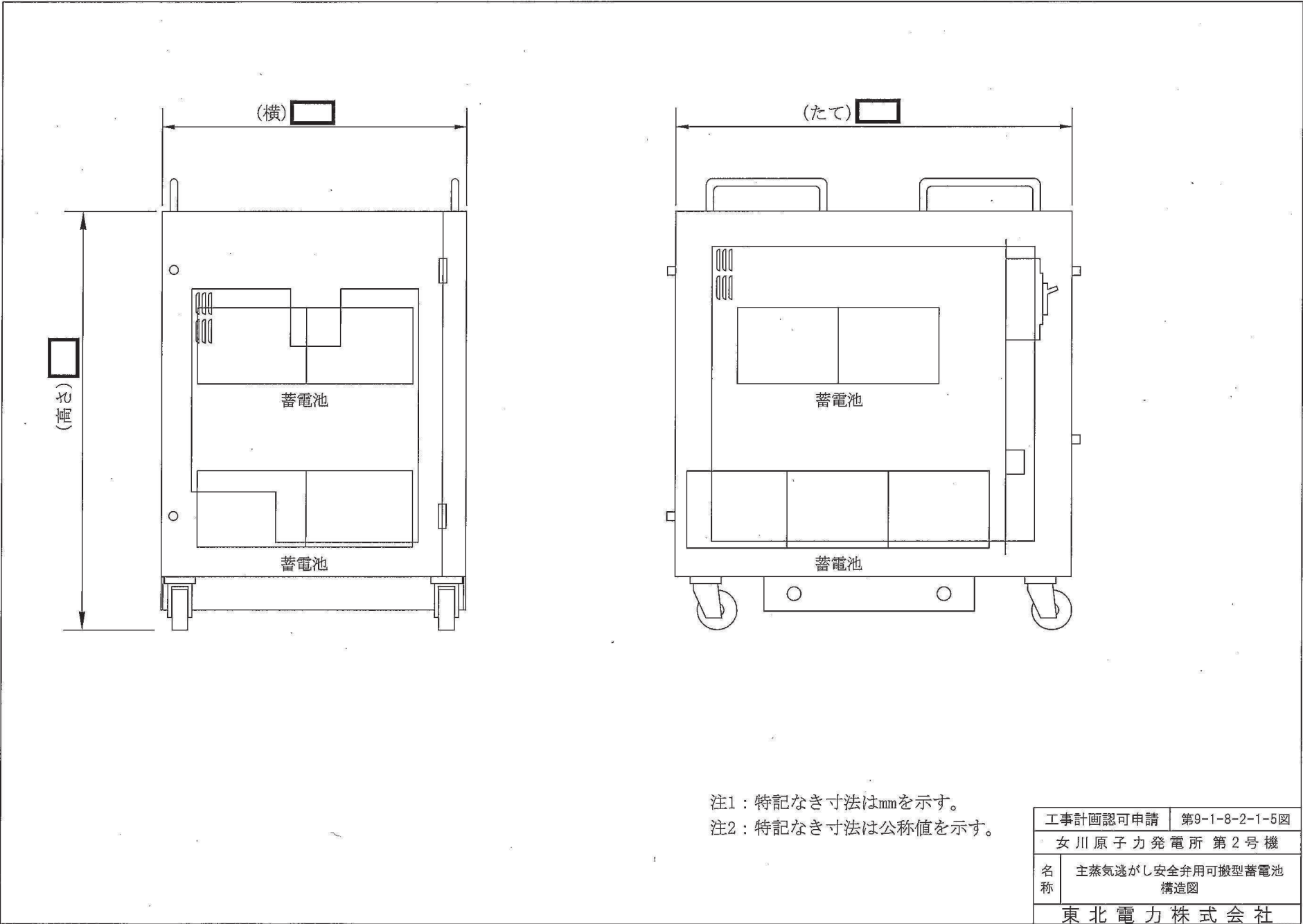
第9-1-8-2-1-4 図 250V 蓄電池構造図 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

(4 個並び2 段1 列)

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
た て	<input type="text"/>	<input type="text"/>	製造能力，製造実績を考慮したメーカー基準
横	<input type="text"/>	<input type="text"/>	同上
高 さ	<input type="text"/>	<input type="text"/>	同上

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値を示す。



注1：特記なき寸法はmmを示す。  
 注2：特記なき寸法は公称値を示す。

工事計画認可申請	第9-1-8-2-1-5図
女川原子力発電所 第2号機	
名称	主蒸気逃がし安全弁用可搬型蓄電池 構造図
東北電力株式会社	

第 9-1-8-2-1-5 図 主蒸気逃がし安全弁用可搬型蓄電池 別紙

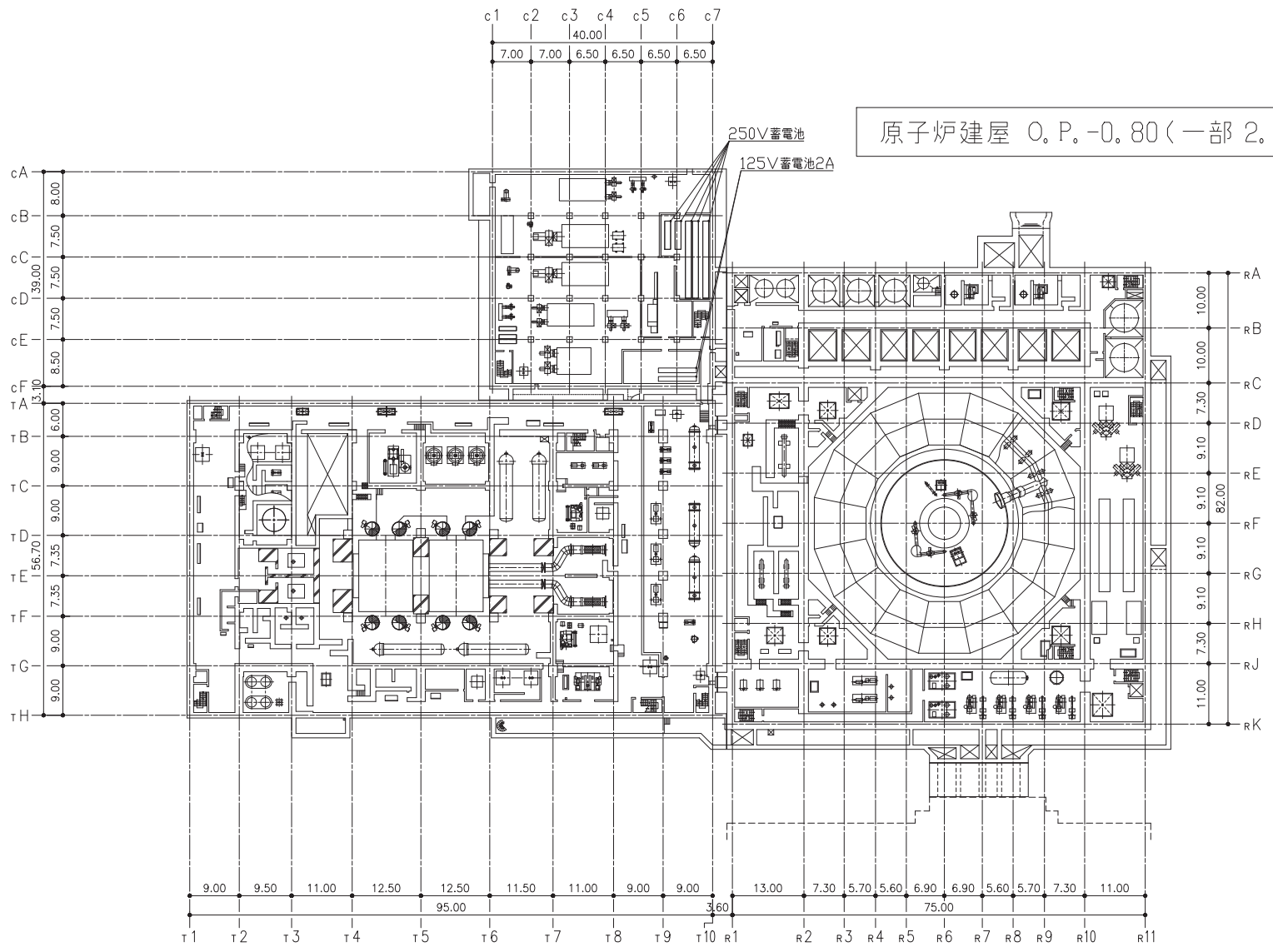
工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
た	て		JEM-1459 による製造公差
横			同上
高	さ		同上

注 : 主要寸法は, 工事計画記載の公称値を示す。

制御建屋 O. P. 1.50

原子炉建屋 O. P. -0.80 (一部 2.00)



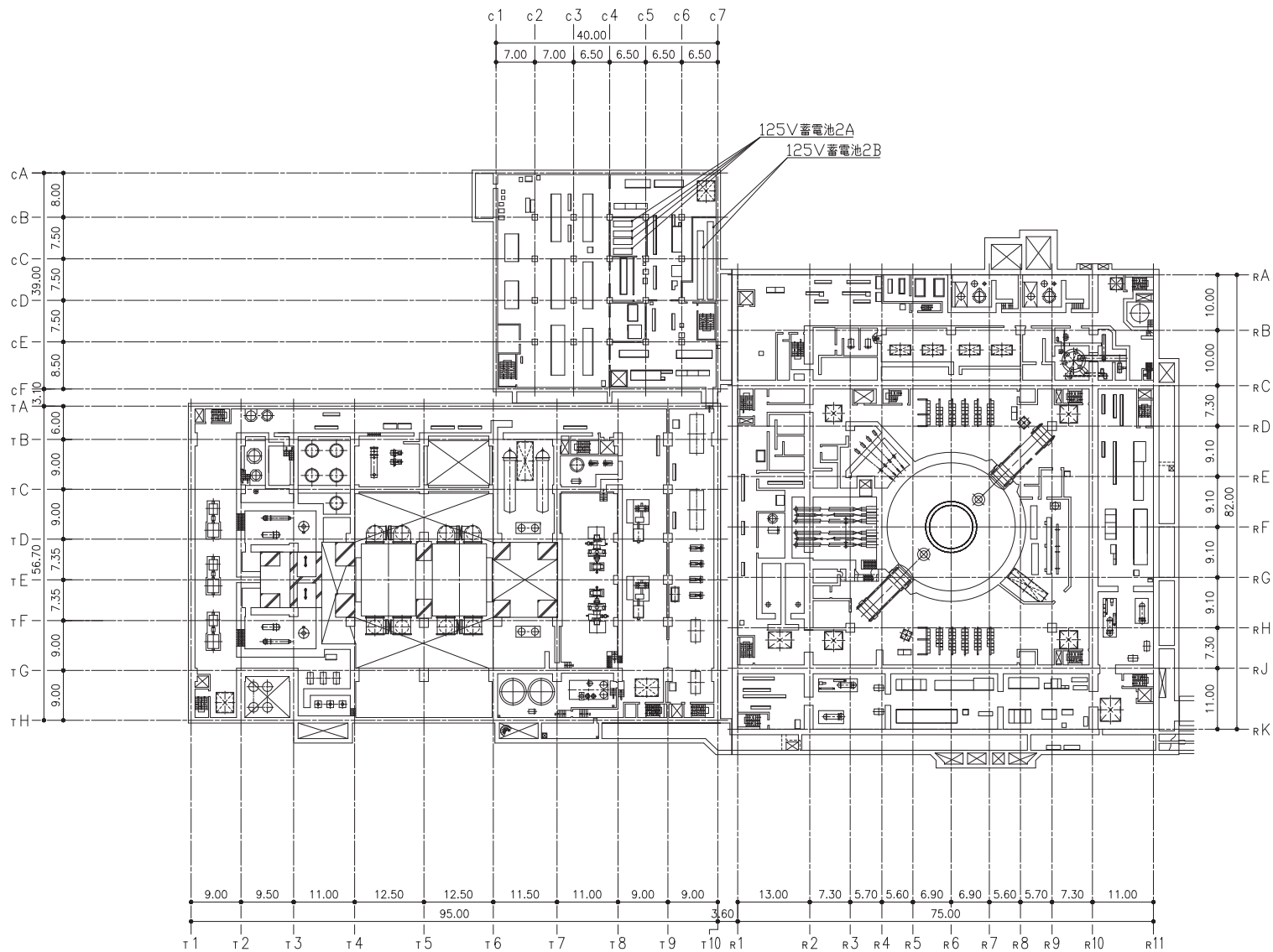
タービン建屋 O. P. 0.80

海水ポンプ室

注：寸法はmを示す。

工事計画認可申請	第9-1-8-2-2-1図
女川原子力発電所 第2号機	
名称	電力貯蔵装置 機器の配置を明示した図面 (その1)
東北電力株式会社	

制御建屋 O.P. 8.00



タービン建屋 O.P. 7.60

原子炉建屋 O.P. 6.00 (一部 9.10)

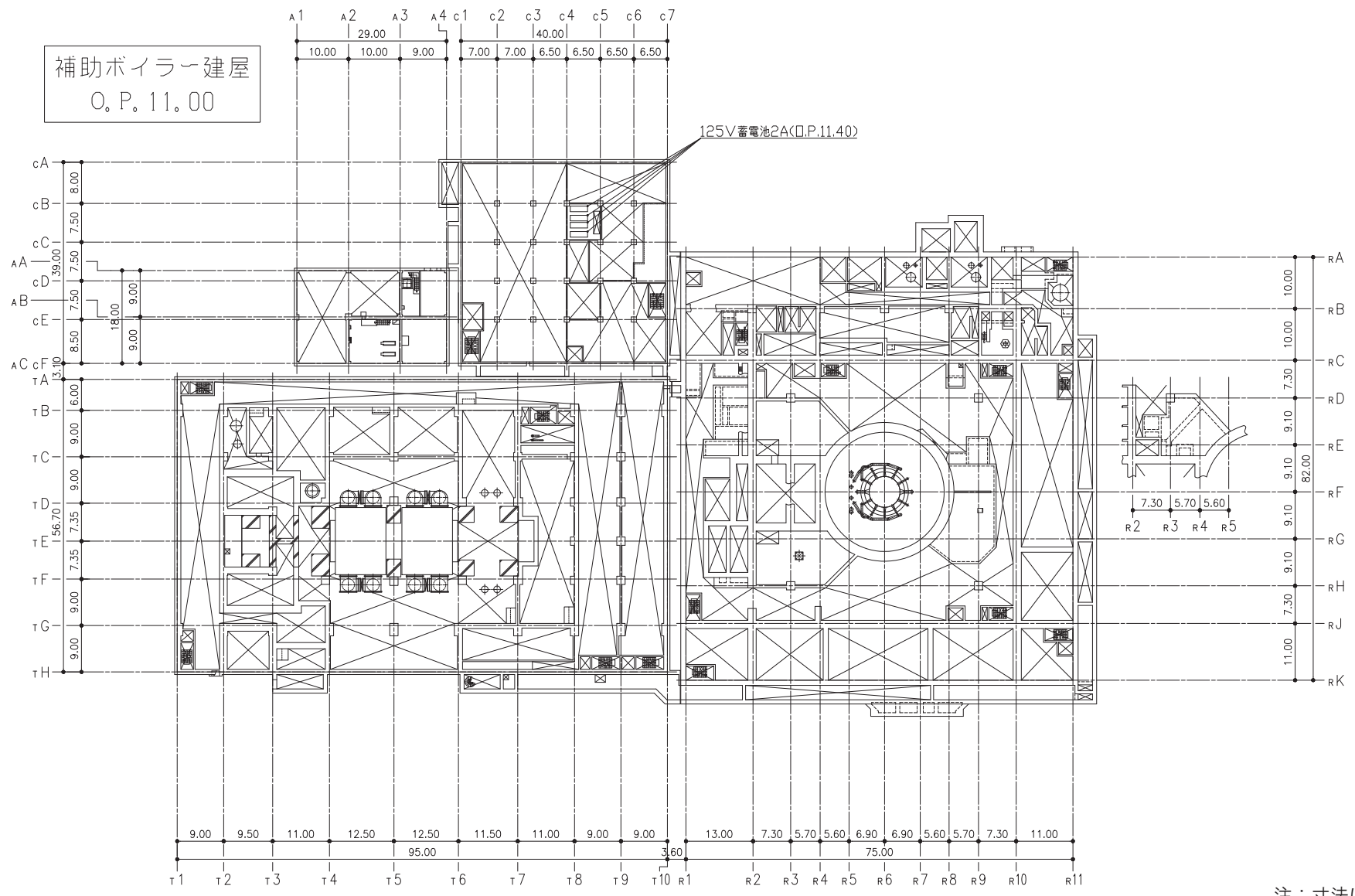
注：寸法はmを示す。

工事計画認可申請	第9-1-8-2-2-2図
女川原子力発電所 第2号機	
名称	電力貯蔵装置 機器の配置を明示した図面 (その2)
東北電力株式会社	

制御建屋 MB1F

補助ボイラー建屋  
O.P. 11.00

125V蓄電池2A(O.P.11.40)



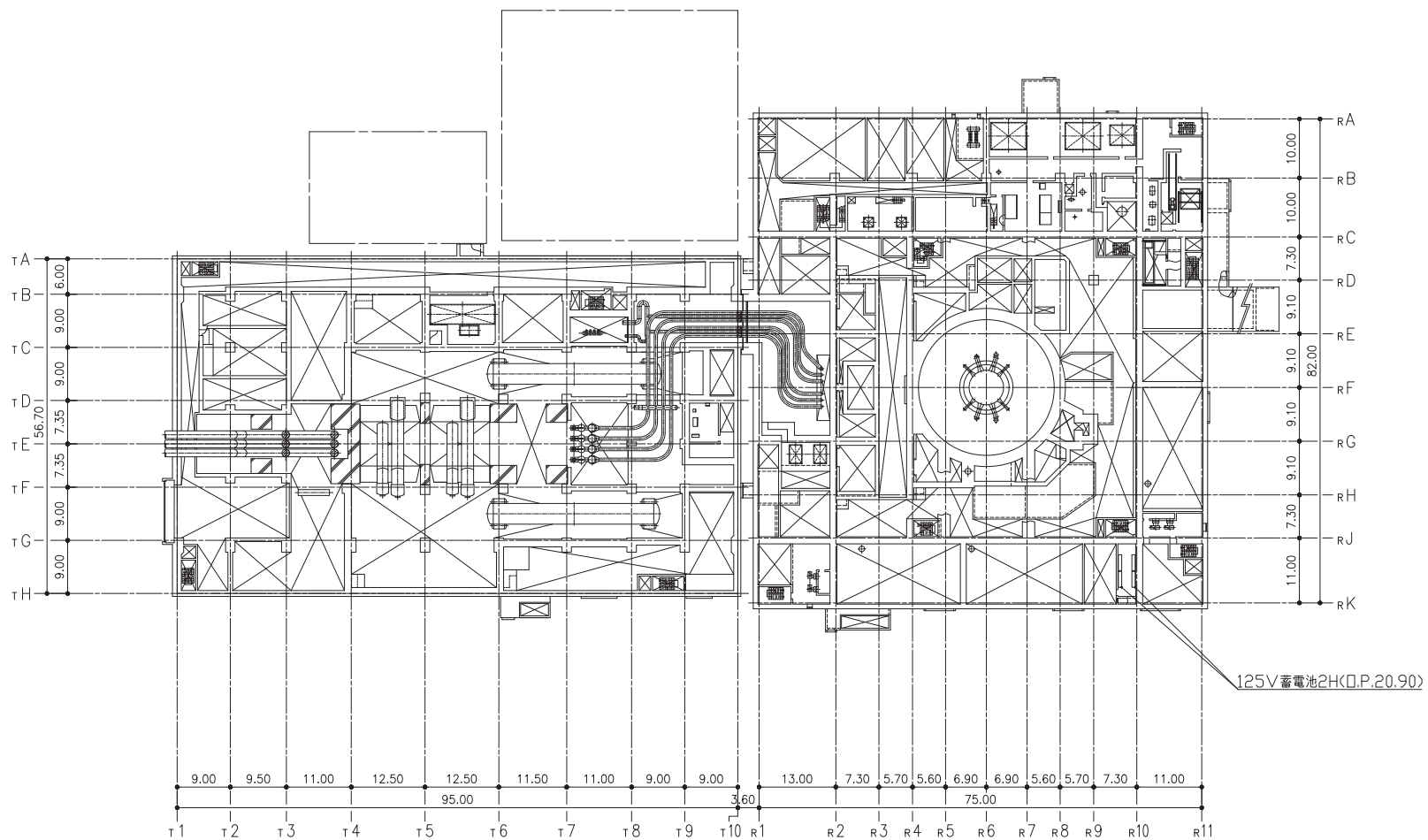
タービン建屋 MB1F

原子炉建屋 MB1F

注：寸法はmを示す。

工事計画認可申請	第9-1-8-2-2-3図
女川原子力発電所 第2号機	
名称	電力貯蔵装置 機器の配置を明示した図面(その3)
東北電力株式会社	





タービン建屋 M2F

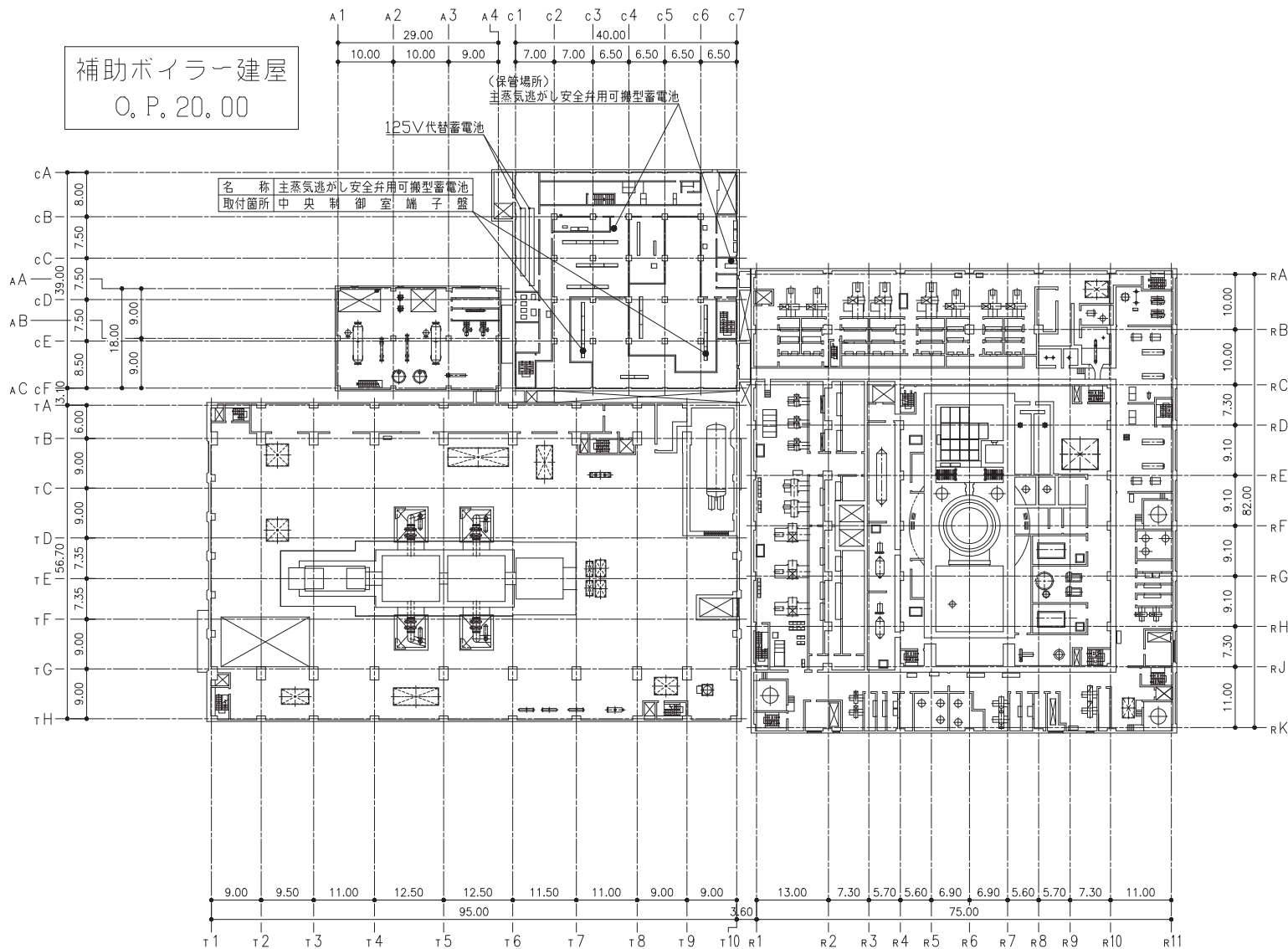
原子炉建屋 M2F

注：寸法はmを示す。

工事計画認可申請	第9-1-8-2-2-4図
女川原子力発電所	第2号機
名	電力貯蔵装置
称	機器の配置を明示した図面(その4)
東北電力株式会社	

制御建屋 O. P. 19. 50

補助ボイラー建屋  
O. P. 20. 00



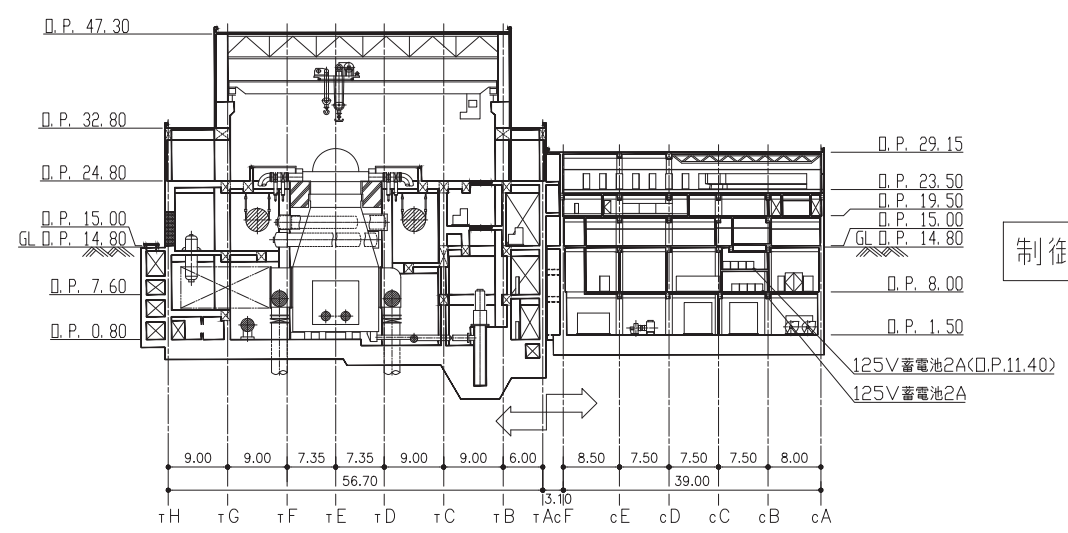
タービン建屋 O. P. 24. 80

原子炉建屋 O. P. 22. 50 (一部 24. 80)

注：寸法はmを示す。

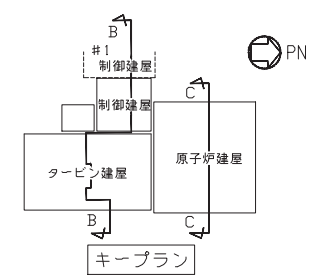
工事計画認可申請	第9-1-8-2-2-5図
女川原子力発電所 第2号機	
名称	電力貯蔵装置 機器の配置を明示した図面 (その5)
東北電力株式会社	

タービン建屋

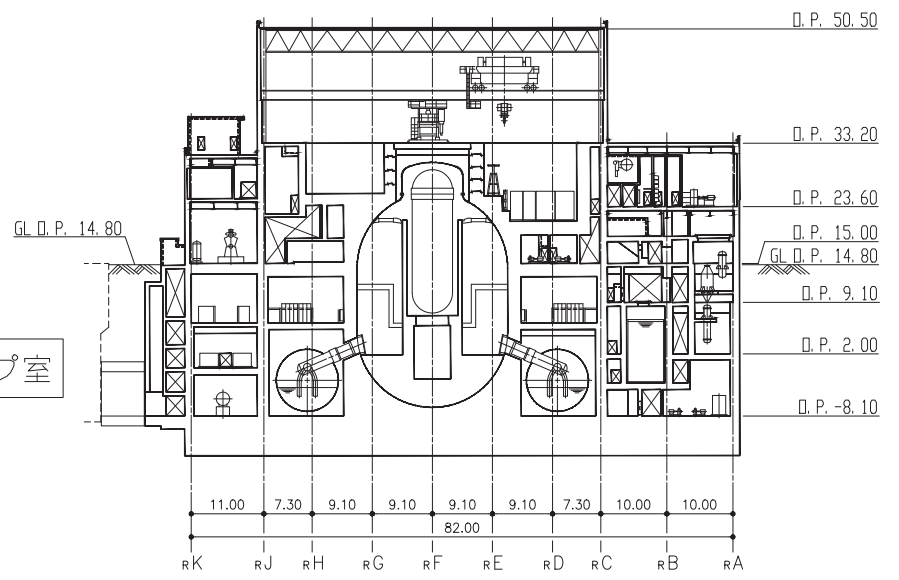


B-B断面図

制御建屋



海水ポンプ室



C-C断面図

原子炉建屋

注：寸法はmを示す。

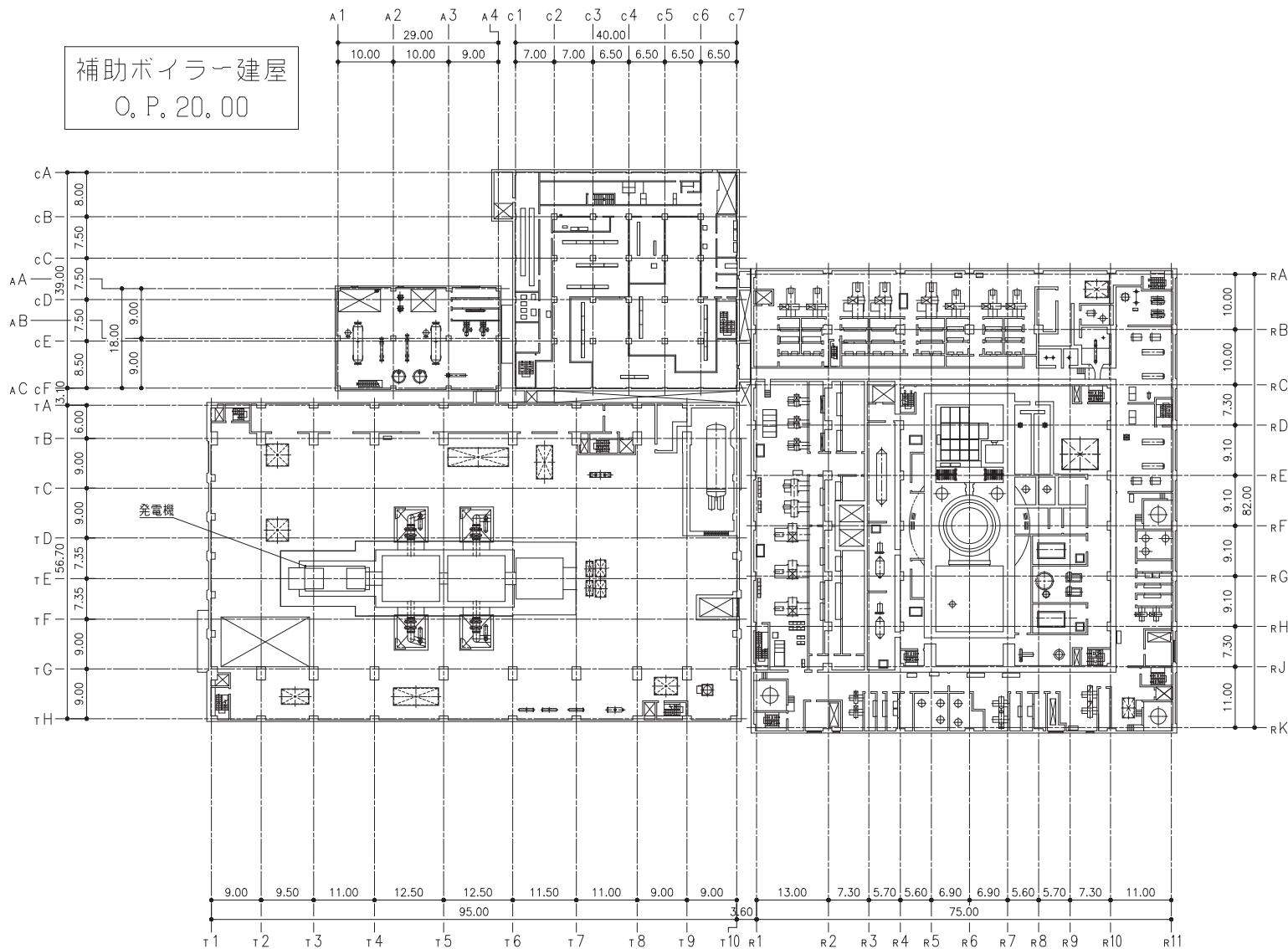
工事計画認可申請	第9-1-8-2-2-6図
女川原子力発電所 第2号機	
名称	電力貯蔵装置 機器の配置を明示した図面(その6)
東北電力株式会社	

## 9.2 常用電源設備



制御建屋 O.P. 19.50

補助ボイラー建屋  
O.P. 20.00

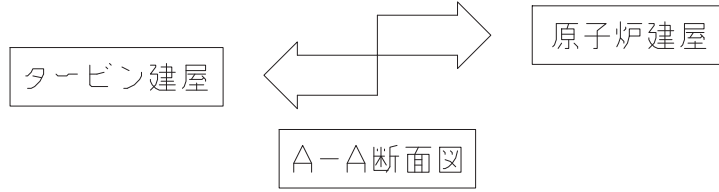
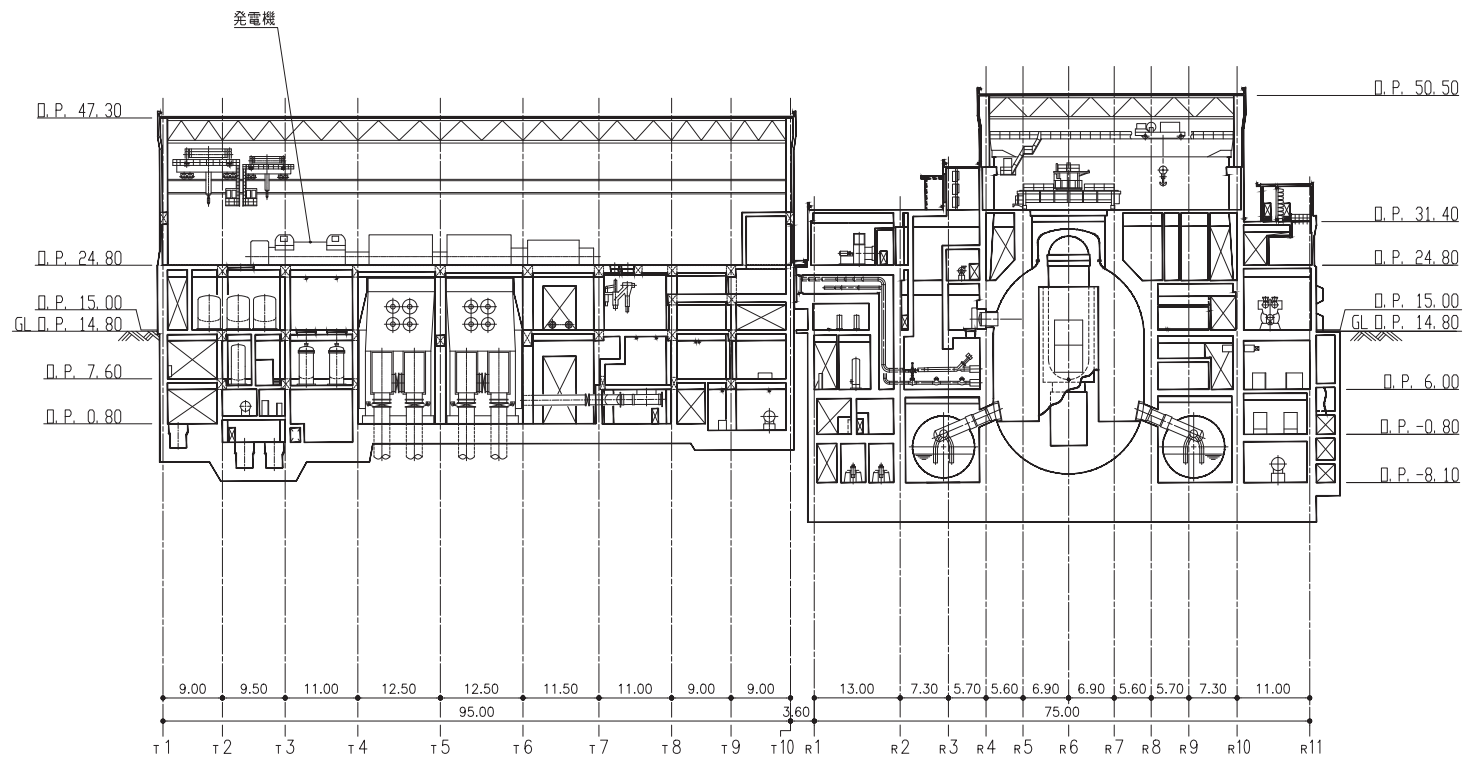
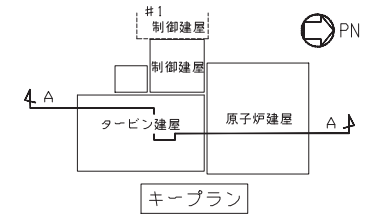


タービン建屋 O.P. 24.80

原子炉建屋 O.P. 22.50 (一部 24.80)

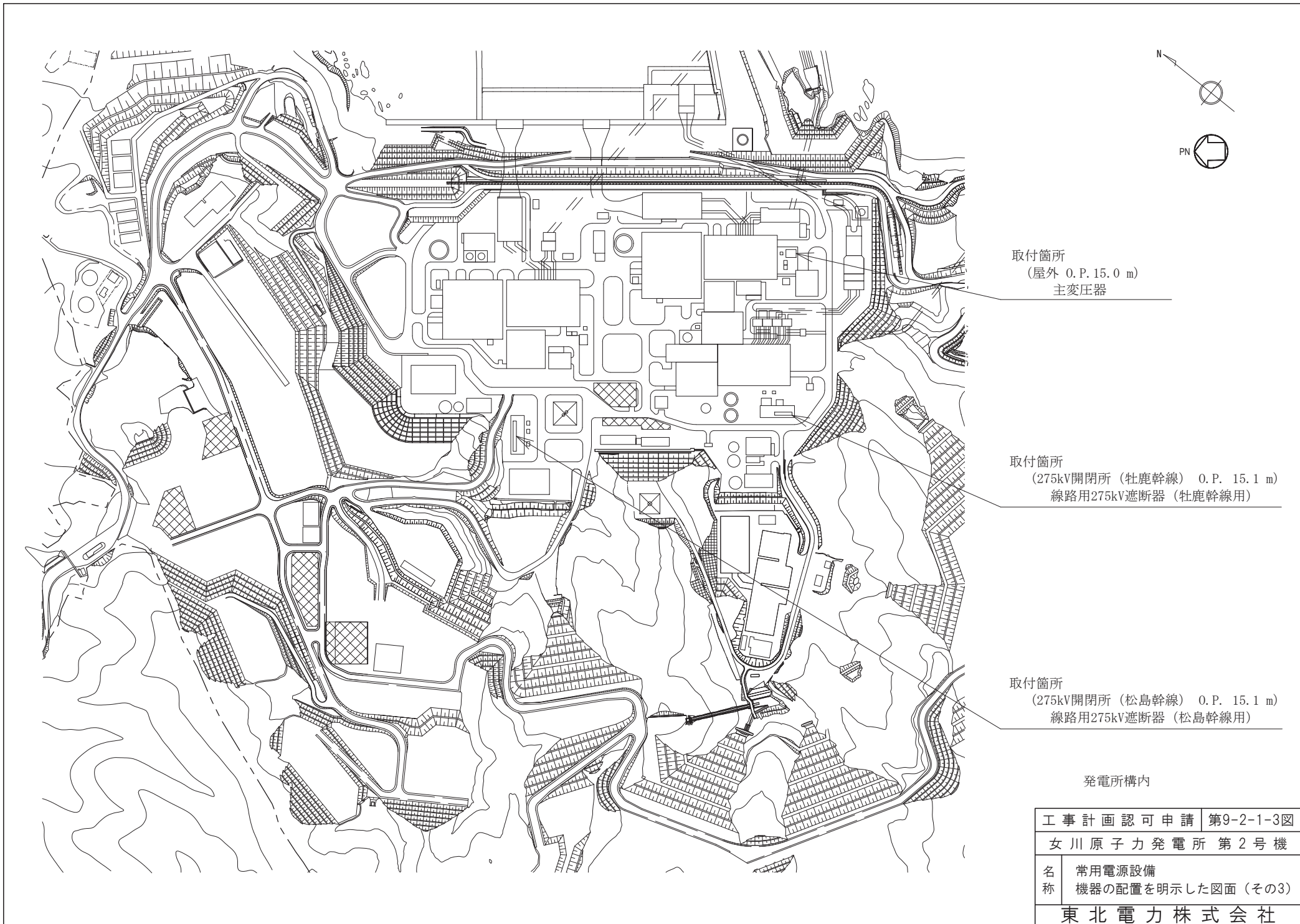
注：寸法はmを示す。

工事計画認可申請	第9-2-1-1 図
女川原子力発電所 第2号機	
名称	常用電源設備 機器の配置を明示した図面 (その1)
東北電力株式会社	



注：寸法はmを示す。

工事計画認可申請	第9-2-1-2図
女川原子力発電所 第2号機	
名称	常用電源設備 機器の配置を明示した図面(その2)
東北電力株式会社	



取付箇所  
(屋外 O.P. 15.0 m)  
主変圧器

取付箇所  
(275kV開閉所 (牡鹿幹線) O.P. 15.1 m)  
線路用275kV遮断器 (牡鹿幹線用)

取付箇所  
(275kV開閉所 (松島幹線) O.P. 15.1 m)  
線路用275kV遮断器 (松島幹線用)

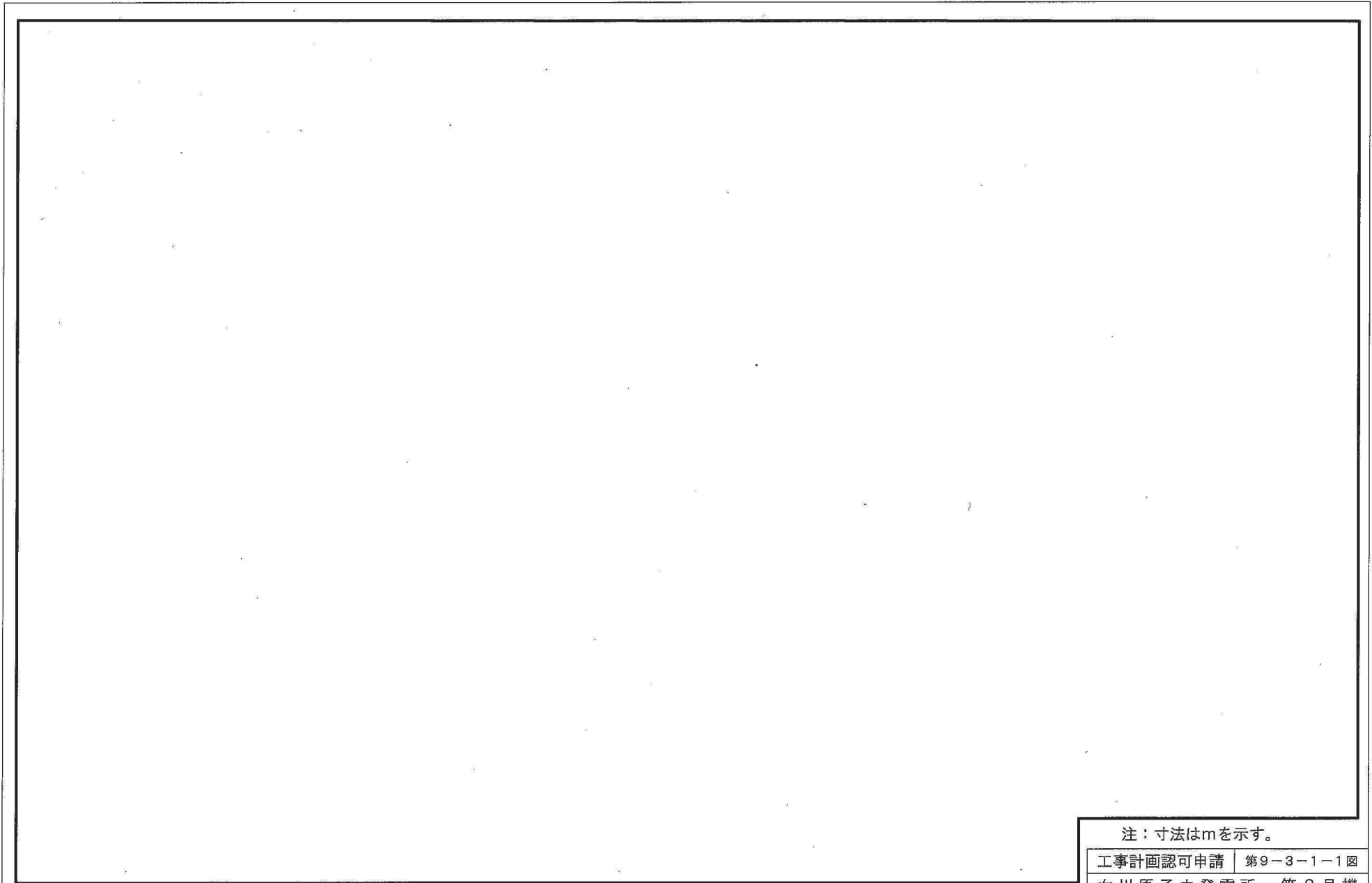
発電所構内

工事計画認可申請 第9-2-1-3図	
女川原子力発電所 第2号機	
名称	常用電源設備 機器の配置を明示した図面 (その3)
東北電力株式会社	

### 9.3 火災防護設備



### 9.3.1 火災区域構造物及び火災区画構造物



注：寸法はmを示す。

工事計画認可申請 第9-3-1-1図

女川原子力発電所 第2号機

名 火災区域構造物及び火災区画構造物に係る  
機器の配置を明示した図面及び構造図  
称 (原子炉建屋その1)

東北電力株式会社

凡例

—— 火災区域境界

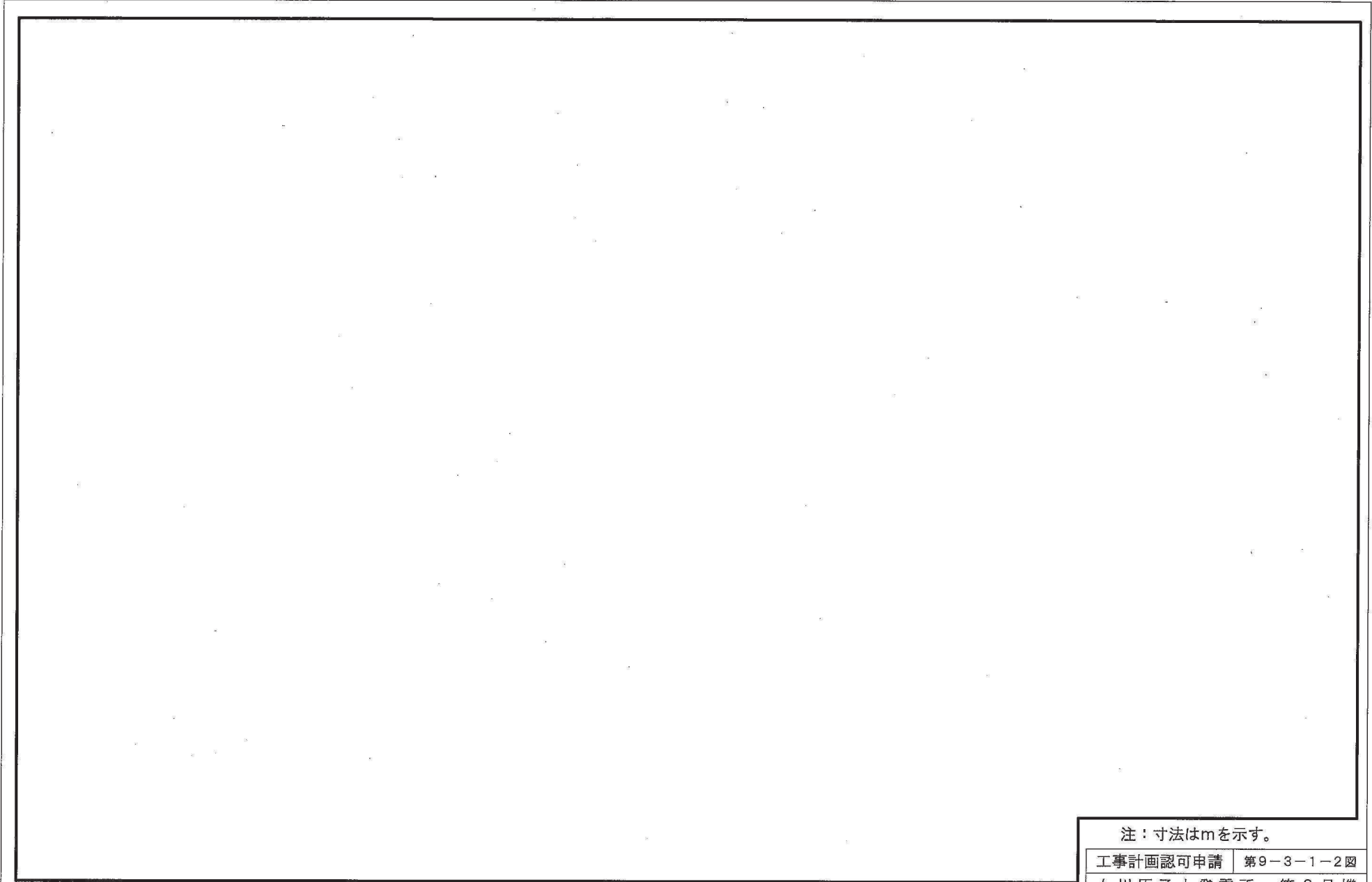
----- 火災区画境界

\* 上下階と繋がっている火災区域又は火災区画

//// 建屋ごとの火災区域及び火災区画構造物の厚さの最小部位 (特記なき場合  mm)

特図みの内容は商業機密の観点から公開できません。

0410



注：寸法はmを示す。


工事計画認可申請 第9-3-1-2図


女川原子力発電所 第2号機

名 火災区域構造物及び火災区画構造物に係る  
機器の配置を明示した図面及び構造図  
称 (原子炉建屋その2)



東北電力株式会社

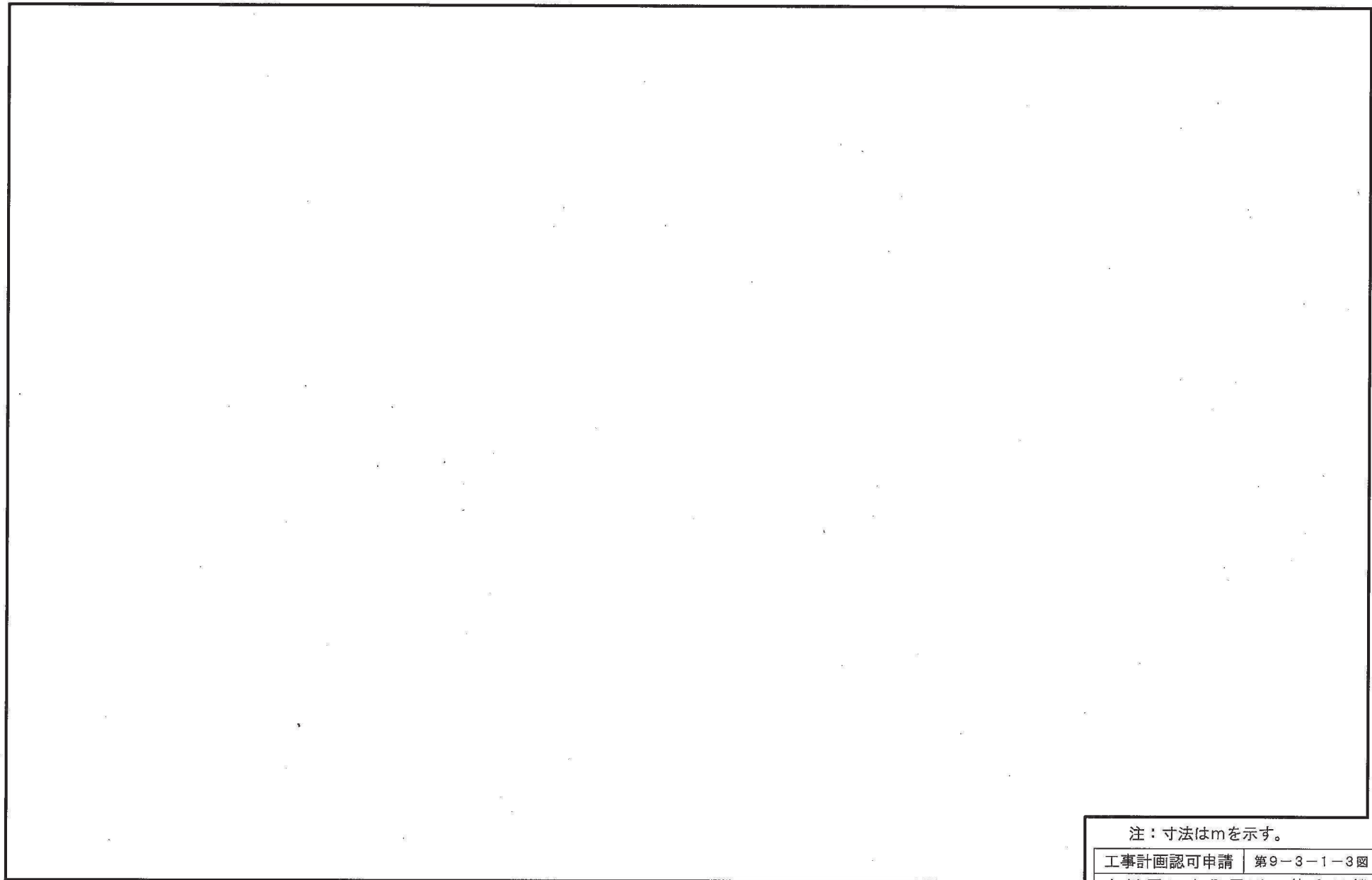
凡例

 火災区域境界

 火災区画境界

\* 上下階と繋がっている火災区域又は火災区画

 建屋ごとの火災区域及び火災区画構造物の厚さの最小部位 (特記なき場合  mm)



凡例

—— 火災区域境界

--- 火災区画境界

\* 上下階と繋がっている火災区域又は火災区画

注：寸法はmを示す。

工事計画認可申請 第9-3-1-3図

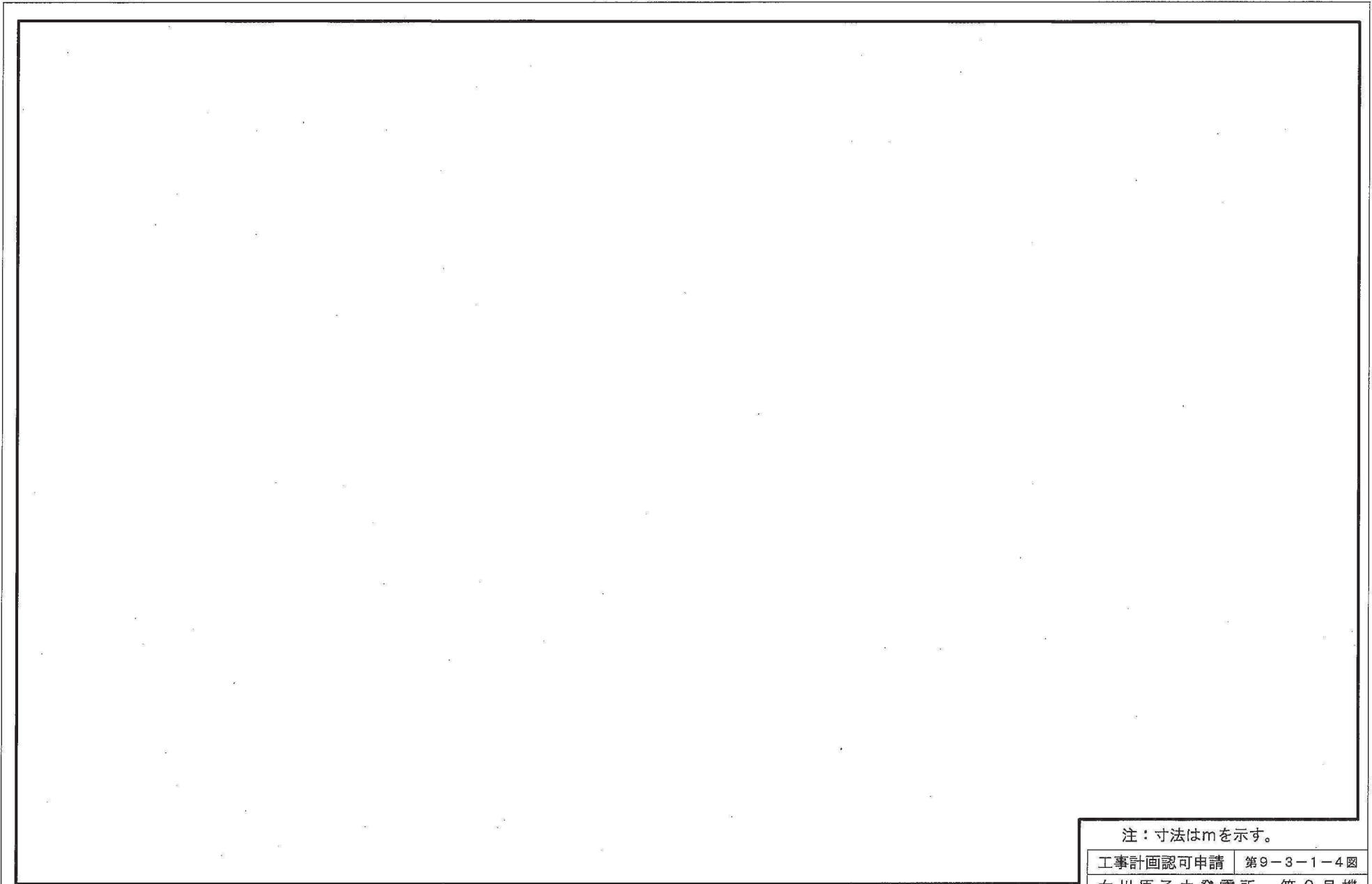
女川原子力発電所 第2号機

名 火災区域構造物及び火災区画構造物に係る  
機器の配置を明示した図面及び構造図  
称 (原子炉建屋その3)

東北電力株式会社

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

0410



注：寸法はmを示す。

工事計画認可申請 第9-3-1-4図

女川原子力発電所 第2号機

名 火災区域構造物及び火災区画構造物に係る  
機器の配置を明示した図面及び構造図  
称 (原子炉建屋その4)

東北電力株式会社

凡例

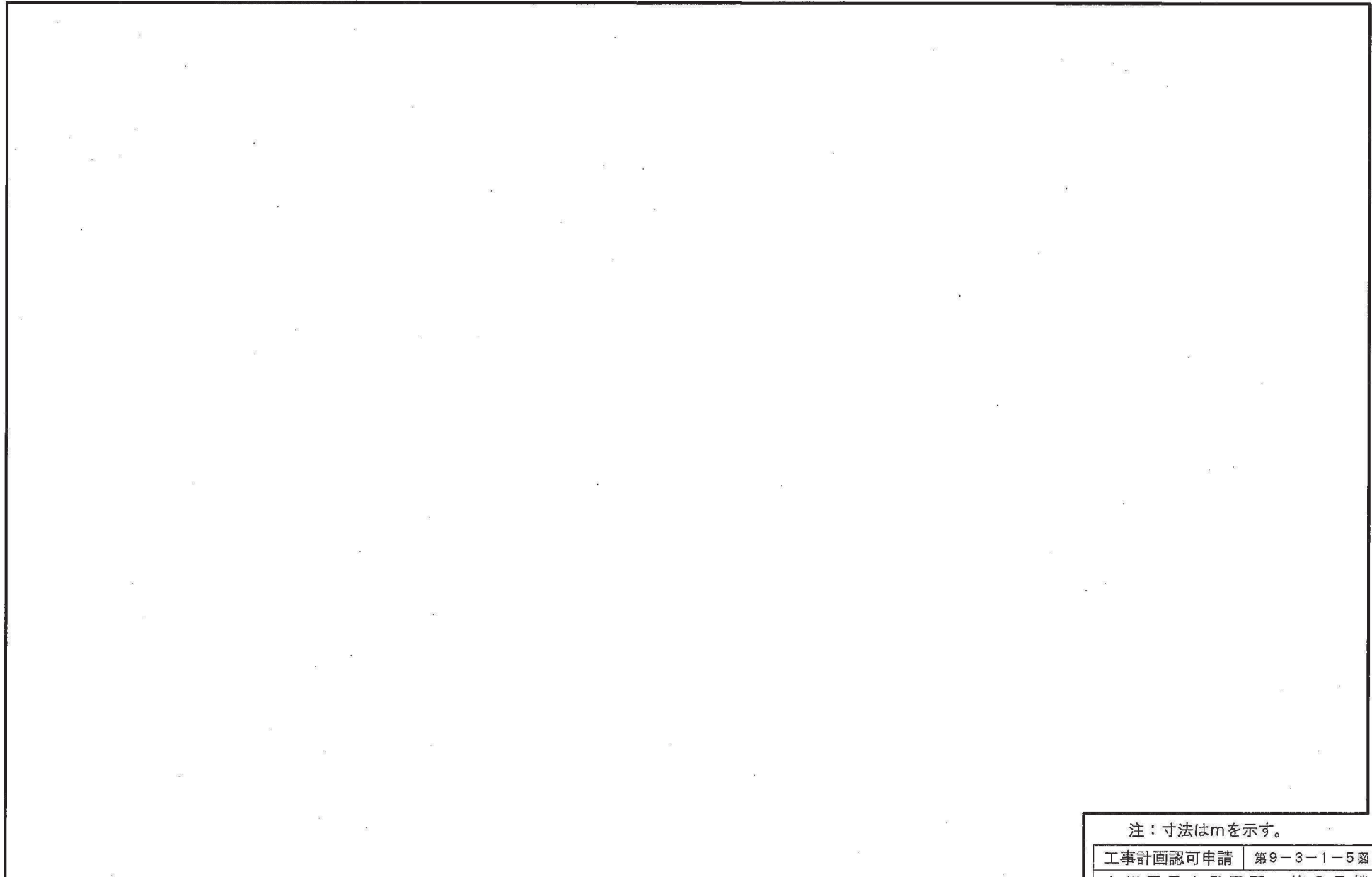
—— 火災区域境界

□□□□ 火災区画境界

\* 上下階と繋がっている火災区域又は火災区画

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

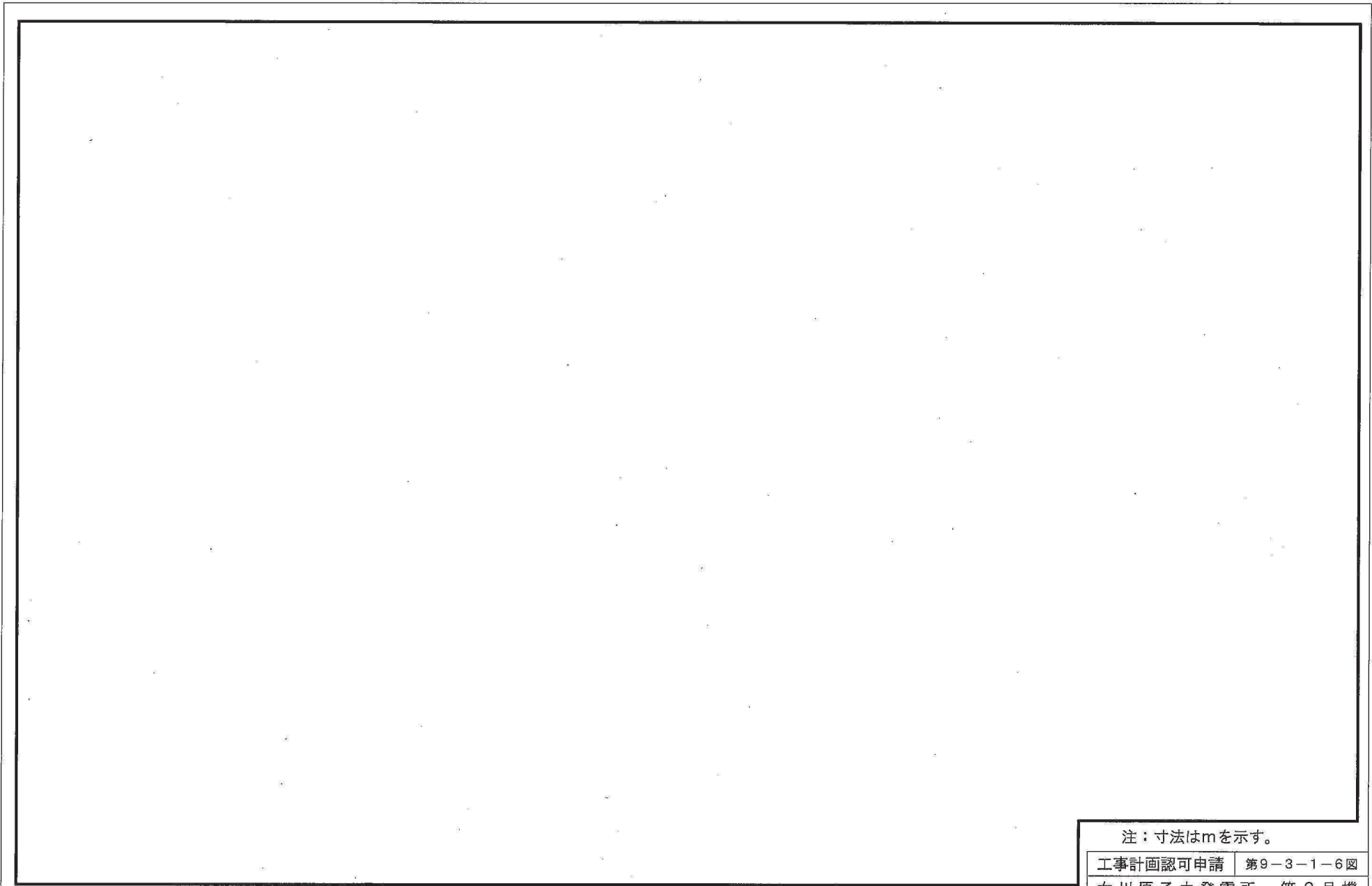
0410



凡例  
[実線] 火災区域境界  
[点線] 火災区画境界  
\* 上下階と繋がっている火災区域又は火災区画

注：寸法はmを示す。

工事計画認可申請	第9-3-1-5図
女川原子力発電所 第2号機	
名	火災区域構造物及び火災区画構造物に係る機器の配置を明示した図面及び構造図
称	(原子炉建屋その5)
東北電力株式会社	



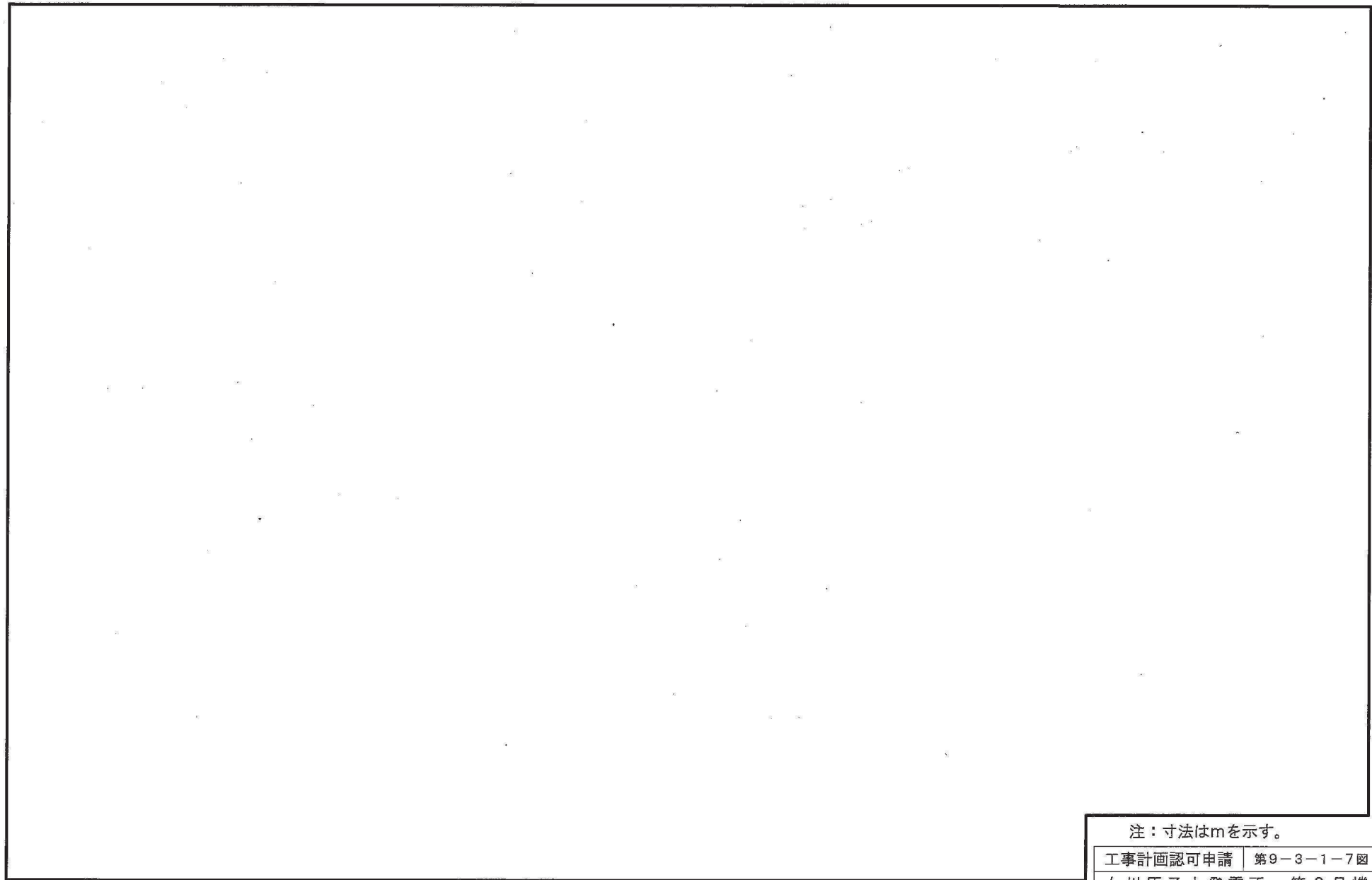
凡例  
—— 火災区域境界  
- - - - 火災区画境界  
\* 上下階と繋がっている火災区域又は火災区画

注：寸法はmを示す。

工事計画認可申請	第9-3-1-6図
女川原子力発電所 第2号機	
名	火災区域構造物及び火災区画構造物に係る機器の配置を明示した図面及び構造図
称	(原子炉建屋その6)
東北電力株式会社	

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

0410



注：寸法はmを示す。

工事計画認可申請 第9-3-1-7図

女川原子力発電所 第2号機

名 火災区域構造物及び火災区画構造物に係る  
機器の配置を明示した図面及び構造図  
称 (原子炉建屋その7)

東北電力株式会社

凡例

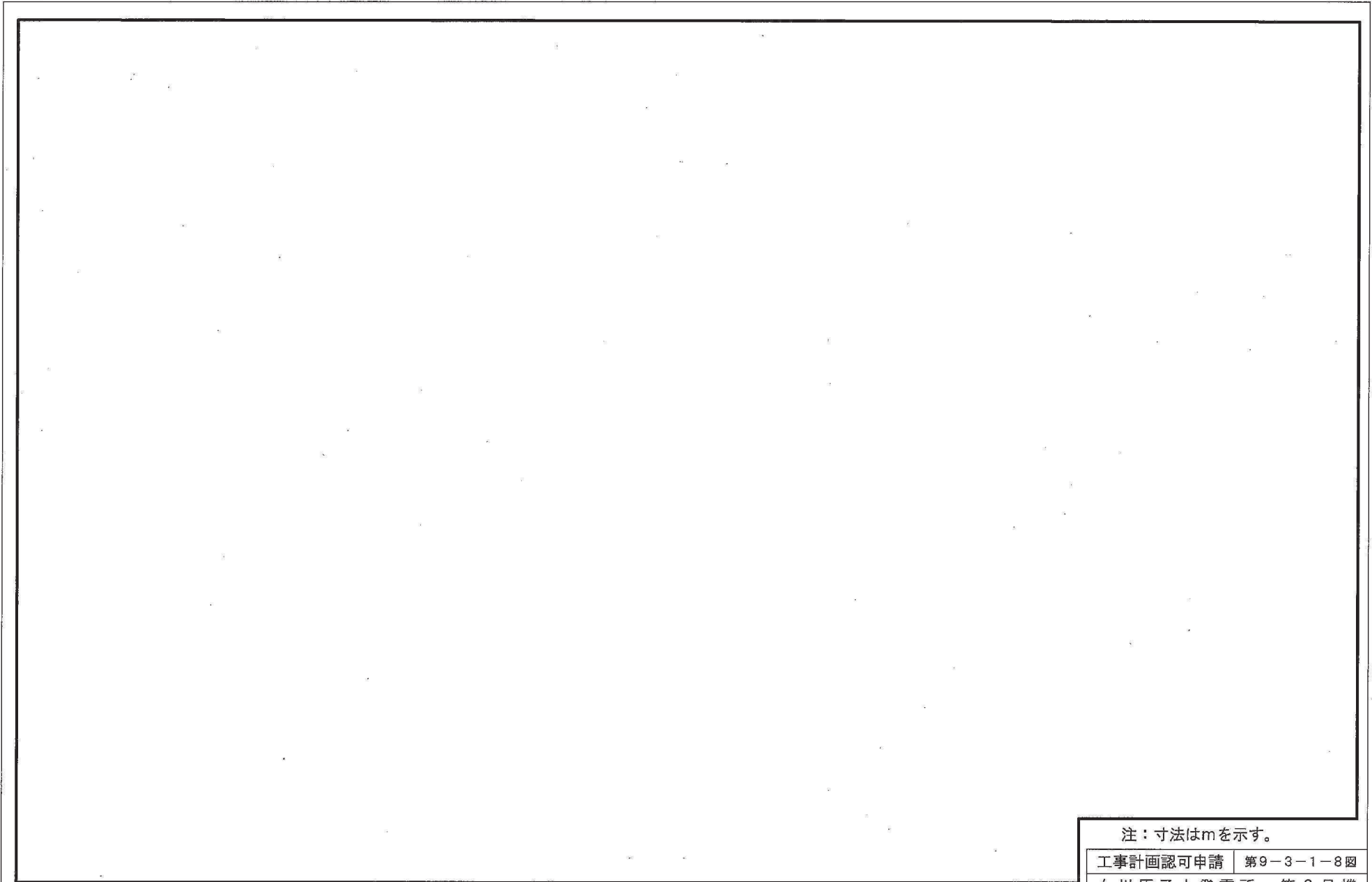
火災区域境界

火災区画境界

\* 上下階と繋がっている火災区域又は火災区画

////// 建屋ごとの火災区域及び火災区画構造物の厚さの最小部位 (特記なき場合  mm)





注：寸法はmを示す。

工事計画認可申請	第9-3-1-8図
女川原子力発電所 第2号機	
名	火災区域構造物及び火災区画構造物に係る機器の配置を明示した図面及び構造図
称	(原子炉建屋その8)
東北電力株式会社	

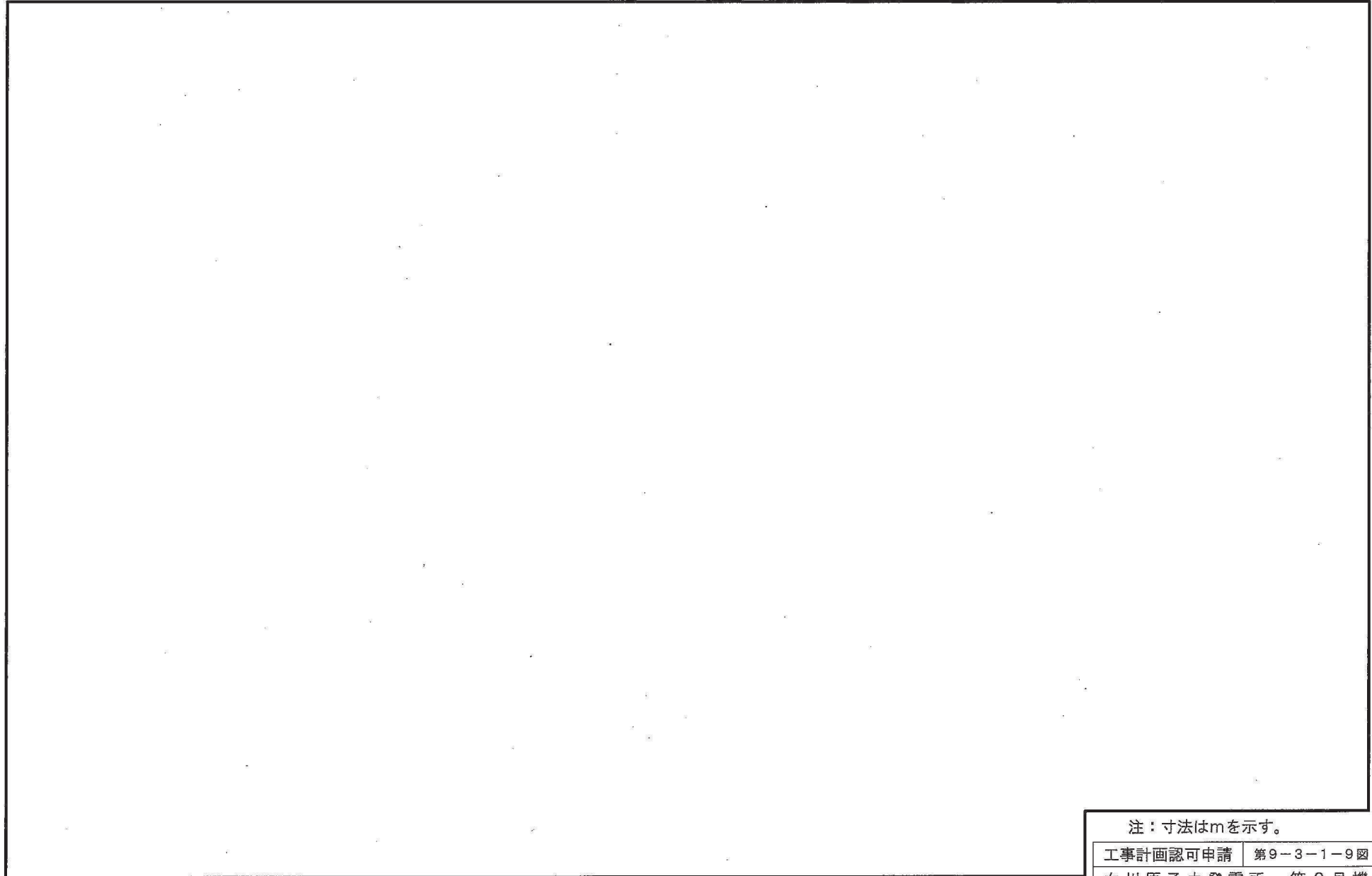
凡例

——— 火災区域境界

□□□□ 火災区画境界

\* 上下階と繋がっている火災区域又は火災区画

////// 建屋ごとの火災区域及び火災区画構造物の厚さの最小部位 (特記なき場合 □ mm)



注：寸法はmを示す。

工事計画認可申請 第9-3-1-9図

女川原子力発電所 第2号機

名 火災区域構造物及び火災区画構造物に係る  
機器の配置を明示した図面及び構造図  
称 (原子炉建屋その9)

東北電力株式会社

凡例

—— 火災区域境界

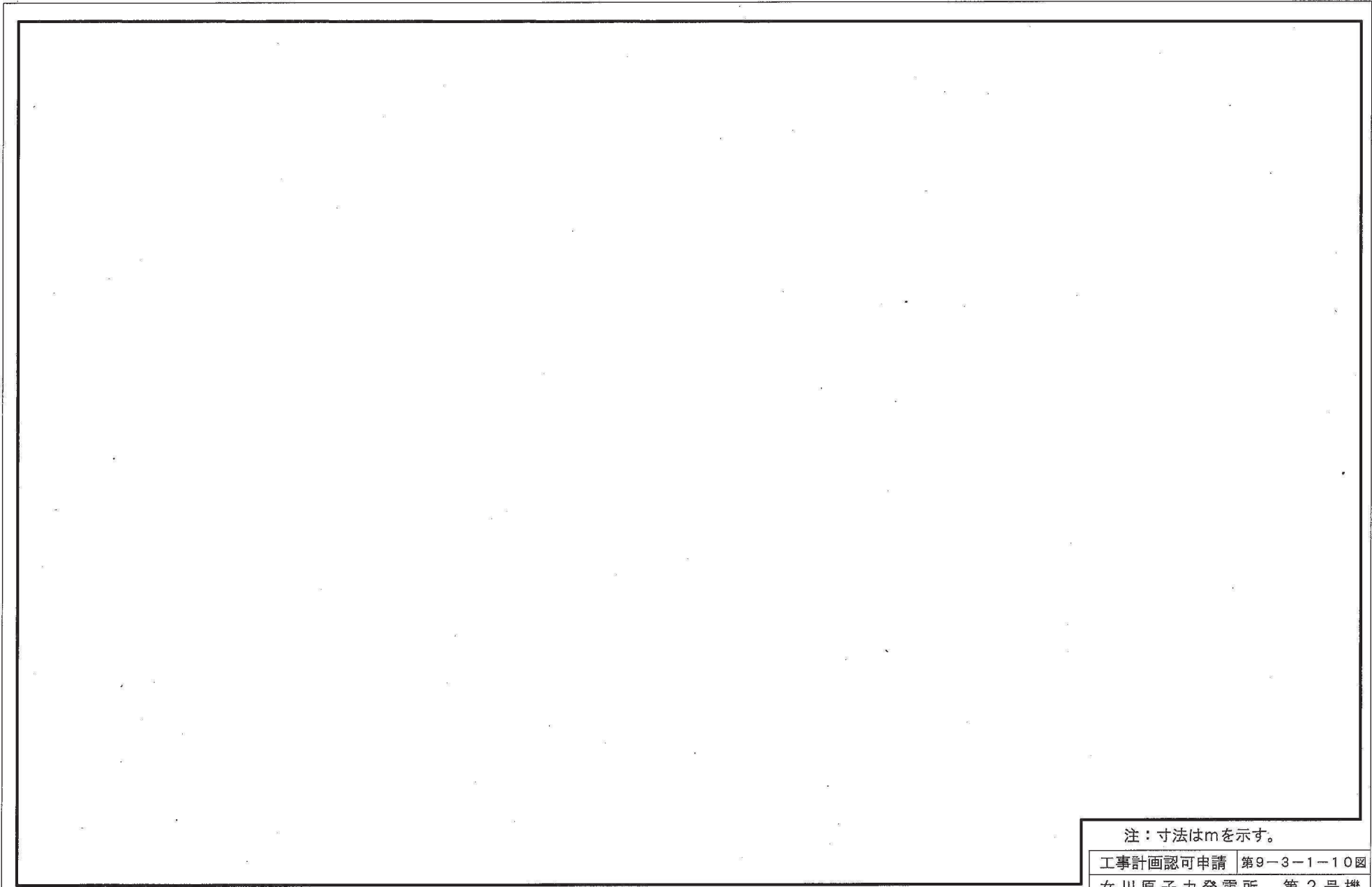
--- 火災区画境界

\* 上下階と繋がっている火災区域又は火災区画

//// 遮壁ごとの火災区域及び火災区画構造物の厚さの最小部位 (特記なき場合  mm)

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

0410



注：寸法はmを示す。

工事計画認可申請 第9-3-1-10図

女川原子力発電所 第2号機

名 火災区域構造物及び火災区画構造物に係る  
機器の配置を明示した図面及び構造図  
称 (原子炉建屋その10)

東北電力株式会社

凡例

—— 火災区域境界

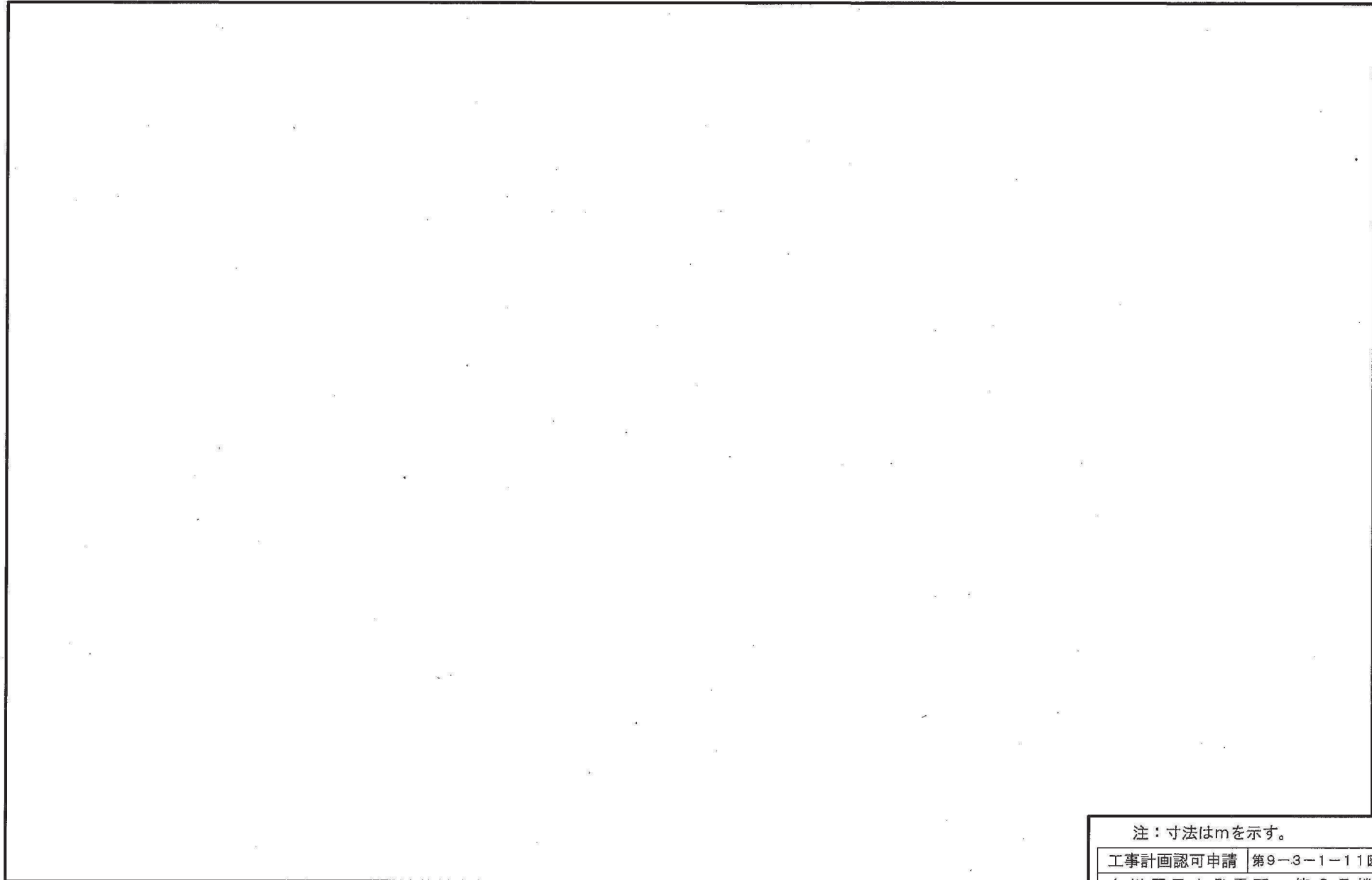
----- 火災区画境界

\* 上下階と繋がっている火災区域又は火災区画

//// 建屋ごとの火災区域及び火災区画構造物の厚さの最小部位 (特記なき場合  mm)

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

0410



注：寸法はmを示す。

工事計画認可申請 第9-3-1-11図

女川原子力発電所 第2号機

名 火災区域構造物及び火災区画構造物に係る  
機器の配置を明示した図面及び構造図  
称 (原子炉建屋その11)

東北電力株式会社

凡例

—— 火災区域境界

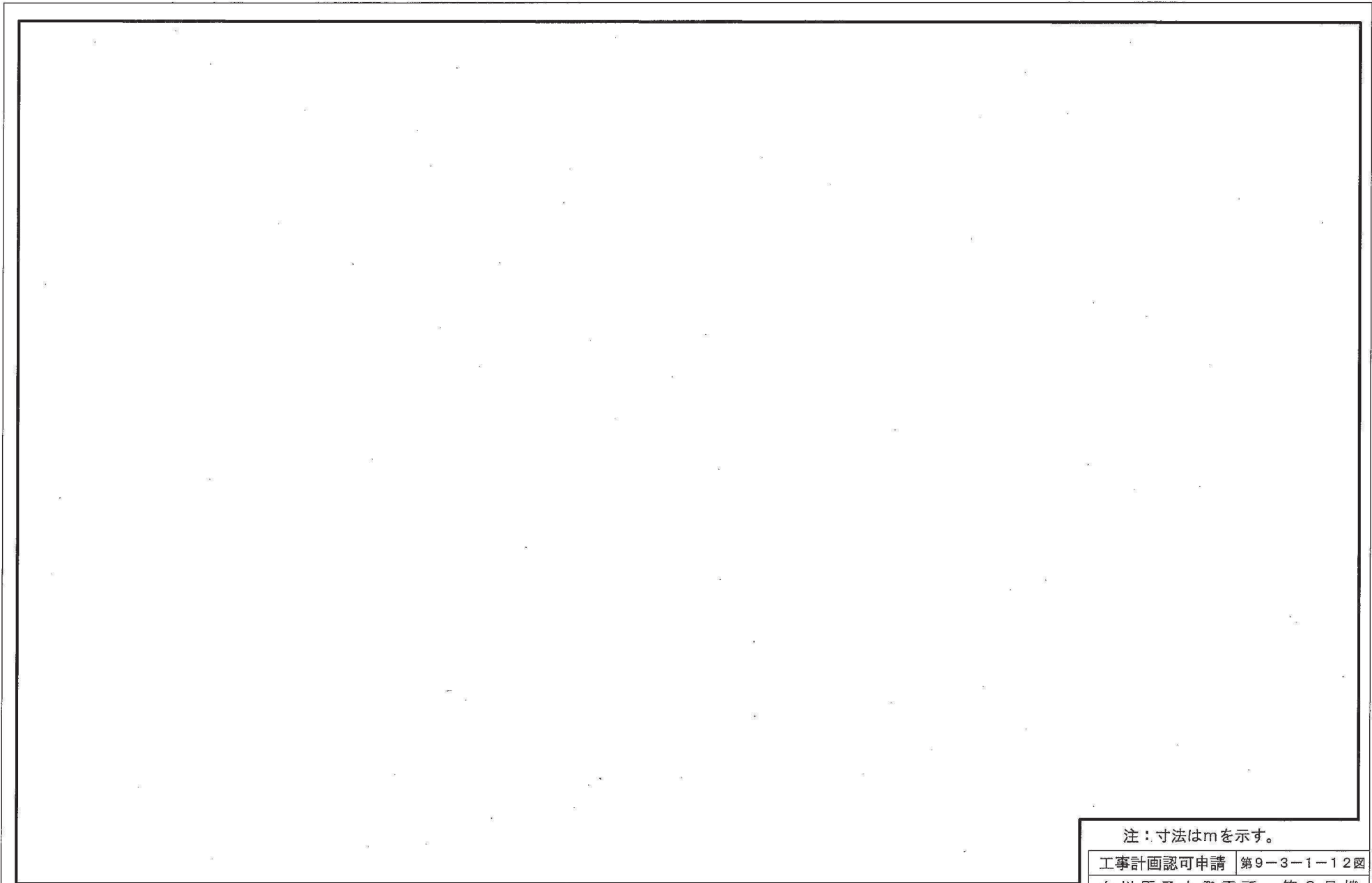
----- 火災区画境界

\* 上下階と繋がっている火災区域又は火災区画

//// 建築ごとの火災区域及び火災区画構造物の厚さの最小部位 (特記なき場合  mm)

特開みの内容は商業機密の観点から公開できません。

0410



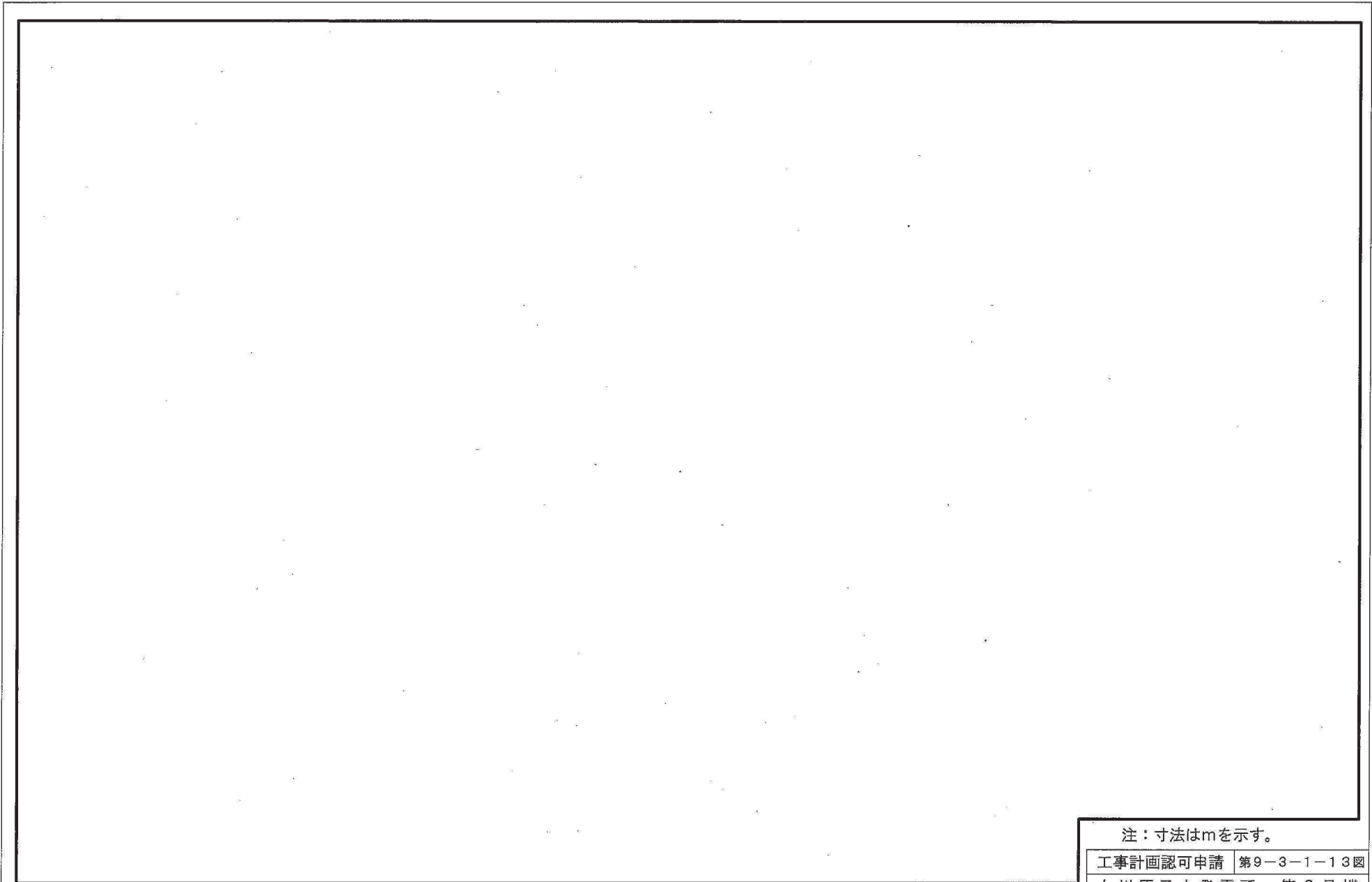
凡例  
—— 火災区域境界  
- - - - 火災区画境界

注：寸法はmを示す。

工事計画認可申請	第9-3-1-12図
女川原子力発電所 第2号機	
名	火災区域構造物及び火災区画構造物に係る機器の配置を明示した図面及び構造図
称	(原子炉建屋その12)
東北電力株式会社	

特開みの内容は商業機密の観点から公開できません。

0410



注：寸法はmを示す。

工事計画認可申請 第9-3-1-13図

女川原子力発電所 第2号機

名 火災区域構造物及び火災区画構造物に係る  
機器の配置を明示した図面及び構造図  
称 (制御建屋その1)

東北電力株式会社

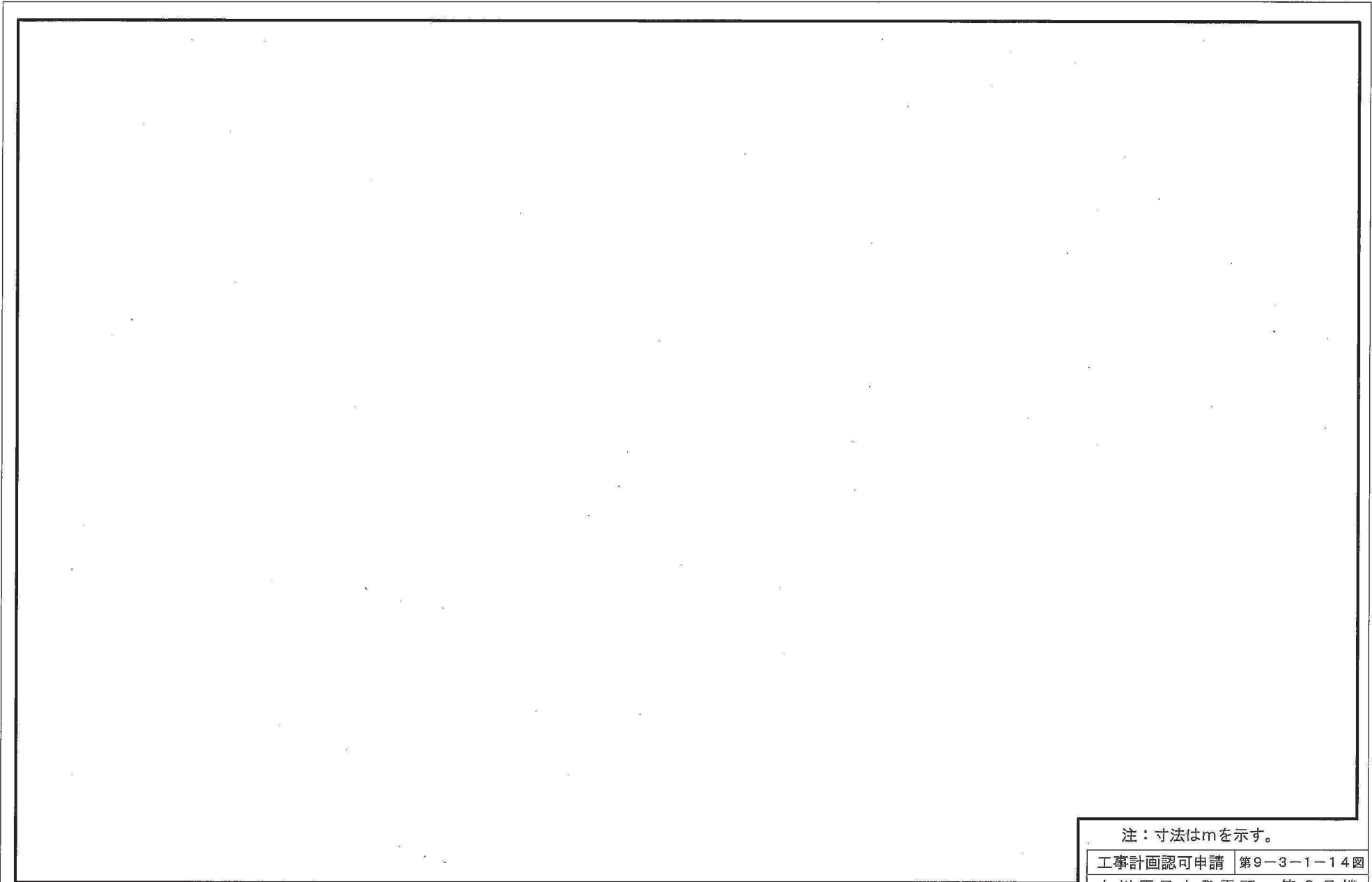
凡例

—— 火災区域境界

----- 火災区画境界

\* 上下階と繋がっている火災区域又は火災区画

//// 建屋ごとの火災区域及び火災区画構造物の厚さの最小部位 (特記なき場合  mm)



注：寸法はmを示す。

工事計画認可申請 第9-3-1-14図

女川原子力発電所 第2号機

名 火災区域構造物及び火災区画構造物に係る  
機器の配置を明示した図面及び構造図  
称 (制御建屋その2)

東北電力株式会社

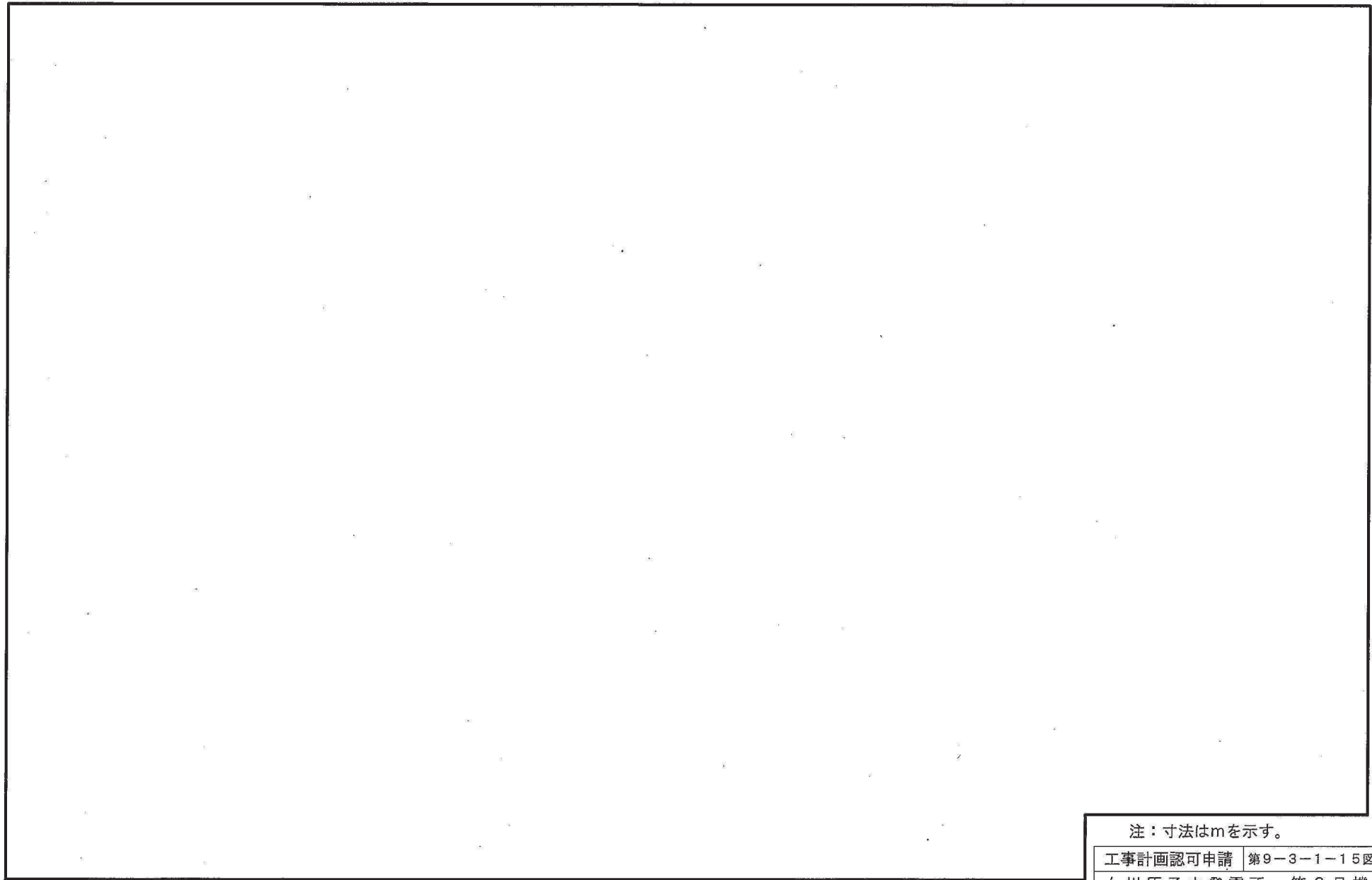
凡例

—— 火災区域境界

----- 火災区画境界

\* 上下階と繋がっている火災区域又は火災区画

////// 建屋ごとの火災区域及び火災区画構造物の厚さの最小部位(特記なき場合  mm)



注：寸法はmを示す。

工事計画認可申請 第9-3-1-15図

女川原子力発電所 第2号機

名 火災区域構造物及び火災区画構造物に係る  
機器の配置を明示した図面及び構造図  
称 (制御建屋その3)

東北電力株式会社

凡例

—— 火災区域境界

----- 火災区画境界

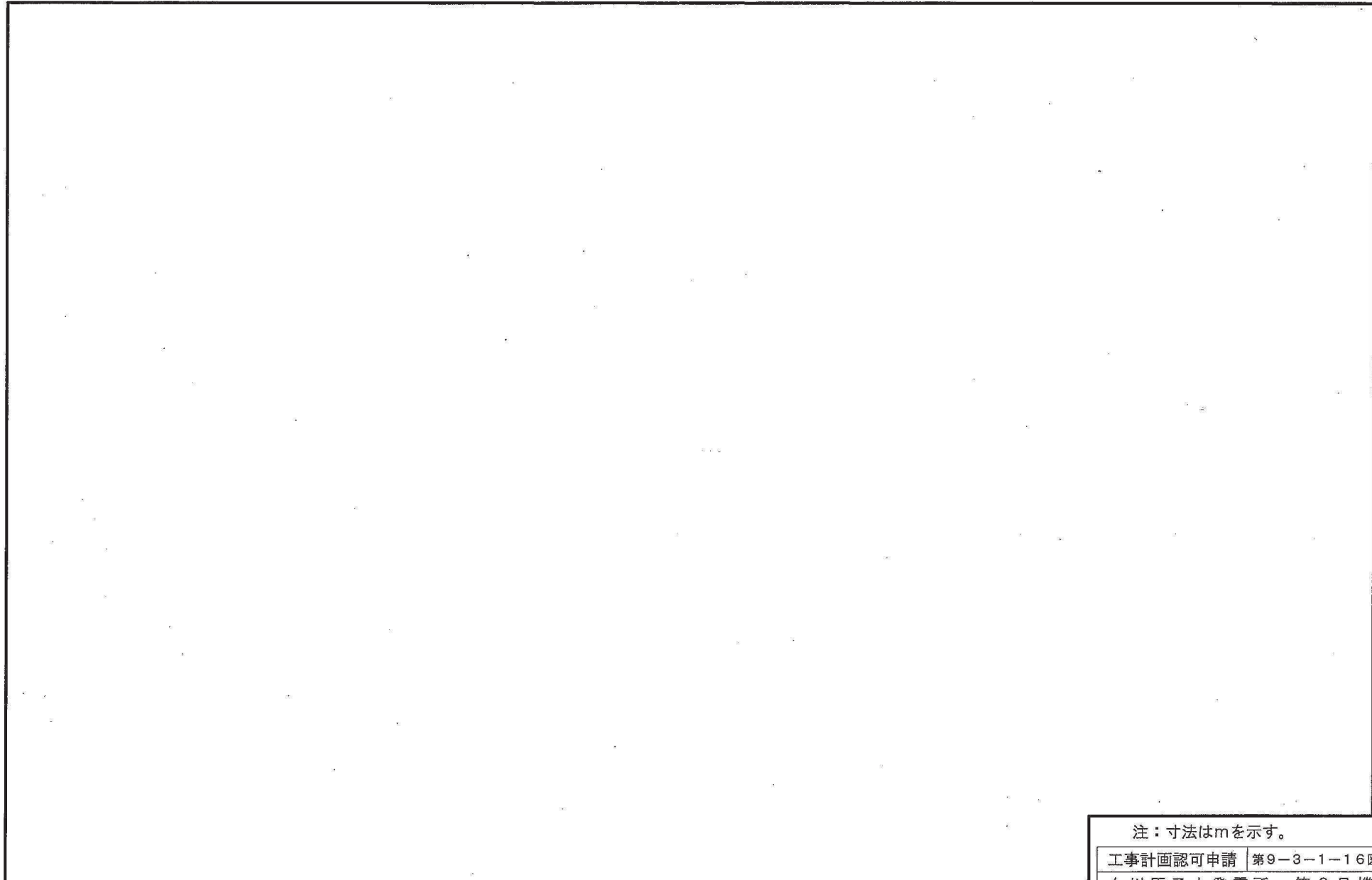
\* 上下階と繋がっている火災区域又は火災区画

//// 建屋ごとの火災区域及び火災区画構造物の厚さの最小部位 (特記なき場合  mm)

枠組みの内容は商業機密の観点から公開できません。

0410





注：寸法はmを示す。

工事計画認可申請 第9-3-1-16図

女川原子力発電所 第2号機

名 火災区域構造物及び火災区画構造物に係る機器の配置を明示した図面及び構造図  
称 (制御建屋その4)

東北電力株式会社

凡例

—— 火災区域境界

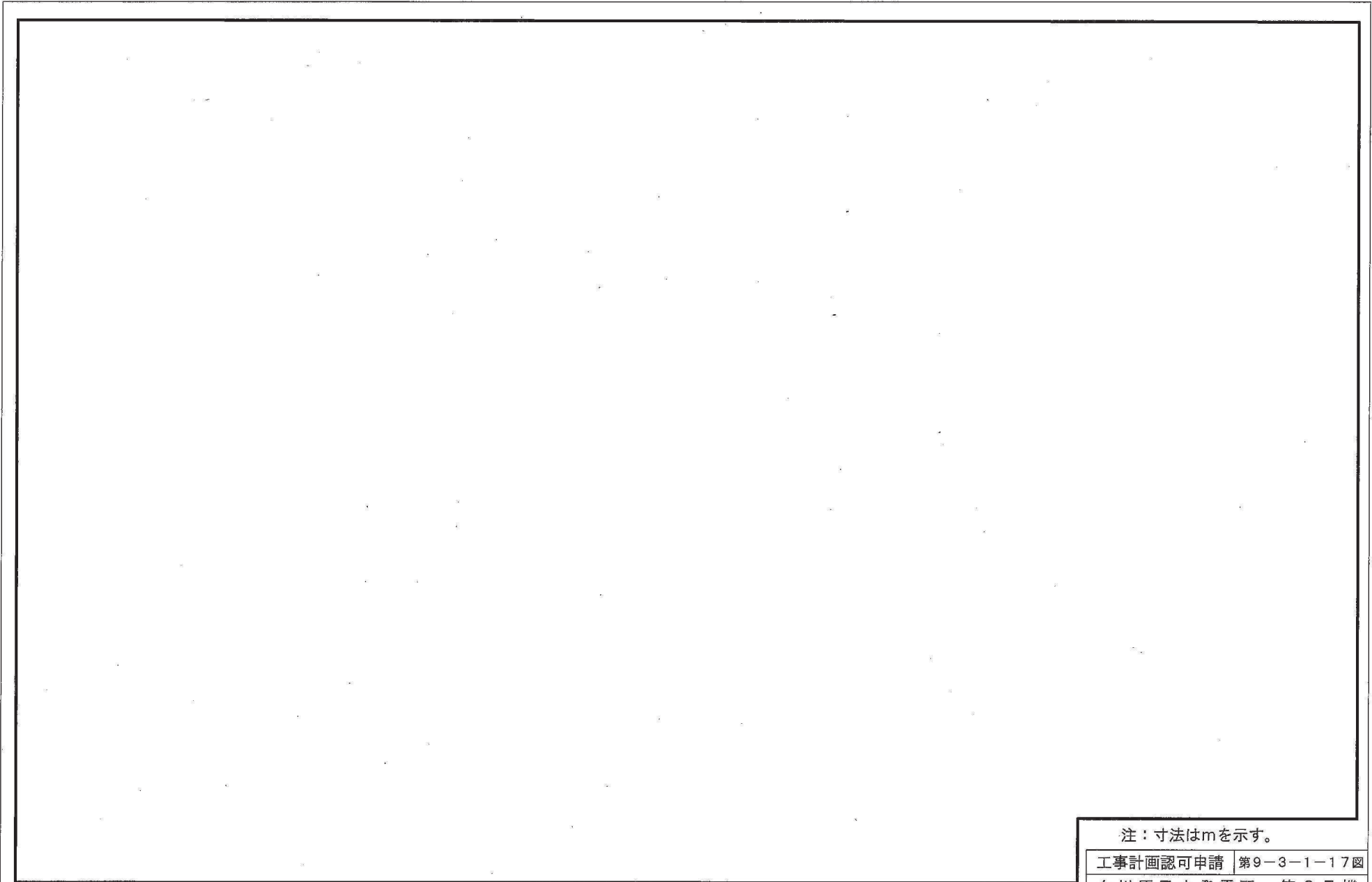
- - - - 火災区画境界

\* 上下階と繋がっている火災区域又は火災区画

//// 建屋ごとの火災区域及び火災区画構造物の厚さの最小部位 (特記なき場合  mm)

枠組みの内容は商業機密の観点から公開できません。

0410




注：寸法はmを示す。


工事計画認可申請	第9-3-1-17図
女川原子力発電所 第2号機	
名	火災区域構造物及び火災区画構造物に係る機器の配置を明示した図面及び構造図
称	(制御建屋その5)
東北電力株式会社	

凡例

 火災区域境界

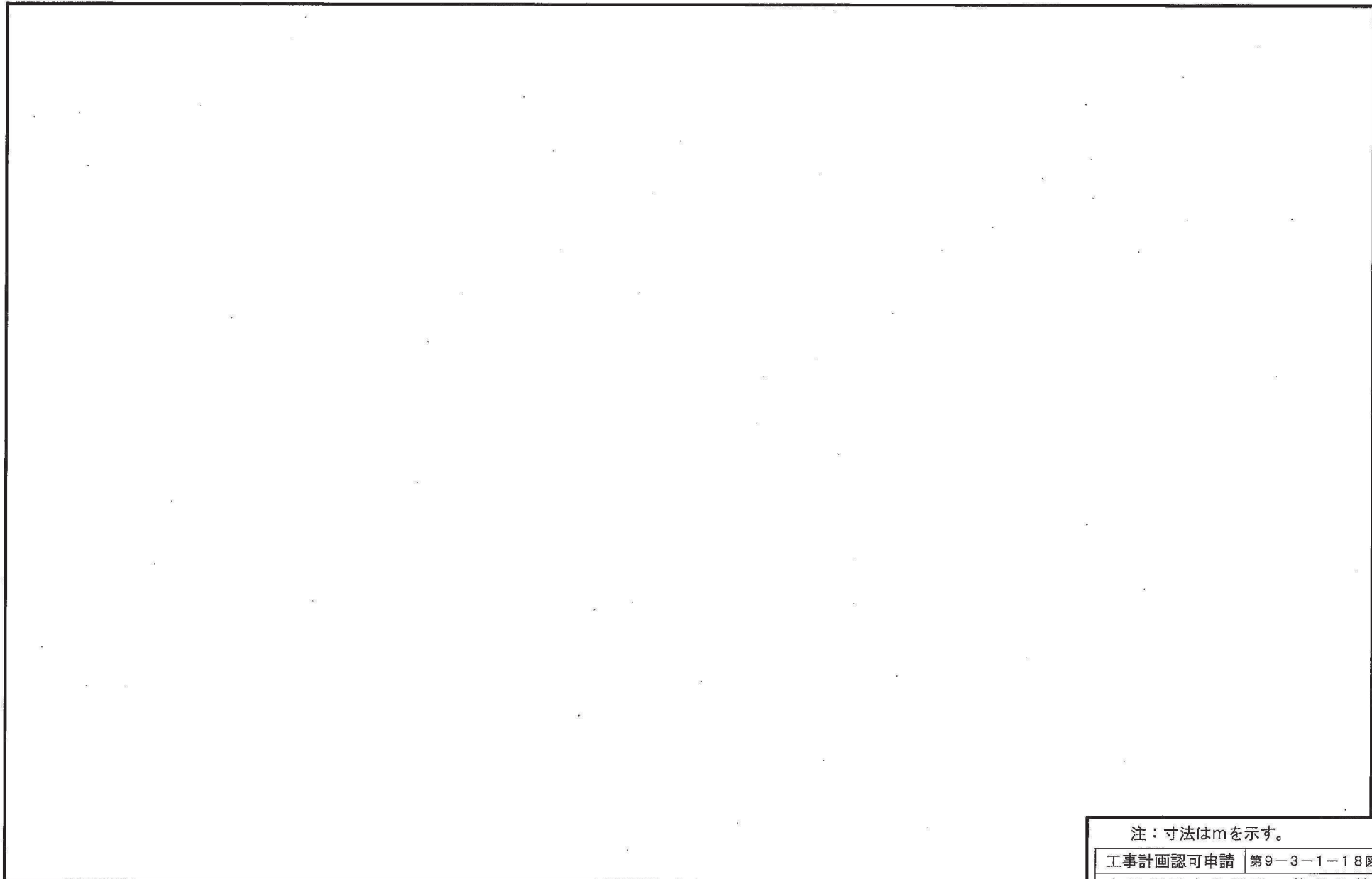
 火災区画境界

\* 上下階と繋がっている火災区域又は火災区画

 建屋ごとの火災区域及び火災区画構造物の厚さの最小部位 (特記なき場合  mm)

枠図みの内容は商業機密の観点から公開できません。

0410



注：寸法はmを示す。

工事計画認可申請 第9-3-1-18図

女川原子力発電所 第2号機

名 火災区域構造物及び火災区画構造物に係る  
機器の配置を明示した図面及び構造図  
称 (制御建屋その6)

東北電力株式会社

凡例

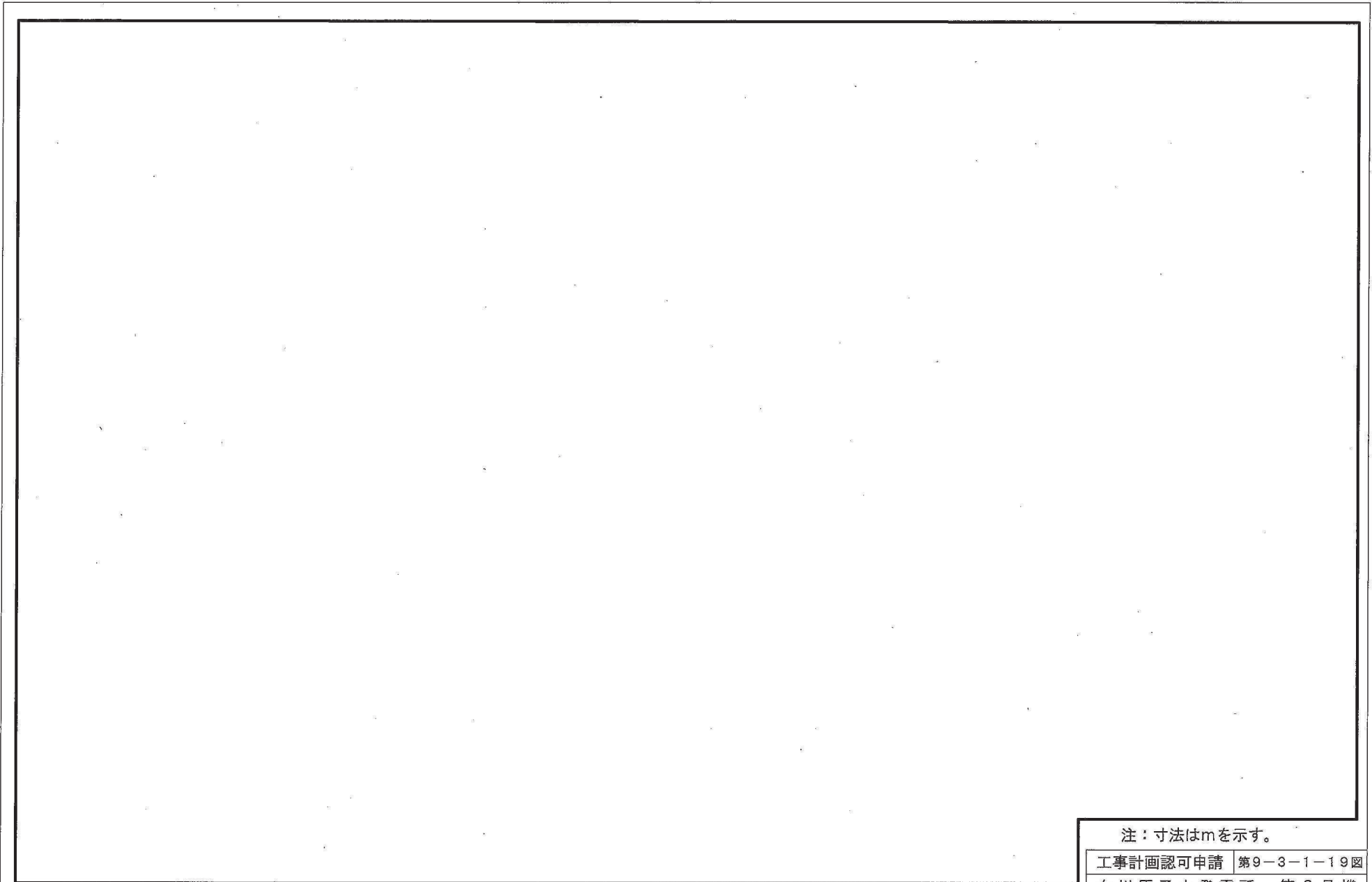
—— 火災区域境界

----- 火災区画境界

\*

上下階と繋がっている火災区域又は火災区画

//// 逐層ごとの火災区域及び火災区画構造物の厚さの最小部位 (特記なき場合  mm)



凡例  
—— 火災区域境界  
- - - - 火災区画境界

注：寸法はmを示す。

工事計画認可申請 第9-3-1-19図

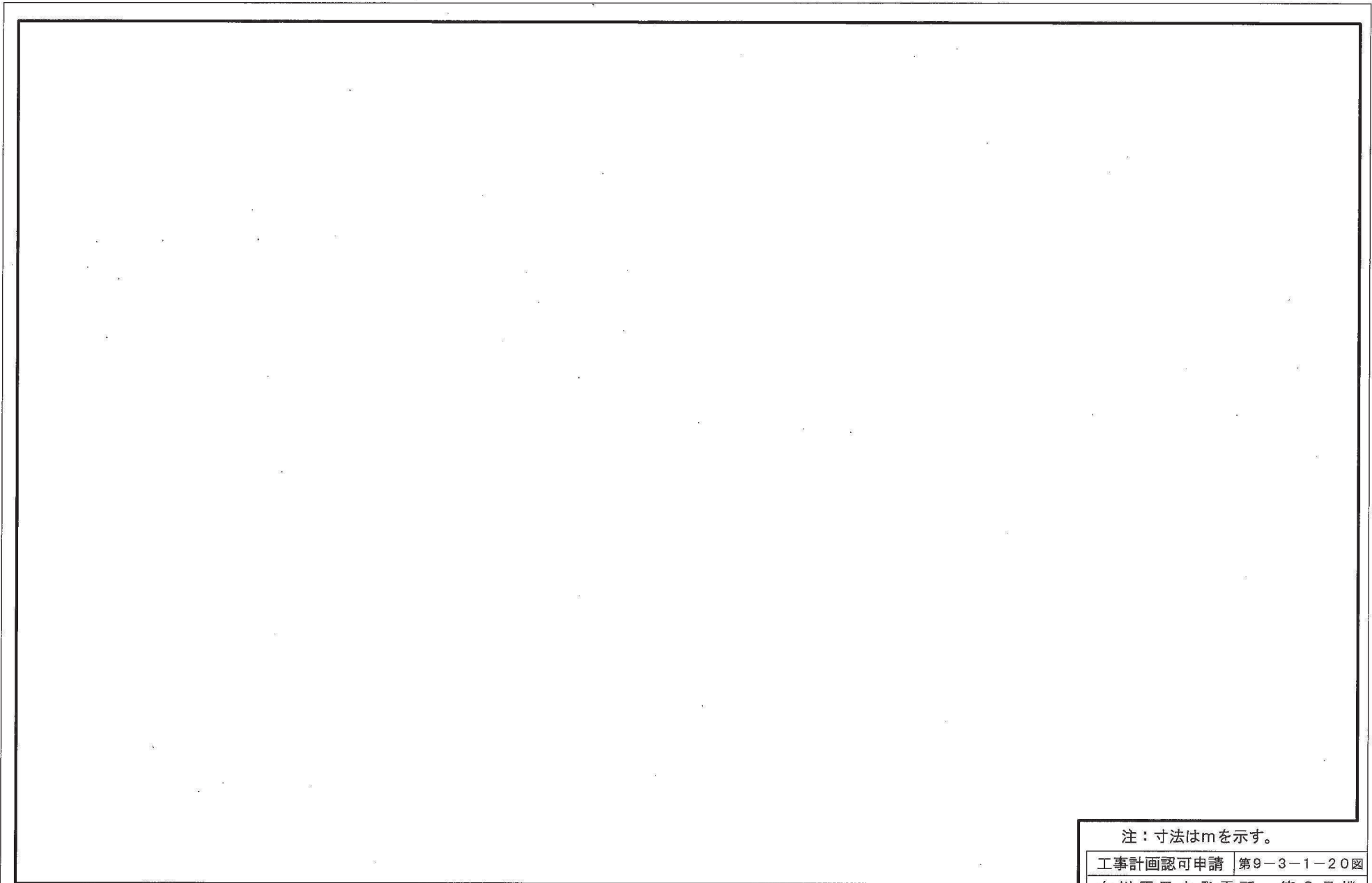
女川原子力発電所 第2号機

名 火災区域構造物及び火災区画構造物に係る  
機器の配置を明示した図面及び構造図  
称 (制御建屋その7)

東北電力株式会社

枠図みの内容は商業機密の観点から公開できません。

0410



注：寸法はmを示す。


工事計画認可申請 第9-3-1-20図


女川原子力発電所 第2号機

名 火災区域構造物及び火災区画構造物に係る  
機器の配置を明示した図面及び構造図  
称 (制御建屋その8)

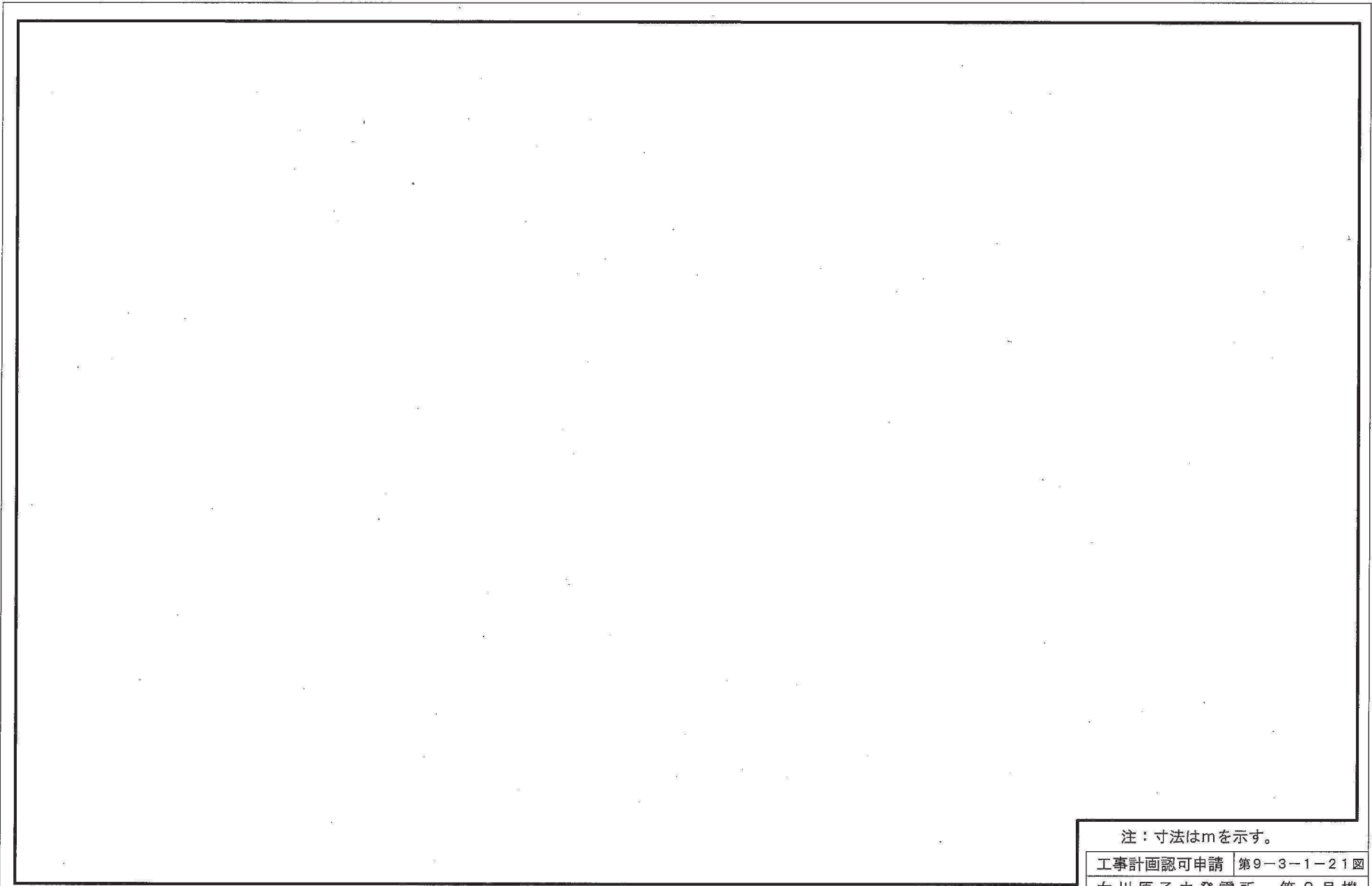
東北電力株式会社

凡例

 火災区域境界

 火災区画境界

 建屋ごとの火災区域及び火災区画構造物の厚さの最小部位 (特記なき場合  mm)



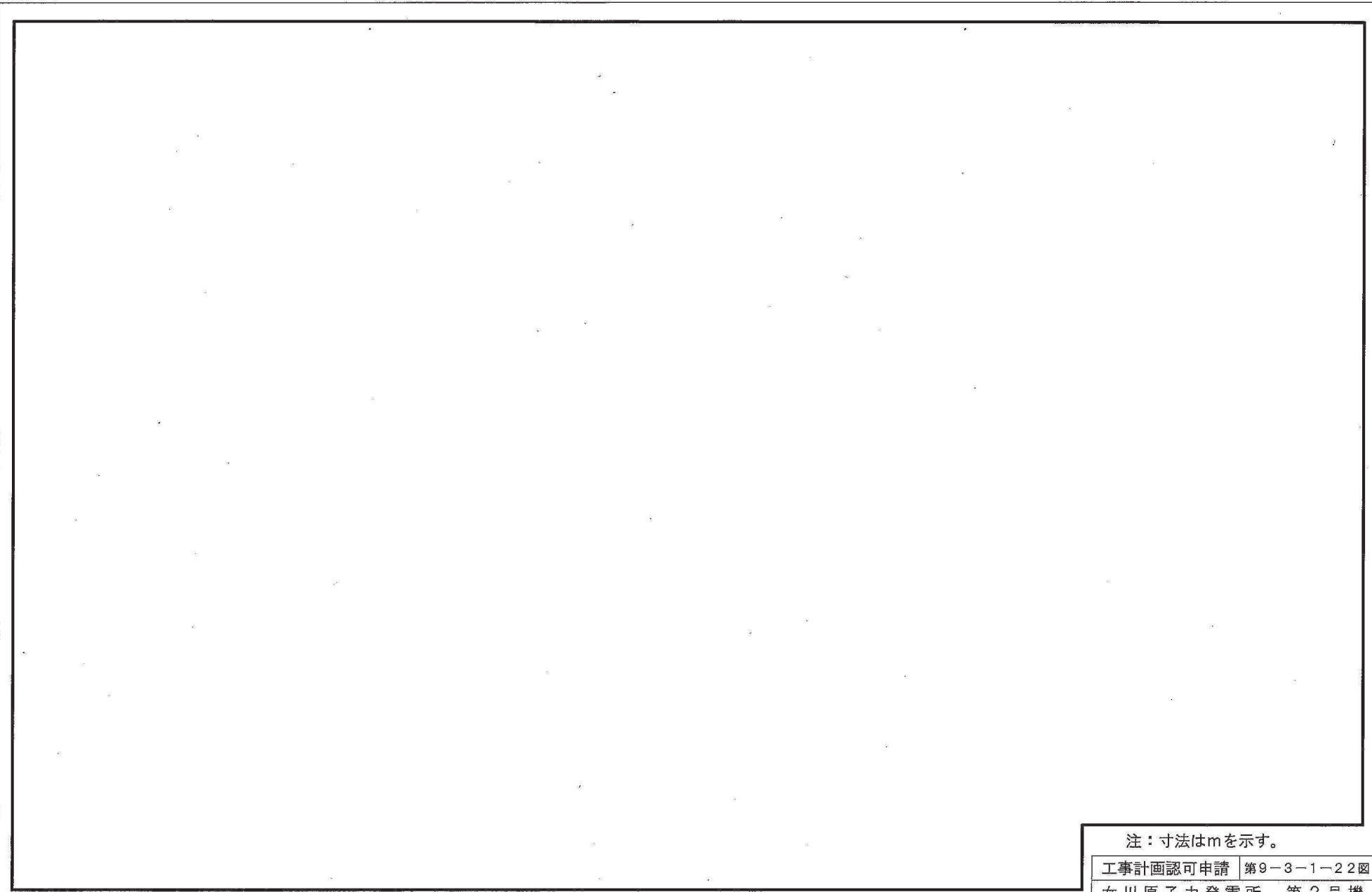
凡例  
—— 火災区域境界  
\* 上下階と繋がっている火災区域又は火災区画

注：寸法はmを示す。

工事計画認可申請	第9-3-1-21図
女川原子力発電所 第2号機	
名	火災区域構造物及び火災区画構造物に係る機器の配置を明示した図面及び構造図
称	(タービン建屋その1)
東北電力株式会社	

特図みの内容は商業機密の観点から公開できません。

0410



凡例

— 火災区域境界  
\* 上下階と繋がっている火災区域又は火災区画

注：寸法はmを示す。

工事計画認可申請 第9-3-1-22図

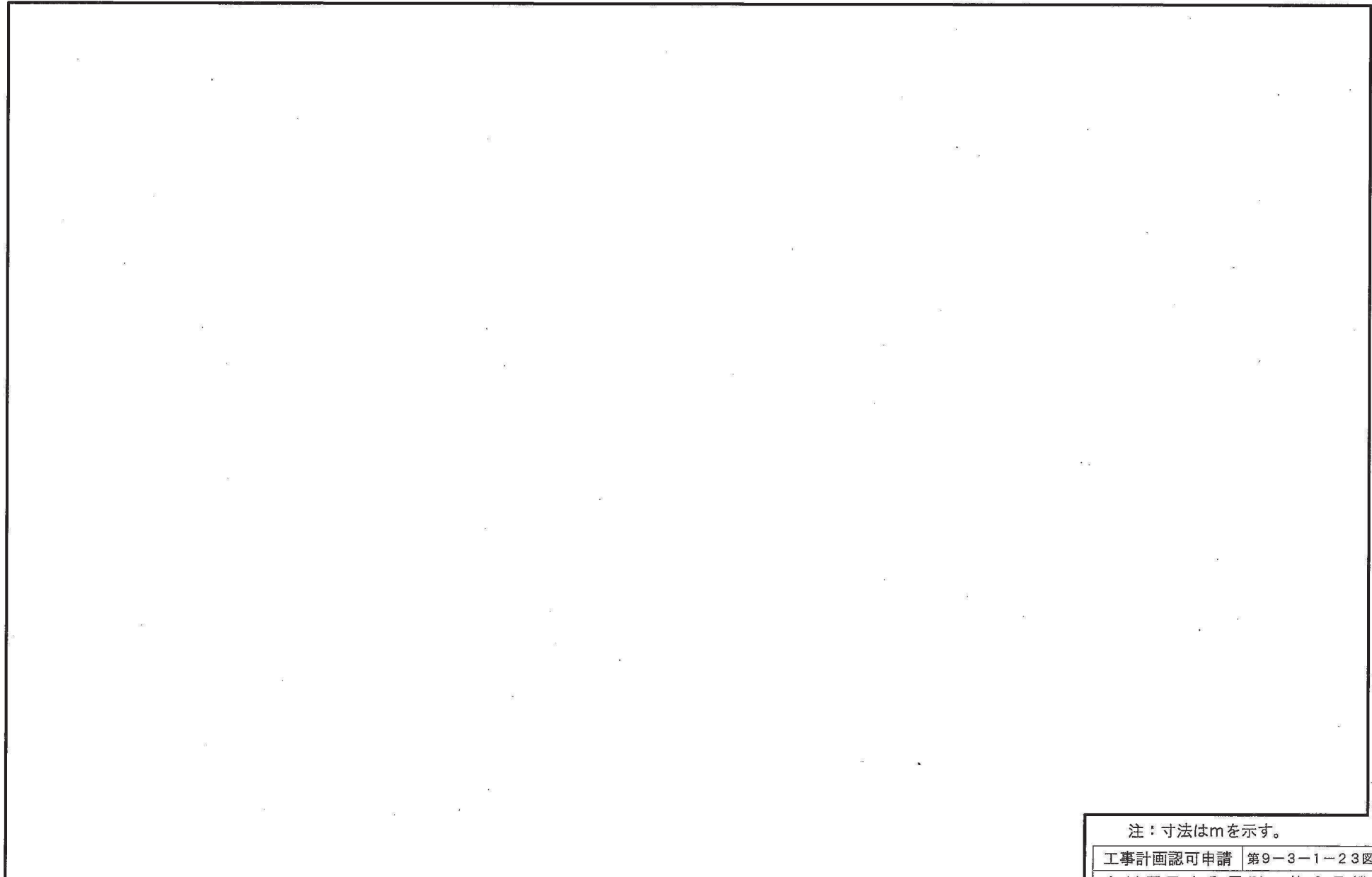
女川原子力発電所 第2号機

名 火災区域構造物及び火災区画構造物に係る  
機器の配置を明示した図面及び構造図  
称 (タービン建屋その2)

東北電力株式会社

特図みの内容は商業機密の観点から公開できません。

0410



凡例

■ 火災区域境界

\* 上下階と繋がっている火災区域又は火災区画

注：寸法はmを示す。

工事計画認可申請 第9-3-1-23図

女川原子力発電所 第2号機

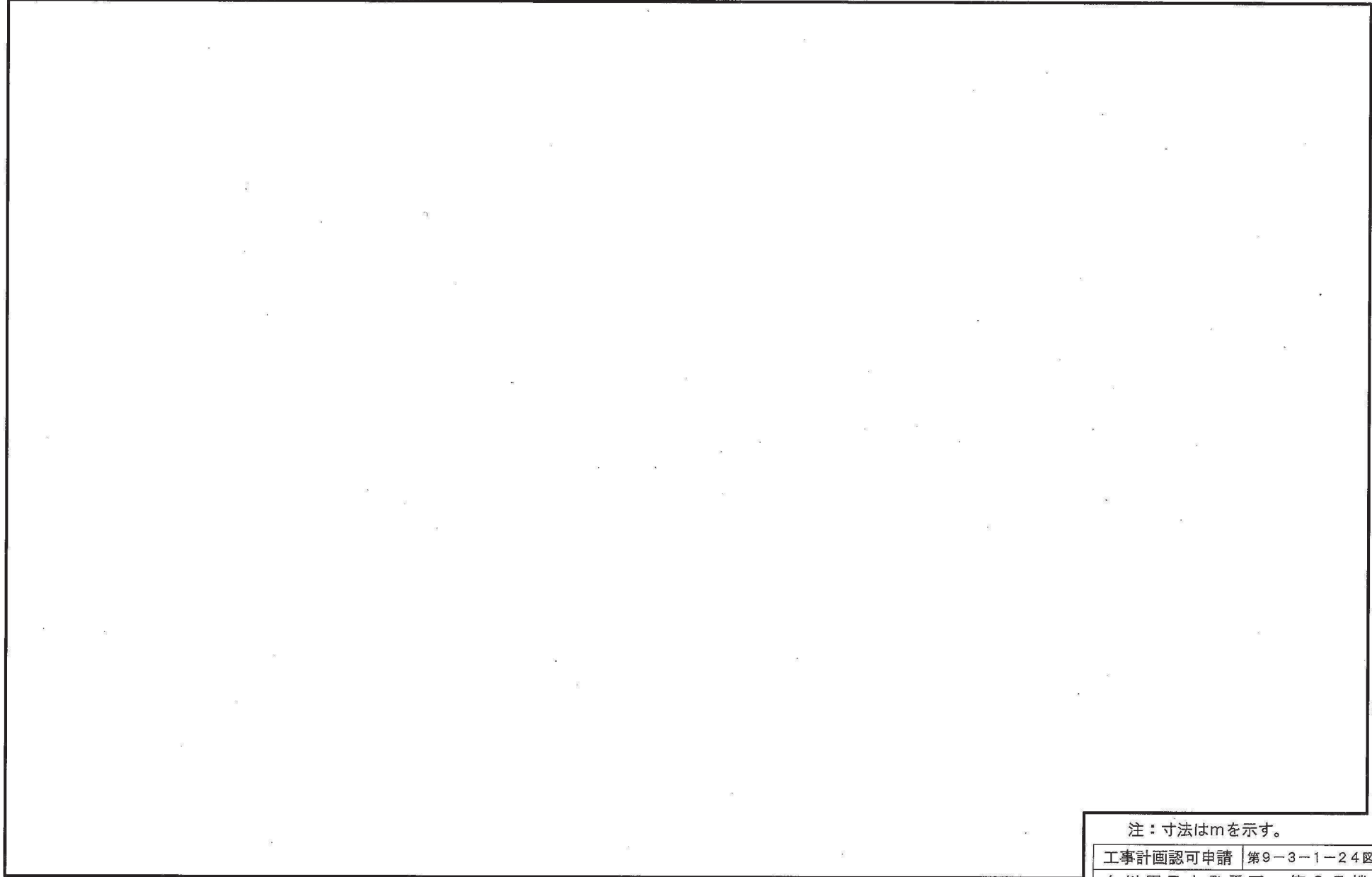
名 火災区域構造物及び火災区画構造物に係る  
機器の配置を明示した図面及び構造図  
称 (タービン建屋その3)

東北電力株式会社

特図みの内容は商業機密の観点から公開できません。

0410





注：寸法はmを示す。

工事計画認可申請 第9-3-1-24図

女川原子力発電所 第2号機

名 火災区域構造物及び火災区画構造物に係る  
機器の配置を明示した図面及び構造図  
称 (タービン建屋その4)

東北電力株式会社

凡例

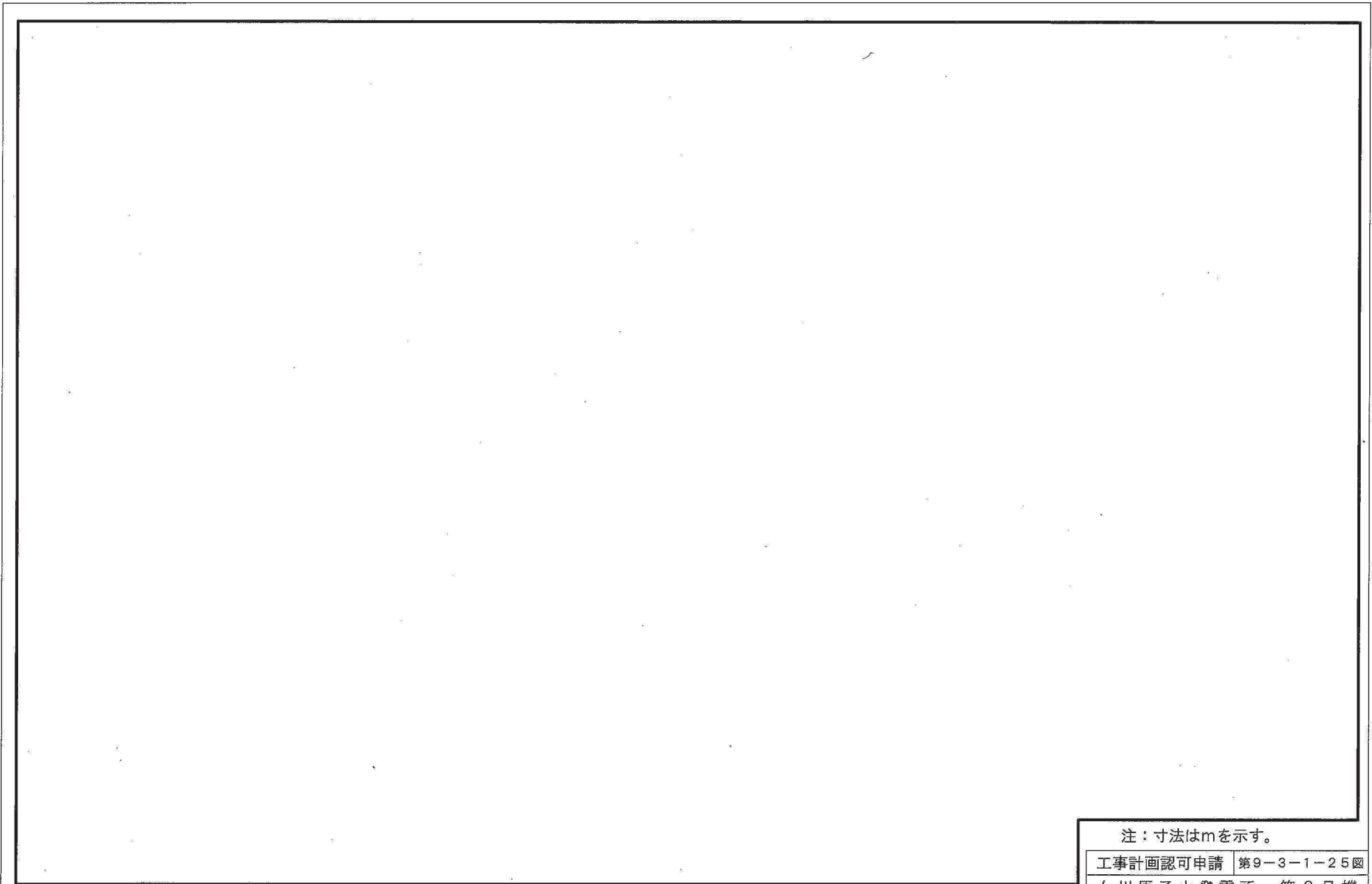
■ 火災区域境界

\* 上下階と繋がっている火災区域又は火災区画

//// 建屋ごとの火災区域及び火災区画構造物の厚さの最小部位(特記なき場合) □ mm)

特開みの内容は商業機密の観点から公開できません。

0410



注：寸法はmを示す。

工事計画認可申請 第9-3-1-25図

女川原子力発電所 第2号機

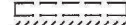
名 火災区域構造物及び火災区画構造物に係る  
機器の配置を明示した図面及び構造図  
称 (海水ポンプ室エリアその1)

東 北 電 力 株 式 会 社

凡例



火災区域境界



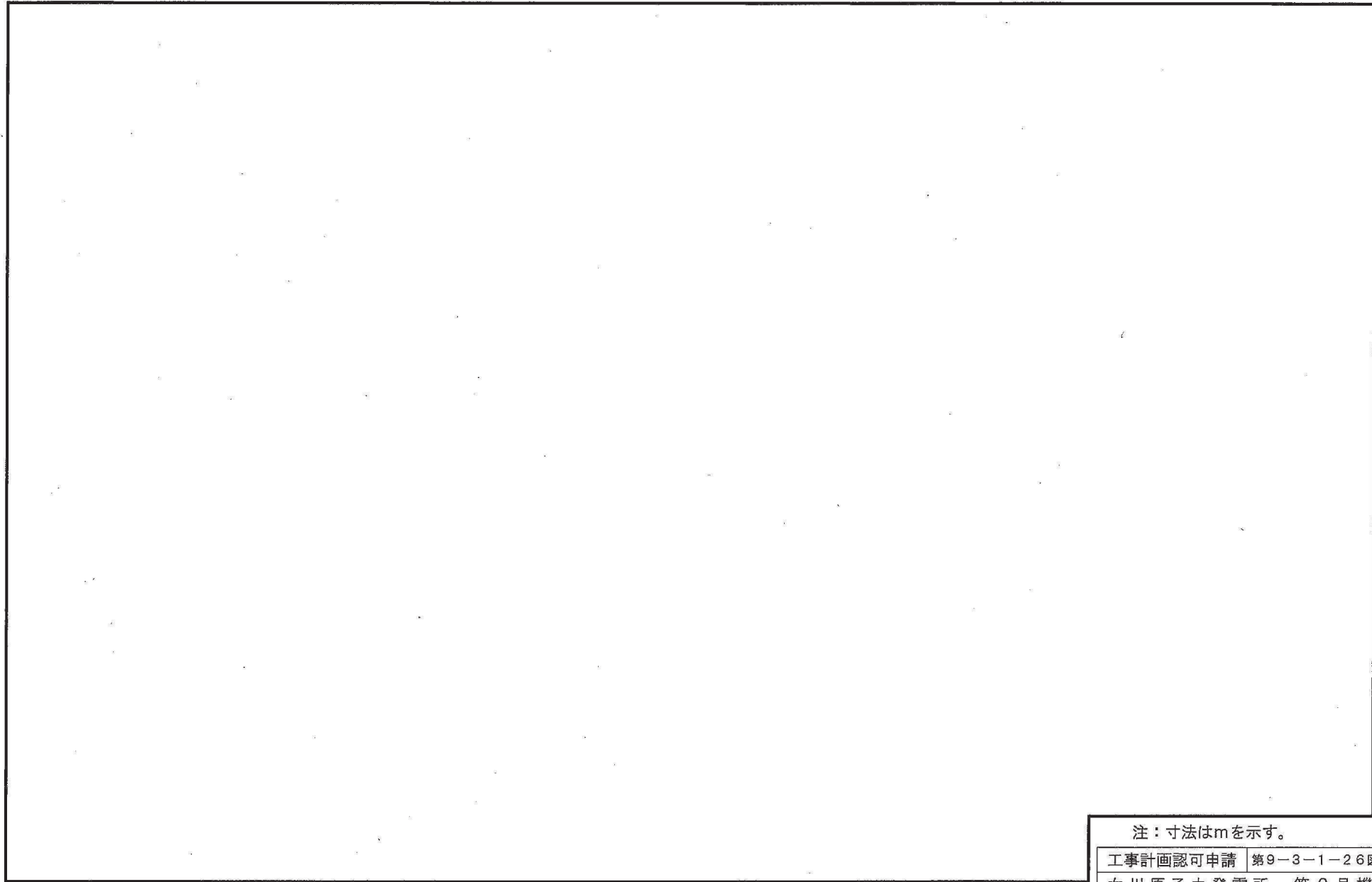
火災区画境界



壁面ごとの火災区域及び火災区画構造物の厚さの最小部位 (特記なき場合  mm)

特記の内容は商業機密の観点から公開できません。

0410



注：寸法はmを示す。

工事計画認可申請 第9-3-1-26図

女川原子力発電所 第2号機

名 火災区域構造物及び火災区画構造物に係る  
機器の配置を明示した図面及び構造図  
称 (海水ポンプ室エリアその2)

東北電力株式会社

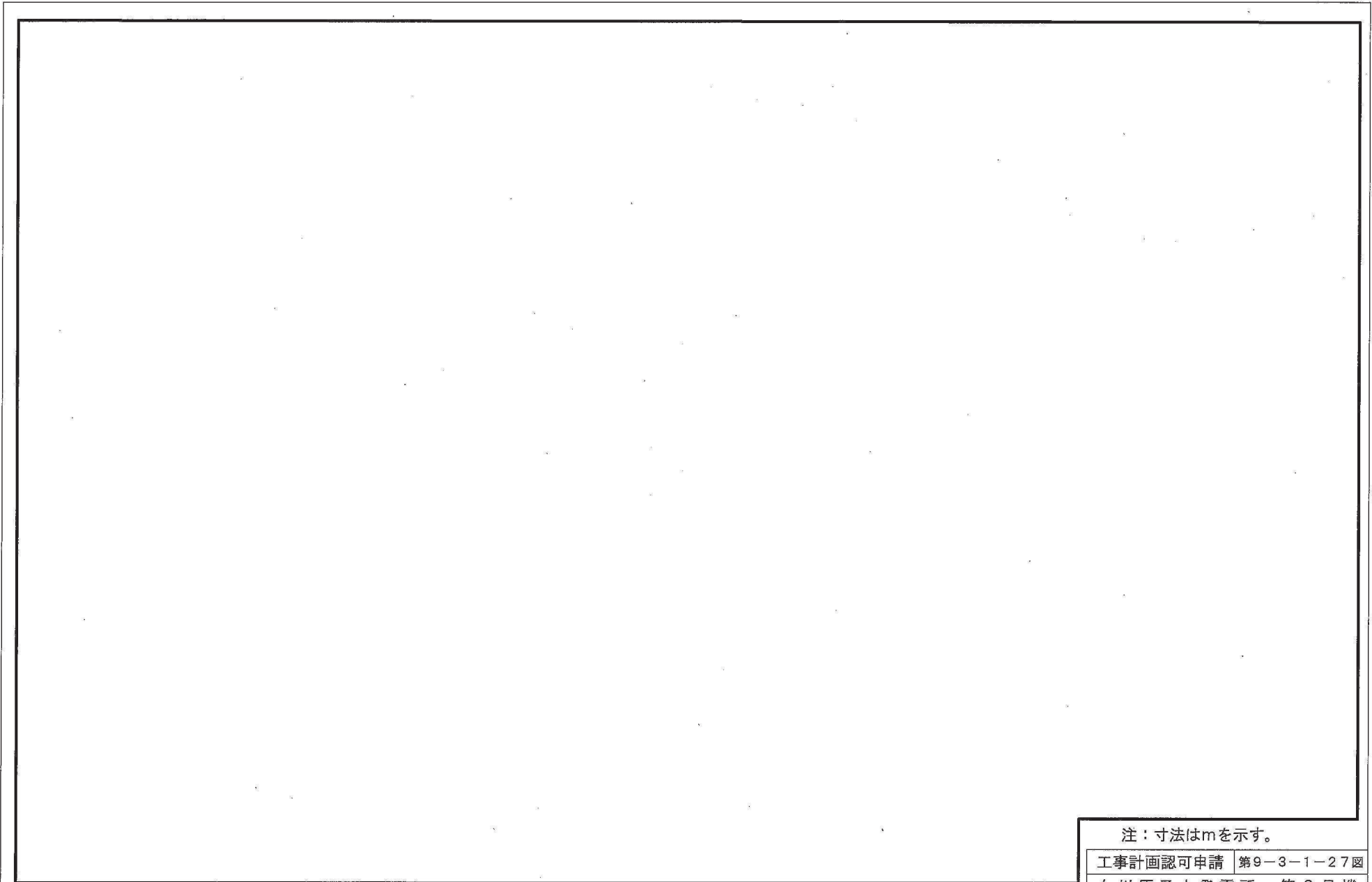
凡例



火災区域境界

火災区画境界

寸法ごとの火災区域及び火災区画構造物の厚さの最小部位 (特記なき場合  mm)



注：寸法はmを示す。

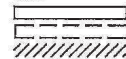
工事計画認可申請 第9-3-1-27図

女川原子力発電所 第2号機

名 火災区域構造物及び火災区画構造物に係る  
機器の配置を明示した図面及び構造図  
称 (海水ポンプ室エリアその3)

東北電力株式会社

凡例



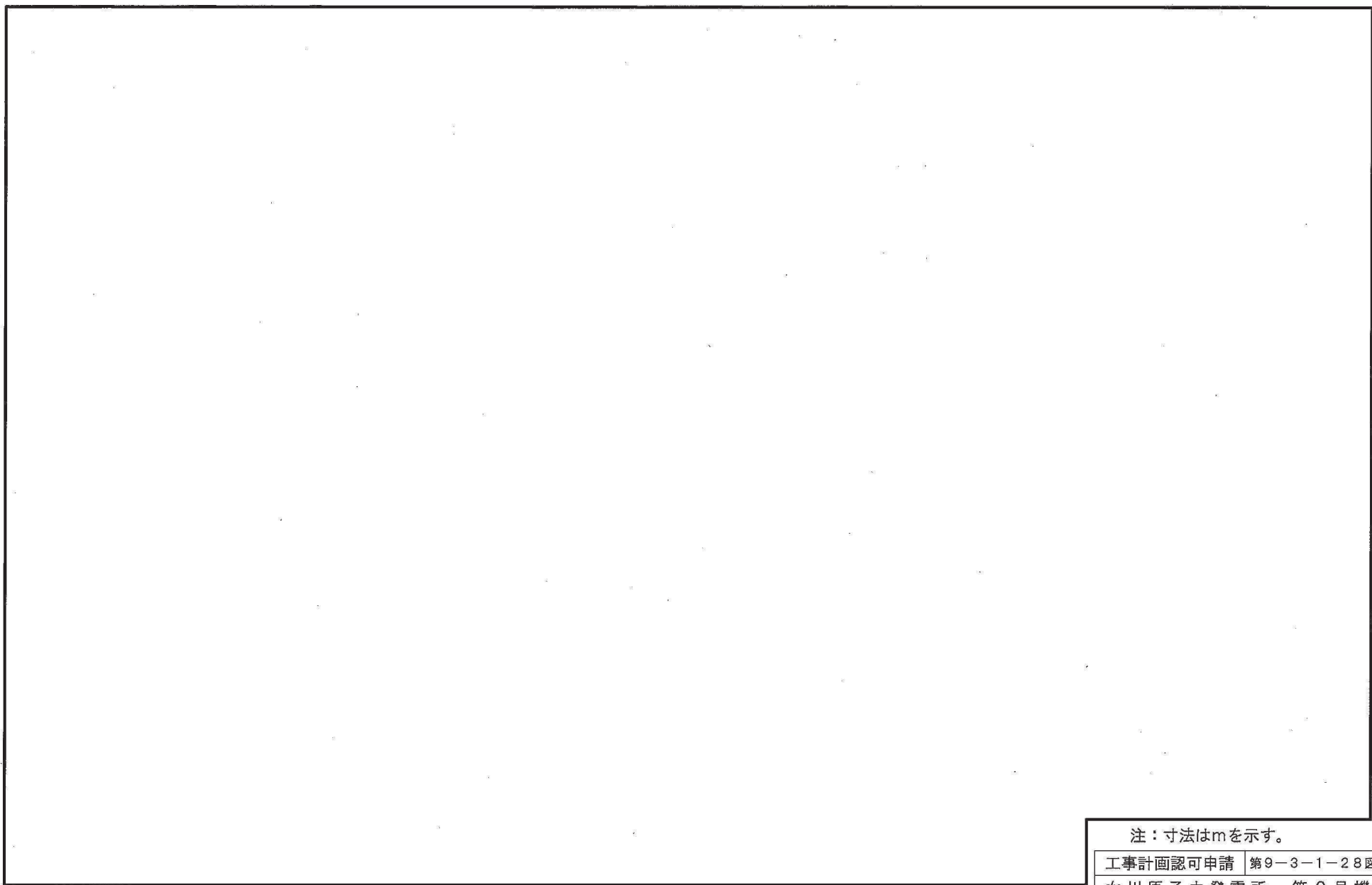
火災区域境界

火災区画境界

建屋ごとの火災区域及び火災区画構造物の厚さの最小部位(特記なき場合)  mm)

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

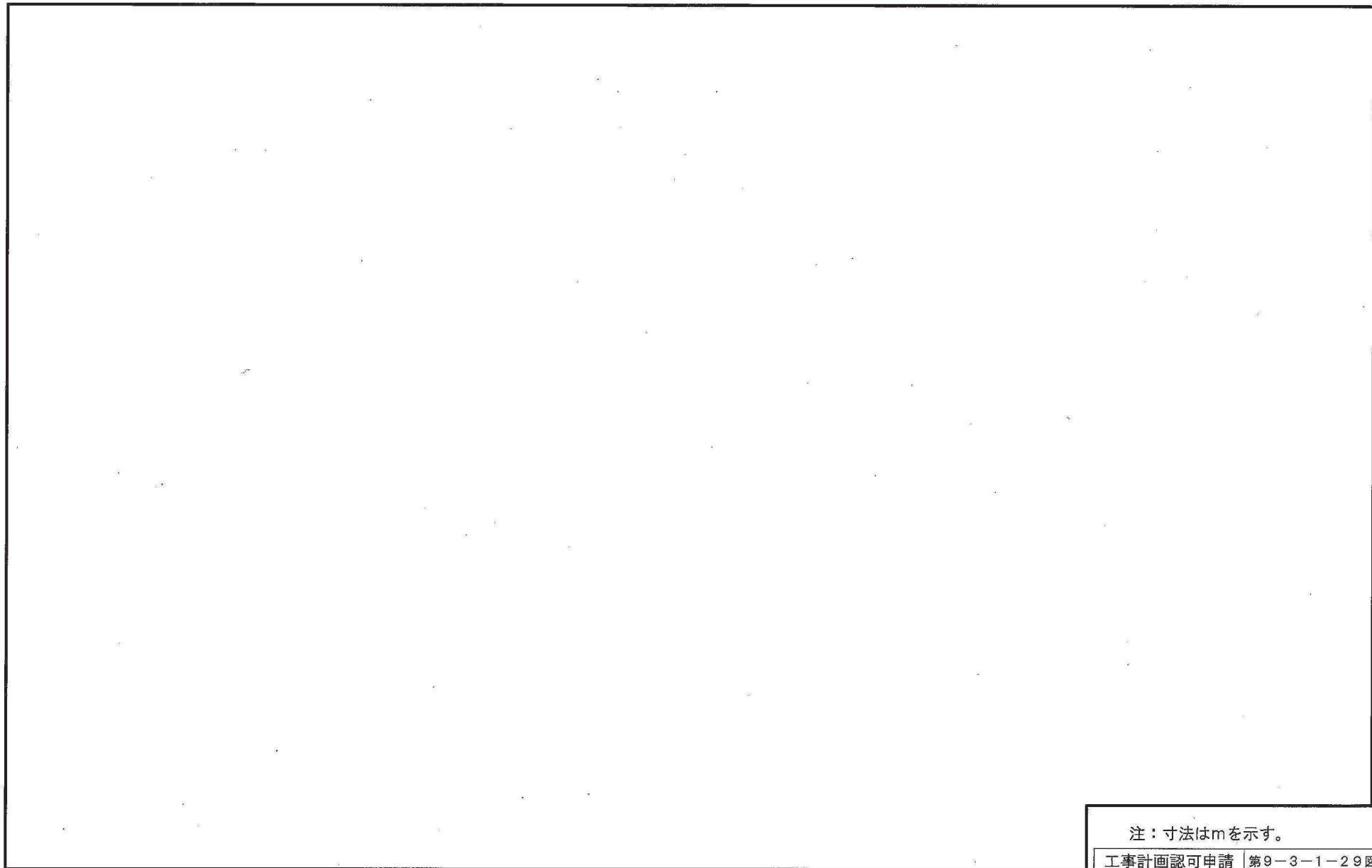
0410



凡例  
—— 火災区域境界  
- - - - 火災区画境界

注：寸法はmを示す。

工事計画認可申請	第9-3-1-28図
女川原子力発電所 第2号機	
名	火災区域構造物及び火災区画構造物に係る機器の配置を明示した図面及び構造図
称	(海水ポンプ室エリアその4)
東北電力株式会社	



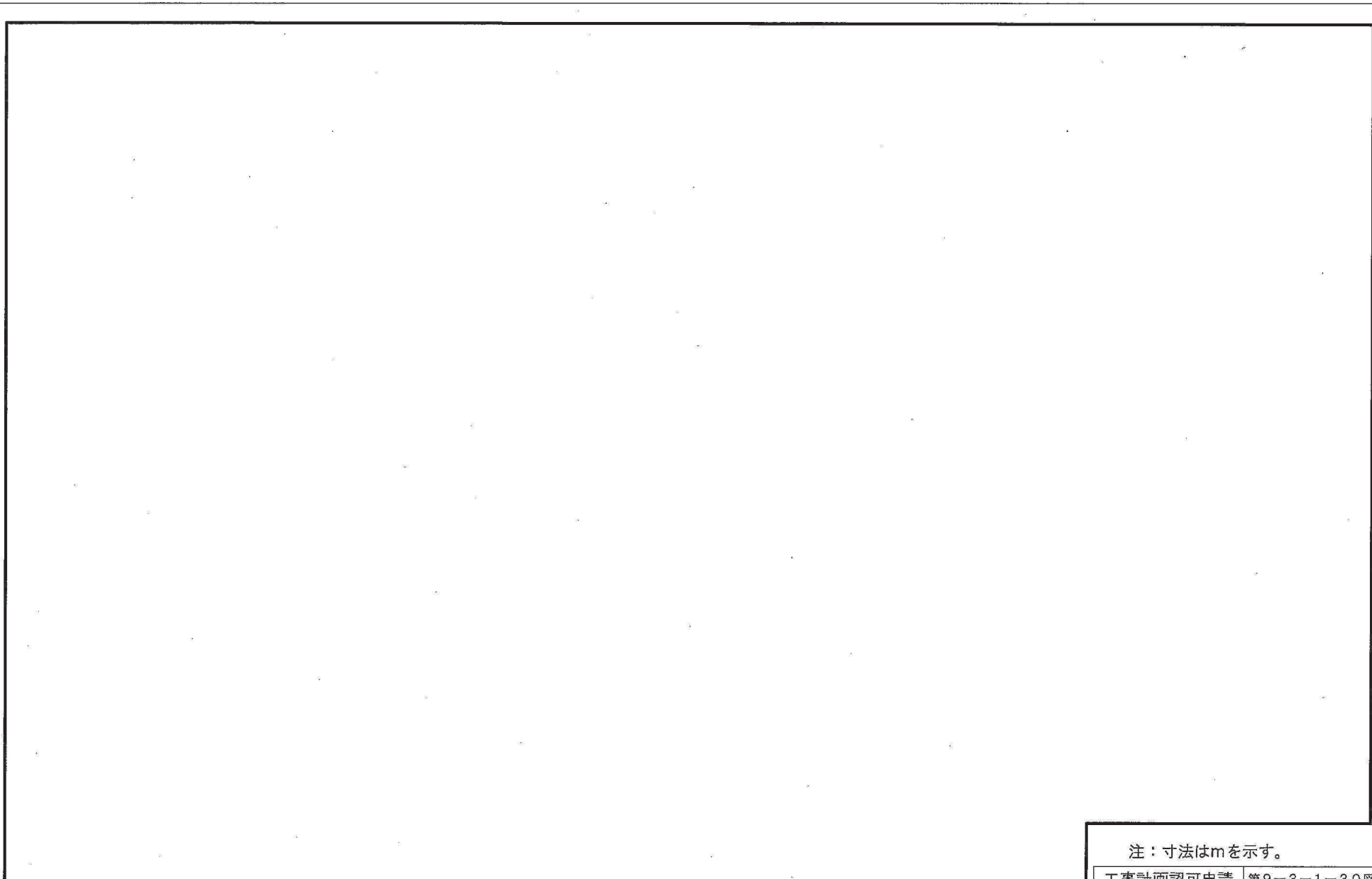
凡例

-  火災区域境界
-  火災区画境界
-  建屋ごとの火災区域及び火災区画構造物の厚さの最小部位（特記なき場合  mm）

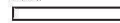
注：寸法はmを示す。

工事計画認可申請	第9-3-1-29図
女川原子力発電所 第2号機	
名	火災区域構造物及び火災区画構造物に係る機器の配置を明示した図面及び構造図
称	(軽油タンク・復水貯蔵タンクエリア)
東北電力株式会社	

枠図みの内容は商業機密の観点から公開できません。



凡例



火災区域境界

\*

上下階と繋がっている火災区域又は火災区画

注：寸法はmを示す。

工事計画認可申請 第9-3-1-30図

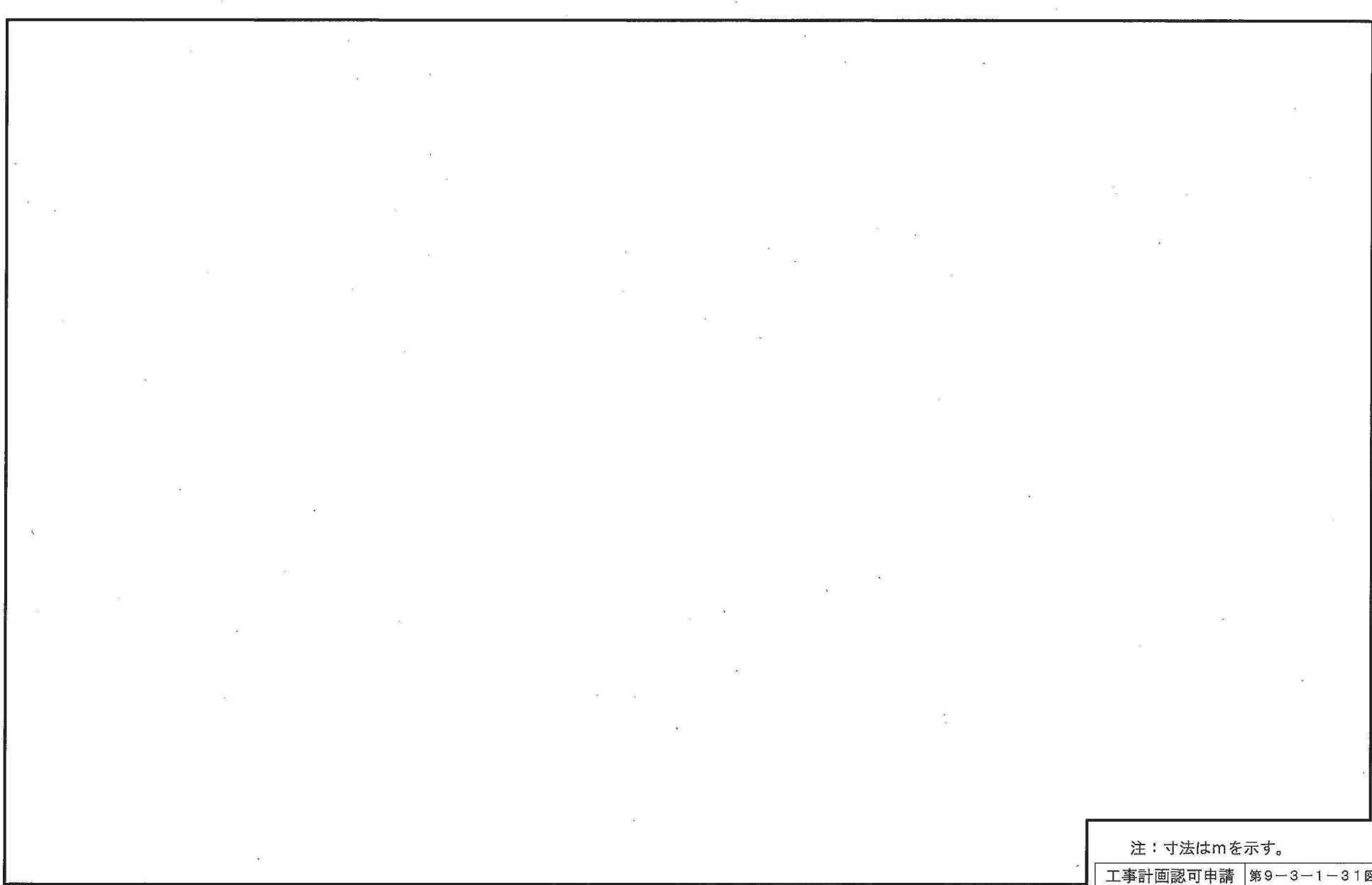
女川原子力発電所 第2号機

名 火災区域構造物及び火災区画構造物に係る  
機器の配置を明示した図面及び構造図  
称 (緊急時対策建屋その1)

東北電力株式会社

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

0410



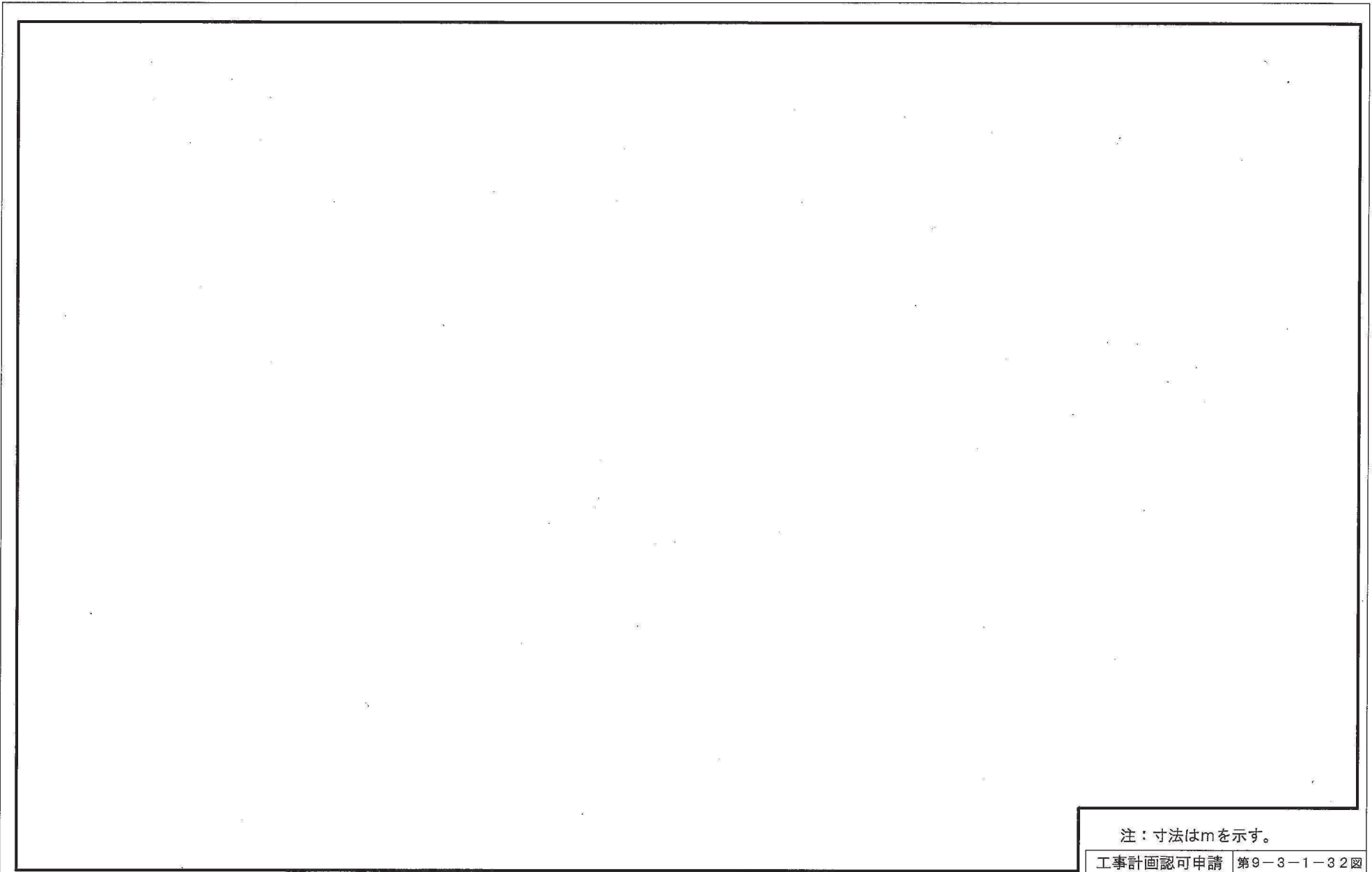
凡例  
—— 火災区域境界  
\* 上下階と繋がっている火災区域又は火災区画

注：寸法はmを示す。

工事計画認可申請	第9-3-1-31図
女川原子力発電所 第2号機	
名	火災区域構造物及び火災区画構造物に係る機器の配置を明示した図面及び構造図
称	(緊急時対策建屋その2)
東北電力株式会社	

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。





注：寸法はmを示す。

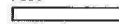
工事計画認可申請 第9-3-1-32図

女川原子力発電所 第2号機

名 火災区域構造物及び火災区画構造物に係る  
機器の配置を明示した図面及び構造図  
称 (緊急時対策建屋その3)

東北電力株式会社

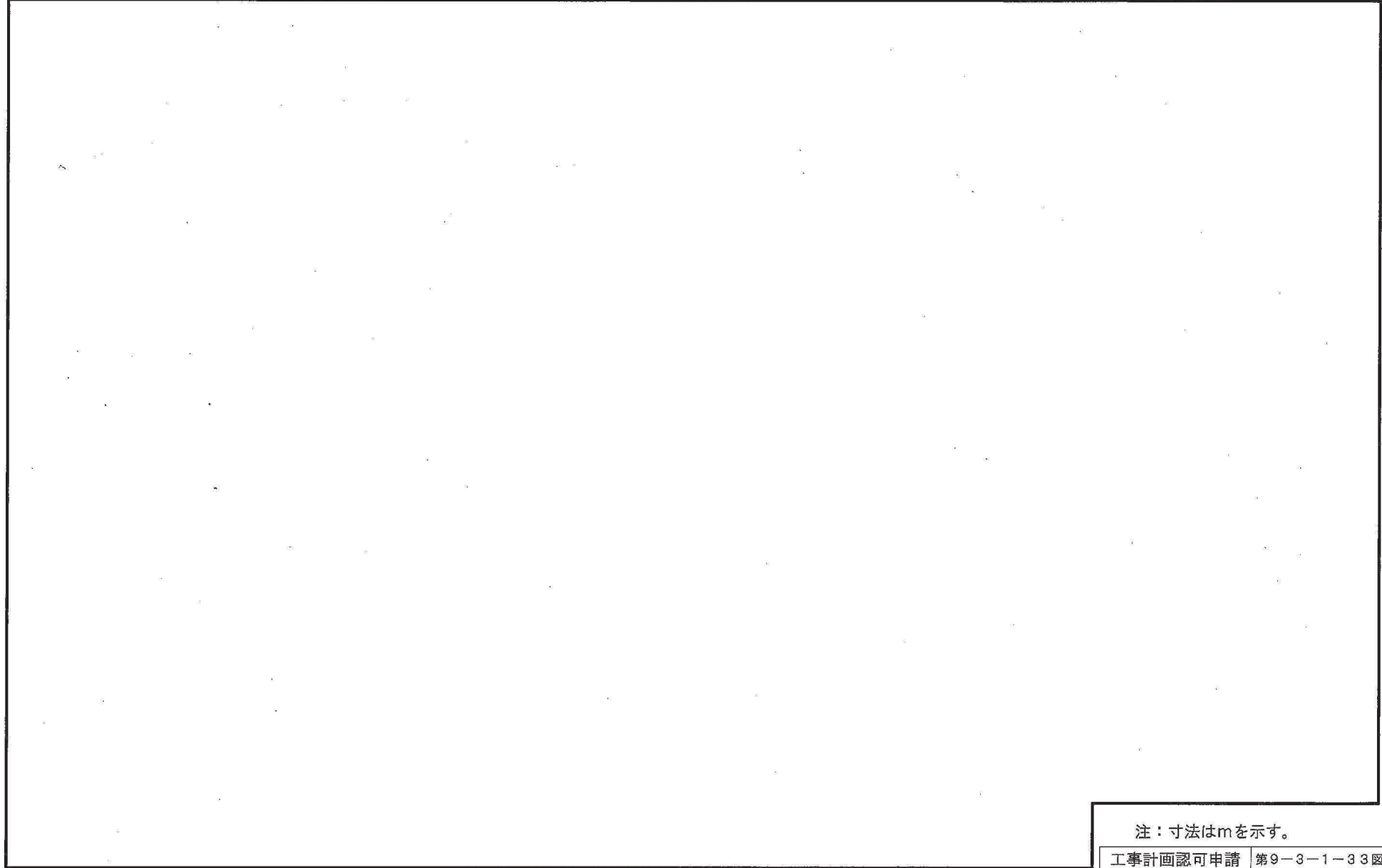
凡例



火災区域境界

\*

上下階と繋がっている火災区域又は火災区画



注：寸法はmを示す。

工事計画認可申請 第9-3-1-33図

女川原子力発電所 第2号機

名 火災区域構造物及び火災区画構造物に係る  
機器の配置を明示した図面及び構造図  
称 (緊急時対策建屋その4)

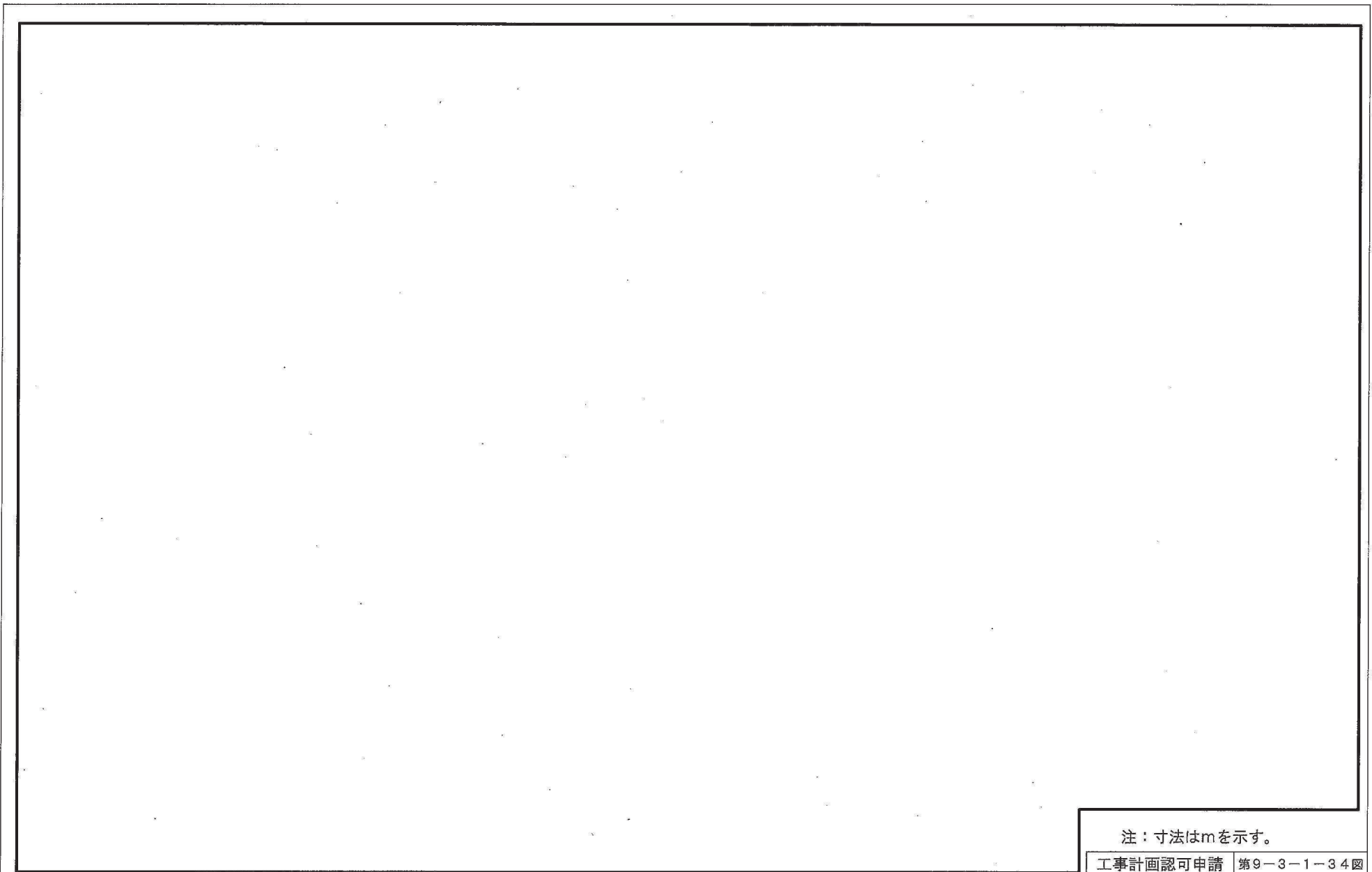
東北電力株式会社

凡例

————— 火災区域境界  
\* 上下階と繋がっている火災区域又は火災区画  
//// //// 建屋ごとの火災区域及び火災区画構造物の厚さの最小部位（特記なき場合  mm）

特図みの内容は商業機密の観点から公開できません。

0410



注：寸法はmを示す。

工事計画認可申請 第9-3-1-34図

女川原子力発電所 第2号機

名 火災区域構造物及び火災区画構造物に係る  
機器の配置を明示した図面及び構造図  
称 (緊急用電気品建屋エリアその1)

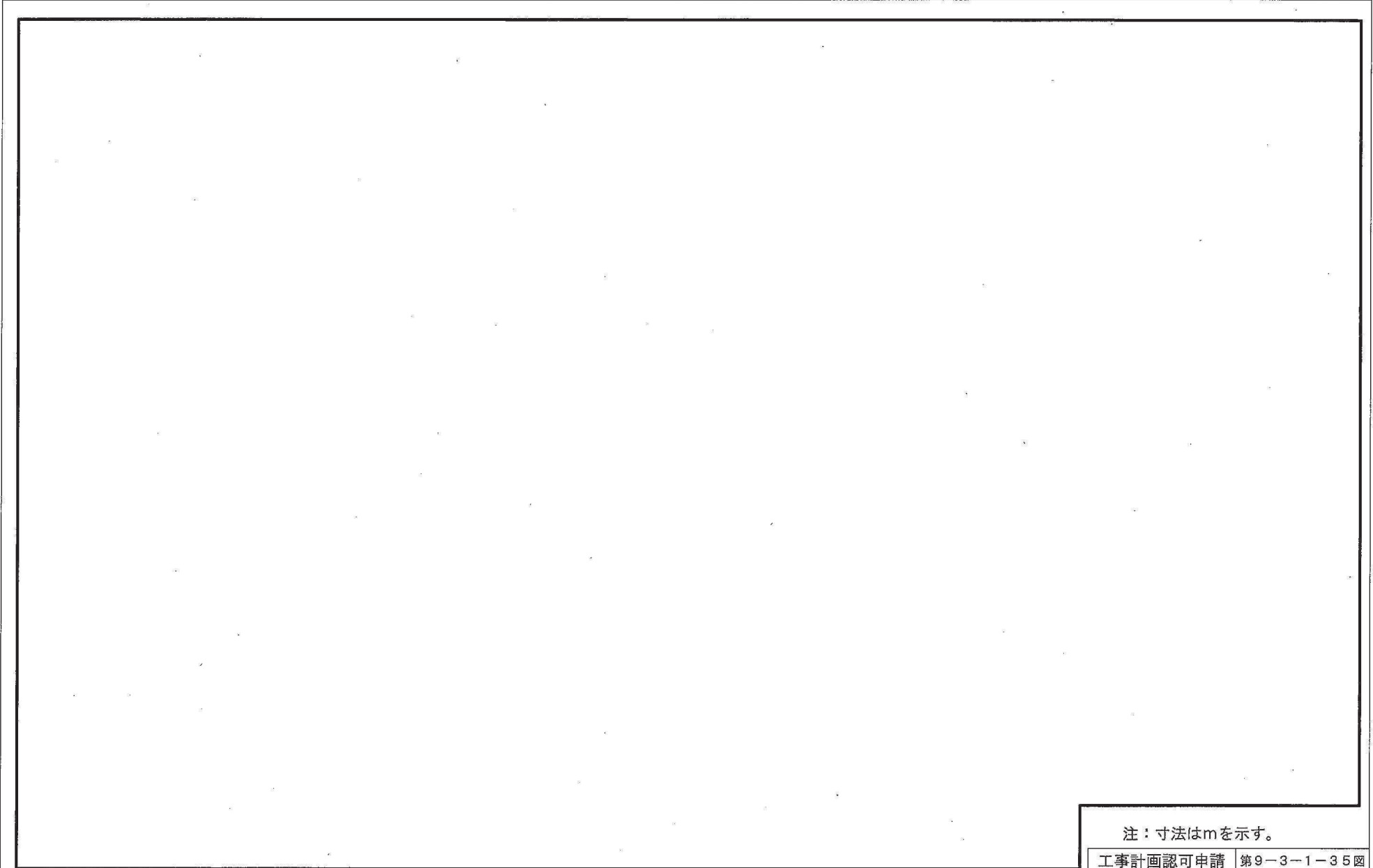
東北電力株式会社

凡例

————— 火災区域境界





\* 上下階と繋がっている火災区域又は火災区画

////////// 建屋ごとの火災区域及び火災区画構造物の厚さの最小部位 (特記なき場合  mm)



注：寸法はmを示す。

凡例

-  火災区域境界
- \*  上下階と繋がっている火災区域又は火災区画
-  建屋ごとの火災区域及び火災区画構造物の厚さの最小部位（特記なき場合  mm）

工事計画認可申請	第9-3-1-35図
女川原子力発電所 第2号機	
名	火災区域構造物及び火災区画構造物に係る機器の配置を明示した図面及び構造図
称	(緊急用電気品建屋エリアその2)
東北電力株式会社	

特記なき内容は商業機密の観点から公開できません。

0410

第9-3-1-1図～第9-3-1-35図 火災区域構造物及び火災区画構造物に係る機器の配置を明示した図面及び構造図 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法 (mm)	許容範囲	根拠
原子炉建屋	150mm 以上*1, *2, *3	—
タービン建屋		
制御建屋		
海水ポンプ室エリア		
軽油タンクエリア		
復水貯蔵タンクエリア		
緊急時対策建屋		
緊急用電気品建屋		
ガスタービン発電設備軽油タンクエリア		

注：主要寸法は、工事計画記載の公称値を示す。

注記\*1：火災区域又は火災区画構造物の耐火能力として150mm以上とする。

\*2：出典 2001年版耐火性能検証法の解説及び計算例とその解説（「建設省告示第1433号耐火性能検証法に関する算出方法等を定める件」講習会テキスト（国土交通省住宅局建築指導課））

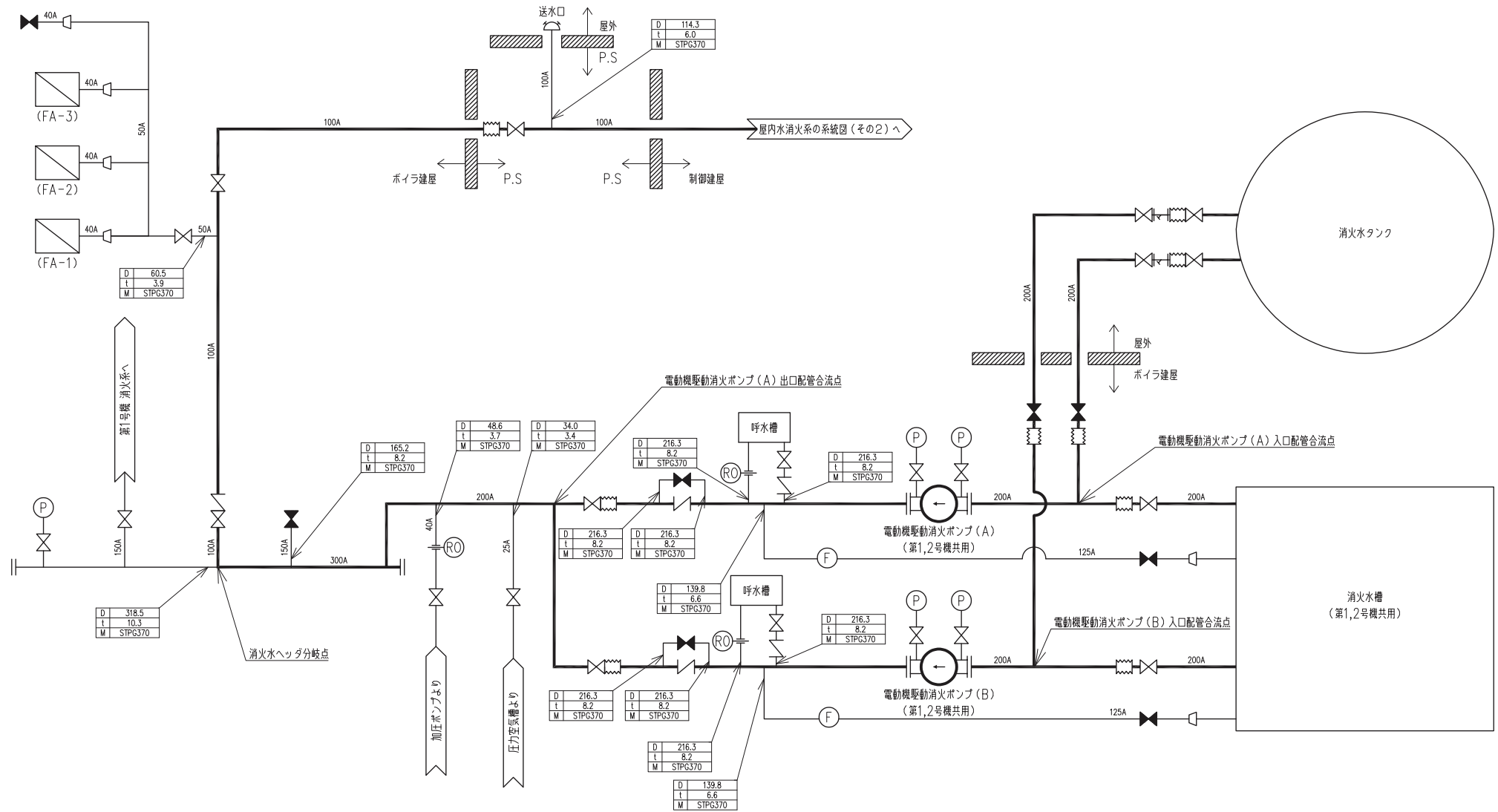
\*3：出典 米国 NFPA Handbook Twentieth Edition

### 9.3.2 消火設備

### 9.3.2.1 水消火設備

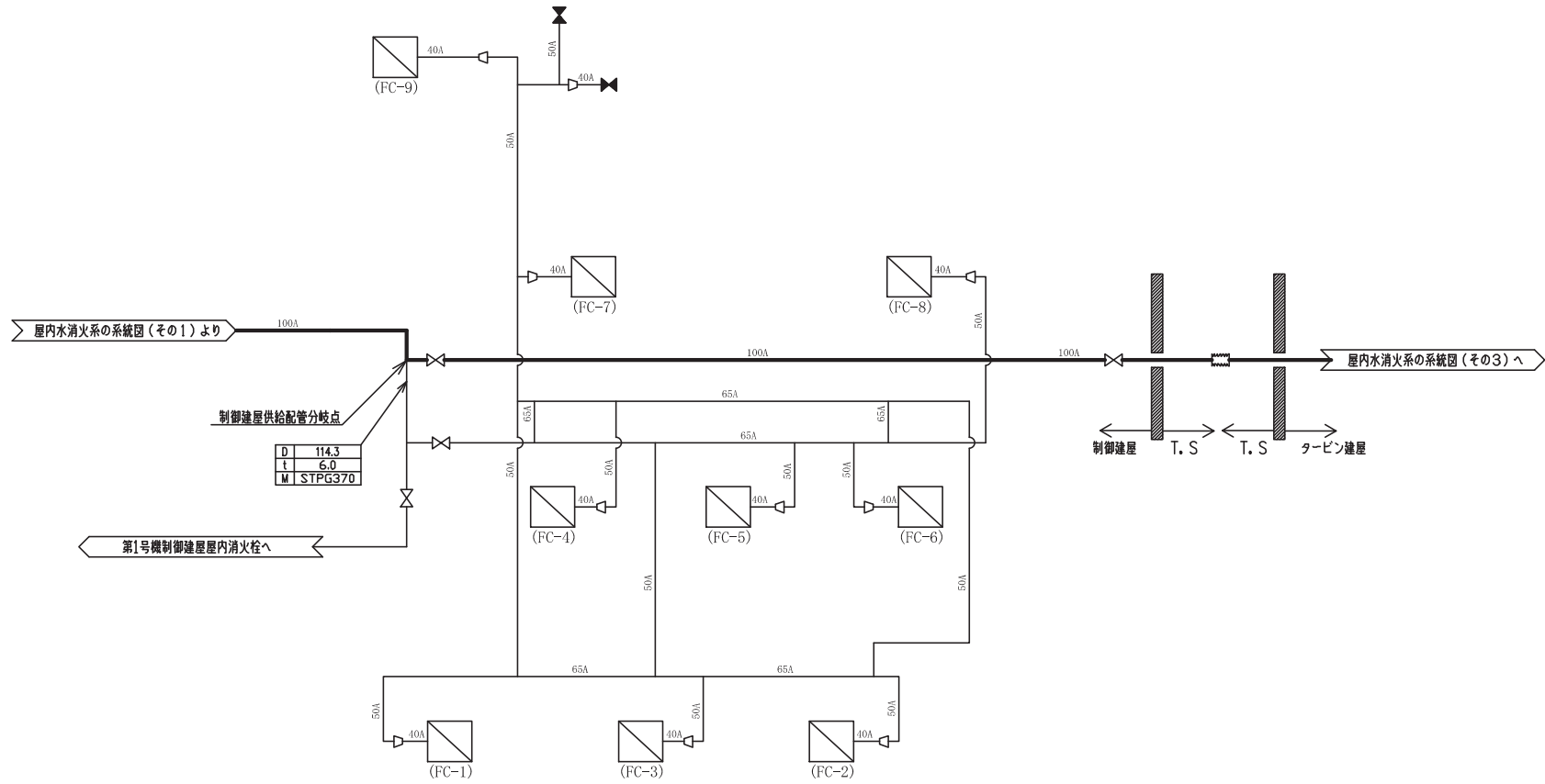
### 9.3.2.1.1 屋内水消火系





備考	
D	外径 mm
t	厚さ mm
M	材料

工事計画認可申請	第9-3-2-1-1-1-1図
女川原子力発電所 第2号機	
名称	屋内水消火系の系統図 (その1)
東北電力株式会社	



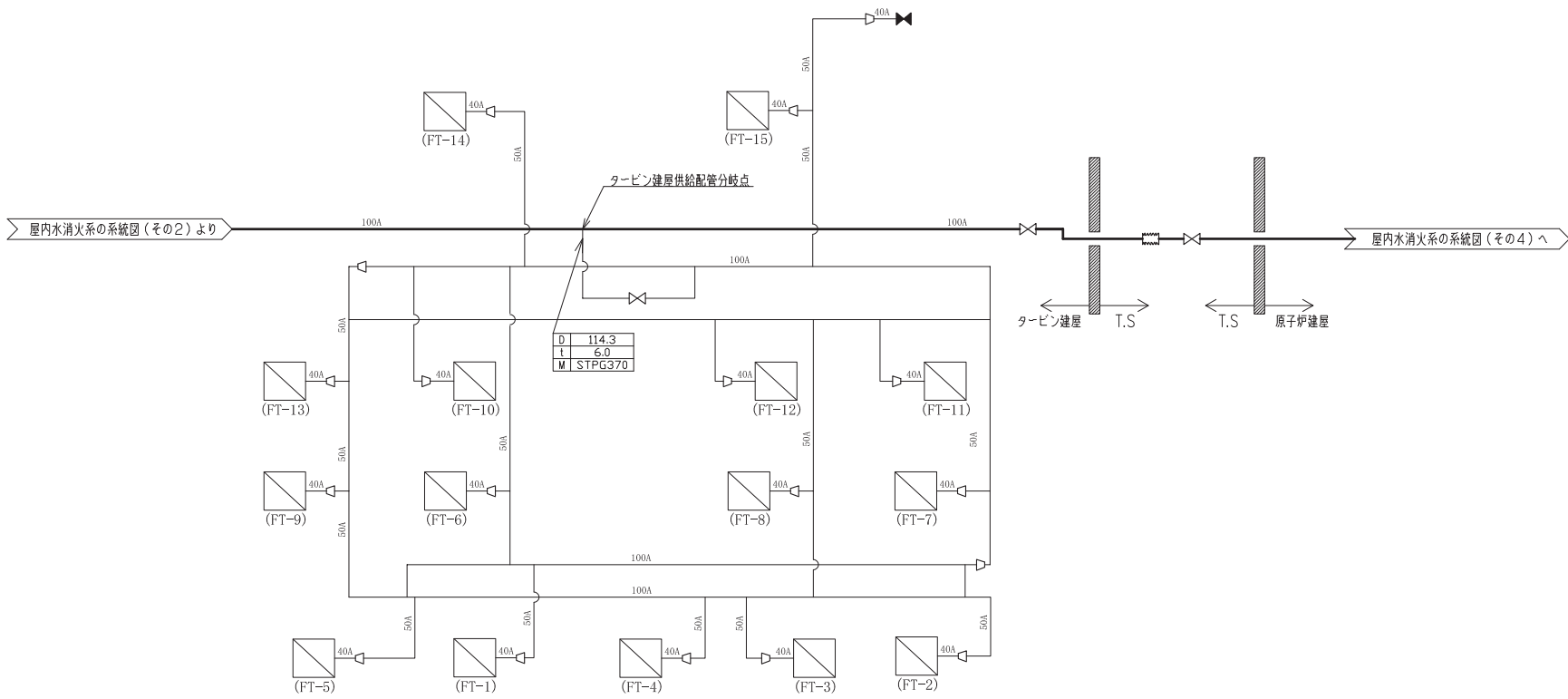
D	114.3
T	6.0
M	STPG370

備考	
D	外径 mm
t	厚さ mm
M	材料

工事計画認可申請	第9-3-2-1-1-1-2図
女川原子力発電所 第2号機	

名称	屋内水消火系の系統図 (その2)
----	------------------

東北電力株式会社



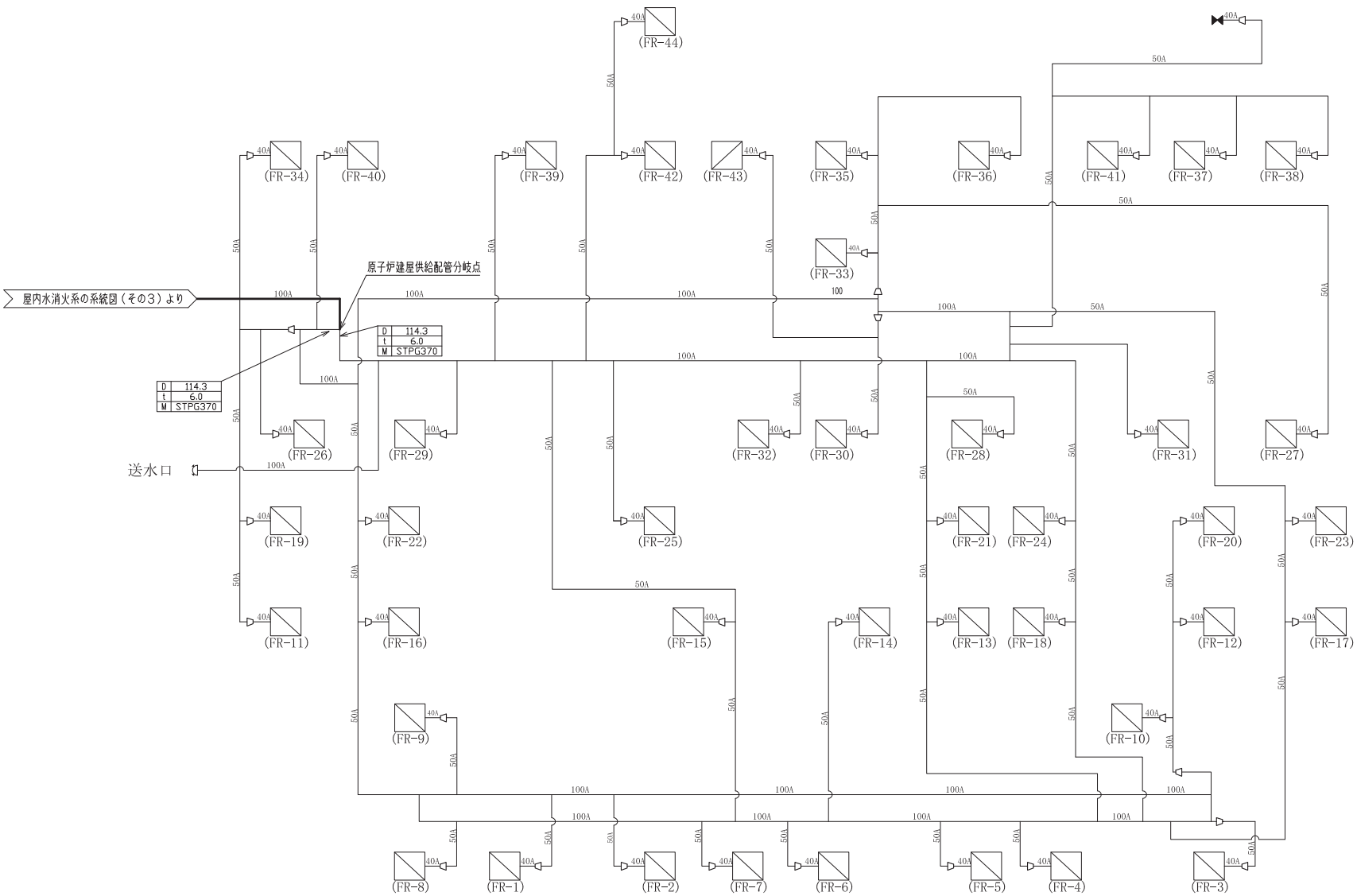
備考	
D	外径 mm
t	厚さ mm
M	材料

工事計画認可申請 第9-3-2-1-1-1-3図

女川原子力発電所 第2号機

名称 屋内水消火系の系統図 (その3)

東北電力株式会社



D	114.3
t	6.0
M	STPG370

送水口

原子炉建屋供給配管分岐点

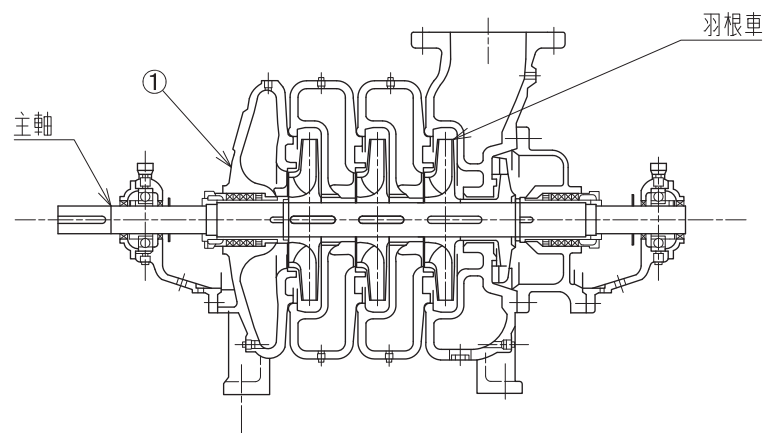
備考	
D	外径 mm
t	厚さ mm
M	材料

工事計画認可申請 第9-3-2-1-1-1-4図

女川原子力発電所 第2号機

名称 屋内水消火系の系統図 (その4)

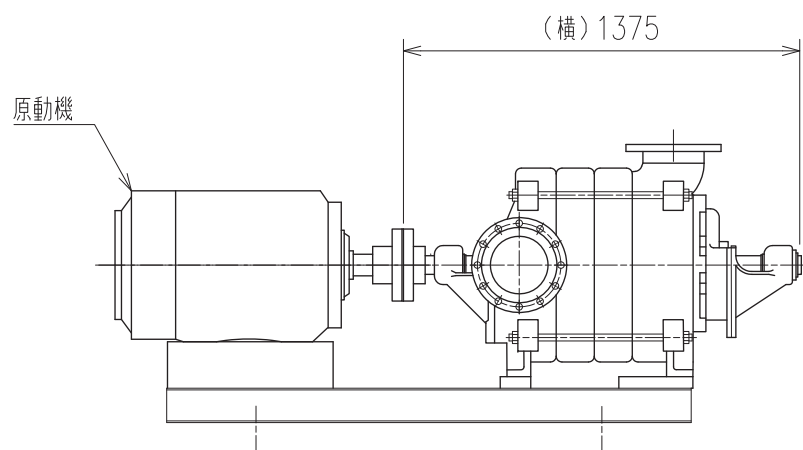
東北電力株式会社



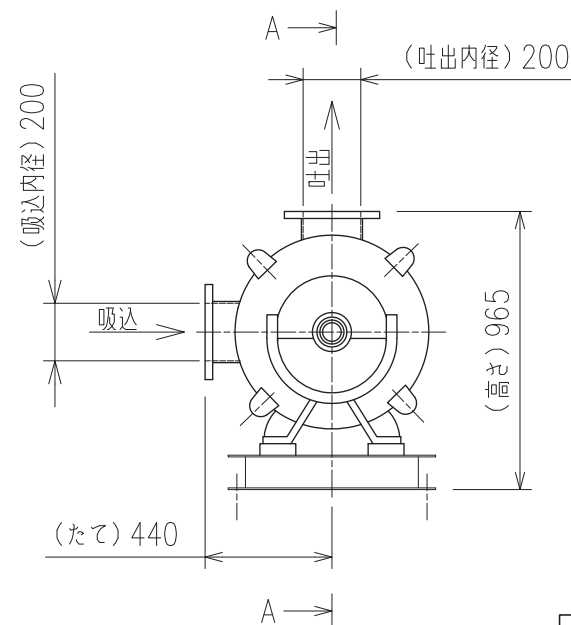
A~A断面図

1	ケーシング	1	FC20
番号	品名	個数	材料
部品表			

2	電動機駆動消火ポンプB		
1	電動機駆動消火ポンプA		
番号	名称	備考	
電動機駆動消火ポンプ一覧表			



外形図



注1 : 特記なき寸法はmmを示す。  
 注2 : 特記なき寸法は公称値を示す。

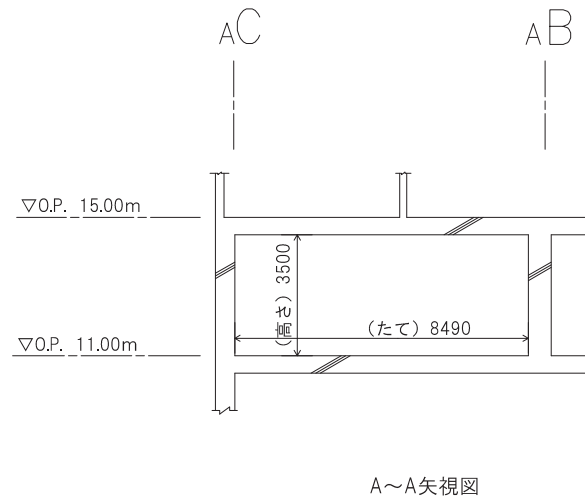
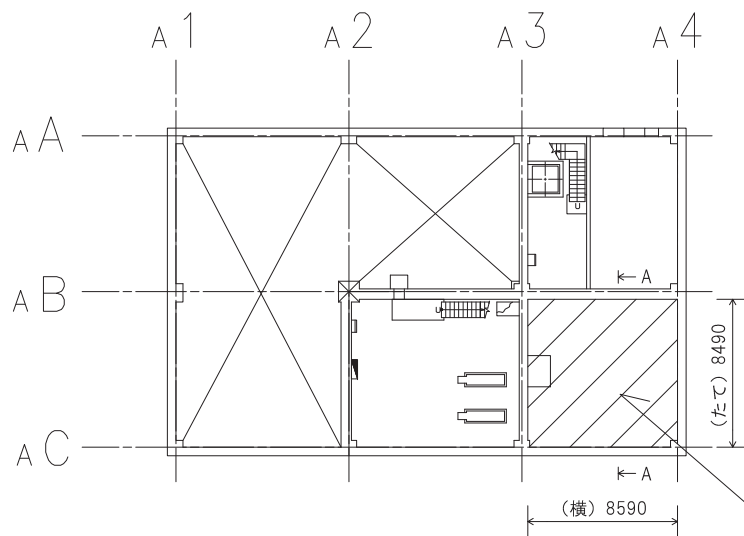
工事計画認可申請	第9-3-2-1-1-2-1図
女川原子力発電所 第2号機	
名称	屋内水消火系の構造図 電動機駆動消火ポンプ (第1、2号機共用)
東北電力株式会社	

第 9-3-2-1-1-2-1 図 「屋内水消火系の構造図 電動機駆動消火ポンプ（第 1, 2 号機共用）」別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
吸込内径	200		製造能力，製造実績を考慮したメーカー基準
吐出内径	200		同上
たて	440		同上
横	1375		同上
高さ	965		同上

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値を示す。



消火水槽(第1,2号機共用)

補助ボイラー建屋O. P. 11.00 (m)

注1：特記なき寸法はmmを示す。  
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

工事計画認可申請	第9-3-2-1-1-2-2図
女川原子力発電所 第2号機	
名称	屋内水消火系の構造図 消火水槽(第1,2号機共用)
東北電力株式会社	

第 9-3-2-1-1-2-2 図 屋内水消火系の構造図 消火水槽（第 1, 2 号機共用）別紙

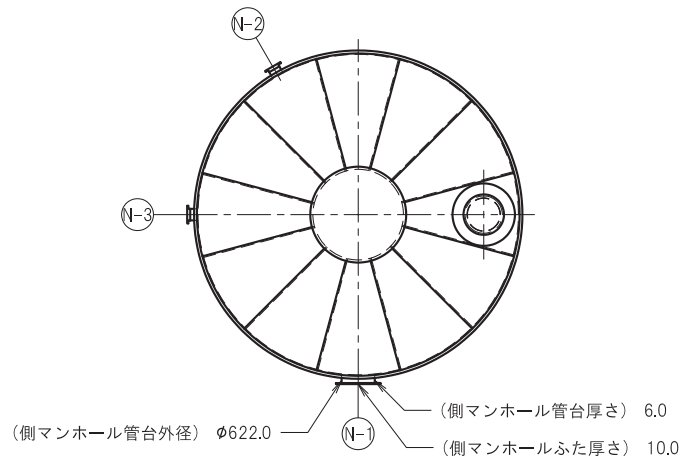
工事計画記載の公称値の許容範囲

消火水槽（第 1, 2 号機共用）

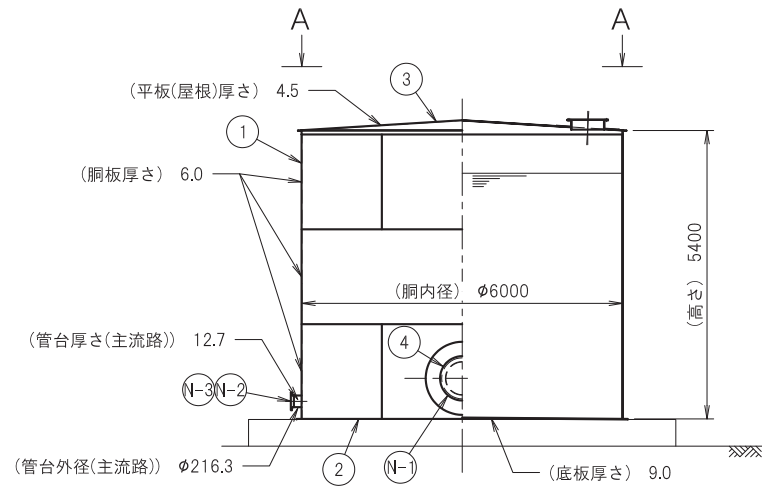
主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
たて	8590	—	許容範囲は設定しない。
横	8490	—	同上
高さ	3500	—	同上

注：主要寸法は、工事計画記載の公称値を示す。





A~A 矢視図



N-3	主流路(B系)	1	200A
N-2	主流路(A系)	1	200A
N-1	側マンホール	1	φ622.0
符号	名称	個数	呼び径
管台一覧表			

4	側マンホールふた	1	SM400C
3	平板(屋根)	1式	SS400
2	底板	1式	SM400C
1	胴板	1式	SS400
番号	品名	個数	材料
部品表			

注1：寸法はmmを示す。  
 注2：特記なき寸法は公称値を示す。  
 注3：断面図示では管台の構造を模式的に示している。

工事計画認可申請	第9-3-2-1-1-2-3 図
女川原子力発電所 第2号機	
名称	屋内水消火系の構造図 消火水タンク
東北電力株式会社	

第 9-3-2-1-1-2-3 図 屋内水消火系の構造図 消火水タンク 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

消火水タンク

主要寸法 (mm)		許容範囲	根拠
胴内径	6,000	(60mm 以下) ±26mm	設計・建設規格 PVD-3010(PVC-3910 準用)より、同一断面における最大内径と最小内径の差は1%以下 製造能力、製造実績を考慮したメーカー基準
胴板厚さ (1, 2, 3 段目)	6.0	±0.60mm	公差：JIS G 3193 による材料公差
底板厚さ	9.0	±0.55mm ±0.65mm (板幅による)	公差：JIS G 3193 による材料公差
平板(屋根)厚さ	4.5	±0.45mm	公差：JIS G 3193 による材料公差
管台外径(主流路)	216.3	±0.8%	公差：JIS G 3454 による材料公差
管台厚さ(主流路)	12.7	+15% -12.5%	公差：JIS G 3454 による材料公差
側マンホール管台 外径	622.0	±0.5%	公差：JIS G 3457 による外径許容差
側マンホール管台 厚さ	6.0	±0.50	公差：JIS G 3193 による材料公差
側マンホールふた 厚さ	10.0	±0.55	公差：JIS G 3193 による材料公差
高さ	5,400	±15mm	製造能力、製造実績を考慮したメーカー基準

注1：主要寸法は、工事計画記載の公称値を示す。

注2：( ) 付き公差は最大と最小の差を示す。

工事計画記載の公称値の許容範囲(続き)

寸法公差の根拠

[胴板, 側マンホール管台及び側マンホールふた]

消火水タンクにおける今回申請する胴板, 底板, 平板(屋根), 側マンホール管台及び側マンホールふたは日本産業規格「熱間圧延鋼板及び鋼帯の形状, 寸法, 質量及びその許容差」(JIS G 3193-2019)にて規定される熱間圧延鋼板を採用するため, 寸法公差として下表に示した同規格に定める厚さの許容値を適用している。

鋼板の厚さの許容差(厚さ: 4mm 以上)

区分	厚さ	幅	厚さの許容値
熱間圧延鋼板	4.00 以上 5.00 未満	1,600 未満	±0.45
	5.00 以上 6.30 未満	1,600 未満	±0.50
		1,600 以上 2,000 未満	±0.60
	6.30 以上 10.0 未満	1600 未満	±0.55
		1,600 以上 2,000 未満	±0.65
10.0 以上 16.0 未満	1,600 未満	±0.55	

[管台(主流路)]

消火水タンクにおける今回申請する管台(主流路)は, 日本産業規格「圧力配管用炭素鋼鋼管」(JIS G 3454-2012)に定める種類の記号 STPG370 にて規定される材料を採用するため, 寸法公差として下表に示した同規格に定める外径及び厚さの許容値を適用している。

管の外径及び厚さの許容値

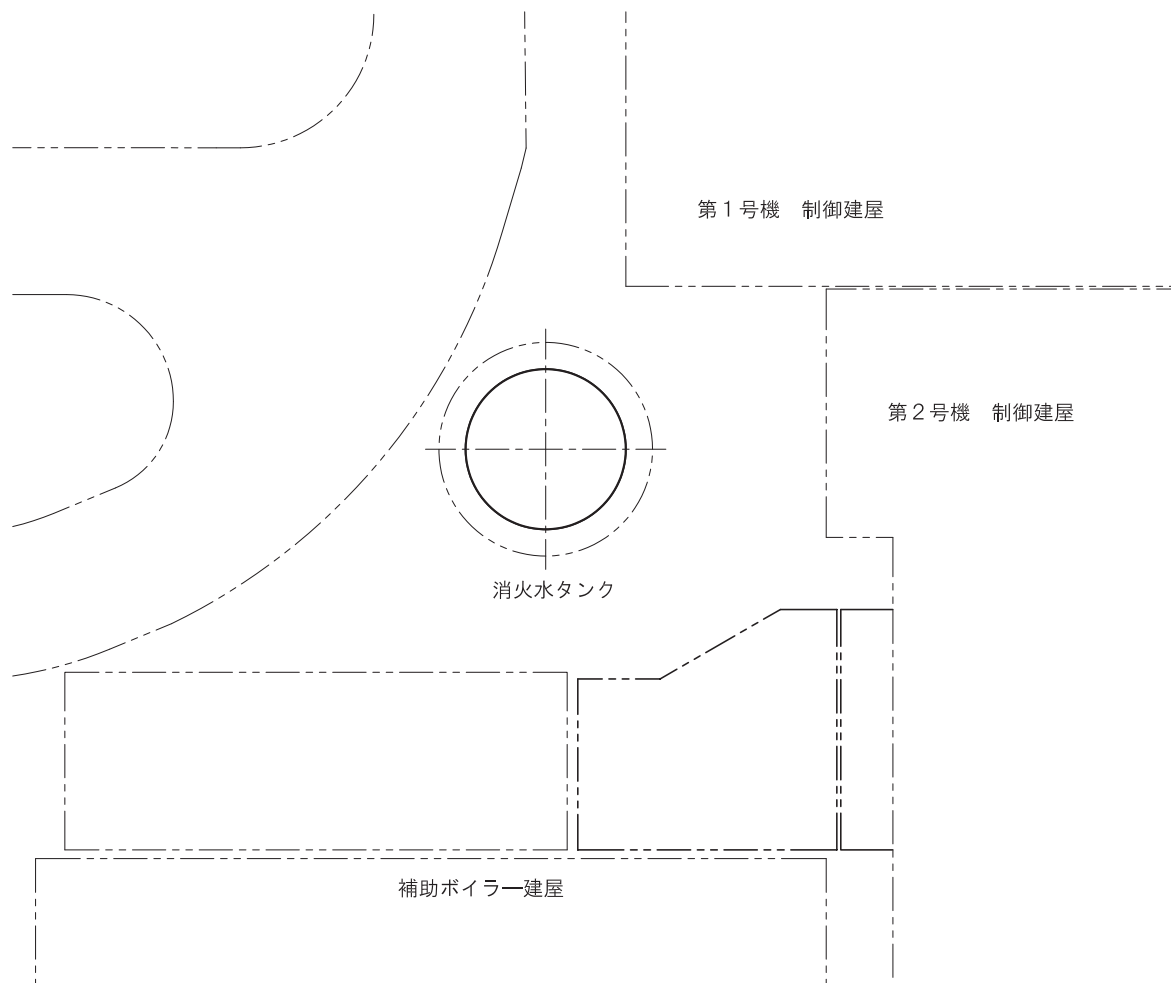
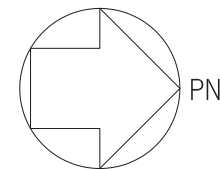
区分	外径の許容差		厚さの許容差	
	呼び径	許容差	厚さ区分	許容差
熱間仕上継目無鋼管 (STPG370)	200A 以上	±0.8%	4mm 以上	+15% -12.5%

[側マンホール管台]

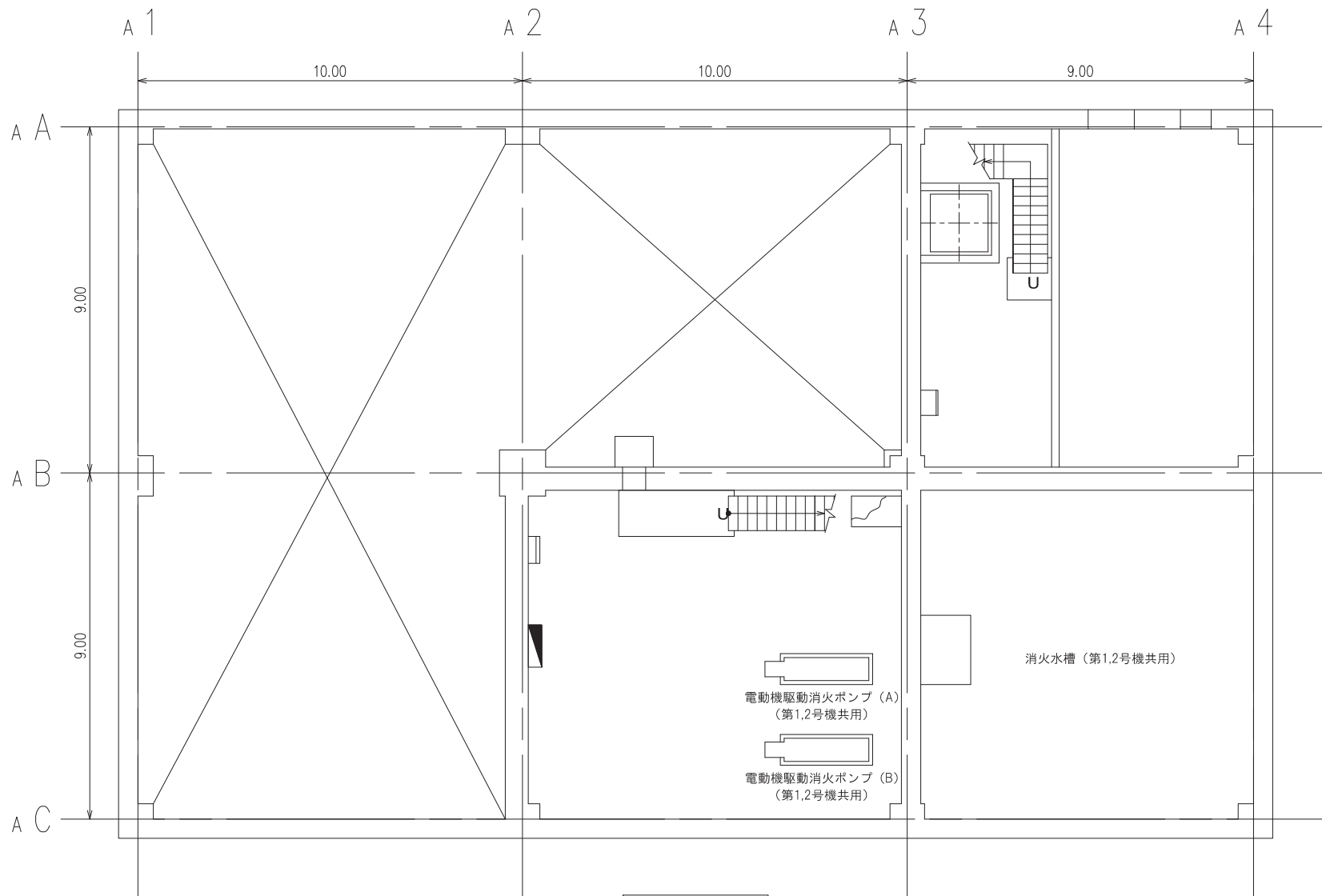
消火水タンクにおける今回申請する側マンホール管台は、日本産業規格「配管用アーク溶接炭素鋼鋼管」(JIS G 3457-2016)にて規定される管と同様の製造方法を採用するため、寸法公差として下表に示した同規格に定める外径の許容差を適用している。

外径の許容差

項目	許容差
外径の許容差	±0.5%



工事計画認可申請 第9-3-2-1-1-3-1 図	
女川原子力発電所 第2号機	
名称	屋内水消火系に係る機器の配置を明示した図面 (その1)
東北電力株式会社	
0512	



補助ボイラー建屋  
O.P. 11.00

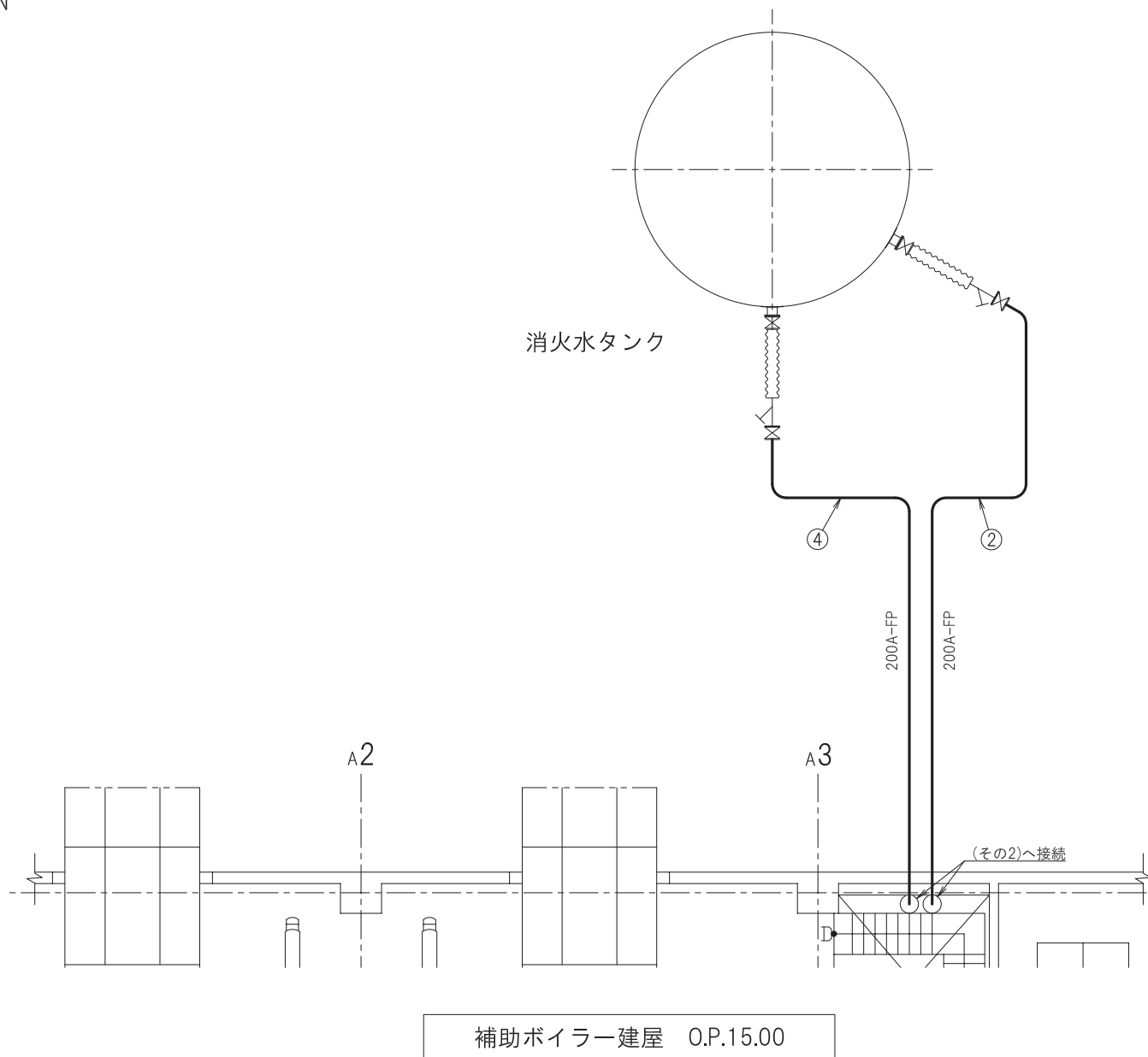
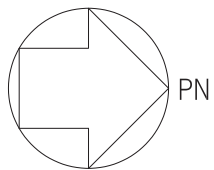
工事計画認可申請 第9-3-2-1-1-3-2図

女川原子力発電所 第2号機

名称 屋内水消火系に係る機器の配置を明示した図面  
(その2)

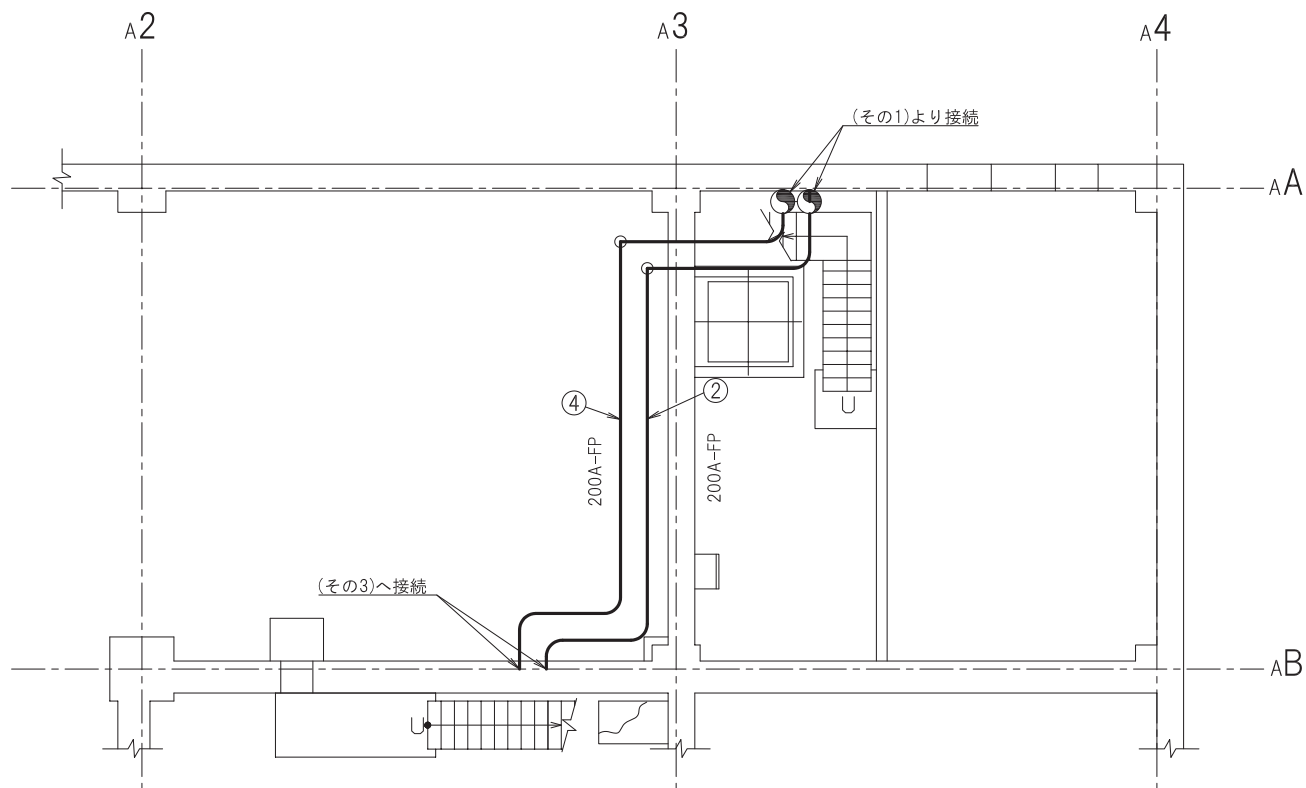
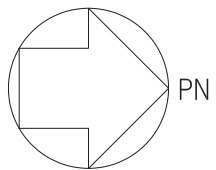
東北電力株式会社

注：寸法はmを示す。



注：寸法はmを示す。

工事計画認可申請	第9-3-2-1-1-4-1 図
女川原子力発電所 第2号機	
名称	屋内水消火系に係る主配管の配置を明示した図面 (その1)
東北電力株式会社	

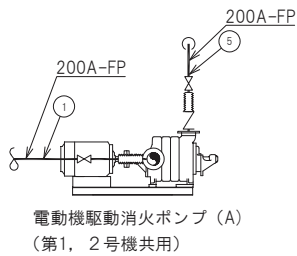
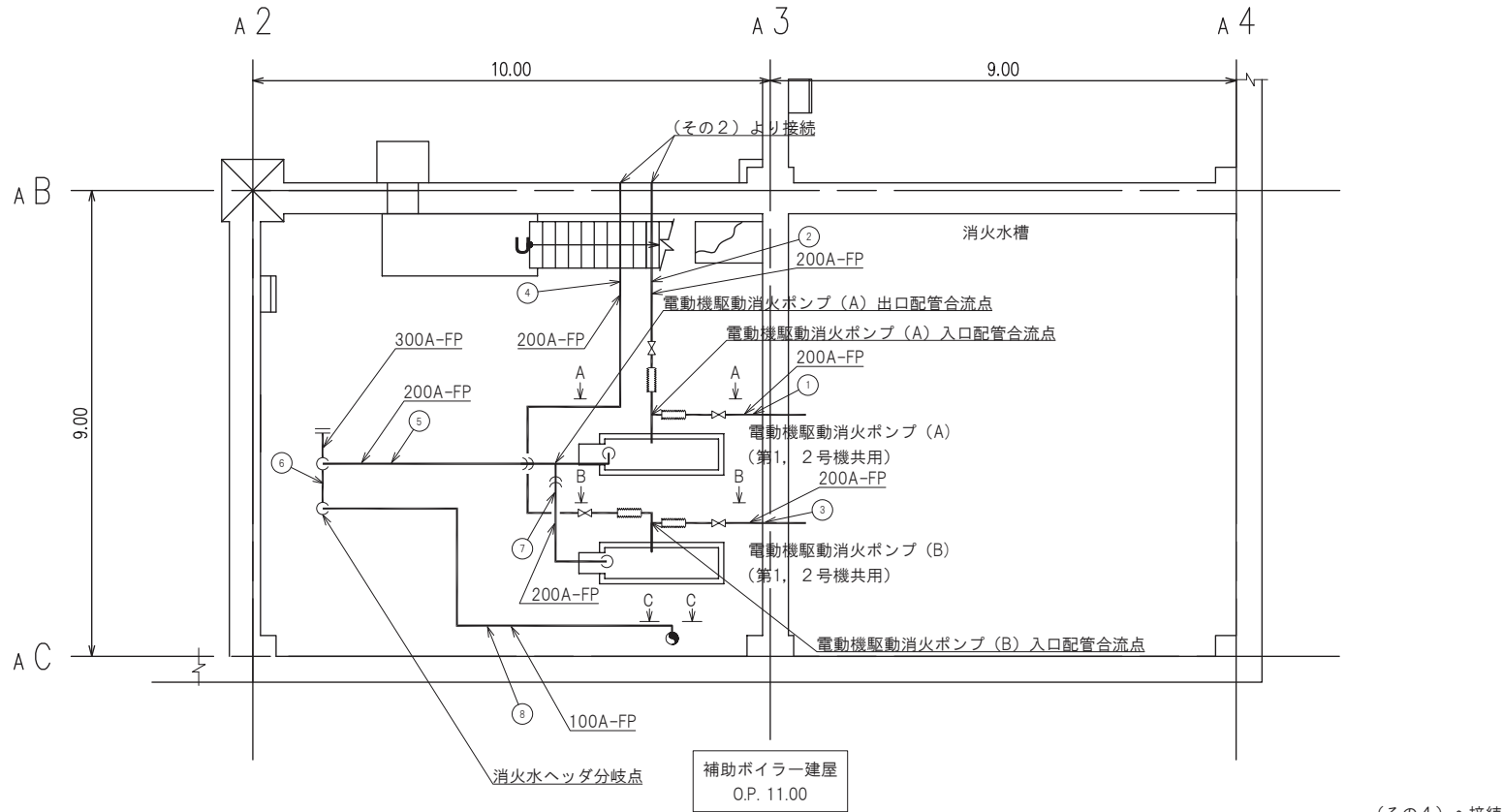


補助ボイラー建屋 O.P.11.00

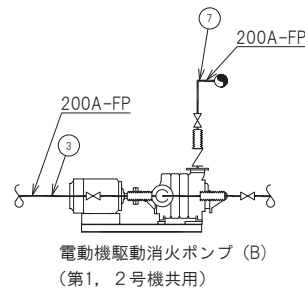
注：寸法はmを示す。

工事計画認可申請	第9-3-2-1-1-4-2 図
女川原子力発電所 第2号機	
名称	屋内水消火系に係る主配管の配置を明示した図面 (その2)
東北電力株式会社	
0512	

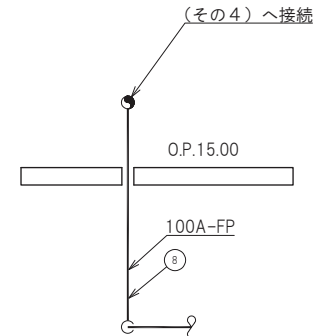




A-A矢視図



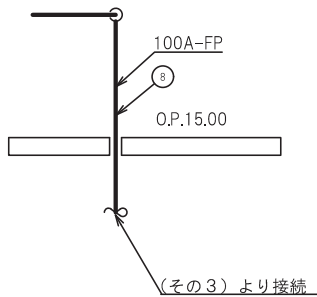
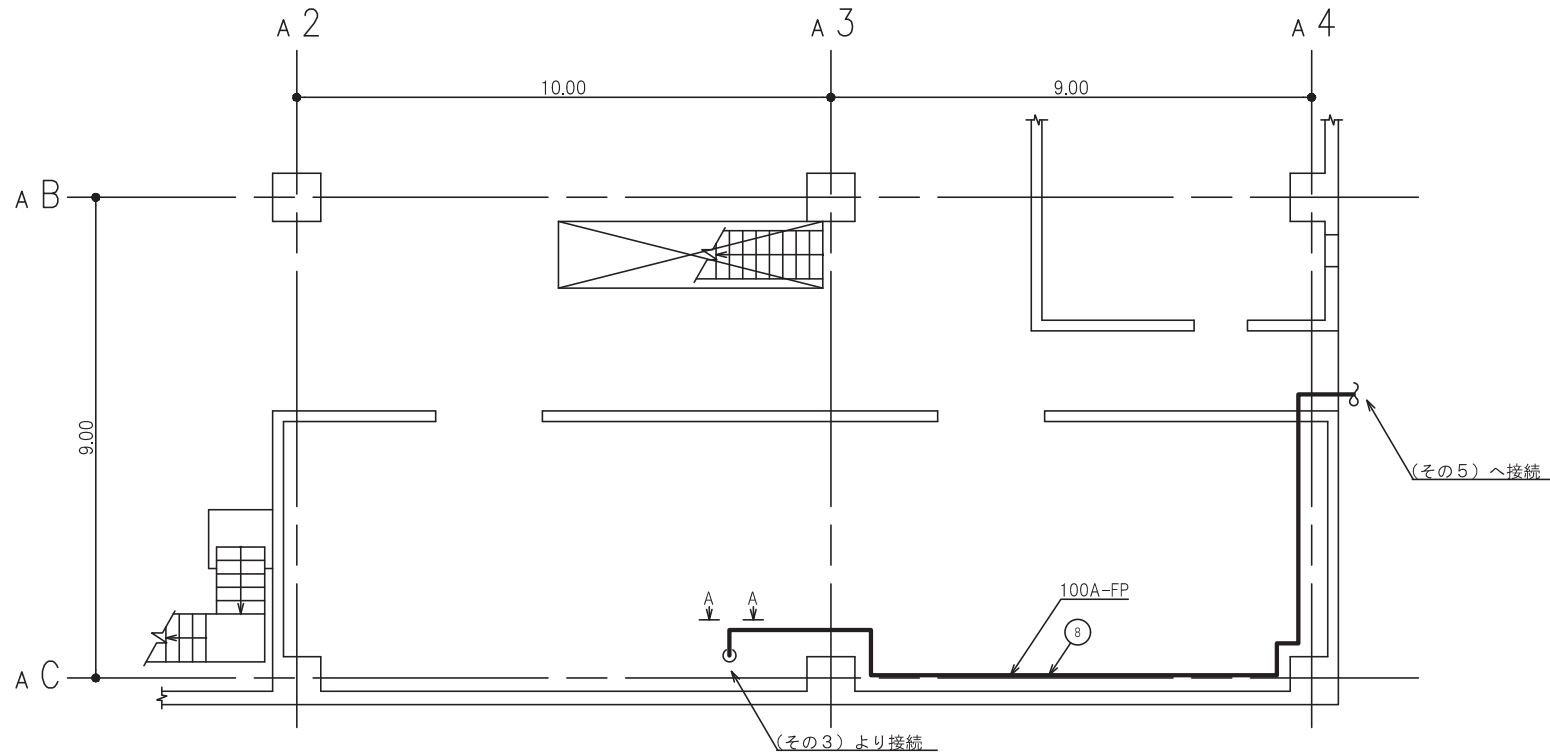
B-B矢視図



C-C矢視図

注：寸法はmを示す。

工事計画認可申請	第9-3-2-1-1-4-3図
女川原子力発電所 第2号機	
名称	屋内水消火系に係る主配管の配置を明示した図面 (その3)
東北電力株式会社	

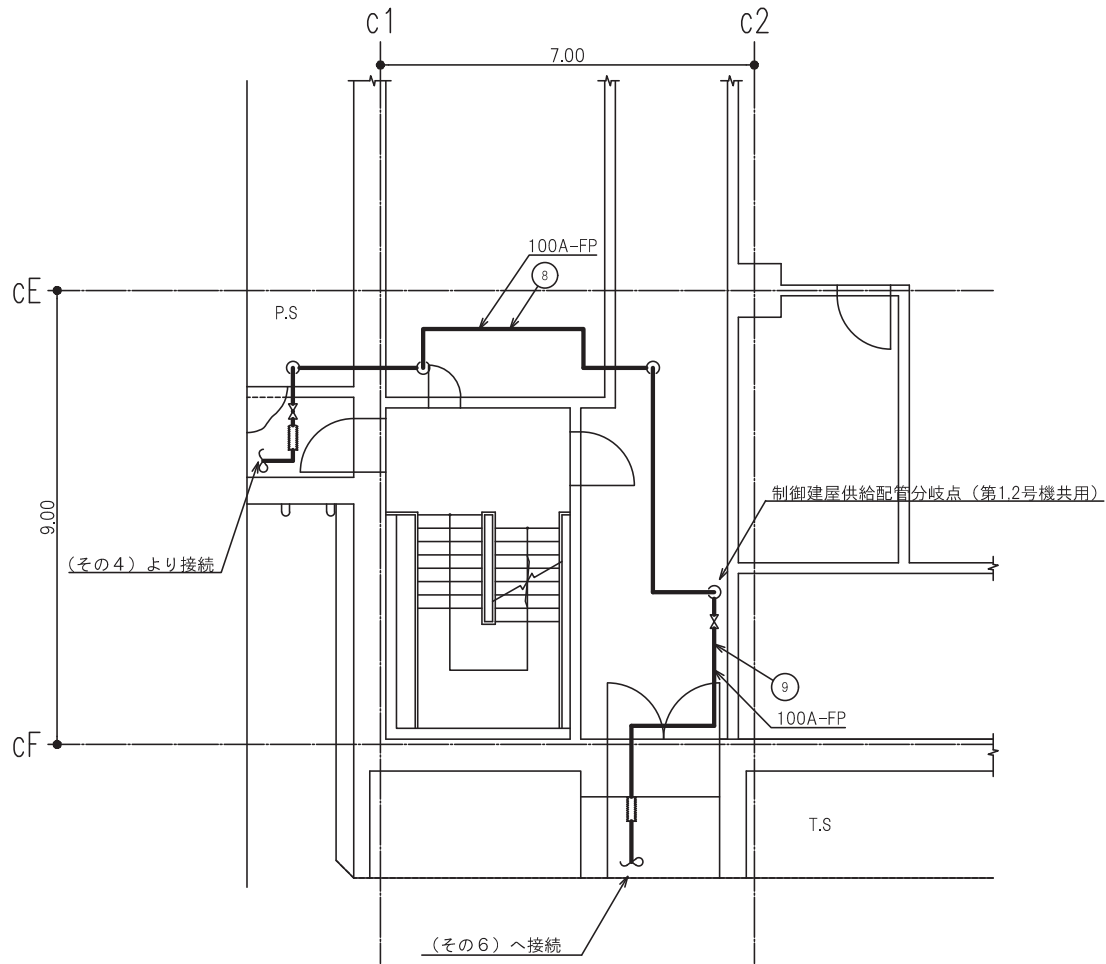


A-A矢視図

補助ボイラー建屋  
O.P.15.00

注：寸法はmを示す。

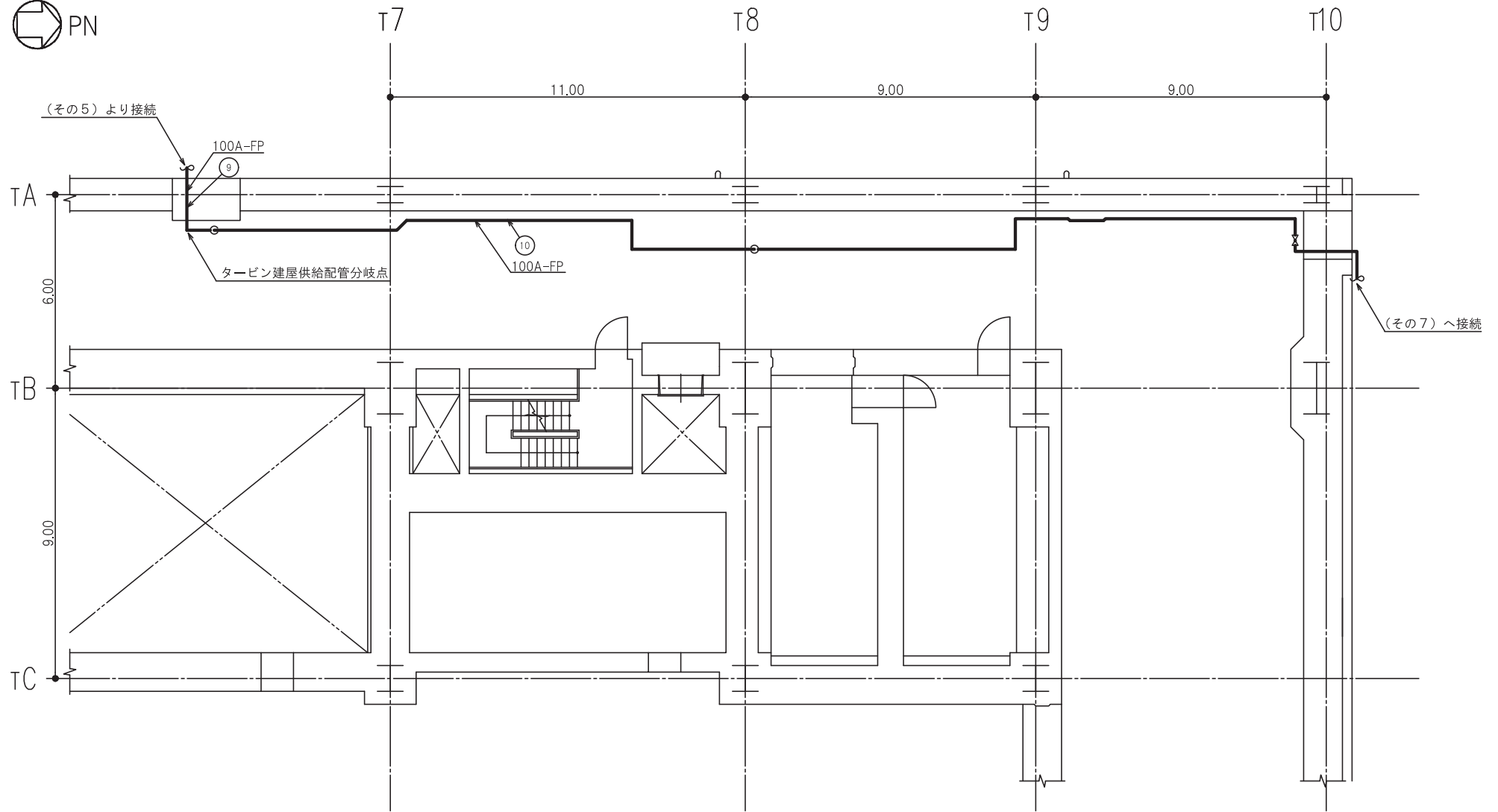
工事計画認可申請	第9-3-2-1-1-4-4図
女川原子力発電所 第2号機	
名称	屋内水消火系に係る主配管の配置を明示した図面(その4)
東北電力株式会社	



制御建屋  
O.P.15.00

注：寸法はmを示す。

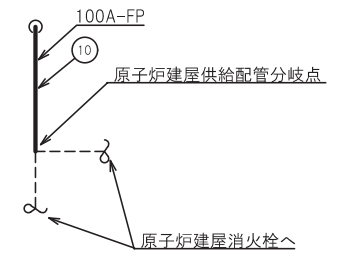
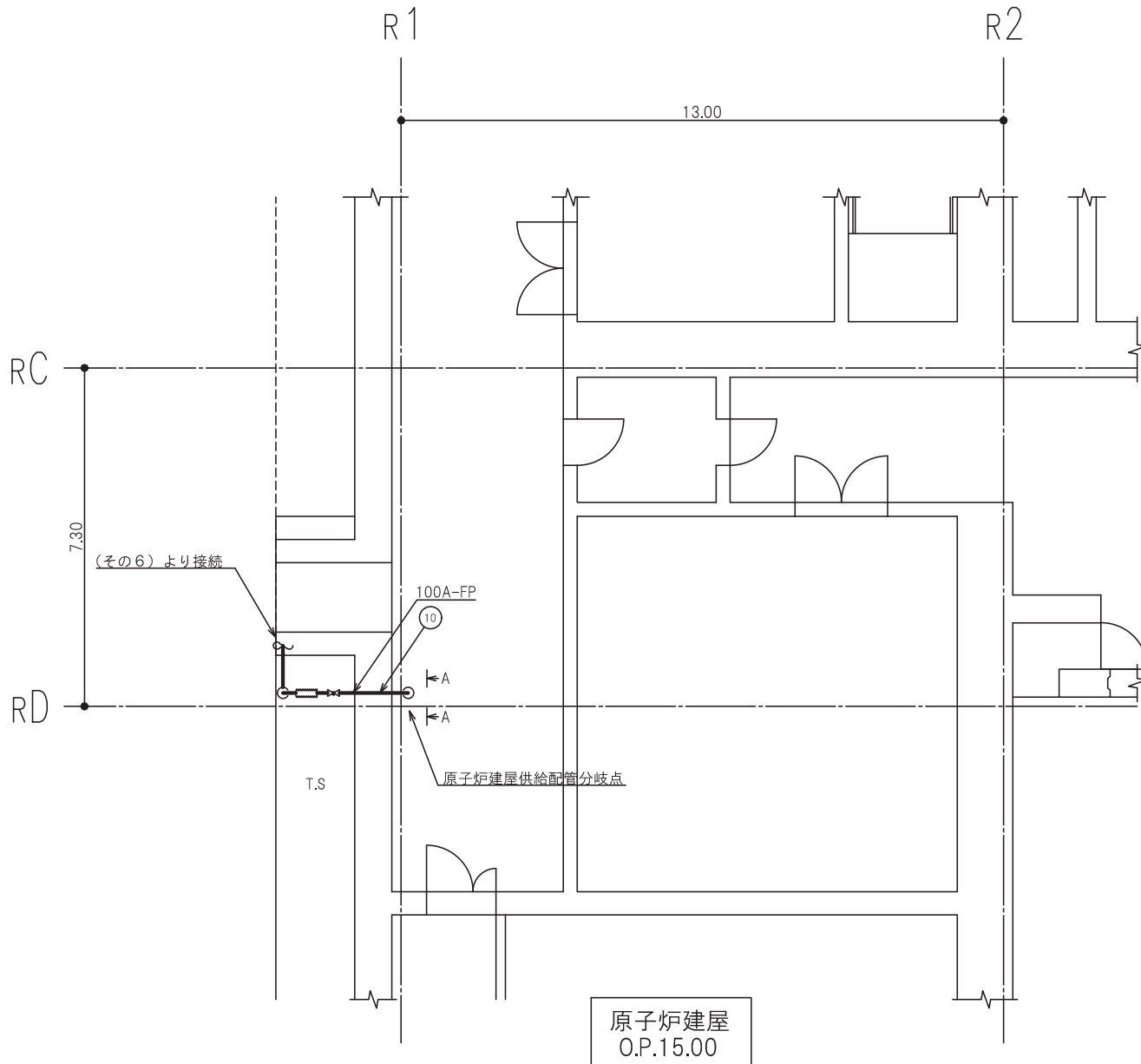
工事計画認可申請	第9-3-2-1-1-4-5図
女川原子力発電所 第2号機	
名称	屋内水消火系に係る主配管の配置を明示した図面 (その5)
東北電力株式会社	
0507	



タービン建屋  
O.P.15.00

注：寸法はmを示す。

工事計画認可申請	第9-3-2-1-1-4-6図
女川原子力発電所 第2号機	
名称	屋内水消火系に係る主配管の配置を明示した図面(その6)
東北電力株式会社	



A-A矢視図

注：寸法はmを示す。

工事計画認可申請	第9-3-2-1-1-4-7図
女川原子力発電所 第2号機	
名称	屋内水消火系に係る主配管の配置を明示した図面（その7）
東北電力株式会社	

No.	名称	部品	外径	厚さ	材質
①	消火水槽 ～ 電動機駆動消火ポンプ (A) (第 1, 2 号機共用)	管	216.3	8.2	STPG370
②	消火水タンク ～ 電動機駆動消火ポンプ (A) 入口配管合流点	管	216.3	8.2	STPG370
③	消火水槽 ～ 電動機駆動消火ポンプ (B) (第 1, 2 号機共用)	管	216.3	8.2	STPG370
④	消火水タンク ～ 電動機駆動消火ポンプ (B) 入口配管合流点	管	216.3	8.2	STPG370
⑤	電動機駆動消火ポンプ (A) ～ 消火水ヘッダ分岐点 (第 1, 2 号機共用)	管	216.3	8.2	STPG370
⑥	電動機駆動消火ポンプ (A) ～ 消火水ヘッダ分岐点 (第 1, 2 号機共用)	管	318.5	10.3	STPG370
⑦	電動機駆動消火ポンプ (B) ～ 電動機駆動消火ポンプ (A) 出口配管合流点 (第 1, 2 号機共用)	管	216.3	8.2	STPG370
⑧	消火水ヘッダ分岐点 ～ 制御建屋供給配管分岐点 (第 1, 2 号機共用)	管	114.3	6.0	STPG370
⑨	制御建屋供給配管分岐点 ～ タービン建屋供給配管分岐点	管	114.3	6.0	STPG370
⑩	タービン建屋供給配管分岐点 ～ 原子炉建屋供給配管分岐点	管	114.3	6.0	STPG370

注：外径及び厚さは公称値(mm)を示す。

工事計画認可申請	第 9-3-2-1-1-4-8 図
女川原子力発電所 第 2 号機	
名称	屋内水消火系に係る主配管の配置を明示した図面 (その 8)
東北電力株式会社	

第9-3-2-1-1-4-1図～第9-3-2-1-1-4-8図 屋内水消火系に係る主配管の配置を明示した図面別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

[主配管]

管NO.1, 2, 3, 4, 5, 6\*

主要寸法 (mm)		許容範囲	根拠
外径	216.3	±0.8%	JIS G 3454 による材料公差
厚さ	8.2	+15% -12.5%	同上

管NO.5\*

主要寸法 (mm)		許容範囲	根拠
外径	318.5	±0.8%	JIS G 3454 による材料公差
厚さ	10.3	+15% -12.5%	同上

管NO.7, 8, 9\*

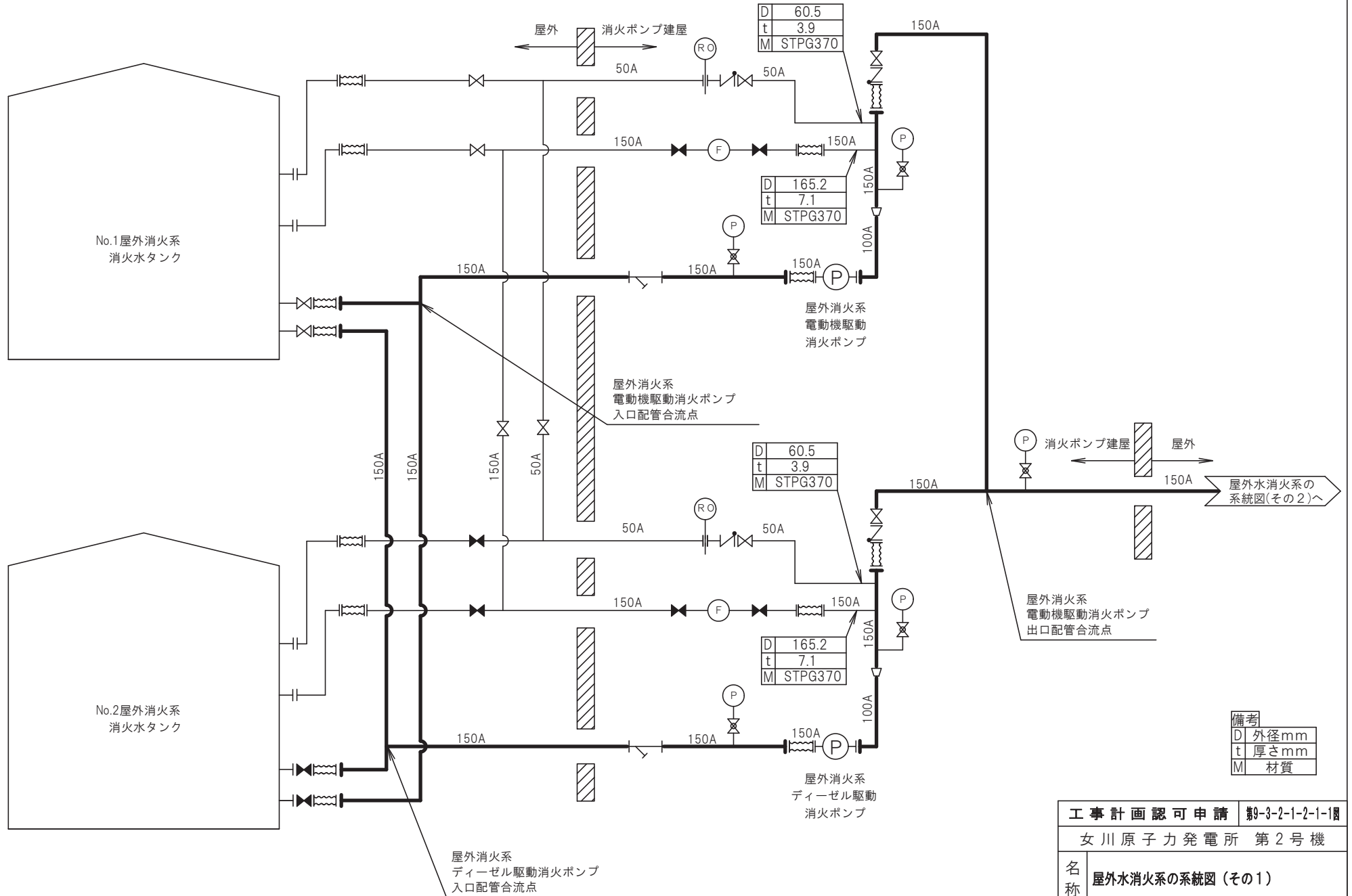
主要寸法 (mm)		許容範囲	根拠
外径	114.3	±1.0%	JIS G 3454 による材料公差
厚さ	6.0	+15% -12.5%	同上

注：主要寸法は、工事計画記載の公称値。

注記\*：主配管の配置を明示した図面に記載の管NOに対応する番号。

### 9.3.2.1.2 屋外水消火系



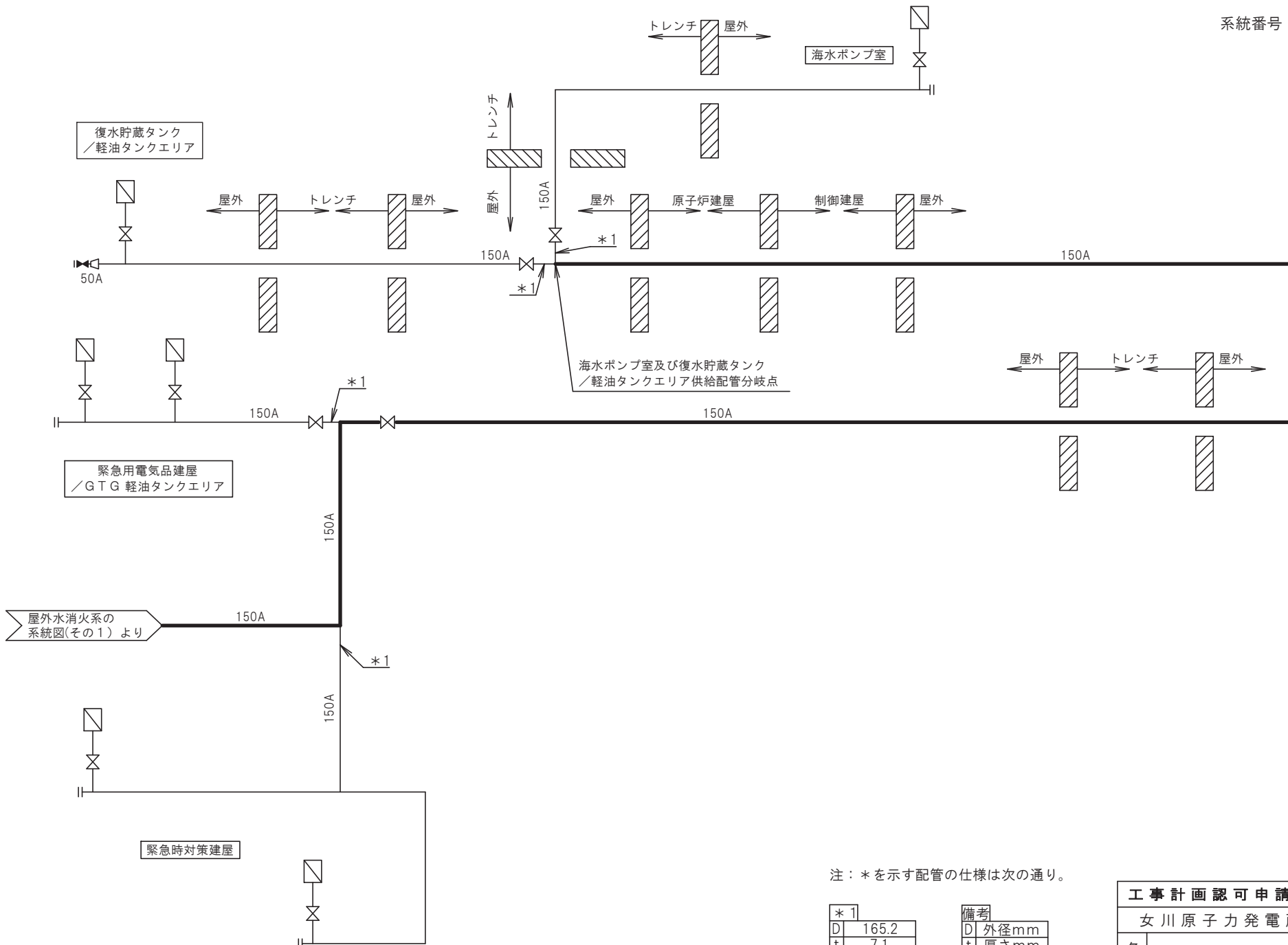


工事計画認可申請 第9-3-2-1-2-1-1個

女川原子力発電所 第2号機

名称 屋外水消火系の系統図(その1)

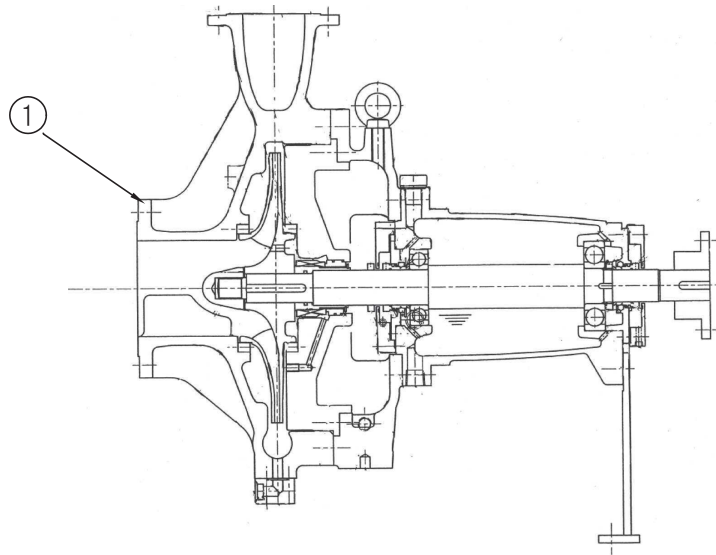
東北電力株式会社



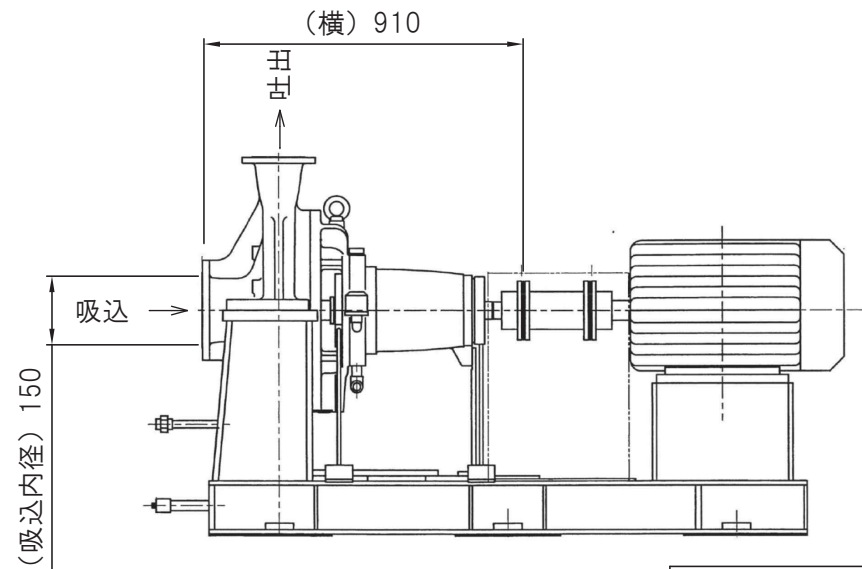
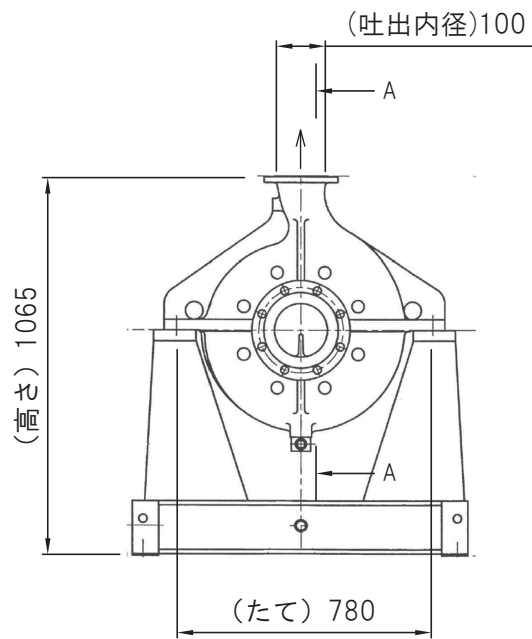
注：\*を示す配管の仕様は次の通り。

*1		備考	
D	165.2	D	外径mm
t	7.1	t	厚さmm
M	STPG370	M	材質

工事計画認可申請	第9-3-2-1-2-1-2機
女川原子力発電所 第2号機	
名称	屋外水消火系の系統図(その2)
東北電力株式会社	



A~A断面図



1	ケーシング	1	SCPH21
番号	品名	個数	材料
部 品 表			

注1 : 特記なき寸法はmmを示す。  
 注2 : 特記なき寸法は公称値を示す。

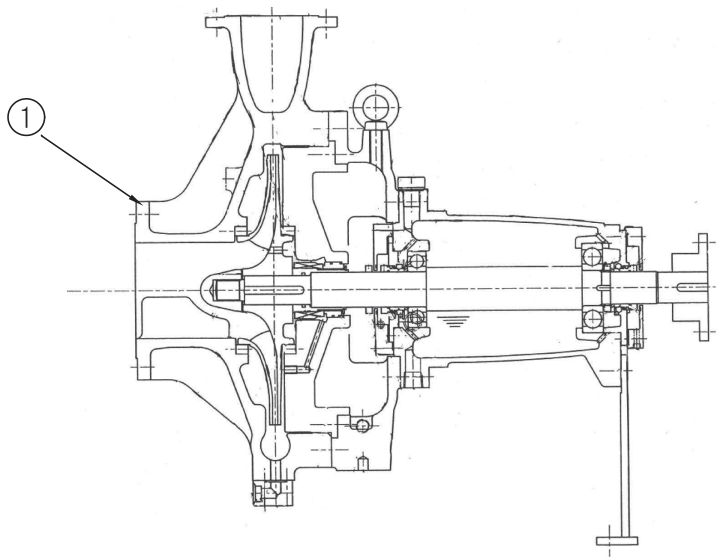
工事計画認可申請	第9-3-2-1-2-2-1個
女川原子力発電所 第2号機	
名称	屋外水消火系の構造図 屋外消火系電動機駆動消火ポンプ
東北電力株式会社	

工事計画記載の公称値の許容範囲

屋外消火系電動機駆動消火ポンプ

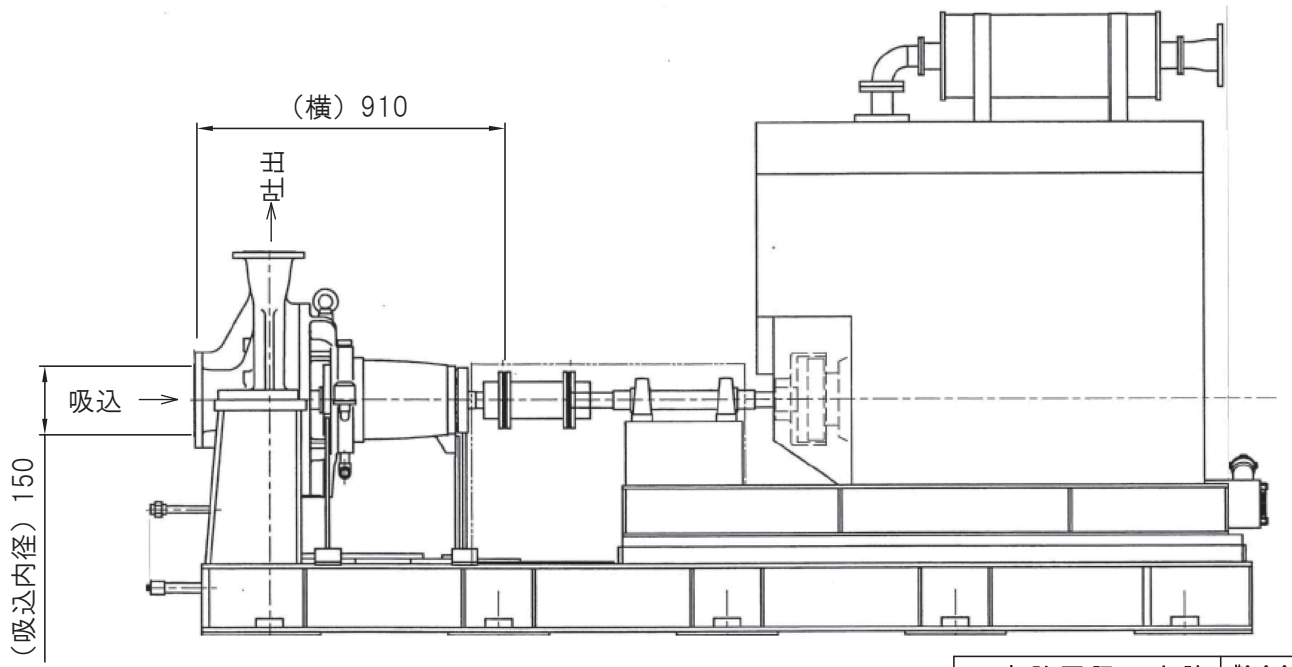
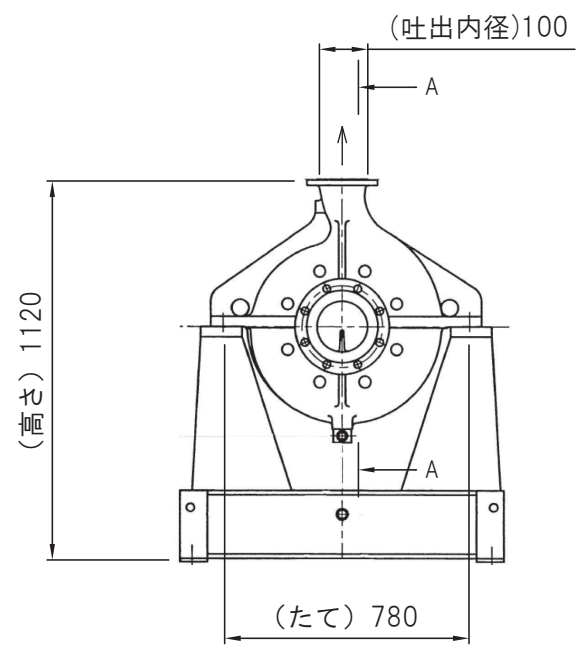
主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
吸込内径	150		製造能力，製造実績を考慮したメーカー基準
吐出内径	100		製造能力，製造実績を考慮したメーカー基準
たて	780		製造能力，製造実績を考慮したメーカー基準
横	910		製造能力，製造実績を考慮したメーカー基準
高さ	1065		製造能力，製造実績を考慮したメーカー基準

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値



1	ケーシング	1	SCPH21
番号	品名	個数	材料
部 品 表			

A~A断面図



注1 : 特記なき寸法はmmを示す。  
 注2 : 特記なき寸法は公称値を示す。

工事計画認可申請	第9-3-2-1-2-2-2図
女川原子力発電所 第2号機	
名称	屋外水消火系の構造図 屋外消火系ディーゼル駆動消火ポンプ
東北電力株式会社	

第 9-3-2-1-2-2-2 図 屋外水消火系の構造図 屋外消火系ディーゼル駆動消火ポンプ 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

屋外消火系ディーゼル駆動消火ポンプ

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
吸込内径	150		製造能力，製造実績を考慮したメーカー基準
吐出内径	100		製造能力，製造実績を考慮したメーカー基準
たて	780		製造能力，製造実績を考慮したメーカー基準
横	910		製造能力，製造実績を考慮したメーカー基準
高さ	1120		製造能力，製造実績を考慮したメーカー基準

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値

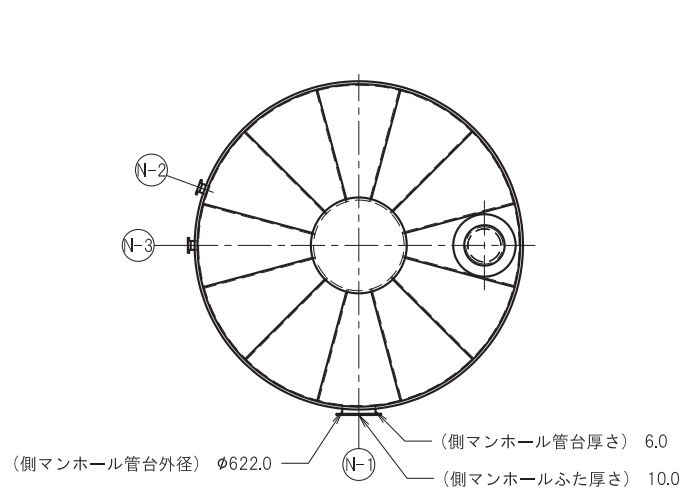


図-1 A~A矢視図

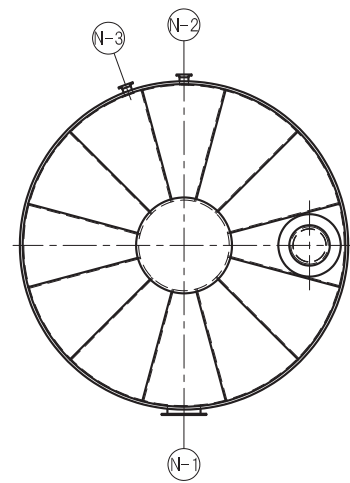
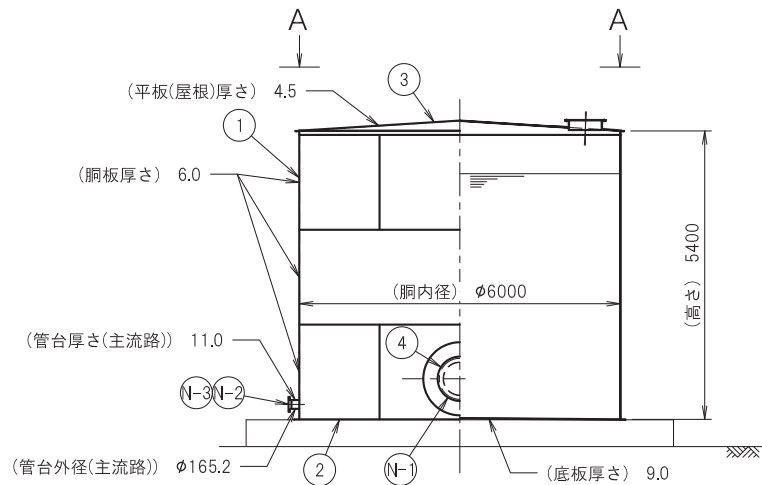


図-2 A~A矢視図



N-3	主流路(DD用*2)	1	150A
N-2	主流路(MD用*1)	1	150A
N-1	側マンホール	1	φ622.0
符号	名称	個数	呼び径
管台一覧表			

注記\*1：屋外消火系電動機駆動消火ポンプ用  
\*2：屋外消火系ディーゼル駆動消火ポンプ用

4	側マンホールふた	1	SM400C
3	平板(屋根)	1式	SS400
2	底板	1式	SM400C
1	胴板	1式	SS400
番号	品名	個数	材料
部品表			

2	No.2屋外消火系消火水タンク	図-2
1	No.1屋外消火系消火水タンク	図-1
番号	名称	備考
屋外消火系消火水タンク一覧表		

注1：寸法はmmを示す。  
注2：特記なき寸法は公称値を示す。  
注3：断面図示では管台の構造を模式的に示している。

工事計画認可申請	第9-3-2-1-2-2-3 図
女川原子力発電所 第2号機	
名称	屋外水消火系の構造図 屋外消火系消火水タンク
東北電力株式会社	

第 9-3-2-1-2-2-3 図 屋外水消火系の構造図 屋外消火系消火水タンク 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

屋外消火系消火水タンク

主要寸法 (mm)		許容範囲	根拠
胴内径	6,000	(60mm 以下) ±26mm	設計・建設規格 PVD-3010(PVC-3910 準用)より、同一断面における最大内径と最小内径の差は1%以下 製造能力、製造実績を考慮したメーカー基準
胴板厚さ (1, 2, 3 段目)	6.0	±0.60mm	公差：JIS G 3193 による材料公差
底板厚さ	9.0	±0.55mm ±0.65mm (板幅による)	公差：JIS G 3193 による材料公差
平板(屋根)厚さ	4.5	±0.45mm	公差：JIS G 3193 による材料公差
管台外径(主流路)	216.3	±0.8%	公差：JIS G 3454 による材料公差
管台厚さ(主流路)	12.7	+15% -12.5%	公差：JIS G 3454 による材料公差
側マンホール管台 外径	622.0	±0.5%	公差：JIS G 3457 による外径許容差
側マンホール管台 厚さ	6.0	±0.50	公差：JIS G 3193 による材料公差
側マンホールふた 厚さ	10.0	±0.55	公差：JIS G 3193 による材料公差
高さ	5,400	±15mm	製造能力、製造実績を考慮したメーカー基準

注1：主要寸法は、工事計画記載の公称値を示す。

注2：( ) 付き公差は最大と最小の差を示す。



工事計画記載の公称値の許容範囲(続き)

寸法公差の根拠

[胴板, 側マンホール管台及び側マンホールふた]

屋外消火系消火水タンクにおける今回申請する胴板, 底板, 平板(屋根), 側マンホール管台及び側マンホールふたは日本産業規格「熱間圧延鋼板及び鋼帯の形状, 寸法, 質量及びその許容差」(JIS G 3193-2019)にて規定される熱間圧延鋼板を採用するため, 寸法公差として下表に示した同規格に定める厚さの許容値を適用している。

鋼板の厚さの許容差(厚さ: 4mm 以上)

区分	厚さ	幅	厚さの許容値
熱間圧延鋼板	4.00 以上 5.00 未満	1,600 未満	±0.45
	5.00 以上 6.30 未満	1,600 未満	±0.50
		1,600 以上 2,000 未満	±0.60
	6.30 以上 10.0 未満	1600 未満	±0.55
		1,600 以上 2,000 未満	±0.65
10.0 以上 16.0 未満	1,600 未満	±0.55	

[管台(主流路)]

屋外消火系消火水タンクにおける今回申請する管台(主流路)は, 日本産業規格「圧力配管用炭素鋼鋼管」(JIS G 3454-2012)に定める種類の記号 STPG370 にて規定される材料を採用するため, 寸法公差として下表に示した同規格に定める外径及び厚さの許容値を適用している。

管の外径及び厚さの許容値

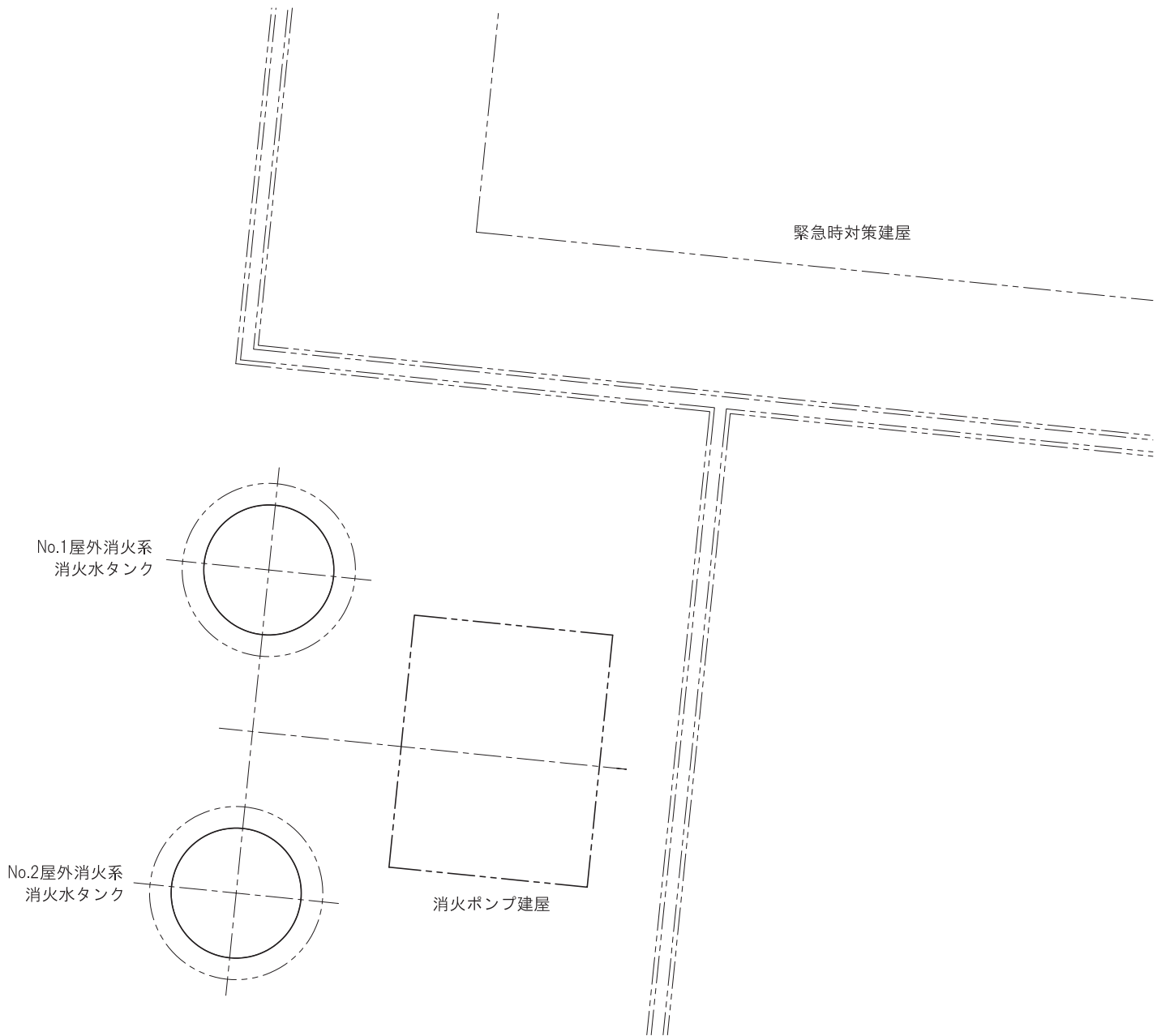
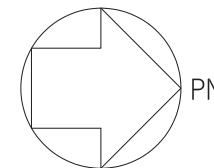
区分	外径の許容差		厚さの許容差	
	呼び径	許容差	厚さ区分	許容差
熱間仕上継目無鋼管 (STPG370)	200A 以上	±0.8%	4mm 以上	+15% -12.5%

[側マンホール管台]

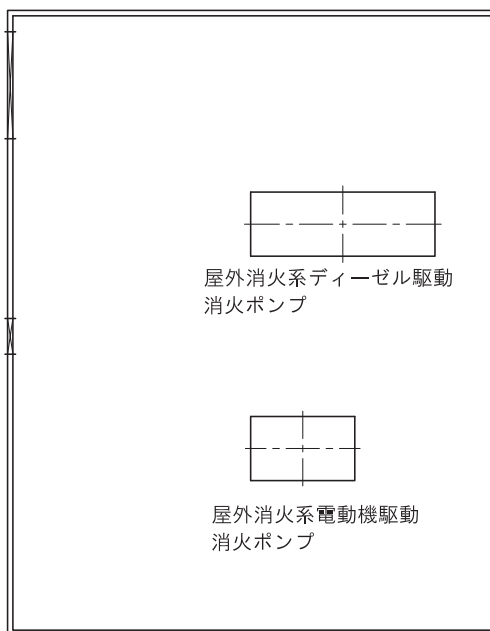
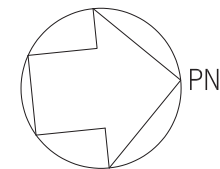
屋外消火系消火水タンクにおける今回申請する側マンホール管台は、日本産業規格「配管用アー  
ク溶接炭素鋼鋼管」(JIS G 3457-2016)にて規定される管と同様の製造方法を採用するため、寸法  
公差として下表に示した同規格に定める外径の許容差を適用している。

外径の許容差

項目	許容差
外径の許容差	±0.5%



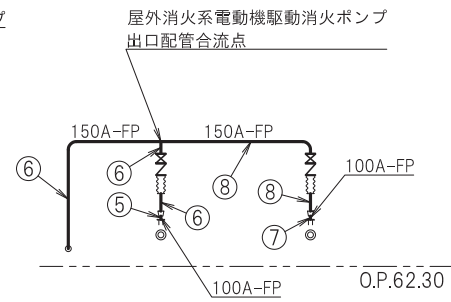
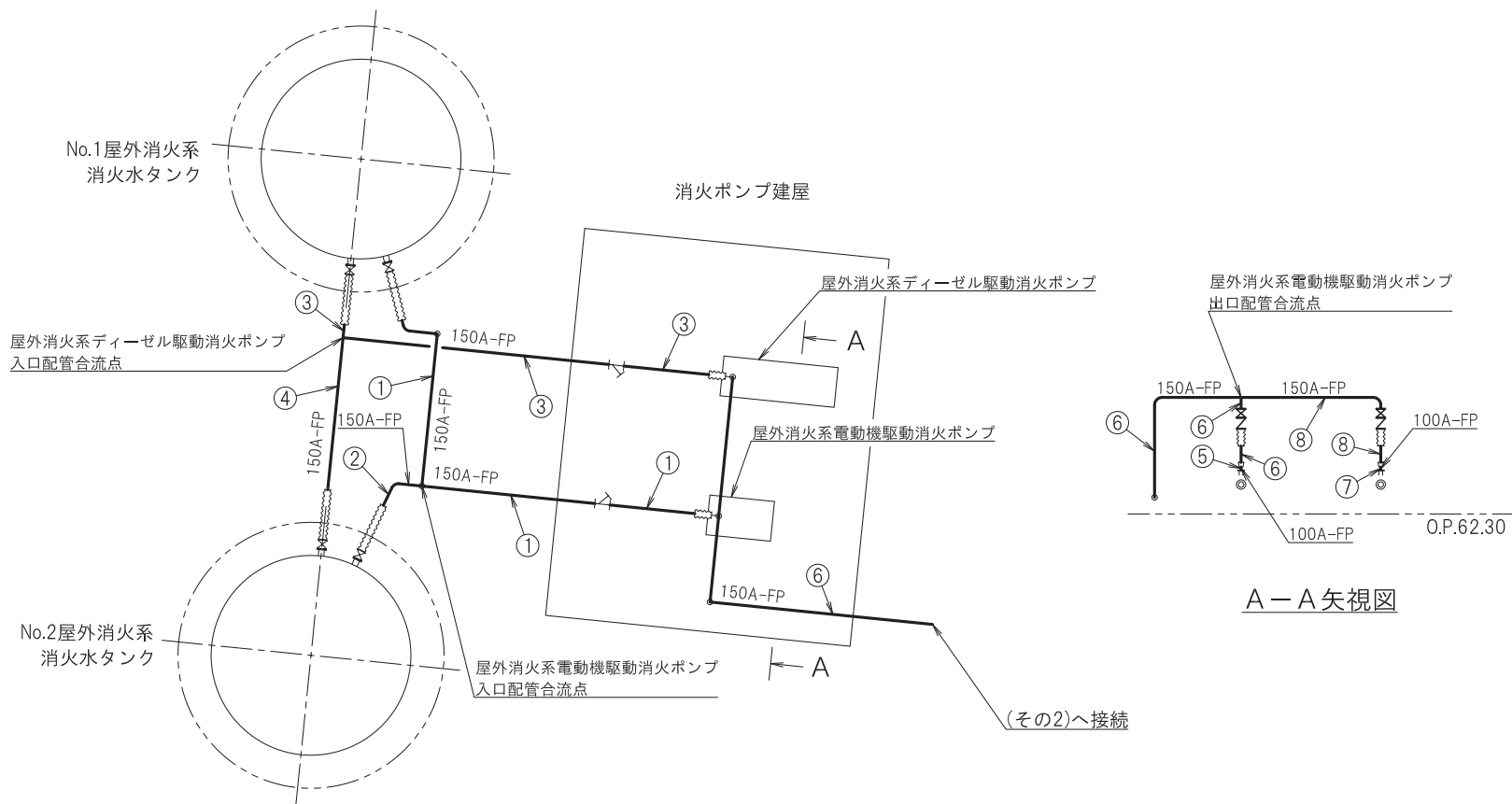
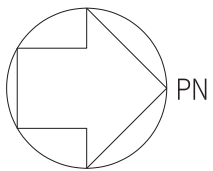
工事計画認可申請 第9-3-2-1-2-3-1 図	
女川原子力発電所 第2号機	
名称	屋外水消火系に係る機器の配置を明示した図面 (その1)
東北電力株式会社	
0512	



消火ポンプ建屋 O.P.62.30

注：寸法はmを示す。

工事計画認可申請	第9-3-2-1-2-3-2 図
女川原子力発電所 第2号機	
名称	屋外水消火系に係る機器の配置を明示した図面 (その2)
東北電力株式会社	

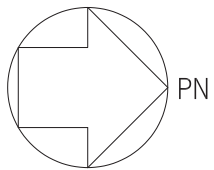


A-A 矢視図

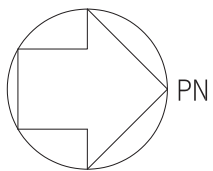
(その2)へ接続

注1：寸法はmを示す。

工事計画認可申請	第9-3-2-1-2-4-1 図
女川原子力発電所 第2号機	
名称	屋外水消火系に係る主配管の配置を明示した図面 (その1)
東北電力株式会社	
0512	



工事計画認可申請	第9-3-2-1-2-4-2 図
女川原子力発電所 第2号機	
名称	屋外水消火系に係る主配管の配置を明示した図面 (その2)
東北電力株式会社	



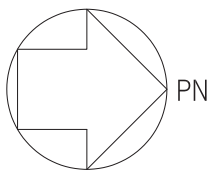
(その4)へ接続

(道路横断部)

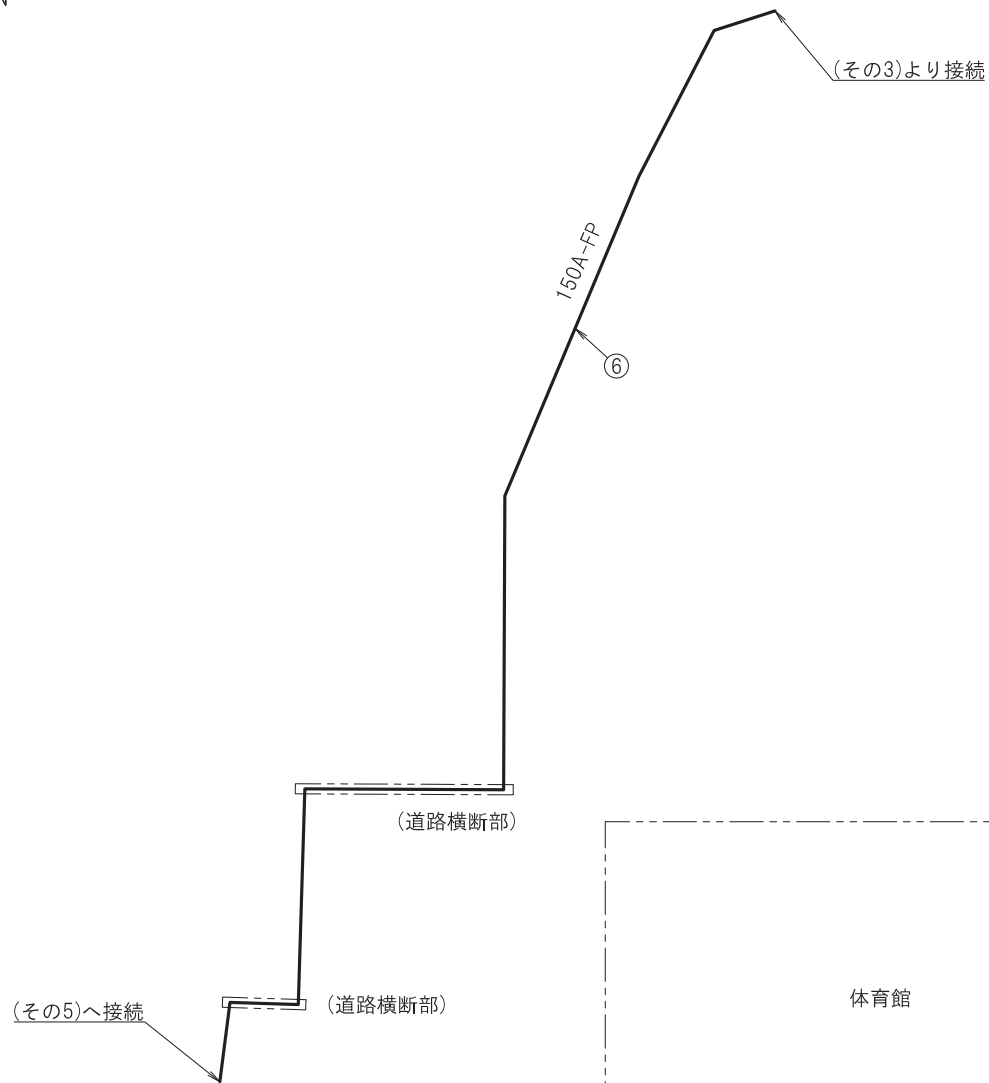
150A-FP  
⑥

(その2)より接続

工事計画認可申請	第9-3-2-1-2-4-3 図
女川原子力発電所 第2号機	
名称	屋外水消火系に係る主配管の配置を明示した図面 (その3)
東北電力株式会社	

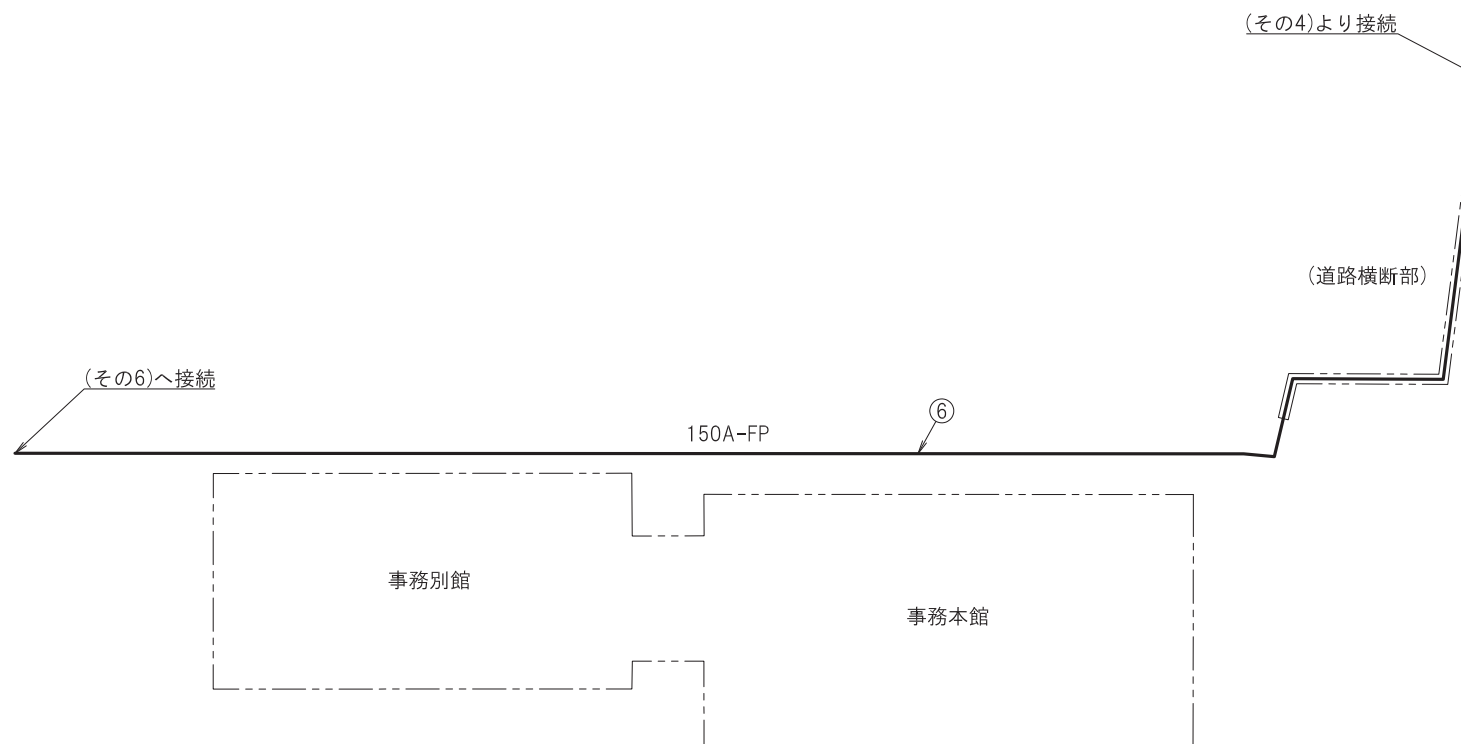
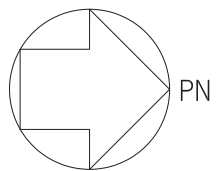


PN

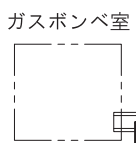
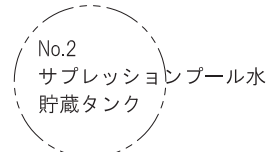
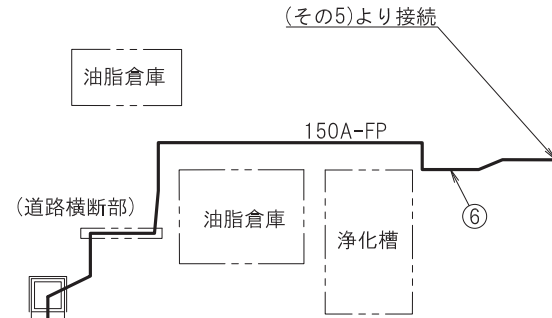
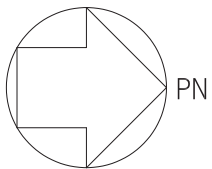


工事計画認可申請 第9-3-2-1-2-4-4 図	
女川原子力発電所 第2号機	
名称	屋外水消火系に係る主配管の配置を明示した図面 (その4)
東北電力株式会社	
0512	





工事計画認可申請 第9-3-2-1-2-4-5 図	
女川原子力発電所 第2号機	
名称	屋外水消火系に係る主配管の配置を明示した図面 (その5)
東北電力株式会社	



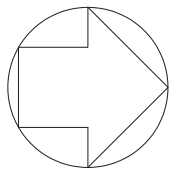
(その7)へ接続

(トレンチ)

第1号機 原子炉建屋

第1号機 タービン建屋

工事計画認可申請	第9-3-2-1-2-4-6 図
女川原子力発電所 第2号機	
名称	屋外水消火系に係る主配管の配置を明示した図面 (その6)
東北電力株式会社	



PN

ガスボンベ室

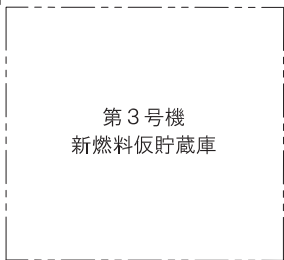


(その6)より接続

(道路横断部)

(道路横断部)

第3号機  
新燃料仮貯蔵庫



第1号機 タービン建屋



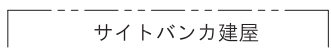
150A-FP

⑥

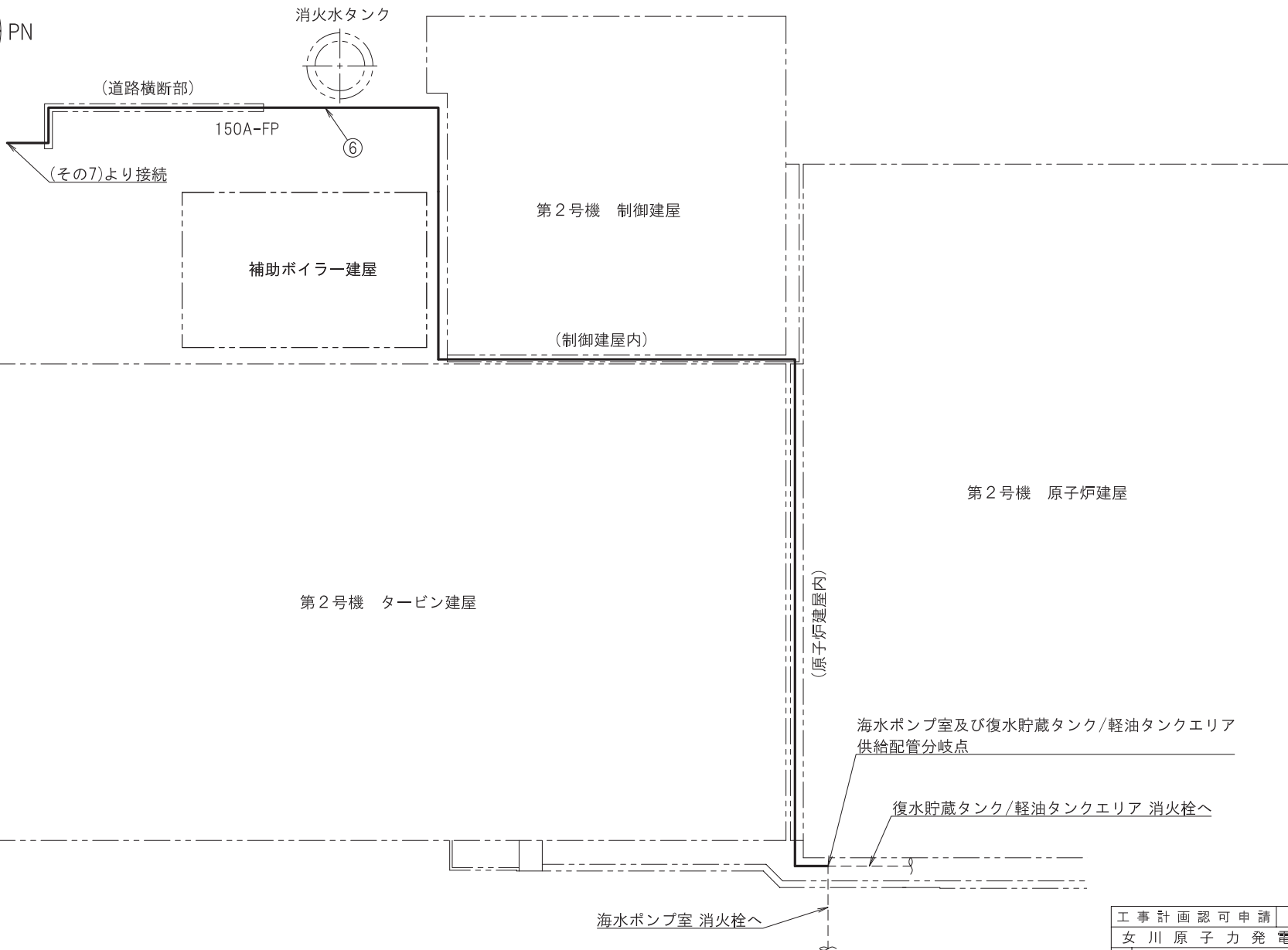
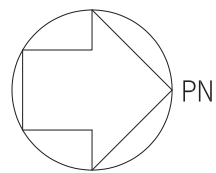
(その8)へ接続

(道路横断部)

サイトバンカ建屋



工事計画認可申請	第9-3-2-1-2-4-7 図
女川原子力発電所 第2号機	
名称	屋外水消火系に係る主配管の配置を明示した図面 (その7)
東北電力株式会社	



工事計画認可申請	第9-3-2-1-2-4-8 図
女川原子力発電所 第2号機	
名称	屋外水消火系に係る主配管の配置を明示した図面 (その8)
東北電力株式会社	

No.	名称	部品	外径*	厚さ*	材質
①	No. 1屋外消火系消火水タンク ～屋外消火系電動機駆動消火ポンプ	管	165.2	7.1	STPG370
②	No. 2屋外消火系消火水タンク ～屋外消火系電動機駆動消火ポンプ入口配管合流点	管	165.2	7.1	STPG370
③	No. 1屋外消火系消火水タンク ～屋外消火系ディーゼル駆動消火ポンプ	管	165.2	7.1	STPG370
④	No. 2屋外消火系消火水タンク ～屋外消火系ディーゼル駆動消火ポンプ入口配管合流点	管	165.2	7.1	STPG370
⑤	屋外消火系電動機駆動消火ポンプ ～海水ポンプ室及び復水貯蔵タンク／軽油タンクエリア供給配管分岐点	管	114.3	6.0	STPG370
⑥	屋外消火系電動機駆動消火ポンプ ～海水ポンプ室及び復水貯蔵タンク／軽油タンクエリア供給配管分岐点	管	165.2	7.1	STPG370
⑦	屋外消火系ディーゼル駆動消火ポンプ ～屋外消火系電動機駆動消火ポンプ出口配管合流点	管	114.3	6.0	STPG370
⑧	屋外消火系ディーゼル駆動消火ポンプ ～屋外消火系電動機駆動消火ポンプ出口配管合流点	管	165.2	7.1	STPG370

\*：外径及び厚さは公称値(mm)を示す。

工事計画認可申請	第9-3-2-1-2-4-9 図
女川原子力発電所 第2号機	
名称	屋外水消火系に係る主配管の配置を明示した図面（その9）
東北電力株式会社	